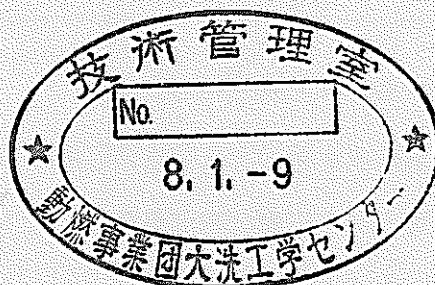


高速実験炉「常陽」第9回定期点検報告書

電源設備定期点検時のプラント操作

1995年10月



動力炉・核燃料開発事業団
大洗工学センター

複製又はこの資料の入手については、下記にお問い合わせください。

〒311-13 茨城県東茨城郡大洗町成田町4002

動力炉・核燃料開発事業団

大洗工学センター システム開発推進部・技術管理室

Enquires about copyright and reproduction should be addressed to: Technology Management Section O-arai Engineering Center, Power Reactor and Nuclear Fuel Development Corporation 4002 Narita-cho, O-arai-machi, Higashi-Ibaraki, Ibaraki-ken, 311-13, Japan

動力炉・核燃料開発事業団 (Power Reactor and Nuclear Fuel Development Corporation)

高速実験炉「常陽」第9回定期点検報告書

電源設備定期点検時のプラント操作

則次 明広* 山崎 学* 安 哲徳*
舟木 功* 早川 晃* 寺野 壽洋*
鹿志村洋一* 田村 政昭*

要 旨

本報告書は、高速実験炉「常陽」第9回定期点検期間中の平成3年10月14日から平成3年12月10日及び平成4年2月18日に実施した電源設備定期点検時のプラント操作及び経験等についてまとめたものである。

今回の電源設備点検は、受電設備（常陽変電所）、一般系電源設備A系、非常系電源設備C系及び交流無停電電源設備について行った。また、直流無停電電源設備の更新、4系電源盤改造（切替回路設置）及び一部の電源盤（1C・1D-M/C、2D-P/C）の導体更新も併せて行った。

これらの作業時のプラント状態は、1次・2次主冷却系にナトリウムを充填したまま炉心崩壊熱を主冷却系で除熱する状態と、ナトリウムをGL-8,600mmまでドレンして炉心崩壊熱除去及び予熱を予熱N₂ガス系で行う状態で実施した。点検前後のプラント操作及び電源操作は直員が行い、かつ、電源操作時は点検担当者が立ち会う体制で実施した。

この結果、第9回電源設備定期点検は、無事予定通り終了した。

* 実験炉部 原子炉第1課

目 次

1. 緒言	1
2. 「常陽」電源設備の概要	3
2.1 受電、変電設備	3
2.1.1 受電設備	3
2.1.2 メタクラ設備	4
2.1.3 パワーセンター設備	4
2.1.4 非常系100V電源設備	5
2.2 非常用電源設備	5
2.3 無停電電源設備	6
2.3.1 交流無停電電源設備	6
2.3.2 直流無停電電源設備	6
2.4 補助電源設備	7
3. 点検工程及びプラント状態	11
3.1 電源設備点検工程	11
3.2 プラント状態	12
4. 点検電源系の停電・復電操作の基本	45
4.1 常陽変電所、一般系メタクラA系(1A-M/C)の場合	45
4.2 一般系パワーセンターA系(2A, 3A-P/C)の場合	46
4.3 非常系パワーセンターC系(1HC, 2HC, 2C, 2S, 3C)の場合	46
4.4 無停電電源設備(5C, 5D, 7C, 7D 整流装置, 6C, 6Dインバータ及び 蓄電池, 5C, 5D, 7C, 7S, 7D, 6C, 6S, 6D電源盤)の場合	47
4.5 非常系メタクラC系(1C-M/C)の場合	48
4.6 非常系メタクラD系(1D-M/C)の場合	49
4.7 非常系パワーセンターD系(2D-P/C)の場合	50
4.8 補助電源設備の場合	50
5. プラント対策	52
6. プラント経験	69
7. 管理体制	70
8. 結言	71
9. 謝辞	72

参 考 資 料

1. プラント操作チェックシート	75
2. 電源設備操作チェックシート	135
3. プラント状態表	277

添 付 資 料

1. 4 S 仮設電源継ぎ込み・取外し	360
2. 2 HC-P/C点検時の「予備」モード制御温度設定値	384
3. 1 HC-P/C点検に伴う2次補助予熱ヒータ設定温度変更表	386
4. 1 HC-P/C点検時配管温度チェックシート	388
5. 2 HC-P/C点検時配管温度チェックシート	396
6. 格納容器雰囲気監視装置停止・復旧要領書	405
7. 一般照明電源切替要領書	407
8. 電源喪失時負荷投入チェックシート	411
9. 電源喪失に伴う付属空調復旧操作	419
10. 1次主ポンプ潤滑油温度監視記録	421
11. 弁ロックリスト	423
12. FFD-CG法 起動・停止マニュアル	442
13. 放射線管理設備電源一覧	449
14. N ₂ 気化器凍結防止対策	456

1. 緒 言

高速実験炉「常陽」は、高速増殖炉の技術経験を得ることを目的として、昭和45年3月に建設が開始され、増殖用炉心（MK-I炉心）で昭和52年4月23日に初臨界を達成した。その後、熱出力を50MW、75MWと段階的に上昇させて各種の性能試験を実施し、更に第2の目的である燃料及び材料の照射施設として、昭和57年11月22日に照射用炉心（MK-II炉心）で初臨界を達成した。それ以来、照射施設として熱出力100MW定格出力運転を23サイクル実施した後、第9回定期検査に入った。

前回の第8回定期検査時に於ける電源設備点検（平成2年2月2日～12日、3月12日～22日）は、受電設備（常陽変電所）、一般系電源設備B系、非常系電源設備D系及び無停電電源設備について行った。

今回の電源設備点検は、受電設備（常陽変電所）、一般系電源設備A系、非常系電源設備C系及び交流無停電電源設備について行った。また、直流無停電電源設備の更新、4系電源盤改造（4C-4S-4Dの切替回路設置）及び1C・1D-M/C、2D-P/Cのアルミ母線から銅母線への導体更新も併せて行われた。

点検時のプラント状態は、常陽変電所、一般系電源設備A系点検、4系電源盤改造等では、従来通り炉心崩壊熱除去の容易性を考慮して、温態待機状態で実施した。一方、無停電電源設備の点検、更新では、無停電電源がプラントの計装・制御用として使用されていることから、1次・2次主冷却系にナトリウムを充填した温態待機状態でC系からD系への電源切替えを行った場合、機器の起動・停止が多く、プラント操作が繁雑となり、安定維持が困難であること、更に、導体更新では、非常系負荷の切替えなどにもよりプラント操作がより一層繁雑になるため、ナトリウムを主系統からドレンした状態で実施した。

以上のようなプラント状態を形成するにあたって、定期検査の全工程との兼ね合いから電源設備点検は、平成3年10月14日から12月10日にかけて実施した。尚、点検期間中、電源設備の停電及び切替操作が多く、これに伴いナトリウム機器をはじめ、プラント全体の機器の起動・停止も多くなり、更に特殊なプラント操作も必要なことから、電源設備点検に伴うプラント操作、電源操作等の要領書の作成・検討をワーキング・グループを結成し、行った。

を結成し、行った。

本報告書は、これらの経過を踏まえて実施した第9回電源設備点検の電源設備操作・プラント操作時の経験・実績を、今後の電源設備点検時の参考に供するため、まとめたものである。

2. 「常陽」電源設備の概要

電源設備は、原子炉の運転、監視及び安全確保のために運転を必要とする補機、制御盤等に電源を供給すると共に、外部電源の使用が不可能な時には原子炉を安全に停止するために必要な電源を供給するものである。Fig.-2.1に「常陽」電源設備系統図を、Fig.-2.2に電源盤配置図を示す。

2.1 受電、変電設備

受電、変電設備は、大洗工学センター大洗変電所から地中送電線によって受電エリアに設置された常陽変電所に66kV 1回線を受電し、主変圧器で3.3kVに降圧する受電設備、主変圧器で3.3kVに降圧した電源を受電して所内高圧補機及び高圧コントロールセンターに給電するメタクラ設備、メタクラ設備より受電して低圧(420V及び210V)に降圧後、所内低圧補機、低圧コントロールセンター及び各分電盤に給電するパワーセンター設備と計測制御専用の電源を給電する電源設備(AC・DC110V)で構成されている。

2.1.1 受電設備

受電設備は、大洗工学センター大洗変電所の66kV閉鎖型配電盤から66kV地中送電線(OFケーブル)で66kV 1回線を高速実験炉敷地内の常陽変電所66kV閉鎖型配電盤に引き込み、主変圧器で3.3kVに降圧して高速実験炉の所内に3.3kVを配電する設備である。以下に設備構成を示す。

- (1) 66kV閉鎖型配電盤
- (2) 主変圧器(タップ切替装置付)
- (3) 3.3kV屋外用閉鎖型配電盤
- (4) 転送引き外し装置

2.1.2 メタクラ設備

メタクラ設備は、主変圧器で3.3 kVに降圧された電源を受電して、所内高圧補機及び高圧コントロールセンターに給電する高圧配電設備である。以下に設備構成を示す。

- (1) 1A及び1Bメタクラ（一般系 3.3 kVメタクラ）
- (2) 1C及び1Dメタクラ（非常系 3.3 kVメタクラ）

1A及び1Bメタクラの給電対象は、外部電源（商用電源）が健全な時に運転される補機類である。一方、1C及び1Dメタクラの給電対象は、通常外部電源により運転され、外部電源が使用不可能な場合（停電及び受電設備のメンテナンス時等）にはディーゼル発電機から受電して運転される補機類である。

2.1.3 パワーセンター設備

パワーセンター設備は、メタクラより受電した電源をパワーセンター変圧器にて低圧（420V及び210V）に降圧し、所内低圧補機、低圧コントロールセンターに給電する低圧配電設備である。以下に設備構成を示す。

- (1) 2A及び2Bパワーセンター（一般系 400Vパワーセンター）
- (2) 3A及び3Bパワーセンター（一般系 200Vパワーセンター）
- (3) 2C、2D及び2Sパワーセンター（非常系 400Vパワーセンター）
- (4) 3C、3D及び3Sパワーセンター（非常系 200Vパワーセンター）
- (5) 1HC、1HD及び2HC、2HDパワーセンター（非常系 200V
パワーセンター）

2A、2B及び3A、3Bパワーセンターの給電対象は、外部電源が健全な時に運転される補機類である。

2C、2D、2S及び3C、3D、3Sパワーセンターの給電対象は、通常外部電源により運転され、外部電源が使用不可能な場合（停電及び受電設備のメンテナンス

時等)には、ディーゼル発電機から受電して運転される補機類である。

非常系1HC、1HD及び2HC、2HDパワーセンターは、前述の非常系パワーセンターと同様な運転をするが、それぞれ1次及び2次冷却系のナトリウム予熱のための電気ヒータ専用のパワーセンターである。

2.1.4 非常系100V電源設備

非常系100V電源設備は、2C及び2Dパワーセンターから受電した電源を110Vに降圧して計測用、制御用として各分電盤に電源を供給する設備である。以下に設備構成を示す。

- (1) 4C、4D及び4S電源盤(非常系100V電源盤)

2.2 非常用電源設備

非常用電源設備は、外部電源が使用不可能な場合にプラントを安全に停止するのに必要な電源を給電するための設備である。以下に設備構成を示す。

- (1) ディーゼル機関及び同補機
- (2) ディーゼル発電機
- (3) 制御盤
- (4) 同期盤

ディーゼル発電機は、同一仕様のもものが2組設置され、1号発電機は非常系1Cメタクラに、2号発電機は、非常系1Dメタクラに接続されている。

外部電源健全時は非常用電源として起動可能な状態で待機しており、1Cメタクラの停電で1号発電機が、1Dメタクラの停電で2号発電機がそれぞれ限時継電器で停電を確認した後、自動起動する。また、非常用負荷には、予め決められた順序に従って発電機から給電される。

2.3 無停電電源設備

無停電電源設備は、安全保護回路、格納容器隔離弁、放射線監視設備、ナトリウム漏洩検出器、電磁流量計、ポンプモータ、電気設備操作回路等、瞬時の停電も許されない負荷へ給電する設備である。以下に設備構成を示す。

- (1) 交流無停電電源設備
- (2) 直流無停電電源設備

2.3.1 交流無停電電源設備

交流無停電電源設備の設備構成を以下に示す。

- (1) 5 C及び5 D電源設備
- (2) 6 C、6 D及び6 S電源設備
- (3) 5 C及び5 D蓄電池

交流無停電電源設備は、通常外部電源を受電し、5 C及び5 D電源設備にて整流され、5 C及び5 D蓄電池を浮動充電しながら6 C及び6 D電源設備にて再び交流に変換し、各負荷に給電している。外部電源喪失時には、5 C及び5 D蓄電池より各負荷に給電が継続される。また、ディーゼル発電機が起動し、電圧確立後、速やかにディーゼル発電機より給電され、各負荷への給電が継続される。

2.3.2 直流無停電電源設備

直流無停電電源設備の設備構成を以下に示す。

- (1) 7 C、7 D及び7 S電源設備
- (2) 7 C及び7 D蓄電池

直流無停電電源設備は、通常外部電源を受電し、7 C及び7 D電源設備にて整流さ

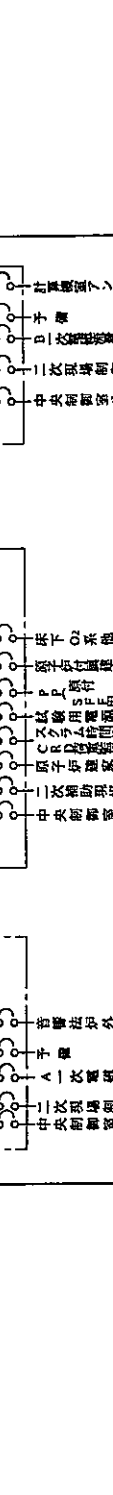
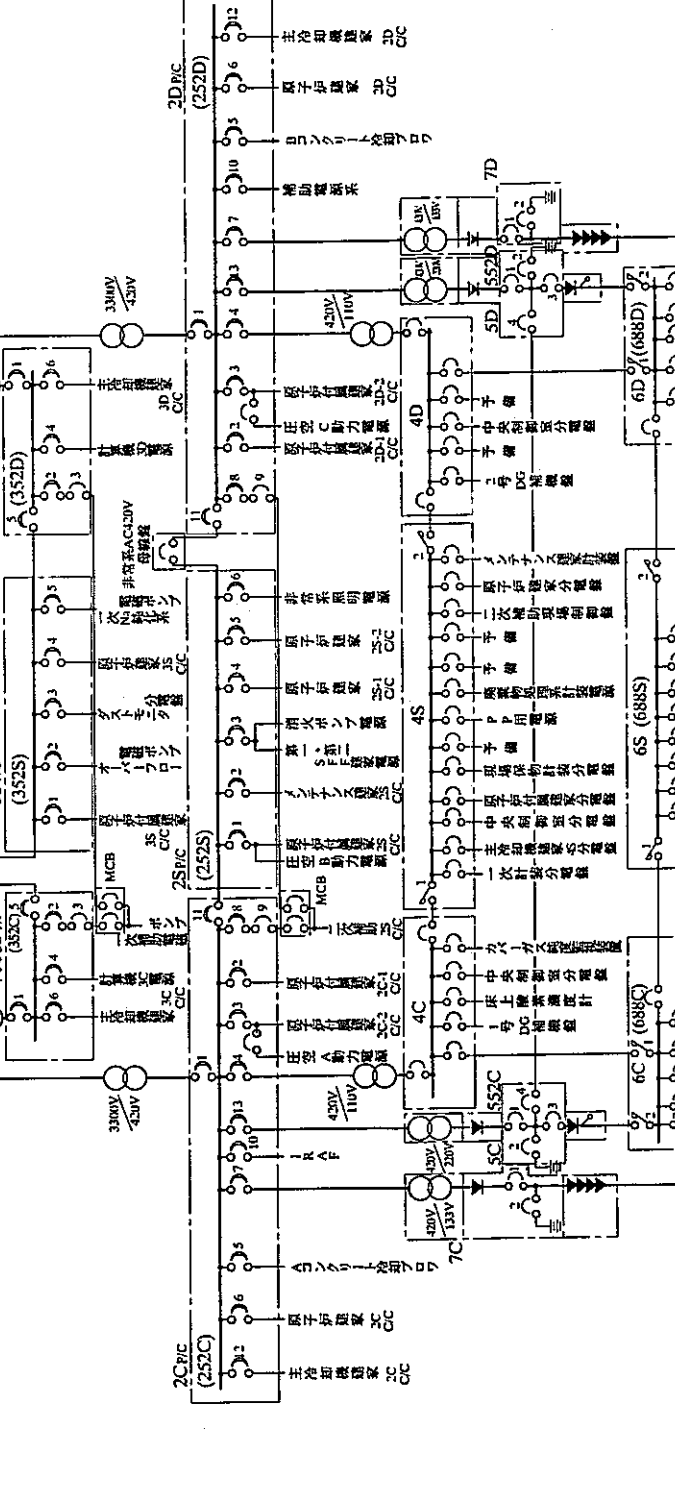
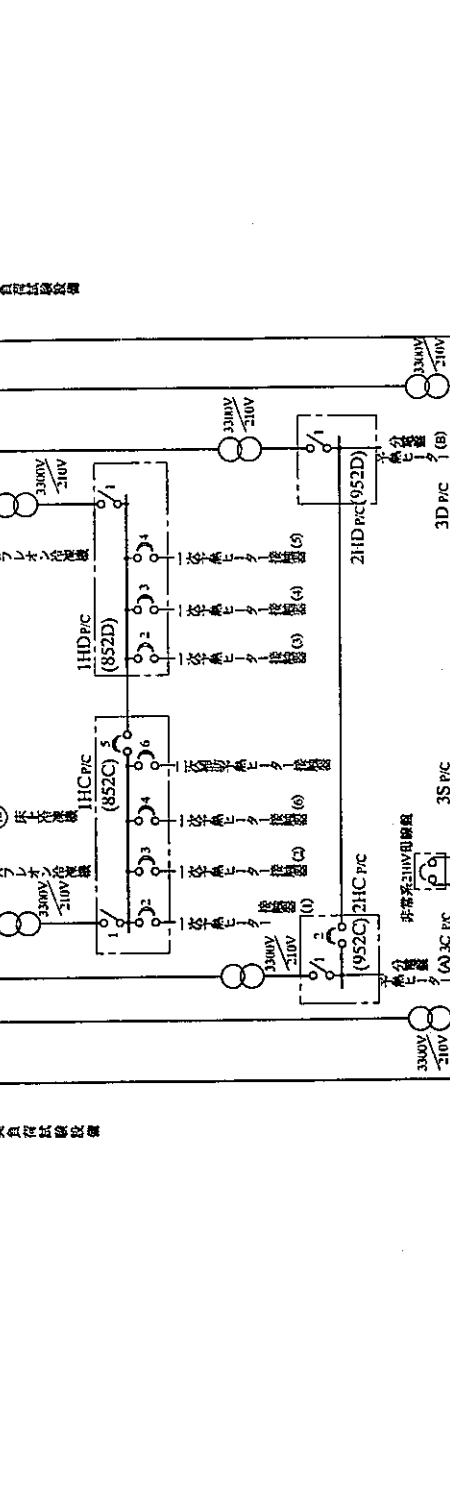
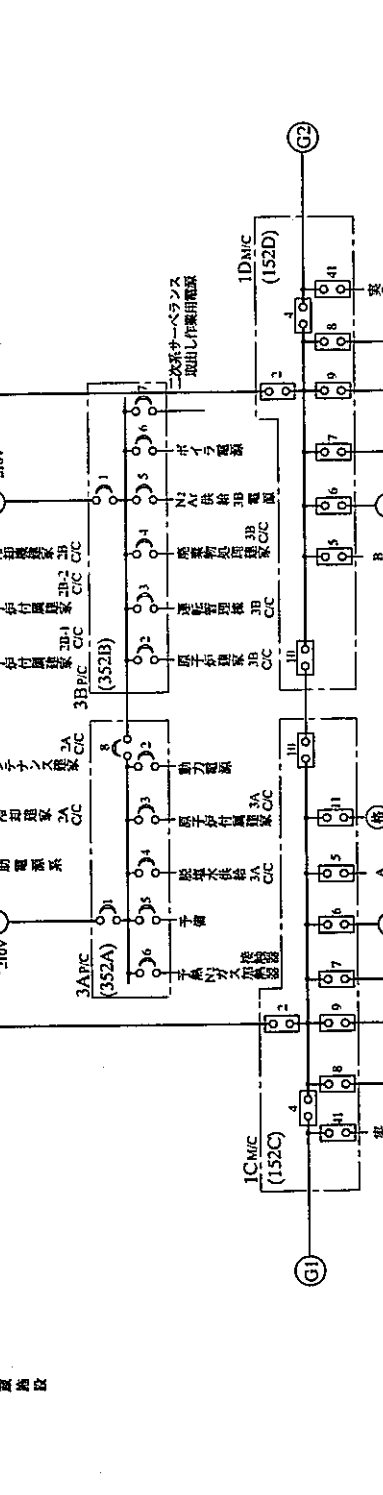
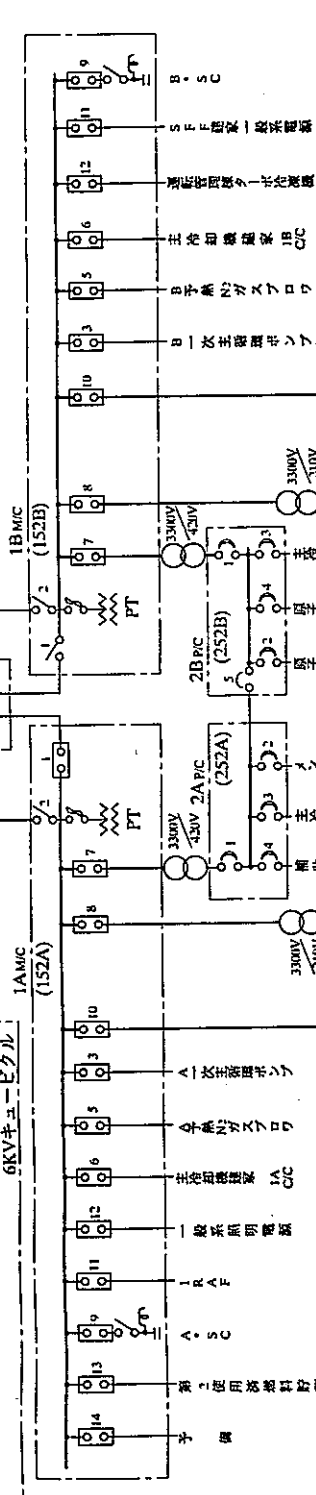
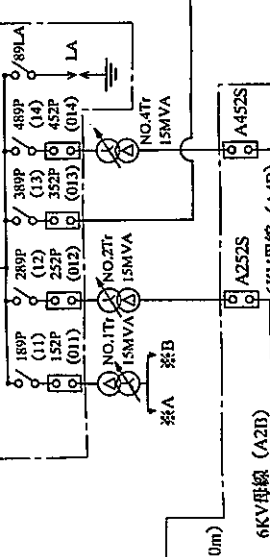
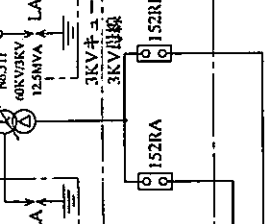
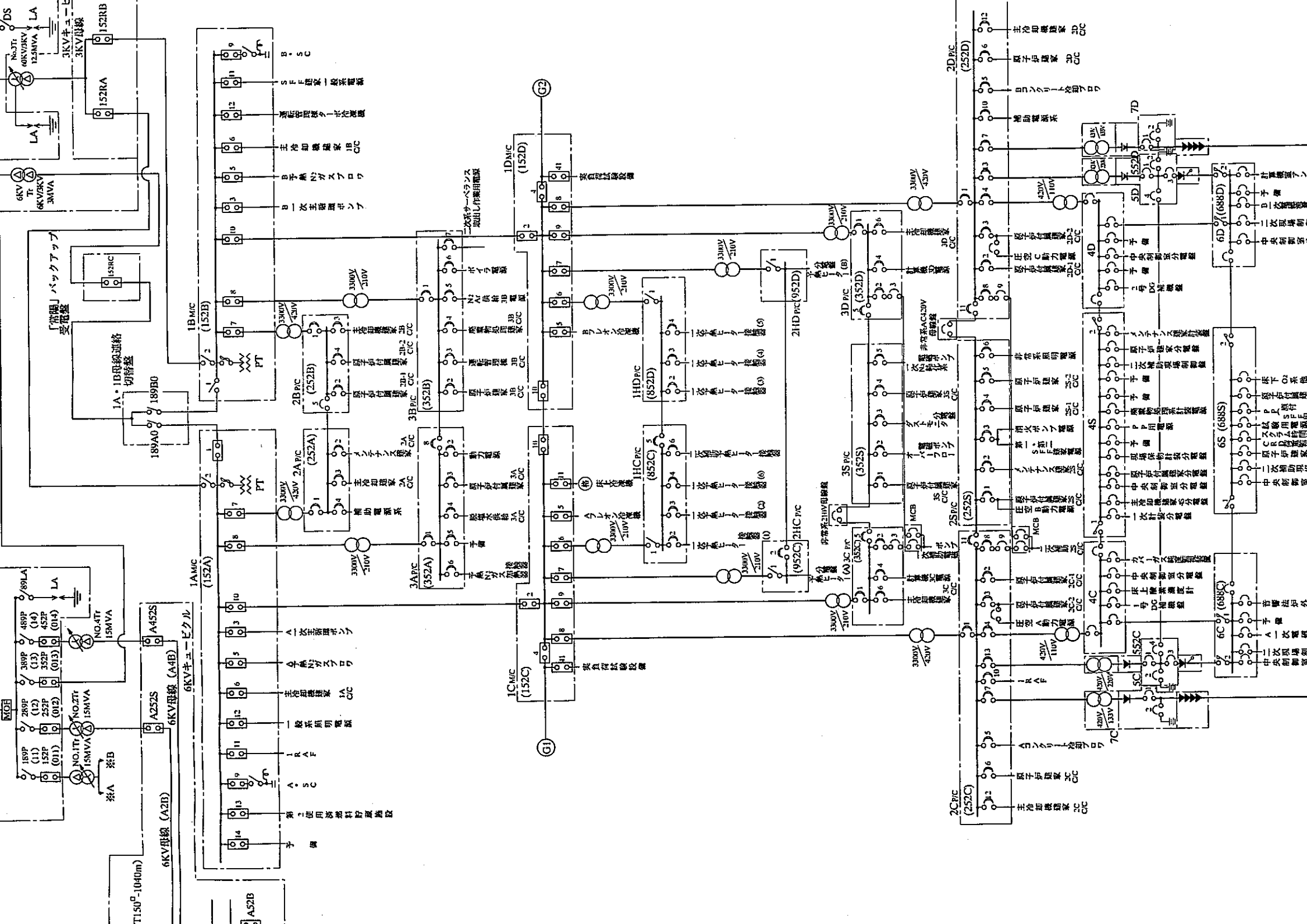
れ、7 C及び7 D蓄電池を浮動充電しながら各負荷に給電している。外部電源喪失時には、7 C及び7 D蓄電池より各負荷に給電が継続される。また、ディーゼル発電機が起動し、電圧確立後、速やかにディーゼル発電機より給電され、各負荷への給電が継続される。

2.4 補助電源設備

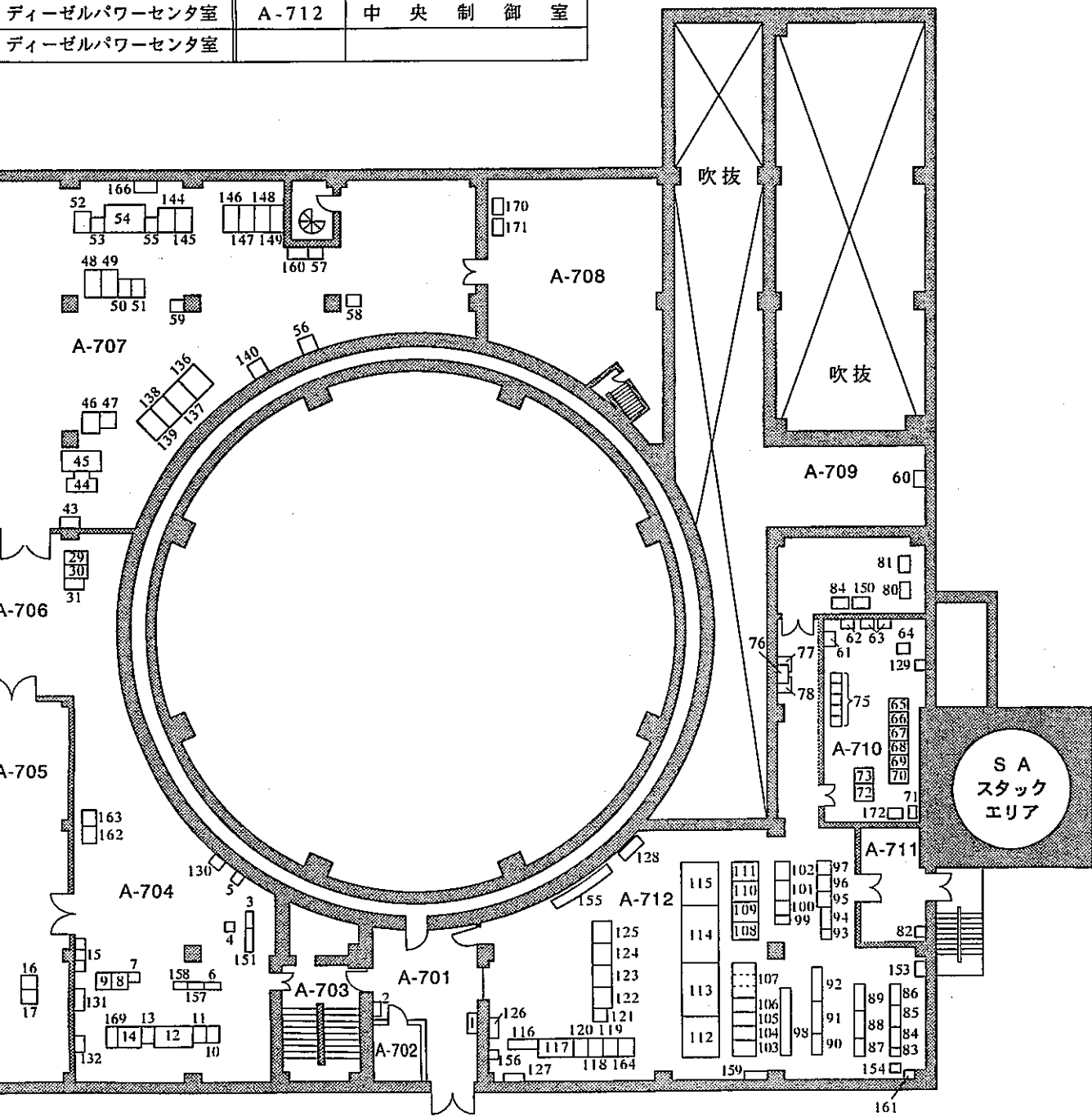
補助電源設備は、負荷容量の増加及び電源設備点検時の仮設電源を確保するために増設されたもので、主に各現場分電盤に給電される。以下に設備構成を示す。

- (1) 補助電源整流装置
- (2) 補助電源インバータ
- (3) 補助電源蓄電池

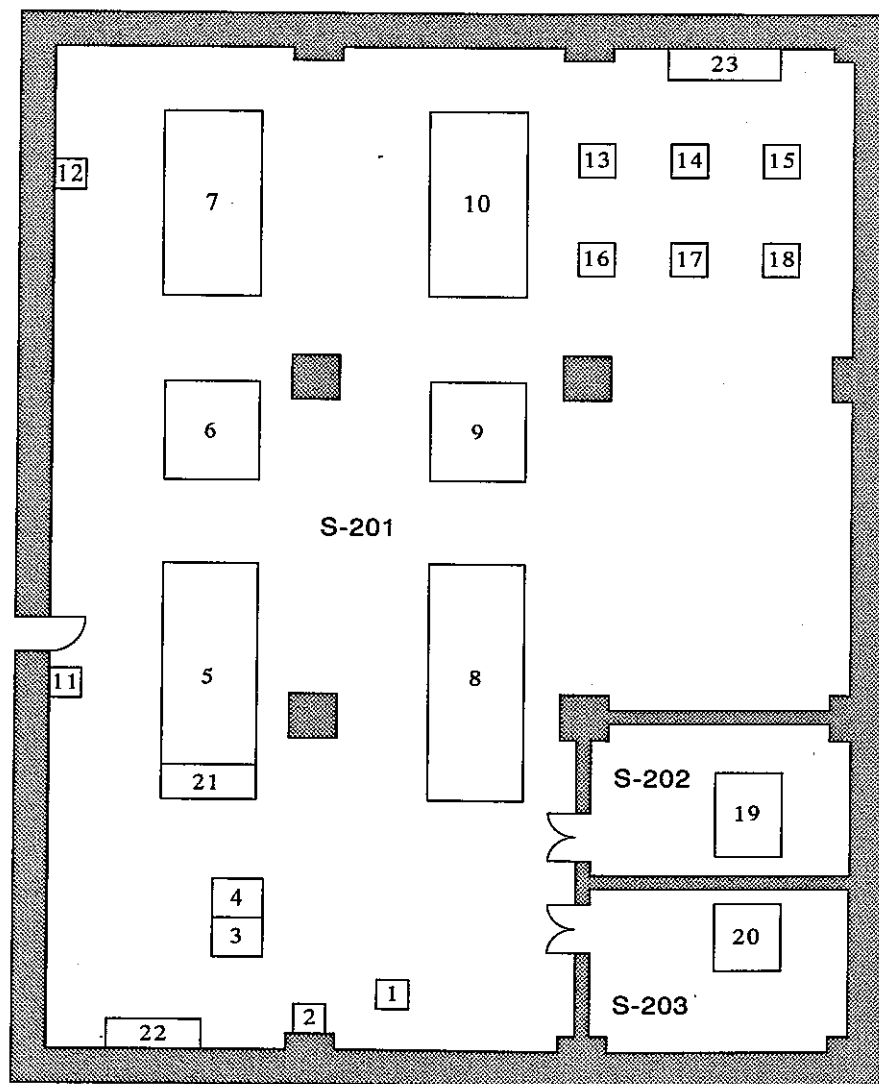
補助電源設備は、通常非常系2 Dパワーセンターから受電し、一部は変圧器にて降圧(420/110、210V)され、また、一部は整流装置にて整流し、蓄電池を浮動充電しながら、更に整流されたものの一部はインバータにより交流に変換されて各負荷に給電している。一方、非常系2 Dパワーセンターからの受電が不可能な場合は、一般系2 Aパワーセンターからの受電ができる。



フロントローレルセンターエリア	A-707	ディーゼルパワーセンタ室
ホール	A-708	蓄電池室
トイレ(コールド)	A-709	回転移送器駆動装置室
階段室	A-710	計算機室
ディーゼルパワーセンタ室	A-711	運転員控室
ディーゼルパワーセンタ室	A-712	中央制御室
ディーゼルパワーセンタ室		



3	格納容器雰囲気調整補助盤	422-2	46	4D 電源
4	格納容器漏洩率試験測定器盤 (1)		47	電源設備
5	放送用端子盤		48	7D整流装置
6	付空換気操作盤	346	49	7D負荷電
7	7C電源盤	306	50	7D電源盤
8	7C負荷電圧補償装置盤	308	51	7S "
9	7C整流装置盤	305	52	5D電源盤
10	6S電源盤	341	53	5D整流装置
11	6C "	304	54	6Dインバ
12	6Cインバータ (1) (2) (3) 盤	303	55	6D電源盤
13	5C電源盤	302	56	放送用端
14	5C整流装置盤	301	57	照明用分
15	付空調換気設備一括操作盤	316	58	付空換気
16	制御盤	314	59	7.5tホイ
17	計算機バッテリー充電盤	315	74	床上冷凍
18	1C M/C 盤	311	130	連通弁操
19	2C P/C 2S P/C用変圧器		131	強化扉制
20	2C P/C 盤	312	132	補助電源
21	2S P/C 盤	313	133	2次補助
22	作業用分電盤 M-1		134	1次補助
23	屋外灯・屋外運転表示灯盤L-02		135	2号D/G
24	屋内運転表示灯 L-01		136	受電盤
25	3C P/C用変圧器		137	分電盤 (
26	3C P/C 盤	321	138	" (
27	1HC P/C 盤	322	139	" (
28	1HC P/C用変圧器		140	天井扇操
29	4S電源盤		141	NFB盤 (
30	4C "	323	142	" (
31	電源設備操作7C分電盤	324	143	" (
32	1D M/C 盤	325	144	非常系A
33	2D P/C 盤	331	145	" AC2
34	2C P/C用変圧器 (名板無し)	332	146	インバー
35	3S P/C 盤		147	整流器盤
36	3D P/C 盤	333	148	負荷電圧
37	3S,3D P/C用変圧器 (名板無し)	334	149	蓄電池盤
38	動力盤 (1) (2) (3)		151	格納容器
39	常陽予備電源開閉器盤		152	1号D/G
40	トランス盤 (1)		157	コンクリー
41	ACB 盤		158	アニュラ
42	トランス盤 (2)		160	照明電源
43	火災報知器総合盤No.16		162	空調系イ
44	1HD P/C用変圧器		163	補機系イ
45	1HD P/C 盤	335	165	遮断器



番号	名 称	盤番号
1	動力用分電盤	
2	作業用分電盤 M-S-3	
3	電源設備操作7S分電盤	647
4	スペースヒーター分電盤	648
5	主冷却機建家 1B M/C	642
6	" 2B P/C	644
7	" 3B P/C	646
8	" 1A M/C	641
9	" 2A P/C	643
10	" 3A P/C	645
11	電源盤 S-B1-3	
12	" S-MB-2	
13	コンデンサ油入開閉器操作箱	
14	"	
15	"	
16	"	
17	"	
18	"	
19	主冷却機建家 2HC P/C	649
20	" 2HD P/C	650
21	常陽バックアップライン受電盤	641
22	パッケージ	
23	パッケージ	

Fig-2.2 (2/2) 主冷S-201室電源盤配置図 (主冷却機建家 B1F)

3. 点検工程及びプラント状態

3.1 電源設備点検工程

電源設備点検工程表をTable-3.1 に、電源切替工程表をTable-3.2 ～3.5 に示す。

工程の作成に当たっては、点検担当である原子炉第2課と協議の上、平成3年10月14日から12月10日にかけて実施した。このうち、電源設備点検が全体工程の中のクリティカルとなるのは、一般系、非常系電源設備等の点検による初期の10日間である。

尚、工程検討に際しては、以下の点を考慮して決定した。

- (1) 各メタクラ、パワーセンタ及び電源盤の点検または更新等の作業の所要時間
(原則として作業時間は、8:30～17:00)
- (2) 点検作業人員
- (3) プラントを健全に保つための組合せ
- (4) 電源設備操作回数を極力少なくする組合せ
- (5) 電源設備盤配置

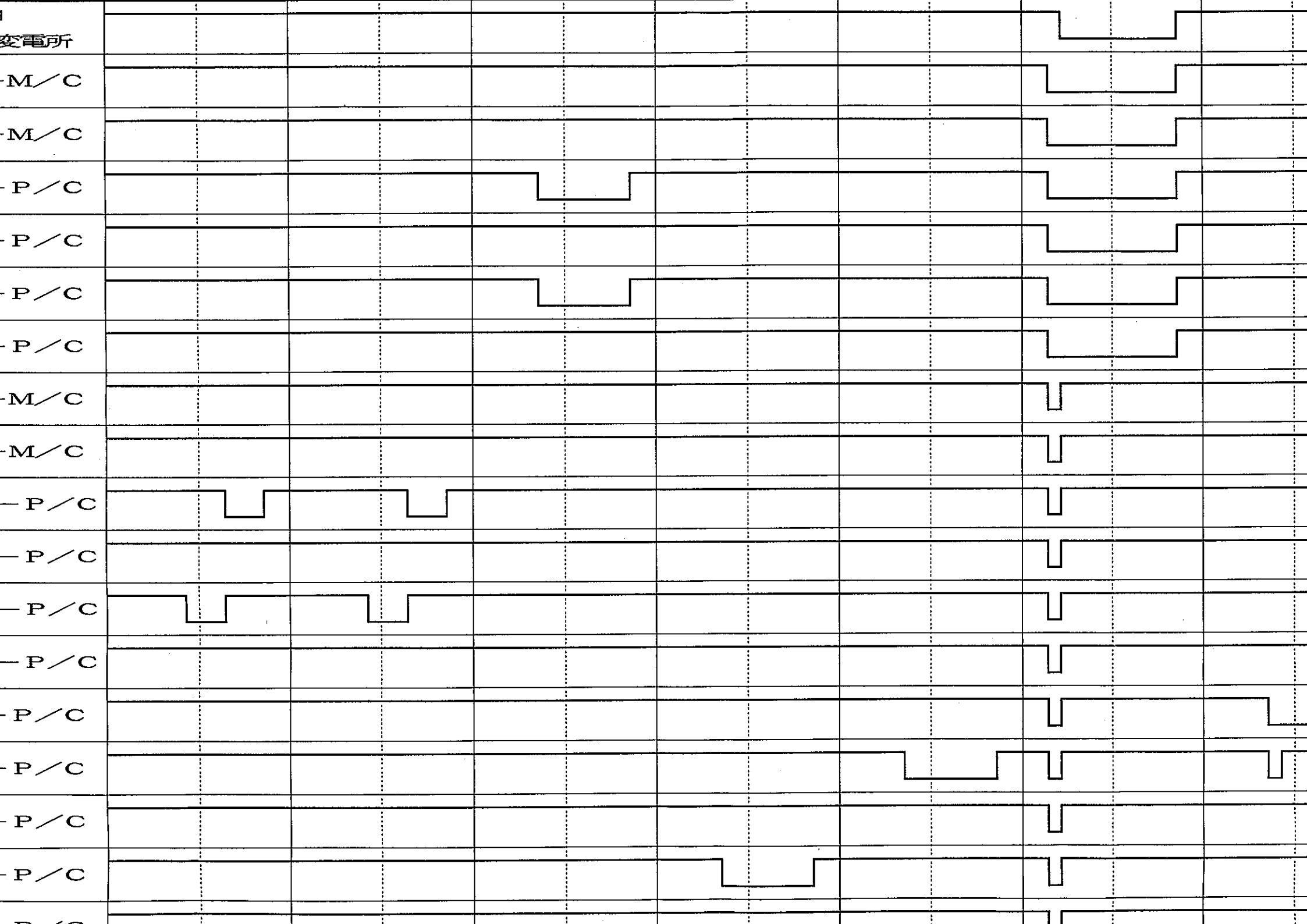
点検の結果、電源設備点検工程表を変更しなければならないような不具合箇所もなく予定通り終了した。

3.2 プラント状態

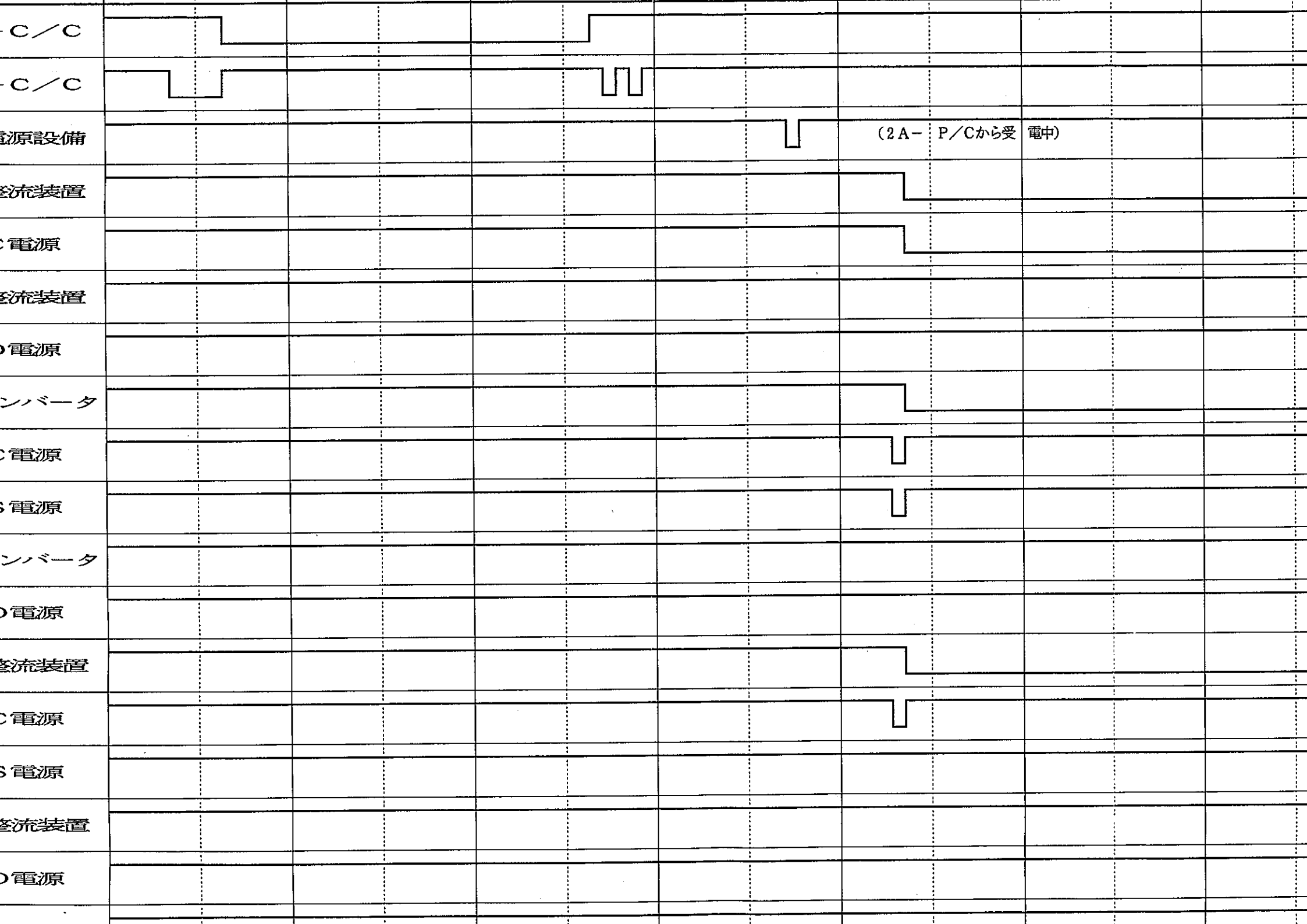
電源設備の点検対象盤とプラントの最適状態との兼ね合いから電源設備点検は、平成3年10月14日から12月10日にかけて実施した。尚、点検に先立ちプラント操作は、10月9日から開始した。Table-3.6～3.8にプラント状態表を、Table-3.9～3.13に機器の運転状態表を示す。

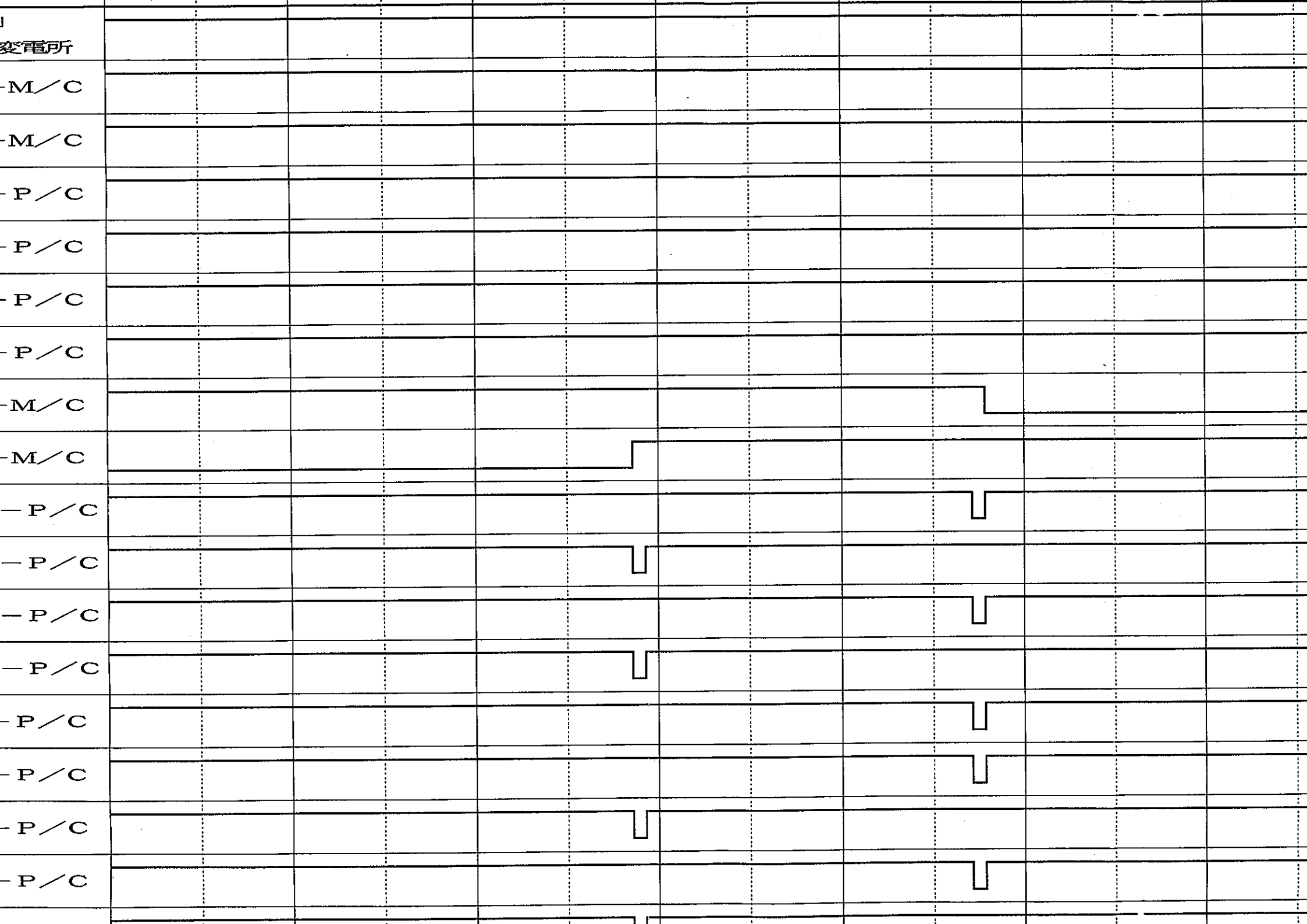
電源設備点検は、一般系及び非常系等の場合は、原子炉崩壊熱除去の容易性とプラントの安定性を考慮して、1次・2次主冷却系にナトリウムが充填され、基本的に崩壊熱は主冷却系にて行う状態とした。その他、格納容器床下雰囲気系は、主冷却系にナトリウムが充填された状態ではあるが、床下作業準備として窒素雰囲気から空気雰囲気に置換され、床上空気雰囲気系と連結されている状態であった。

一方、無停電電源設備の点検・更新開始後は、無停電電源が計装・制御用の電源であるため、プラント維持の問題と原子炉崩壊熱除去との観点から、1次主冷却系はナトリウムをドレン（GL-8600mm）した状態とし、原子炉崩壊熱除去及び原子炉容器の予熱は、予熱N₂ガス系にて行った。但し、本作業開始後、並行して行われた下部案内管交換作業（所要延べ日数：約1ヶ月）のために、この間に1次主冷却系はナトリウムの充填・ドレンが4回程繰返し行われた。また、2次主冷却系及び1次・2次補助冷却系共に、下部案内管交換作業終了後はナトリウムがドレンされた状態となった。その他、格納容器床上雰囲気系は、下部案内管交換作業、燃料取扱設備の点検等により機器搬入口を開放していたため、格納容器床上雰囲気系、アニュラス部、付属建家間の圧力バウンダリが解除されていた。このため、アニュラス部排気ファンは「停止」、格納容器床上雰囲気系の圧力制御は「手動」とし、アニュラス部及び格納容器内は、付属建家の空調により負圧（大気との差圧）に保持されていた。



L 変電所													
-M/C													
-M/C													
-P/C													
-P/C													
-P/C													
-P/C													
-M/C													
-M/C													
-P/C													
-P/C													
-P/C													
-P/C													
-P/C													
-P/C													
-P/C													





工 程	(N F → 9 体) (S F → 9 体) (日 曜 な し)	安全容器サーベ ランス材取出し(4)		CRDM取外し(5)	
		検 査 項 目	フ レ オ ン 冷 凍 機 ・ 冷 媒 系 点 検	一 般 系 停 電 2A P/C 3A P/C 1HC P/C 2HC P/C D/G 負 荷 小 屋	1A M/C 2S P/C 3C P/C SFF
ラ ン ト 状 態 >	G L - 6 1 0 0				ド レ ン
流 量 -6100mm -7500mm -8600mm -9540mm	2 0 %				
流 量 100% 20% ポ ニ 0%				ポ ニ	ポ ニ
温 度 500℃ 250℃ 200℃ 常 温	2 0 0 ℃	2 5 0 ℃			
流 量 100% 0% ド レ ン	1 0 0 %		0 %	0 %	0 %
温 度 472℃ 250℃ 200℃ 常 温	2 0 0 ℃		「 補 助 モ - F 」 ▼ 2 5 0 ℃	「 充 填 ・ ド レ ン モ - F 」 → 「 補 助 モ - F 」	
運 転 止 止 停 止 ド レ ン	停 止				1 次 補 助 系 起 動 ▼
系 運 転 止 止 停 止	停 止			予 熱 N ₂ ブ ロ ア 起 動 ▼	
バ ー ス ガ ス 通 常 低 極	通 常				

工 程	燃取設備 (25)				
	(5F2 引抜き、装荷を装荷、3E3 引抜きのみ)				
検 項 目	C 系直交流無停電電源設備更新	6C.7C 特殊受電復旧	6D.7D 特殊受電	D 系直交流無停電電源設備更新	D 系直交流無停電電源設備更新
		フレオン冷凍機・冷媒系点検		2号D/G点検 2D P/Cアルミ导体更新 2D P/C停電 2D P/C復旧	1ア 1D M/C停電 1次系
ラント状態 >	ドレン				
見	-6100mm -7500mm -8600mm -9540mm	GL-6100	GL-8600	GL-86	
流量	100% 20% ポニ 0%	充填	停止 (ドレン中)	1次純化系ドレン	
温度	500℃ 250℃ 200℃ 常温	200℃	100%	主P停止, ドレン	2次純化
流量	100% ドレン 0%	200℃	運転補助系ドレンライト	1次補助系停止, ドレン 2次補助系停止, ドレン	2次系ヒータ
温度	472℃ 250℃ 200℃ 常温	200℃	運転補助系ドレンライト	2次系ヒータ	
運転	停止 ドレン	運転	運転	1次補助系停止, ドレン 2次補助系停止, ドレン	
系	運転 停止	運転	運転	1次補助系停止, ドレン 2次補助系停止, ドレン	
ガス	常圧 低極	通常	通常		

工 程	ピット蓋据付け				
検 項 目	D系直交流無停電電源設備更新 D系直流無停電電源設備更新	1号D / G点検			
	2号D / G点検	1C M/Cアルミ 1C M/C遮断器	導体更新 点検		
	1D M/Cアルミ 導体更新	▲1C M/C 停電		▲1C M/C 復電	
	▲1D M/C復電	2次系 I V R ・ E M P 点検			
		補助送風機 ・ D / P 点検			
		1次系 E M P ・ I V R 点検			
	ント状態 >				
流量	-6100mm -7500mm -8600mm -9540mm		GL - 8600		
流量	100% 20% ポニ 0%		0% (ドレン中)		
温度	500℃ 250℃ 200℃ 常温		常温 (R/V, 補助系は、予熱N ₂ 系で200℃)		
流量	100% 0% ドレン		0% (ドレン中)		
温度	472℃ 250℃ 200℃ 常温		常温		
運停止 下			ドレン中		
系 運 止 停			運転 (主系統通気停止中)		
バース ガス		低 圧	低 圧		
		極低	通常		

P L 計	補助電源 6 S 4 S	運行停 転機 止											
P L 計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF											
助 P L 計	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF											
却 水 ポンプ	2 C	A											
	2 D	B											
御 室 空 調 器	2 C	A											
	2 D	B											
水 ポンプ	2 C	A											
	2 D	B											
A) 給 気 ファン	2 C	1											
		2											
B) 給 気 ファン	2 D	1											
		2											
盤 室 給 気 ファン	2 D	1											
	2 C	2											
盤 室 排 気 ファン	2 D	1											
	2 C	2											
御室系 給 気 ファン	2 C	1											
	2 D	2											
御室系 排 気 ファン	2 C	1											
	2 D	2											
給系 給 気 ファン	2 B	1											
		2											
給系 排 気 ファン	2 B	1											
		2											
系 給 気 ファン	2 B	1											
		2											
系 排 気 ファン	2 B	1											
		2											
系 給 気 ファン	2 C	1											
	2 D	2											
系	2 C	1											

P L 計	補助電源 6 SS 4 S	運転 待停止										
P L 計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF										
助 P L 計	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF										
印水ポンプ	2 C 2 D	A B										
御室 空調器	2 C 2 D	A B										
水ポンプ	2 C 2 D	A B										
A) 給気ファン	2 C	1 2										
B) 給気ファン	2 D	1 2										
盤室 給気ファン	2 D 2 C	1 2										
盤室 排気ファン	2 D 2 C	1 2										
御室系 給気ファン	2 C 2 D	1 2										
御室系 排気ファン	2 C 2 D	1 2										
給系 給気ファン	2 B	1 2										
給系 排気ファン	2 B	1 2										
系 給気ファン	2 B	1 2										
系 排気ファン	2 B	1 2										
系 給気ファン	2 C 2 D	1 2										
系	2 C	1										

予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C	2HC																		
	2HD, 6D, 7D	2HD																		
ガスブロワ	1A	A																		
	7S, 4S 1B	B																		
ガス系 油ポンプ	2 B	A																		
		B																		
ポンプ	2 C	A																		
	2 D	B			(28)															
ポンプ	2 C	A																		
	2 D	B																		
ポンプ	2 C	A																		
	2 D	B			(28)															
E 縮機	2C, 4C 2S, 4S 2D, 4D	A B C			(29)	(1)														
	補助電源 (2A or 2D)	停止 自動																		
ガス 圧縮機	2C	A																		
	4S 2D	B																		
ガス 圧縮機	3S, 4S																			
ガス ブロワ	2C	A																		
	4S 2D	B																		
循環 ブロワ	2C	A, B																		
	4S 2D	C, D																		
リフトブロワ	2 C	A																		
	2 D	B			(28)															
ブースタブロワ	2C, 6C	A																		
	2D, 6D	B			(28)															
器常用 気ファン	2 C	A																		
	2 D	B			(28)															
ン冷凍機	1C, 2C	A																		
	1D, 2D	B																		
却ファン	2C	A																		
	4S 2D	B																		
ラス	2 C	A																		
停止中																				

蔵室	2 B	1									(17)		
空調器		2											
蔵室	2 B	1									(17)		
排気ファン		2											
路系	2 C	1											
給気ファン	2 D	2				(1)							
路系	2 C	1											
排気ファン	2 D	2				(1)							
室系	2 C	1											
給気ファン	2 D	2				(1)							
室系	2 C	1											
排気ファン	2 D	2				(1)							
系	2 C	1											
給気ファン	2 D	2				(1)							
系	2 C	1											
排気ファン	2 D	2				(1)							
入れ	2 B												
ファン													
コン	7 S												
却塔	2 C	A											
ブロワ	2 D	B				(28)							
却塔	2 C	A											
ブロワ	2 D	B				(28)							

主循環ポンプ (主モータ)	1A, 7S, 3S, 6S 1B, 6C, 6D, 4S	A B				停	止	中					
主循環ポンプ (ボニーモータ)	7C 7S 7D	A B				停	止	中					
主循環ポンプ 滑油ポンプ	2 C	1 A 1 B											
主循環ポンプ 滑油ポンプ	2 D	2 A 2 B											
主循環ポンプ 滑油冷却ファン	2 C 2 D	A B											
補助系 磁ポンプ	3C, 7C, 6C 3D, 7D, 6D	C母線 D母線							停	止	中		
バフロー 磁ポンプ	3S, 4S 6S, 6C				Na 充填				停	止	中		
電化系 磁ポンプ	3S, 4S 6C								停	止	中	(20)	
電化系 冷却ブロワ	2 B								停	止	中		
主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C 4S, 6S 1B, 2B, 7D, 6D	A B							停	止	中	(20)	
主循環ポンプ 滑油ポンプ	2A, 4S	1 A 2 A											
主循環ポンプ 滑油ポンプ	2B, 4S	1 B 2 B											
主循環ポンプ 抗ファン	2A, 4S	1 A 2 A									停	止	中
主循環ポンプ 抗ファン	2B, 4S	1 B 2 B									停	止	中
補助系 磁ポンプ	2C 7S, 6S 2D	C母線 D母線									停	止	中
補助系 磁ポンプ 冷却ファン	2S, 7S	1 2									停	止	中
電化系 磁ポンプ	3C, 7S										停	止	中
電化系 磁ポンプ	3C										停	止	中

予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C 2HD, 6D, 7D	2HC 2HD						
ガスブロワ	1A 7S, 4S 1B	A B						
ガス系 滑油ポンプ	2 B	A B						
系 環ポンプ	2 C 2 D	A B						
水ポンプ	2 C 2 D	A B						
圧縮機	2C, 4C 2S, 4S 2D, 4D	A B C						
ビコン	補助電源 (2A or 2D)	停止 自動						
ガス 圧縮機	2C 2D 4S	A B						
日 廃ガス 圧縮機	3S, 4S							
ガス ブロワ	2C 2D 4S	A B						
循環 ブロワ	2C 2D 4S	A, B C, D						
フリーブロワ	2 C 2 D	A B						
レブスタブロワ	2C, 6C 2D, 6D	A B						
容器常用 非気ファン	2 C 2 D	A B						
ン冷凍機	1C, 2C 1D, 2D	A B						
冷却ファン	2C 2D 4S	A B					停止中	
ラス	2 C	A					停止中	

予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C 2HD, 6D, 7D	2HC 2HD											
ガスブロワ	1A 1B 7S, 4S	A B											
ガス系 油ポンプ	2 B	A B											
景ポンプ	2 C 2 D	A B				(3)							
ポンプ	2 C 2 D	A B				(3)							
水ポンプ	2 C 2 D	A B				(3)							
圧縮機	2C, 4C 2S, 4S 2D, 4D	A B C											
ビコン	補助電源 (2A or 2D)	停止 自動											
ガス 圧縮機	2C 4S 2D	A B				(3)							
廃ガス 圧縮機	3S, 4S												
ガス ブロワ	2C 4S 2D	A B				(3)							
循環 ブロワ	2C 4S 2D	A, B C, D				(3)							
リートブロワ	2 C 2 D	A B											
ブースタブロワ	2C, 6C 2D, 6D	A B											
器常用 気ファン	2 C 2 D	A B											
ン冷凍機	1C, 2C 1D, 2D	A B											
却ファン	2C 4S 2D	A B							停止中				
ラス	2 C	A							停止中				

P L 計	補助電源 6 S 4 S	運待停 転機止									
E P L 計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF									
補助 P L 計	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF									
器 却水ポンプ	2 C 2 D	A B				(2)					
制御室 空調器	2 C 2 D	A B				(2)					
合水ポンプ	2 C 2 D	A B				(2)					
(A) 給気ファン	2 C	1 2									
(B) 給気ファン	2 D	1 2									
器盤室 給気ファン	2 D 2 C	1 2									
器盤室 排気ファン	2 D 2 C	1 2				(2)					
制御室系 給気ファン	2 C 2 D	1 2				(2)					
制御室系 排気ファン	2 C 2 D	1 2				(2)					
供給系 給気ファン	2 B	1 2									
供給系 排気ファン	2 B	1 2									
室系 給気ファン	2 B	1 2							(6)		
室系 排気ファン	2 B	1 2							(6)		
室系 給気ファン	2 C 2 D	1 2				(3)					
室系	2 C	1				(3)					

4. 点検電源系の停電・復電操作の基本

今回の電源設備の点検は、メタクラ、パワーセンター、非常系の電源盤については片系統をそれぞれ実施し、無停電電源設備については、交流無停電電源設備を両系統実施し、直流無停電電源設備は、両系統とも更新を実施した。その他、4系の電源盤改造、1C・1D-M/C、2D-P/Cのアルミ母線（導体）の更新を併せて実施した。

この電源設備点検のための停電操作及び点検終了後の復電操作は、以下に示すような手順に基づいて作成した「電源設備操作チェックシート」に従って実施した。

4.1 常陽変電所、一般系メタクラA系（1A-M/C）の場合

- (1) 中央制御室にて大洗変電所常陽線用遮断器352Pを「切」にすることにより、商用電源を停電させる。
[常陽変電所、一般系メタクラ（1A-M/C、1B-M/C）が同時に停電する。大洗変電所にて352Pの「切・ロック」をする。]
- (2) 一般系メタクラの停電により、ディーゼル発電機（D/G）が起動し、非常系母線はD/Gによって給電される。
- (3) 1号D/G、2号D/Gが自動起動し、非常系電源設備が順調に運転されていることを確認する。
- (4) 自動起動負荷の確認及び一般系メタクラ停電後のプラント復旧操作実施。
(手動起動負荷も含む。)
- (5) 停電対象母線の各遮断器を「切」にする。
- (6) 停電対象母線の送電側遮断器を「切」にする。
- (7) 電源設備の操作電源及び制御電源用NFBを「切」にする。
- (8) 電源盤のスペースヒータ用NFBを「切」にする。

..... 検電・接地後、点検作業開始

..... 点検作業終了

- (9) 中央制御室にて大洗変電所常陽線用遮断器352Pを「入」にすることにより、一般系電源を給電する。〔大洗変電所にて352Pの「切・ロック」解除後〕
- (10) 一般系メタクラの復電後、非常系母線はD/Gと一般系電源との同期並列運転を行い、D/G負荷から一般系電源へ負荷を移す。

4.2 一般系パワーセンターA系（2A、3A-P/C）の場合

- (1) 各パワーセンター停止に伴う当該母線の負荷について必要な措置をする。
(予備機が運転可能であればB系の予備機に切替える。)
- (2) 停電対象母線の各遮断器を「切」にする。
- (3) 停電対象母線の送電側遮断器を「切」にする。
- (4) 停電対象母線の電源引込み遮断器を「切」にする。
- (5) 電源設備の操作電源及び制御電源用NFBを「切」にする。
- (6) 電源盤のスペースヒータ用NFBを「切」にする。

..... 検電・接地後、 点検作業開始

..... 点検作業終了

- (7) 停電と逆の操作を行う。

4.3 非常系パワーセンターC系（1HC、2HC、2C、2S、3C）の場合

- (1) 1HC、2HCパワーセンターの点検は、予熱ヒータ電源「断」による各配管の温度低下があるため、点検作業を短時間に実施すると同時に予熱温度に注意する。
- (2) 2Cパワーセンターの点検前に次の切替操作を行い電源を確保する。

2 S-P/C母線切替 (2 C-P/C側→2 D-P/C側)

- (a) 2次補助2 S-C/C母線切替 (2 C-P/C側→2 D-P/C側)
 - (b) 4 S電源母線切替 (4 C側→4 D側)
 - (c) 4 C電源停電 (4 C電源盤改造のため)
 - (d) 5 C電源母線連絡、5 C整流装置停止
 - (e) 7 C電源特殊受電、7 C整流装置停止
- (3) 停電対象母線の各遮断器を「切」にする。
 - (4) 停電対象母線の送電側遮断器を「切」にする。
 - (5) 停電対象母線の電源引込み遮断器を「切」にする。
 - (6) 電源設備の操作電源及び制御電源用NFBを「切」にする。
 - (7) 電源盤のスペースヒータ用NFBを「切」にする。

..... 検電・接地後、点検作業開始

..... 点検作業終了

- (8) 停電と逆の操作を行う。

4.4 無停電電源設備 (5 C・5 D・7 C・7 D整流装置、6 C・6 Dインバータ及び蓄電池、5 C・5 D・7 C・7 S・7 D・6 C・6 S・6 D電源盤) の場合

- (1) 各電源盤の停止に伴う当該母線の負荷について必要な措置をする。
 - (a) 無停電電源設備は主に、制御電源及び計装電源に使用しているため、本電源系の停電、復電の際には機器のトリップ、弁の開閉動作が生じ、プラントに悪影響を及ぼす。このため、電源操作に当たっては詳細に検討し、適切な措置を行う。(弁ロックや仮設電源の取込みを検討する。)
- (2) 各無停電電源設備点検時に、母線切替操作、特殊受電を行う。
 - (a) 5 C整流装置、6 Cインバータ点検時

- ・ 6 S 電源の母線切替 (6 D より受電)
- ・ 6 C 電源の特殊受電 (6 D、6 S より受電)
- (b) 5 D 整流装置、6 D インバータ点検時
 - ・ 6 D 電源の特殊受電 (6 C、6 S より受電)
- (c) 7 C 整流装置更新時
 - ・ 7 C 電源の特殊受電 (7 D、7 S より受電)
- (d) 7 D 整流装置更新時
 - ・ 7 S 電源の母線切替 (7 C より受電)
 - ・ 7 D 電源の特殊受電 (7 C、7 S より受電)
- (3) 停電対象設備を停止し、電源引込み遮断器を「切」にする。
- (4) 停電対象設備のバッテリー装置を停止する。
- (5) 電源設備の制御電源用 NFB を「切」にする。
- (6) 電源盤のスペースヒータ用 NFB を「切」にする。

..... 検電・接地後、 点検作業開始

..... 点検作業終了

- (7) 停電と逆の操作を行う。

4.5 非常系メタクラC系 (1 C-M/C) の場合

- (1) 1 C メタクラ停止に伴う当該母線の負荷について必要な措置をする。
- (2) 2 C、2 S、3 C パワーセンターは、特殊受電を行い D 系から給電する。
- (3) 1 H C、2 H C パワーセンターは母線連絡を行い、D 系から給電する。
- (4) 停電対象母線の各遮断器を「切」にする。
- (5) 停電対象母線の送電側遮断器を「切」にする。
- (6) 停電対象母線の電源引込み遮断器を「切」にする。

- (7) 電源設備の操作電源及び制御電源用NFBを「切」にする。
- (8) 電源盤のスペースヒータ用NFBを「切」にする。

..... 検電・接地後、 作業開始

..... 点検作業終了

- (9) 停電と逆の操作を行う。

4.6 非常系メタクラD系（1D-M/C）の場合

- (1) 1Dメタクラ停止に伴う当該母線の負荷について必要な措置をする。
- (2) 2D、3D（3S）パワーセンターは、特殊受電を行いC系から給電する。
- (3) 1HD、2HDパワーセンターは母線連絡を行い、C系から給電する。
- (4) 停電対象母線の各遮断器を「切」にする。
- (5) 停電対象母線の送電側遮断器を「切」にする。
- (6) 停電対象母線の電源引込み遮断器を「切」にする。
- (7) 電源設備の操作電源及び制御電源用NFBを「切」にする。
- (8) 電源盤のスペースヒータ用NFBを「切」にする。

..... 検電・接地後、 作業開始

..... 点検作業終了

- (9) 停電と逆の操作を行う。

4.7 非常系パワーセンターD系（2D-P/C）の場合

- (1) 2Dパワーセンター停止に伴う当該母線の負荷について必要な措置をする。
- (2) 4D電源の特殊受電を行い、4C、4S系から給電する。
- (3) 停電対象母線の各遮断器を「切」にする。
- (4) 停電対象母線の送電側遮断器を「切」にする。
- (5) 停電対象母線の電源引込み遮断器を「切」にする。
- (6) 電源設備の操作電源及び制御電源用NFBを「切」にする。
- (7) 電源盤のスペースヒータ用NFBを「切」にする。

..... 検電・接地後、 作業開始

..... 点検作業終了

- (8) 停電と逆の操作を行う。

4.8 補助電源設備の場合

- (1) 補助電源設備の停止に伴う当該母線の負荷について必要な措置をする。
 - (a) 電源設備点検に伴う仮設電源引き込みを補助電源設備からしている場合は、
全て復旧し、補助電源設備が停止してもプラントに支障がないようにする。
- (2) 受電盤内の分電盤1～3を「切」にする。
- (3) インバータ盤の停止操作をする。
- (4) 直流分電盤の各NFBを「切」にする。
- (5) 補助電源設備盤の電源引き込み遮断器を「切」にする。
- (6) 整流装置盤の停止操作をする。
- (7) 整流装置盤のバッテリー装置を停止する。
- (8) 直流分電盤の停止操作をする。

..... 検電・接地後、 点検作業開始

..... 点検作業終了

(8) 停電と逆の操作を行う。

5. プラント対策

電源設備点検期間中に於けるプラント対策は、過去の実績より対策項目を選定し、それぞれに監視・記録を行い良好な結果を得た。プラント対策項目は以下の通りである。

- (1) 仮設電源
- (2) 2次予熱ヒータ「予備」モードへの変更
- (3) 2次補助予熱ヒータ設定温度変更
- (4) 1次予熱ヒータ温度監視
- (5) 2次予熱ヒータ温度監視
- (6) 弁ロック
- (7) 1次主ポンプ潤滑油温度監視
- (8) N₂ 気化器の温度監視

尚、1次予熱ヒータ温度、2次予熱ヒータ温度、1次主ポンプ潤滑油温度の監視結果（温度記録）をTable-5.1～5.7に示す。

Table 5.1 1次系ドレン配管温度監視記録 (1HC-P/C) (単位: °C)

H. 3年10月14日(1/3)

Tag No.	13:20	14:47	16:05	17:00	18:00	19:34	20:30	:	:
H35.1-91	195	180	195	190	190	190	190		
-90	190	200	190	205	195	200	200		
-89	205	210	210	210	210	220	200		
-43	200	185	198	190	195	200	190		
H35.1-84	200	180	195	180	200	190	200		
-83	195	195	195	190	195	195	195		
-82	200	200	200	200	200	200	200		
H35.1-78	205	210	225	210	225	220	210		
-77	185	190	200	190	200	200	190		
-76	195	195	200	195	200	200	195		
-44	200	200	200	200	200	200	200		
H35.1-71	125	120	125	125	125	125	125		
-70	100	100	100	100	100	100	100		
-69	100	100	100	100	100	100	100		

Table 5.1 1次系ドレン配管温度監視記録 (IHC-P/C) (単位: °C)

H. 3年10月14日(2/3)

Tag No.	13:24	14:47	16:00	17:00	18:00	19:34	20:30	:	:
H35. 1-65	200	200	195	195	205	200	200		
-64	185	185	198	190	195	180	195		
-63	205	205	200	205	205	205	195		
-46	205	190	205	190	210	210	200		
H35. 1-58	195	190	190	190	190	190	190		
-57	203	195	200	195	200	200	200		
-56	205	200	190	195	195	195	205		
-45	200	185	205	190	200	195	205		
H35. 1-50	195	200	200	210	205	200	205		
-49	200	200	205	200	210	210	195		
-48	197	185	198	200	195	195	200		
-47	190	200	190	195	190	200	190		

Table 5.1 1次系ドレン配管温度監視記録 (1HC-P/C) (単位: °C)

H. 3年10月14日(3/3)

Tag No.	13:24	14:47	16:05	17:00	18:00	19:34	20:30	:	:
H32. 1-10	150	145	150	150	150	150	150		
-11	100	100	100	100	100	100	100		
-12	105	100	100	100	100	100	100		
H34. 1-68				165	205	260	280		
-69				100	140	195	235		
-70				70	60	215	210		
-71				80	90	205	200		
-72				170	205	235	260		

Table 5.2 2次補助系ドレン配管温度監視記録 (IHC-P/C) (単位: °C)

H. 3年10月14日

Tag No.	13日 12:40	14日 13:14	14 : 5 2	16 : 0 8	17 : 0 0	18 : 0 0	19 : 3 4	20 : 3 0	:
SC・Ⅲ-52	209	252	249	248	248	255	258	258	
SC・Ⅲ-53	192	232	230	230	230	235	238	238	
SC・Ⅲ-54	206	238	230	227	226	240	242	242	
SC・Ⅲ-55	205	237	226	224	224	238	240	240	
SC・Ⅲ-56	187	217	203	198	198	212	219	220	
SC・Ⅲ-57	198	229	211	205	205	222	230	232	
SC・Ⅲ-58	216	248	177	145	132	172	214	228	
SC・Ⅲ-59	222	261	169	120	98	148	216	236	
SC・Ⅲ-60	197	220	179	161	158	185	210	216	
SC・Ⅲ-61	220	260	189	153	142	185	229	242	
SC・Ⅲ-62	198	214	177	158	152	173	198	206	
SC・Ⅲ-63	220	255	231	222	220	248	258	263	
SC・Ⅲ-64	210	223	144	99	85	129	192	208	
SC・Ⅲ-65	220	258	206	193	190	236	256	258	
SC・Ⅲ-66	198	241	172	126	110	142	203	221	
SC・Ⅲ-67	222	258	230	223	223	254	254	258	

Table 5.3 1次系ドレン配管温度監視記録 (IHC-P/C) (単位: °C)

H. 3年10月15日(1/2)

Tag No.	13:15	14:45	16:45	:	:	:	:	:	:
H35. 1-91	190	195	195						
-90	195	195	200						
-89	215	205	215						
-43	185	190	190						
H35. 1-84	195	190	180						
-83	190	190	195						
-82	200	200	200						
H35. 1-78	225	225	225						
-77	195	200	200						
-76	200	200	200						
-44	200	200	200						
H35. 1-71	125	125	125						
-70	105	100	100						
-69	100	100	100						

Table 5.3 1次系ドレン配管温度監視記録 (1HC-P/C) (単位: °C)

H. 3年10月15日(2/2)

Tag No.	13:15	14:50	16:50	:	:	:	:	:	:
H35.1-65	205	195	200						
-64	185	185	190						
-63	200	200	205						
-46	205	205	200						
H35.1-58	200	190	190						
-57	205	205	205						
-56	195	195	190						
-45	190	205	195						
H35.1-50	210	205	205						
-49	200	200	200						
-48	195	195	205						
-47	200	190	190						
H32.1-10	150	150	150						
-11	100	100	100						
-12	105	105	105						

Table 5.4 2次補助系ドレン配管温度監視記録 (1HC-P/C) (単位:℃)

H. 3年10月15日

Tag No.	13:10	14:55	16:45	:	:	:	:	:	:
SC・Ⅲ-52	251	247	247						
SC・Ⅲ-53	231	229	229						
SC・Ⅲ-54	238	229	226						
SC・Ⅲ-55	236	225	222						
SC・Ⅲ-56	218	202	198						
SC・Ⅲ-57	229	210	202						
SC・Ⅲ-58	246	173	135						
SC・Ⅲ-59	258	171	105						
SC・Ⅲ-60	219	177	157						
SC・Ⅲ-61	259	183	154						
SC・Ⅲ-62	215	174	153						
SC・Ⅲ-63	253	229	218						
SC・Ⅲ-64	220	140	87						
SC・Ⅲ-65	257	204	190						
SC・Ⅲ-66	240	169	112						
SC・Ⅲ-67	256	227	222						

Table 5.5 2次系ドレン配管温度監視記録 (2HC-P/C) (単位: °C)

H. 3年10月14日(1/4)

Tag No.	7:15	10:00	10:33	11:20	11:55	:	:	:	:
SC・I-83	251	245	186	157	137				
SC・I-84	249	206	177	148	129				
SC・I-85	229	190	162	134	116				
SC・I-86	234	191	162	132	113				
SC・I-87	231	187	160	132	117				
SC・I-88	242	196	168	138	119				
SC・I-89	248	203	174	144	124				
SC・I-90	198	171	152	131	116				
SC・I-91	227	187	163	134	116				
SC・I-92	205	158	133	106	90				
SC・I-93	247	195	166	134	116				
SC・I-94	271	212	195	181	175				
SC・I-95	226	211	204	197	194				
SC・I-96	234	173	140	105	88				
SC・I-99	235	215	198	178	164				
SC・I-100	202	181	165	146	133				
SC・I-101	222	203	187	167	154				

Table 5.5 2次系ドレン配管温度監視記録 (2HC-P/C) (単位: °C)

H. 3年10月14日(2/4)

項 目 (Tag No.)			10:00	10:30	11:20	11:55	:	:	:
SC・II-104	35.2-1-01H	216	185	175	166	163			
SC・II-105	35.2-16-01H	223	209	209	208	208			
SC・II-106	-02H	222	212	211	210	210			
SC・II-107	-03H	224	216	216	215	214			
SC・II-108	-04H	230	225	226	224	224			
SC・II-109	-05H	223	223	223	222	222			
SC・II-110	-06H	232	219	215	212	209			
SC・II-111	35.2-15-01H	254	209	191	169	157			
SC・II-112	-02H	261	239	227	213	205			
SC・II-113	-03H	260	233	219	203	195			
SC・II-114	-04H	266	224	204	181	169			
SC・II-115	-05H	258	209	188	163	151			
SC・II-116	-06H	222	184	167	147	136			
SC・II-117	-07H	228	198	181	160	147			
SC・II-118	35.2-9-01H	251	206	183	160	150			
SC・II-119	-02H	269	217	201	181	168			
SC・II-120	-03H	253	214	187	157	141			
SC・II-121	35.2-11-01H	221	188	170	151	138			

Table 5.5 2次系ドレン配管温度監視記録 (2HC-P/C) (単位: °C)

H. 3年10月14日(3/4)

項 目 (Tag No.)			10:00	10:30	11:20	11:55	:	:	:
SC・II-122	35.2-11-02H	265	222	195	168	150			
SC・II-123	-03H	223	177	155	136	123			
SC・II-124	35.2-10A-01H	264	221	206	195	189			
SC・II-125	35.2-12A-01H	267	214	189	164	146			
SC・II-126	-02H	256	241	216	190	171			
SC・II-127	-03H	260	220	194	170	154			
SC・II-128	35.2-12A-04H	262	178	144	118	105			
SC・II-129	-05H	241	164	136	116	105			
SC・II-130	35.2-10B-01H	252	214	192	173	161			
SC・II-131	35.2-12B-01H	257	203	182	161	145			
SC・II-132	-02H	264	223	201	179	163			
SC・II-133	-03H	232	189	164	141	125			
SC・II-134	35.2-16-07H	265	184	153	128	113			
SC・II-135	-08H	254	207	187	168	154			
SC・II-136	V35.2-1-01H	259	172	138	113	99			
SC・II-137	V35.2-7-01H	237	148	122	101	87			
SC・II-138	V35.2-8-01H	269	200	169	141	123			
SC・II-139	V35.2-9A-01H	267	187	162	141	126			

Table 5.5 2次系ドレン配管温度監視記録 (2HC-P/C) (単位:℃)

H. 3年10月14日(4/4)

項 目 (Tag No.)			10:00	10:30	11:20	11:55	:	:	:
SC・II-140	V35.2-9B-01H	258	201	176	153	136			
SC・II-144	35.2-16-09H	250	245	243	241	241			
SC・II-145	35.2-3A-05H	238	203	193	185	181			
SC・II-146	35.2-3B-04H	239	202	192	183	179			
SC・II-147	35.2-4A-06H	243	212	203	197	193			
SC・II-148	35.2-4B-06H	235	200	188	178	144			
SC・II-149	V35.2-2A-01H	214	155	126	103	90			
SC・II-150	V35.2-2B-01H	232	174	148	127	115			
SC・II-151	V35.2-3A-01H	238	175	145	120	105			
SC・II-152	V35.2-3B-01H	230	173	146	124	111			

Table 5.6 2次系ドレン配管温度監視記録 (2HC-P/C) (単位: °C)

H. 3年10月15日(1/4)

Tag No.	7:05	10:00	11:30	:	:	:	:	:	:
SC・I-83	252	210	153						
SC・I-84	248	202	145						
SC・I-85	243	192	133						
SC・I-86	246	196	133						
SC・I-87	233	184	128						
SC・I-88	248	198	137						
SC・I-89	250	200	140						
SC・I-90	197	169	128						
SC・I-91	239	192	135						
SC・I-92	211	161	106						
SC・I-93	250	194	131						
SC・I-94	270	206	179						
SC・I-95	232	213	198						
SC・I-96	242	175	104						
SC・I-99	238	217	178						
SC・I-100	206	184	146						
SC・I-101	226	205	167						

Table 5.6 2次系ドレン配管温度監視記録 (2HC-P/C) (単位:℃)

H. 3年10月15日(2/4)

項 目 (Tag No.)			10:00	11:30	:	:	:	:	:
SC・II-104	35.2-1-01H	222	188	168					
SC・II-105	35.2-16-01H	228	213	211					
SC・II-106	-02H	228	215	213					
SC・II-107	-03H	228	219	218					
SC・II-108	-04H	234	227	227					
SC・II-109	-05H	227	227	225					
SC・II-110	-06H	235	221	213					
SC・II-111	35.2-15-01H	251	209	166					
SC・II-112	-02H	265	237	211					
SC・II-113	-03H	262	228	200					
SC・II-114	-04H	268	216	176					
SC・II-115	-05H	258	208	160					
SC・II-116	-06H	224	187	144					
SC・II-117	-07H	232	201	159					
SC・II-118	35.2-9-01H	244	207	159					
SC・II-119	-02H	263	235	189					
SC・II-120	-03H	266	201	146					
SC・II-121	35.2-11-01H	224	190	148					

Table 5.6 2次系ドレン配管温度監視記録 (2HC-P/C) (単位: °C)

H. 3年10月15日(3/4)

項目 (Tag No.)			10:00	11:30	:	:	:	:	:
SC・II-122	35.2-11-02H	268	224	163					
SC・II-123	-03H	227	179	133					
SC・II-124	35.2-10A-01H	248	218	194					
SC・II-125	35.2-12A-01H	258	207	154					
SC・II-126	-02H	250	230	178					
SC・II-127	-03H	259	217	163					
SC・II-128	35.2-12A-04H	265	184	115					
SC・II-129	-05H	244	166	114					
SC・II-130	35.2-10B-01H	246	219	172					
SC・II-131	35.2-12B-01H	270	213	161					
SC・II-132	-02H	256	231	178					
SC・II-133	-03H	236	191	138					
SC・II-134	35.2-16-07H	244	181	122					
SC・II-135	-08H	257	209	165					
SC・II-136	V35.2-1-01H	257	173	107					
SC・II-137	V35.2-7-01H	240	149	96					
SC・II-138	V35.2-8-01H	242	188	131					
SC・II-139	V35.2-9A-01H	259	189	136					

Table 5.6 2次系ドレン配管温度監視記録 (2HC-P/C) (単位: °C)

H. 3年10月15日(4/4)

項 目 (Tag No.)			10:00	11:30	:	:	:	:	:
SC・II-140	V35.2-9B-01H	258	201	149					
SC・II-144	35.2-16-09H	257	249	244					
SC・II-145	35.2-3A-05H	250	208	187					
SC・II-146	35.2-3B-04H	249	207	185					
SC・II-147	35.2-4A-06H	252	214	197					
SC・II-148	35.2-4B-06H	245	205	179					
SC・II-149	V35.2-2A-01H	231	165	103					
SC・II-150	V35.2-2B-01H	241	180	126					
SC・II-151	V35.2-3A-01H	246	180	117					
SC・II-152	V35.2-3B-01H	237	176	120					

Table 5.7 1次主ポンプA潤滑油温度監視記録

平成 3 年 10月 20日

時 間	室温 (°C)	油温 (°C)	時 間	室温 (°C)	油温 (°C)
7 : 4 5	5 9 . 6	5 9 . 0	:		
1 0 : 2 0	5 9 . 6	6 2 . 0	:		
1 1 : 5 0	5 9 . 6	6 2 . 5	:		
1 3 : 1 0	5 9 . 7	6 3 . 0	:		
1 5 : 2 0	6 0 . 1	6 3 . 5	:		
1 7 : 3 0	6 1 . 6	6 3 . 5	:		
:			:		
:			:		
:			:		
:			:		

※ 潤滑油温度高ANN : 7 5 °C

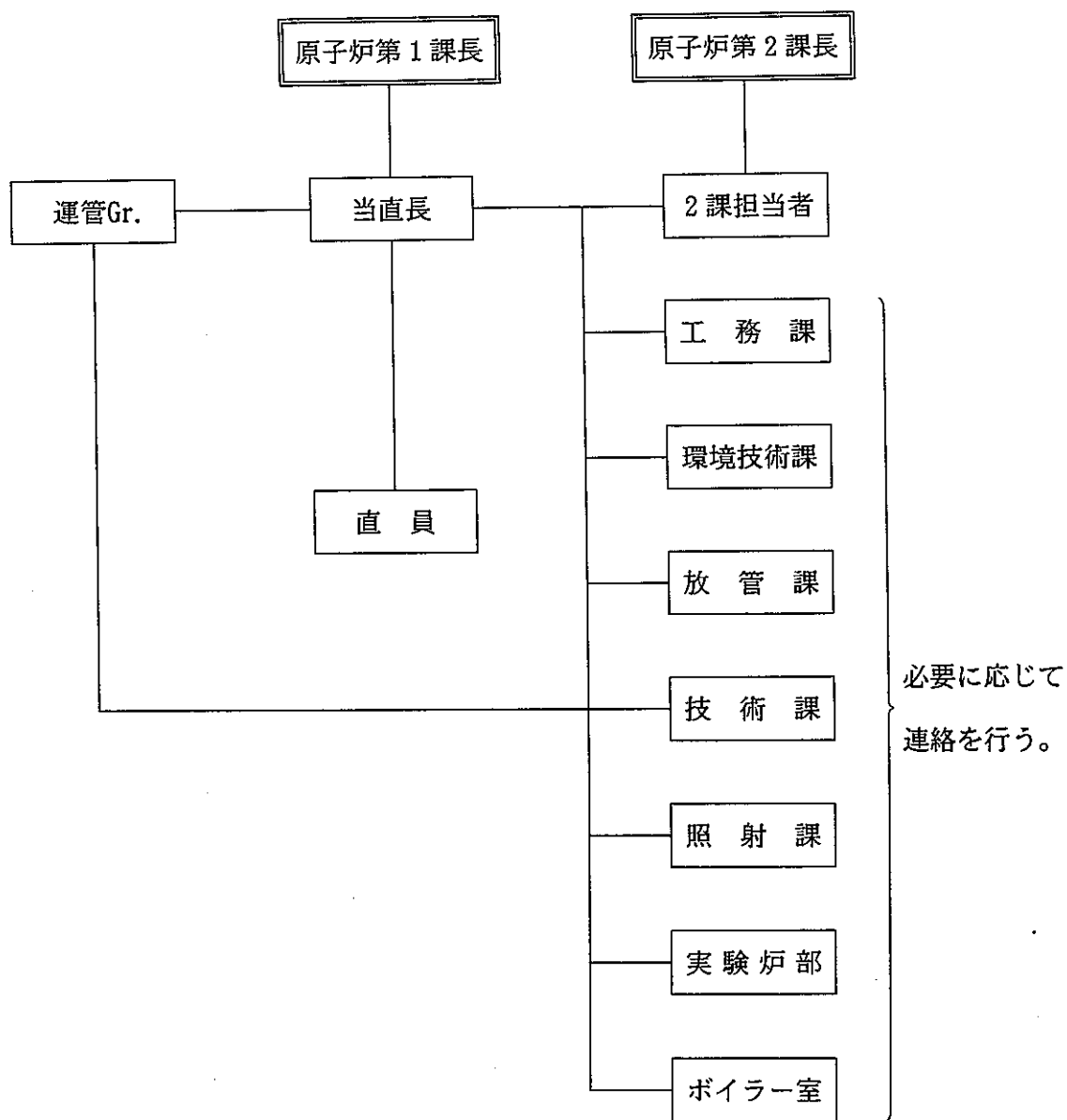
6. プラント経験

電源設備点検に際しては、過去の電源設備点検での経験を踏まえるとともに、ワーキング・グループにより十分な検討を重ねた上でプラント対策、プラント操作及び電源操作要領書等を作成したため、検討不十分に基づく不具合は、設備に基づく不具合も含め、軽微なものが数件発生しただけであり、プラントに悪影響を与えるようなものは無かった。

7. 管理体制

電源設備点検に伴う作業は、通常のプラント操作では殆ど実施する機会がない電源操作等の作業が多いため、電源設備点検ワーキング・グループを設置し、各種要領書等を作成し、これに基づき下表に示すような体制にて実施した。

電源設備点検時体制表



8. 結 言

今回の電源盤点検は、プラントを温態待機状態とナトリウムをGL-8600mmまでドレンした2通りのプラント状態を形成し実施した。その理由として、一般系電源設備A系、非常系電源設備C系等の点検については、原子炉崩壊熱除去の容易性とプラントの安定性を考慮し、温態待機状態で実施した。また、無停電電源設備の点検・更新等については、プラント操作が複雑で機器の起動・停止が多くなるため、崩壊熱を考慮した上でナトリウムドレン状態で実施した。その結果、プラントに悪影響を与えるようなトラブルもなく、計画通り電源設備点検を終了することができた。

尚、電源設備点検に関するプラント操作及び電源操作手順、プラント対策、監視体制等は、これまでの経験によってほぼ確立されており、マニュアル類についてもプラントの操作実績を反映した内容でおおよそ完成されている。但し、電源設備点検関連のマニュアルの作成に際しては、定期検査毎にプラント状態が異なることから、現状では、点検開始前にワーキング・グループを設置し、前の電源設備点検のマニュアルを参考に見直しを行っているが、直業務を行いながらの作業負担はかなり大きい。また、複数の人数で作成するためにマニュアルの内容に個人差が生じることがある。このため、今回のマニュアルの作成に当たっては、各マニュアル類の書式の統一と今後のマニュアル作成の負担軽減のために、各マニュアル、状態表等のフォーマットを細分化して、ワープロのフロッピーディスクに記録し、これを各担当者に配付して、マニュアル類を作成した。

従って、今回の電源設備点検に係わるマニュアル類のワープロ化により、今後のマニュアル類の作成に際しては、ワーキング・グループ員の作業負担の軽減と画一されたマニュアル類の作成が期待できる。

9. 謝 辞

今回の電源設備点検の実施にあたり、プラント操作、電源操作、データ採取等に御協力戴いた原子炉第1課の運転員の方々及び運転管理グループの方々に深く感謝の意を表します。

また、保守担当として貴重な経験と助言をいただいた原子炉第2課の方々に感謝致します。

参 考 资 料

参 考 資 料

- 参考資料ー 1 プラント操作チェックシート
- 参考資料ー 2 電源設備操作チェックシート
- 参考資料ー 3 プラント状態表

参考資料－ 1

プラント操作チェックシート

電源設備点検時
プラント操作
チェックシート

仮設電源継ぎ込み、弁ロック

H3. 10月 9日(水) 1/1

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
1 - 1	仮設電源の継ぎ込みを実施する。	13:04 ~ 16:30	・添付資料-1 参照
- 2	弁ロックの一部を実施する。(7C電源負荷)	10/10 17:40~ 18:00	・添付資料-11参照 (但し、主送風機 1A, 2A入口ベ ーンを除く)

電源設備点検時
プラント操作
チェックシート

ヒータC/C 点検準備

H3. 10月13日(日) 1/1

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
	<u>ヒータ C/C 電源操作前</u>		
1 - 1	2次予熱ヒータ運転モードを「Na充填ドレン」モードから「予備」モードに変更する。	11:48	添付資料No. 2参照 (10/10「予備」モード設定 変更済) ※SC-I、IIのうち予備アド レスNo.警報除外
- 2	2次補助予熱ヒータの制御設定を $250 \pm 10^{\circ}\text{C}$ に変更する。	11:46	添付資料No. 3参照

電源設備点検時
プラント操作
チェックシート

2HC P/C 点検

H3. 10月14日(月) 1/2

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
1- 1	<u>2HC P/C 電源操作前</u>		
	2次予熱ヒータ運転モードが「予備」モードである事を確認する。	7:10	
	- 2 2次系Na温度が260℃である事を確認する。	7:15	
- 3	2次予熱温度の初期値をデータシートに記録する	7:15	添付資料No. 5 参照
	<u>2HC P/C 電源停電操作</u>	9:10 ~ 9:32 (9:18 2HC P/C 停電)	電10. 14-3 参照
2- 1	<u>2HC P/C 電源停電操作後</u>		
	2次系のNa温度を監視し、ヒータ温度をデータシートに記録する。(30分毎)		添付資料No. 5 参照
	<< 2課 点検開始 >> << 2課 点検終了 >>		
3- 1	<u>2HC P/C 電源復電操作前</u>		
	2次系Na温度を確認し、フリーズした部分がないことを確認する。フリーズした部分がある場合はその部分のトグルスイッチを「OFF」とし、2HC P/C 復電後、順次メルトする。		
	<u>2HC P/C 電源復電操作</u>	復電 12:01	電10. 14-3 参照
4- 1	<u>2HC P/C 電源復電操作後</u>		
	2次系統温度が260℃で安定することを確認する。		

電源設備点検時

9 プラント操作
チェックシート

1HC P/C 点検

H3. 10月14日(月) 2/2

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
	<u>1HC P/C 電源操作前</u>		
1- 1	2次補助予熱ヒータSC-Ⅲの各ブロックの温度設定値を確認する。	13:10	添付資料No. 3参照
- 2	1次系、2次補助系予熱温度をデータシートに記録する。		添付資料No. 4参照
- 3	1次系、2次補助系Na温度が260℃になっていることを確認する。		
	<u>1HC P/C 電源停電操作</u>	停電 13:40	電10. 14-5参照
	<u>1HC P/C 電源停電操作後</u>		
2- 1	1次系、2次補助系の予熱温度を監視し予熱温度をデータシートに記録する。(30分毎)		添付資料No. 4参照
	<< 2課 点検開始 >> << 2課 点検終了 >>		
	<u>1HC P/C 電源復電操作前</u>		
3- 1	1次系、2次補助系Na温度を確認し、フリーズした部分がないことを確認する。フリーズした部分がある場合は、その部分のトグルスイッチを「OFF」とし、1HC P/C 復電後、順次メルトする。	17:00	
	<u>1HC P/C 電源復電操作</u>	復電 17:14	電10. 14-6参照
	<u>1HC P/C 電源復電操作後</u>		
4- 1	1次系、2次補助系統温度が260℃になる事を確認する。		

電源設備点検時
プラント操作
チェックシート

2HC P/C 点検

H3. 10月15日(火) 1/2

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
1- 1	<u>2HC P/C 電源操作前</u> 2次予熱ヒータ運転モードが「予備」モードであることを確認する。		
- 2	2次系Na温度が260℃であることを確認する。		
- 3	2次予熱温度の初期値をデータシートに記録する	7:40	添付資料No. 5 参照
	<u>2HC P/C 電源停電操作</u>	停電 9:15	電10. 15-3 参照
2- 1	<u>2HC P/C 電源停電操作後</u> 2次系のNa温度を監視し、ヒータ温度をデータシートに記録する。(30分毎)		添付資料No. 5 参照
	<< 2課 点検開始 >> << 2課 点検終了 >>		
3- 1	<u>2HC P/C 電源復電操作前</u> 2次系Na温度を確認し、フリーズした部分がないことを確認する。フリーズした部分がある場合はその部分のトグルスイッチを「OFF」とし、2HC P/C 復電後、順次メルトする。		
	<u>2HC P/C 電源復電操作</u>	復電 12:19	電10. 15-3 参照
4- 1	<u>2HC P/C 電源復電操作後</u> 2次予熱ヒータ運転モードを、「予備」モードから「Na充填ドレン」モードに変更する。	※ 17:31	2次系統を次期プラント状態(200℃)に変更するため。 (予備アドレスNa警報除外中) ※1HC P/C 終了後
- 2	2次系統温度が200℃で安定することを確認する。		

電源設備点検時

9 プラント操作
チェックシート

1 H C P / C 点検

H3. 10月15日(火) 2/2

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
	<u>1 H C P / C 電源操作前</u>		
1 - 1	2次補助予熱ヒータ S C - III の各ブロックの温度設定値を確認する。	13:05	添付資料 No. 3 参照
- 2	1次系、2次補助系予熱温度をデータシートに記録する。		添付資料 No. 4 参照
- 3	1次系、2次補助系 N a 温度が 260℃ になっていることを確認する。		
- 4	自動連続式 P L 計を「運転」から「待機」にする	13:16	
	<u>1 H C P / C 電源停電操作</u>	停電 13:45	電 10. 15 - 5 参照
	<u>1 H C P / C 電源停電操作後</u>		
2 - 1	1次系、2次補助系の予熱温度を監視し予熱温度をデータシートに記録する。(30分毎)		添付資料 No. 4 参照
	<< 2 課 点検開始 >> << 2 課 点検終了 >>		
	<u>1 H C P / C 電源復電操作前</u>		
3 - 1	1次系、2次補助系 N a 温度を確認し、フリーズした部分がないことを確認する。フリーズした部分がある場合は、その部分のトグルスイッチを「OFF」とし、1 H C P / C 復電後、順次メルトする。		
	<u>1 H C P / C 電源復電操作</u>	復電 17:13	電 10. 15 - 6 参照
	<u>1 H C P / C 電源復電操作後</u>		
4 - 1	1次系、2次補助系統温度が 260℃ になる事を確認する。		
- 2	2次補助予熱ヒータ S C - III の制御設定を復旧する。	17:41	添付資料 No. 3 参照
- 3	自動連続式 P L 計を「待機」から「運転」にする	21:17	

電源設備点検時

プラント操作 2 A, 3 A P / C 点検
チェックシート

平成3年10月16日(水) 1 / 3

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
	<> 2 A P / C 停電操作前 <>		
1 - 1	機器運転状態確認(プラント状態表による)	6:24	
- 2	2次純化系ロジックCOSを「開ロック」とする。	6:25	
- 3	2次補助系充填調節弁(V32.2-3)を全閉とする。	6:25	
- 4	2次主ポンプA, Bを停止する。	6:28	最低タップにして停止
- 5	2次主ポンプ抵抗ファン予備機1 A, 2 BのCSを「引停」とする。	6:28	
- 6	2次主ポンプ抵抗ファン2 A, 1 Bを停止し、CSを「引停」とする。	6:29	
- 7	2次主ポンプ油ポンプ予備機1 A, 2 BのCSを「引停」とする。	6:29	
- 8	2次主ポンプ油ポンプ2 A, 1 Bを停止し、CSを「引停」とする。	6:29	
- 9	2次主PL計を「POWER ON」にする。	6:32	
- 10	2次純化系C/T送風機を停止する。	6:33	
- 11	2次純化系電磁ポンプ(冷却プロア)を停止する	6:34	純化Na 流量 0m ³ /hにして停止
- 12	2次純化系C/T温度調節計を「MAN」とし、出力を0%にする。	6:35	
- 13	2次純化系C/T出入口手動ダンパを全閉とする	6:37	
- 14	2次純化系 A, Bループ充填第1及び第2元弁(V34.2-4A, 5A, 4B, 5B)を閉とする。	6:35	
- 15	V34.2-4A, 4Bの出力信号が0%を確認する。	6:35	
- 16	2次純化系ロジックCOSを「復帰」とする。	6:42	
- 17	スタコンにて力率を調整する。	6:41	
- 18	脱塩水設備の停止をボイラー室に確認する。	10/15 16:00	10月15日(火)実施予定
- 19	メンテナンス建屋の空調系及び水処理設備の停止を2課4Grに確認する。	10/15 15:13	10月15日(火)実施予定
- 20	放管関連設備の停止を放管に確認する。	10/15 17:10	10月15日(火)実施予定
	<> 電源操作 <>		(6:50 2課中制入り)
	・2 A P / C 停電	7:03	電10.16-3参照

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
2-1	<> 3A P/C 停電操作前 <> 「エレベータ使用禁止」を放送する。	7:14	各階に「エレベータ使用禁止」の貼り紙を行う。
- 2	運管棟コピー、計算機(2F, 3F)がコンセント電源に切り換えてあることを確認する。	10/15 14:00	10月15日(火) 運管Grで実施予定
	<> 電源操作 <> ・3A P/C停電	7:22	電10.16-4参照
3-1	屋外排水衛生設備盤のNFBを「一般系」(MCB1)から「非常系」(MCB2)に切替える。	10/15 14:10	廃棄物処理建家 D-201室 鍵D-70
- 2	P-1 汚物槽、排水槽制御盤内一般系、非常系切替えCOSを「非常系」に切り替える。	10/15 14:10	廃棄物処理建家屋外の南側壁
	＝ 2 課点検開始＝ ＝ 2 課点検終了＝		
	<> 電源操作 <> ・3A P/C復電	17:11	電10.16-5参照
4-1	<> 3A P/C 復電操作後 <> 「エレベータ使用禁止解除」を放送する。		各階の「エレベータ使用禁止」の貼り紙を取り外す。
	<> 電源操作 <> ・2A P/C復電	17:36	電10.16-6参照
5-1	<> 2A P/C 復電操作後 <> 脱塩水設備の復旧をボイラー室に依頼する。		
- 2	メンテナンス建屋の空調系及び水処理設備の復旧を2課4Grに依頼する。		10月17日(木) 実施予定
- 3	放管関連設備の復旧を放管に依頼する。		10月17日(木) 実施予定
- 4	2次主ポンプ油ポンプ2A, 1Bを起動する。起動後、予備機CSを自動とする。	18:03	

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
5 - 5	2次主ポンプ抵抗ファン2A, 1Bを起動する。 起動後、予備機CSを自動とする。	18:08	
- 6	2次主ポンプA, Bを起動する。	18:19	最低タップにて10分間運転後、 定格まで昇速する。
- 7	スタコンにて力率を調整する。	18:40	(A-3 投入、力率:0.9→0.96)
- 8	屋外排水衛生設備盤のNF Bを「非常系」(MCB2) から「一般系」(MCB1)に切替える。	10/22 11:24	廃棄物処理建家 D-201室 鍵D-70
- 9	P-1 汚物槽、排水槽制御盤内一般系、非常系切替 えCOSを「一般系」に切り替える。	10/22 11:24	廃棄物処理建家屋外の南側壁
- 10	運管棟コピー、計算機(2F, 3F)電源をコンセント から通常の電源系に切り換える。	10/16 18:10	運管に依頼する。 10月17日(木)実施予定

電源設備点検時

プラント操作

チェックシート

3 C - P / C 点検

H3. 10月17日 (木) 1/1

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
<> 3 C P/C 停電操作前 <>			
1 - 1	機器運転状態確認 (プラント状態表による。)	7 : 14	
- 2	2次主PL計を「Power off」にする。	7 : 11	・冷却器ヒータ電源喪失のため
- 3	2次補助充填弁 (V32.2-3) の「全閉」を確認する。	7 : 08	
- 4	2次純化系が停止していることを確認する。	7 : 08	
- 5	JOYDASの停止を確認する。	10/16 実施	・技術課にて停止
- 6	1号D/Gの空気貯槽圧力を28kg/cm ² まで昇圧する。	7 : 08	・1号D/Gコンプレッサー (3C)
<> 3 C P/C 停電操作 <>		7 : 18 ~ 7 : 36	(7 : 15) 2課中制入り 電10.17-1参照
= 2 課点検開始 =			
= 2 課点検終了 =			
<> 3 C P/C 復電操作 <>		14 : 55	電10.17-4参照
<> 3 C P/C 復電後操作 <>			
2 - 1	2次純化系ダクト温度とダンプタンク温度の差を確認する。		ΔT = 8.0℃以内
- 2	2次純化系C/T送風機出入口ダンパ (手動) を「開」にする。	15 : 20	
- 3	2次純化系を起動する。 (1) 2次純化系ロジックを「開ロック」にする。 (2) V34.2-4A, 5A 及び 4B, 5Bを「開」にする。 (3) 2次純化系電磁ポンプを起動する。 (流量 4/2m ³ /hに調整する。) (4) 2次純化系ロジックを「復帰」にする。 (5) C/T送風機を起動する。	15 : 24	
- 4	2次補助充填弁 (V32.2-3) を「2%開」にする	15 : 32	
- 5	2次主PL計を「Power on」にする。	15 : 30	(「Operation」20:58)
- 6	JOYDASの復旧を依頼する。		・技術課にて復旧

電源設備点検時
プラント操作
チェックシート

2 S - P / C 点検

H3. 10月18日(金) 1/1

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
1-1	<> 停電 操作前 <> 機器運転状態確認(プラント状態表による)		
- 2	旋回クレーン作業、燃取作業が停止中であることを確認する。		
- 3	SFF 建家非常系負荷の停止をボイラー室に依頼する。		
- 4	格納容器雰囲気監視盤を停止する。 (ハロゲン計、酸素濃度計、湿分計)	6:48	添付資料-6 参照
- 5	2次主PL計の「OPERATION」を確認する。		(10/17 20:58 「S.B」→「DPE」)
- 6	常陽警備所へ非常系照明停止を連絡する。		
	<> 停電 操作 <> ・ 2 S - P / C 停電	7:32	電10.18-3 参照
	<< 2 課 点検開始 >> << 2 課 点検終了 >>		
	<> 復電 操作 <> 常陽警備所へ非常系照明復旧を連絡する。 ・ 2 S - P / C 復電	14:44~ 15:15	電10.18-4 参照
2-1	<> 2 S - P / C 復電後操作 <> SFF 建家非常系負荷の起動をボイラー室に依頼する。	15:08	
- 2	格納容器雰囲気監視盤を起動する。 (ハロゲン計、酸素濃度計、湿分計)	17:09	添付資料-6 参照 ※廃棄物処理建家側処置完了 ※SFF 水処理設備停止

電源設備点検時
プラント操作
チェックシート

常陽変電所 } 点検
1 A-M/C

H3. 10月19日(土) 1/5

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
	<> 電源 停電操作前 <>		
1- 1	機器運転状態確認(プラント状態表による)	5:30	
- 2	一般照明の一部を非常系に切替える。		添付資料-7参照
- 3	自動連続式PL計を「自動」から「待機」にする		
- 4	ボイラー停止の確認をする。		
- 5	2次補助充填弁(V32.2-3)を「2%開」から「全閉」にする。		
- 6	水処理設備の停止を確認する。(燃取Gr)		10月18日(金)実施予定 (10/18 15:05 実施済)
- 7	常陽警備所へ空調関係・照明・P.P設備の電源が停止することを連絡する。		
- 7	格納容器雰囲気監視装置を停止する。 (ハロゲン計、O ₂ 計、湿分計) (2S)	5:40	添付資料-6参照
- 8	オーバーフロー系インターロックスイッチの「手動引保持」を確認する。		
- 9	商用電源喪失前の電源設備点検を行う。		電10.19-3参照
-10	床ドレンピットポンプの選択COSを「自動」から「手動」に切り換える。		
-11	IRAF建家空調系の停止を確認する。	10/18	照射課:野口氏 10/18実施予定
-12	放管関係機器の停止を確認する。 (放管担当:干場氏)	10/18 18:20	10月18日(金)実施予定 (10/18 18:20 実施済)
-13	メンテナンス建家の空調系及び水処理設備の停止を確認する。(担当:2課4Gr)	10/18	10月18日(金)実施予定
-14	ボイラー室へシミュレータ空調の停止を依頼する		
-15	工務課に停電予告を連絡する	6:15	内線 2074 大島班長へ
-16	1次CT冷却ブロウを停止する		
-17	1次純化系コールドトラップ出入口弁V34.1-23A・Bを「全閉」とする		3BP/C喪失で途中開度でロックするため
-18	工務課に停電を連絡する	6:29	
			※10/18 廃棄物処理建家連絡済

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
	<> 電源 操作 <> ・一般系停電操作 (CB352P「切」)	6:30	(6:20 2課中制入り) 中制操作 電10.19-5参照
	<> 一般系停電後操作 <>		
2-1	ポニーモータ自動起動確認		添付資料-8参照
-2	1・2号DGの運転状態の確認		
-3	オーバーフロー系電磁ポンプを起動する		
-4	1次純化系電磁ポンプを起動する		
-5	2次補助系電磁ポンプの自動起動を確認する		
-6	2次純化系電磁ポンプを起動する		
-7	圧空コンプレッサの自動起動を確認する		
-8	1次予熱ヒータ「スタート」ボタンを「ON」	6:47	
-9	2次予熱ヒータ引込みユニットNFB「ON」	6:48	20ユニット
-10	2次補助予熱ヒータ引込みユニット NFB「ON」	6:53	3ユニット
	その他の操作は異常時処置マニュアル「外部電源喪失」EPO-20-04-1を参照して実施する。		
-11	格納容器雰囲気監視装置を復旧する。 (ハロゲン計、O ₂ 計、湿分計)	9:28	添付資料-6参照
-12	工務課に停電処置(352P切ロック)を依頼する。		電10.19-5参照
-13	工務課より停電処置完了の連絡を受ける。	7:30	

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
	<> 電源 操作 <>		
3- 1	常陽変電所の停電分離		電10. 19-5参照
- 2	1A-M/C, 1B-M/Cの停電分離	8:28	
	<< 2課点検 >>	8:30	
	<< 工務課点検 >>		
	<> 電源 操作 <>		
	常陽変電所の受電操作		電10. 19-9参照
4- 1	工務課に停電処置(352P切ロック)解除を依頼する。	18:15	
- 2	工務課より停電処置(352P切ロック)解除終了の連絡を受ける。		
- 3	「常陽」変電所の受電操作(352P「入」) (予定時間 18:00頃)	18:23	工務課と連絡
- 4	常陽変電所負荷タップ切り換え器への電源供給操作(1A-M/C復電等)	18:40	電10. 19-10参照
	<> 工務課タップ切り換え器試験 <>		
	<> 工務課タップ切り換え器試験終了 <>		
	<> 電源 操作 <>		
	1B-M/Cの復電	19:22	電10. 19-12参照
	<> 電源 操作後 <>		
5- 1	非常系電源1C-M/CをDGから一般系電源1A-M/Cに切り替える	19:58	電10. 19-14参照
- 2	1号DGを停止する	20:05	
- 3	1次純化系CT送風機を起動する	20:38	
- 4	2次純化系CT送風機を起動する	20:50	
- 5	非常系電源1D-M/CをDGから一般系電源1B-M/Cに切り替える。	20:18	電10. 19-15参照
- 6	2号DGを停止する。	20:24	
- 7	常陽警備所へ復電の連絡をする。	20:38	
- 8	2次純化系ロジックスイッチを「開ロック」にする。		

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
- 9	2次主循環ポンプ油ポンプ2A、1Bを起動する	20:32	
- 10	2次主循環ポンプ抵抗ファン2A、1Bを起動する。	20:56	
- 11	2次主循環ポンプA・Bを起動する。	20:59	
- 12	2次純化系ロジックスイッチを「復帰」にする。	21:15	
- 13	2次補助充填弁(V32.2-3)を「2%開」にする。	21:17	
- 14	1次補助電磁ポンプのC系・D系CSを一旦「切」にする。	22:19	
- 15	ポニーモータA・BのCSを「切・引き保持」とする。	22:20	
- 16	1次主循環ポンプA・Bを起動する。	22:22	
- 17	1次主循環ポンプ流量252m ³ /hで安定したらポニーモータA・BのCSを「自動」にする。	22:30	
- 18	照明電源を非常系から一般系に切り替える。	20:38	添付資料-7参照
- 19	一般系空調換気系自動起動機器の確認及び運転状態の監視を行う。		
- 20	一般系空調換気系手動起動及び運転状態の監視を行う。	22:20	添付資料-9参照
- 21	ボイラー起動を依頼する。	20:22	
- 22	IRAF建家電源の復電操作を連絡する。		照射課：野口氏 10/21実施予定
- 23	床ドレンピットポンプの選択COSを「手動」から「自動」に切り換える。	23:21	
- 24	放管関係機器の起動を確認する。		10月21日(月)実施予定
- 25	メンテナンス建家の空調系及び水処理設備の起動を確認する。(担当：2課4Gr)		10月21日(月)実施予定
- 26	予熱N ₂ ガスBループ炉容器出入口弁V71-48B、49Bの「開」を確認する。		3B-C/C停電でF、Cとなるため(予熱系-遮コン系切り替え)弁操作盤：R501, #521 鍵：V71-48B C-28 ：V71-49B C-29
- 27	水処理設備の復旧を確認する。(燃取Gr)		10月21日(月)実施予定

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
- 2 8	ボイラー室へシュミレータ室空調の起動を依頼する。		
- 2 9	常陽警備所へ空調関係・照明・P. P設備の復電を連絡する		
- 3 0	自動連続式PL計を「待機」から「運転」にする	21:59	
- 3 1	以下の機器の切り替え操作を行う。		
	・ 1次現場制御室系給排気ファン 1 → 2	23:03	
	・ 燃料洗浄室系給排気ファン 1 → 2	23:50	
	・ ホット配管路系給排気ファン 1 → 2	23:58	
	・ 廃ガス処理室系給排気ファン 1 → 2	23:33	
	・ 空気圧縮機 C/A → C/B	23:25	
- 3 2	1号DGの燃料補給をする。	22:43	直立会：ボイラー室にて実施 (1130ℓ補給)
- 3 3	スタコンを投入する。	22:29	
- 3 4	2号DGの燃料補給をする。	22:54	直立会：ボイラー室にて実施 (1640ℓ補給)
- 3 5	予熱N ₂ ガス系油ポンプ(B)を起動する。	23:15	
- 3 6	燃取格外制御室4S制御電源を「ON」にする。	23:00	

7 C, 7 D 電源停電時

呼吸ガスヘッダ隔離操作

H3. 10月20日(日)朝 1/2

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前のプラント操作			
	(1) 1次系カバーガス圧力が安定していることを確認する 呼吸ガス圧力調整ヘッダ-圧力(PIS 36.1-9) 50±20mmAq	A-712 (#424)		
	(2) 1次Ar呼吸ガス圧力調整ヘッダを隔離する。			<ul style="list-style-type: none"> ・隔離の復旧まで が-ガス 圧力の 調整が 不能の 為、 圧力監視を行う。 ・隔離状態中、 が-ガス 圧力に異常が生じた場合は、 速やかに隔離を復旧する。 順序：3 ・V36.1-22手動 「開」にて、V36.1-46が自動「開」 で1回かかえ、V36.1-22を「閉」とする。 ・炉容器が-ガス 圧力に注意。
	(a) 供給弁 V36.1-20, 22 「閉」	A-712 (#424)	5:38	
	(b) 排気弁 V36.1-44, 46 「自動」 (確認)	"	"	
	(c) 1次D/T(B)呼吸弁 V36.1-29B 「閉」	R-303	5:40	
	(d) 1次主ポンプ(B)呼吸弁 V36.1-33 「閉」	"	"	
	(e) 1次主ポンプ(A)呼吸弁 V36.1-34 「閉」	"	"	
	(f) R/V, IHX (A), (B)呼吸弁 V36.1-31 「閉」 (確認)	"	"	
	(3) 1次Ar呼吸ガス圧力調整ヘッダのガスパーズを行う	A-712 (#424)		
	(a) V36.1-44 「閉」		5:42	
	(b) V36.1-22(供給弁小弁)を手動で「開閉」し、呼吸ガス圧力調整ヘッダのガスパーズを3回行う			
	(c) V36.1-44 「自動」		5:45	
	(d) V36.1-22 「閉」確認			
	(4) 1次Ar呼吸ガス圧力調整ヘッダを負圧にする。	A-712 (#424)		
	(a) 排気弁 V36.1-46 「開」			
	(b) 呼吸ガス圧力ヘッダ-圧力(V36.1-9) 0mmAq以下 確認			
	(c) 排気弁 V36.1-46 「自動」		5:45	

H3. 10月20日(日)朝 2/2

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
2	電源切替え操作を実施する。			・電源操作マニュアル参照
3	操作後、プラント復旧			
	(1) 1次Ar呼吸ガスヘッダ安全弁(V36.1-62A 62B)が「閉」になった事を確認する。	A-712 (#424)		
	(2) 1次Ar呼吸ガス圧力調整ヘッダのガスパージを行う	A-712 (#424)	7:28	
	(a) V36.1-44 「閉」			
	(b) V36.1-22(供給弁小弁)を手動で「開閉」し、呼吸ガス圧力調整ヘッダのガスパージを10回行う。		7:29	・V36.1-22手動「開」にて、V36.1-46が自動「開」で1回かざえ、V36.1-22を「閉」とする。
	(c) V36.1-44 「自動」			
	(d) V36.1-22 「閉」確認			
	(3) 1次Ar呼吸ガス圧力調整ヘッダを復旧する。			
	(a) 1次D/T(B)呼吸弁 V36.1-29B 「開」	R-303	7:30	
	(b) 1次主ポンプ(B)呼吸弁 V36.1-33 「開」	R-303	7:32	
	(c) 1次主ポンプ(A)呼吸弁 V36.1-34 「開」	R-303	7:32	
	(d) 供給弁 V36.1-20, 22 「自動」	A-712 (#424)		
	(e) 排気弁 V36.1-44, 46 「自動」(確認)	A-712 (#424)		
	(4) 1次系カバーガス圧力制御が正常に行われている事を確認する。	A-712 (#424)		

電源設備点検時

プラント操作

2 C P / C, 4 C 電源盤点検

チェックシート

H3. 10月20日(日) 1/7

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
< 電源操作前 >			
1- 1	機器運転状態確認(プラント状態表による。)	5:30	
- 2	「常陽」警備所にP. P用電源が停電することを、連絡する。(4S)		
- 3	2次Arガス系の第1減圧弁前弁V36. 2-1を「閉」にする。(Arガス系の圧力を監視する。)	5:35	・4S電源喪失でV36. 2-16が「閉」となるため
- 4	2次補助PL計を「POWER OFF」にする。(4S)	5:41	
- 5	2次主PL計を「POWER OFF」にする。(4S)	5:39	
- 6	床下-床上圧力検出弁V84-852をSW-S3により「閉」にする。(4S)	5:49	・A704(#422-2)
- 7	床下-床上圧力切り替え弁V84-853を「全開」にする。	5:51	・R303上室
- 8	格納容器雰囲気監視盤(ハロゲン計、酸素計、湿分計)を停止する。(2S)	5:43	・添付資料-6参照
- 9	FFD CG法を停止する。(4S)	6:10	・添付資料-12参照
-10	床上酸素濃度計を停止する。(4S)	6:16	・添付資料-1参照
-11	水冷却池設備の停止を確認する。		・燃取Grにて停止
-12	2次純化系ロジックを「開ロック」にする。	5:53	
-13	2次補助充填弁V32. 2-3を「全開」にする。	5:22	
-14	2次主循環ポンプA, Bを停止する。(7C)	6:04	
-15	" 抵抗ファン2A, 1Bを停止する	6:05	
-16	" 潤滑油ポンプ2A, 1Bを停止する。	6:06	
-17	2次補助電磁ポンプを停止する。	6:00	
-18	2次補助電磁ポンプ冷却ファンを停止する。	6:00	

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
-19	2次Na純化系CT送風機を停止する。	6:01	
-20	" 電磁ポンプを停止する。	6:02	
-21	V34. 2-4A, 5A, 4B, 5Bを「全閉」にする。	6:02	
-22	水モニタ監視盤の停止確認 (4S)		・放管にて10月18日停止
-23	IRAF放管モニタの停止確認 (2C)		・放管にて10月18日停止
-24	SFFダストサンプラ(2C)、M/Bゲートモニタ(2S)停止確認		・放管にて10月18日停止
-25	SFF建家非常系負荷の停止をボイラ室に依頼する	5:56	SFF空調停止
-26	1次主循環ポンプ潤滑油ポンプを1Bから2Bに切り替える。(2C)	6:22	
-27	1号DGの43AM1を「自動」から「手動」に切り替える。	5:52	・7C電源復電時の1号DG自動起動防止
-28	P/C(A)給気ファンNo2を停止する。	5:47	
-29	格設備室系給気ファンNo1を停止する。	5:52	
-30	格設備室系排気ファンNo1→No PNC TN9410 95-269		
-31	V84-127を「全閉」にし、V84-128を「全開」にする。	5:50	・4S電源喪失でV84-128が「閉」となるため
		6:22 完了	
< 電源操作 >			
	・2SP/C (2CP/C →2DP/C) 母線切り替え	6:25	電10.20-4参照
	・2次補助2SC/C (2CP/C →2DP/C) 母線切り替え		電10.20-4参照
	・4S電源(4CP/C →4DP/C) 母線切り替え		電10.20-4参照
	・4C電源停電		電10.20-5参照
	・5C電源特殊受電、5C整流装置停止		電10.20-6参照
	・7C電源特殊受電(2CP/C受電→7D, 7S受電)		電10.20-6参照
	・7C整流装置停止		電10.20-7参照
	・2CP/C停電(4C電源停電含む)	7:20	電10.20-7参照

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
	< 電源操作後 >		
2-1	「常陽」警備所にP. P用電源が復電したことを、連絡する。	7:21	
-2	1号DGの43AM1を「手動」から「自動」に切り替える。	7:21	
-3	2次計Naレベル計電源の「ON」を確認する。	7:33	
-4	2次補助電磁ポンプ冷却ファンを起動する。	7:24	
-5	2次補助電磁ポンプを起動する。	7:25	
-6	V34. 2-4A, 5A, 4B, 5Bを「全開」にする。	7:29	
-7	2次Na純化系電磁ポンプを起動する。	7:30	
-8	CT送風機を起動する。	7:31	
-9	2次主循環ポンプ潤滑油ポンプ2A, 1Bを起動する。	7:40	
-10	抵抗ファン2A, 1Bを起動する	7:44	
-11	A, Bを起動する。	7:47	
-12	2次補助充填弁V32. 2-3を「2%開」にする	8:01	
-13	2次純化系ロジックを「復帰」にする。	8:01	
-14	2次主PL計を「POWER ON」にする。	7:33	
-15	2次補助PL計を「POWER ON」にする。	7:26	
-16	2次Arガス系の第1減圧弁前弁V36. 2-1を「開」にする。	7:35	
-17	格納容器雰囲気監視盤(ハロゲン計、酸素計、湿分計)を復旧する。	7:36	<ul style="list-style-type: none"> ・添付資料-6参照 ・4C電源喪失でV84-142が「閉」となるため、遮コン湿分の測定不可
-18	床上酸素濃度計を起動する。	7:39	<ul style="list-style-type: none"> ・添付資料-1参照

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
2-19	床下-床上圧力切り替え弁V84-853を「全閉」にする。	7:51	・R303上室
-20	床下-床上圧力検出弁V84-852をSW-S3により「開」にする。	7:52	・A704(#422-2)
-21	燃取格外制御盤の4S系制御電源S・Wを「入」にし、24系隔離弁を「開」、T/Rタンク隔離弁を「開」にする。	7:48	
		8:02 完了	
*	4C電源喪失でV84-196, 197が「閉」となるため、2次主配管室(A)の温度を監視する。		
*	4C電源喪失で1次主循環ポンプ(A)油ポンプ冷却ファンが停止するため、油温度が上昇するようであれば仮設ブロワを使用する。 また、1時間毎に油温度のデータを採る。 (潤滑油温度高ANN 75℃)		・添付資料-10参照
<p>＝ 2 課点検開始 ＝</p>			

7 C. 7 D 電源停電時

呼吸ガスヘッダ隔離操作

H3. 10月20日(日)夕 1/2

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前のプラント操作			
	(1) 1次系カバーガス圧力が安定していることを確認する 呼吸ガス圧力調整ヘッダ-圧力(PIS 36.1-9) 50±20mmAq	A-712 (#424)		
	(2) 1次Ar呼吸ガス圧力調整ヘッダを隔離する。			<ul style="list-style-type: none"> ・隔離の復旧は、 が-が 圧力の調整が 不能の為、 圧力監視を行う。 ・隔離状態中、 が-が 圧力に異常が生じた 場合は、速やかに隔離を 復旧する。 順序：3
	(a) 供給弁 V36.1-20, 22 「閉」	A-712 (#424)		
	(b) 排気弁 V36.1-44, 46 「自動」 (確認)	"		
	(c) 1次D/T(B)呼吸弁 V36.1-29B 「閉」	R-303		
	(d) 1次主ポンプ(B)呼吸弁 V36.1-33 「閉」	"		
	(e) 1次主ポンプ(A)呼吸弁 V36.1-34 「閉」	"		
	(f) R/V, IHX (A), (B)呼吸弁 V36.1-31 「閉」 (確認)	"		
	(3) 1次Ar呼吸ガス圧力調整ヘッダのガスパージを行う	A-712 (#424)		<ul style="list-style-type: none"> ・V36.1-22手動「開」にて、V36.1-46が自動「開」で1回かざえ、V36.1-22を「閉」とする。
	(a) V36.1-44 「閉」			
	(b) V36.1-22 (供給弁小弁)を手動で「開閉」し、呼吸ガス圧力調整ヘッダのガスパージを3回行う			
	(c) V36.1-44 「自動」			
	(d) V36.1-22 「閉」確認			
	(4) 1次Ar呼吸ガス圧力調整ヘッダを負圧にする。	A-712 (#424)		<ul style="list-style-type: none"> ・炉容器が-が 圧力に注意。
	(a) 排気弁 V36.1-46 「開」			
	(b) 呼吸ガス圧力ヘッダ-圧力 (V36.1-9) 0mmAq以下 確認			
	(c) 排気弁 V36.1-46 「自動」			

H3. 10月20日(日)夕 2/2

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
2	電源切替え操作を実施する。			・電源操作マニュアル参照
3	操作後、プラント復旧			
	(1) 1次Ar呼吸ガスヘッダ安全弁(V36.1-62A 62B)が「閉」になった事を確認する。	A-712 (#424)		
	(2) 1次Ar呼吸ガス圧力調整ヘッダのガスパージを行う	A-712 (#424)		
	(a) V36.1-44 「閉」			
	(b) V36.1-22(供給弁小弁)を手動で「開閉」し、呼吸ガス圧力調整ヘッダのガスパージを10回行う。			・V36.1-22手動「開」にて、V36.1-46が自動「開」で1回と替え、V36.1-22を「閉」とする。
	(c) V36.1-44 「自動」			
	(d) V36.1-22 「閉」確認			
	(3) 1次Ar呼吸ガス圧力調整ヘッダを復旧する。			
	(a) 1次D/T(B)呼吸弁 V36.1-29B 「開」	R-303		
	(b) 1次主ポンプ(B)呼吸弁 V36.1-33 「開」	R-303		
	(c) 1次主ポンプ(A)呼吸弁 V36.1-34 「開」	R-303		
	(d) 供給弁 V36.1-20, 22 「自動」	A-712 (#424)		
	(e) 排気弁 V36.1-44, 46 「自動」 (確認)	A-712 (#424)		
	(4) 1次系カバーガス圧力制御が正常に行われている事を確認する。	A-712 (#424)	19:20	

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
＝ 2 課点検終了 ＝			
< 電源操作前 >			
3-1	「常陽」警備所にP、P用電源が停電することを、連絡する。	17:10	
-2	2次Arガス系の第1減圧弁弁V36.2-1を「閉」にする。(Arガス系の圧力を監視する。)	17:16	・4S電源喪失でV36.2-16が「閉」となるため
-3	2次補助PL計を「POWER OFF」にする。	17:29	
-4	2次主PL計を「POWER OFF」にする。	17:11	
-5	床下-床上圧力検出弁V84-852をSW-S3により「閉」にする。	17:10	・A704(#422-2)
-6	床下-床上圧力切り替え弁V84-853を「全開」にする。	17:12	・R303上室
-7	格納容器雰囲気監視盤(ハロゲン計、酸素計、水分計)を停止する。(2S)	16:55	・添付資料-6参照
-8	床上酸素濃度計を停止する。(4S)	17:03	・添付資料-1参照
-9	2次純化系ロジックを「開ロック」にする。	16:58	
-10	2次補助充填弁V32.2-3を「全閉」にする。	16:58	
-11	2次主循環ポンプA、Bを停止する。(7C)	16:58	
-12	抵抗ファン2A、1Bを停止する	16:58	
-13	潤滑油ポンプ2A、1Bを停止する。	16:59	
-14	2次補助電磁ポンプを停止する。	17:01	
-15	2次補助電磁ポンプ冷却ファンを停止する。	17:01	
-16	2次Na純化系CT送風機を停止する。	17:02	
-17	電磁ポンプを停止する。	17:02	
-18	V34.2-4A、5A、4B、5Bを「全閉」にする。	17:02	
-19	1号DGの43AM1を「自動」から「手動」に切り替える。		・7C電源復電時の1号DG自動起動防止

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
< 電源操作 >			
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 CP/C復電 ・ 7 C整流装置運転 ・ 7 C電源特殊受電(7 D, 7 S受電→2 CP/C 受電)復旧. ・ 5 C電源特殊受電復旧、5 C整流装置運転 ・ 4 C電源復電 ・ 4 S電源(4 DP/C →4 CP/C) ・ 2次補助2 SC/C (2 DP/C →2 CP/C) ・ 2 SP/C (2 DP/C →2 CP/C) 母線切り替え 	17:37 ↓ 18:50	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電10. 20- 9参照 ・ 電10. 20-10参照 ・ 電10. 20-10参照 ・ 電10. 20-11参照 ・ 電10. 20-11参照 ・ 電10. 20-12参照 ・ 電10. 20-13参照 ・ 電10. 20-13参照
< 電源操作後 >			
4- 1	「常陽」警備所にP. P用電源が復電したことを、連絡する。		
- 2	1号DGの43AM1を「手動」から「自動」に切り替える。	18:52	
- 3	2次計Naレベル計電源の「ON」を確認する。		
- 4	2次補助電磁ポンプを起動する。	18:57	
- 5	2次補助電磁ポンプ冷却ファンを起動する。	18:57	
- 6	V34. 2-4A, 5A, 4B, 5Bを「全開」にする。	19:00	
- 7	2次Na純化系電磁ポンプを起動する。	19:00	
- 8	" CT送風機を起動する。	19:01	
- 9	2次主循環ポンプ潤滑油ポンプ2A, 1Bを起動する。	18:54	
- 10	" 抵抗ファン2A, 1Bを起動する	19:04	
- 11	" A, Bを起動する。	19:04	
- 12	2次補助充填弁V32. 2-3を「2%開」にする	19:22	
- 13	2次純化系ロジックを「復帰」にする。	19:22	
- 14	2次主PL計を「POWER ON」にする。	19:13	
- 15	2次補助PL計を「POWER ON」にする。	19:24	
- 16	2次Arガス系の第1減圧弁前弁V36. 2-1を「開」にする。	19:10	

操作順序	操 作 内 容	操作時刻	備 考
-17	格納容器雰囲気監視盤（ハロゲン計、酸素計、湿分計）を復旧する。	20:45	・添付資料-6参照
-18	FFD-CG法を起動する。	1:24	・添付資料-12参照
-19	床上酸素濃度計を起動する。	19:31	・添付資料-1参照
-20	床下-床上圧力切り替え弁V84-853を「全閉」にする。	19:22	・R303上室
-21	床下-床上圧力検出弁V84-852をSW-S3により「開」にする。	19:22	・A704(#422-2)
-22	燃取格外制御盤の4S系制御電源S・Wを「入」にし、24系隔離弁を「開」、T/Rタンク隔離弁を「開」にする。	20:49	
-23	1次主循環ポンプ潤滑油ポンプを2Bから1Bに切り替える。 (2C)	19:36	
-24	主冷空調P-1起動	19:34	・ボイラにて起動
-25	圧空コンプレッサーをC/B→A/Bに切り替える	21:20	
-26	P/C(A)給気ファンNO2を起動する。	20:59	
-27	1次現場制御室系給・排気ファンをNO2→NO1に切り替える。	20:54	
-28	燃料洗浄室系給・排気ファンをNO2→NO1に切り替える。	21:00	
-29	ホット配管路系給・排気ファンをNO2→NO1に切り替える。	21:22	
-30	廃ガス処理室系給・排気ファンをNO2→NO1に切り替える。	21:12	
-31	格設備室給気ファンNO1を起動する。 格設備室排気ファンをNO2→NO1に切り替える	21:14	
-32	接触器盤室系排気ファンをNO2→NO1に切り替える。	21:02	
-33	V84-127を「全開」にし、V84-128を「全閉」にする。	22:10	
		1:24 完了	

電源設備点検時
プラント操作
チェックシート

4 D 電源盤点検

H3. 10月21日(月) 1/4

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
< 電源操作前 >			
1- 1	機器運転状態確認(プラント状態表による。)	7:00	
- 2	遮コン、ペデブロワをB→Aに切り換える。	7:02	・4D電源停電により、B側の温度、振動監視不可のため。
- 3	自動給油装置をB→Aに切り換える。	7:18	
- 4	格納容器雰囲気監視装置内のO ₂ 濃度計用ポンプ(P-1)を停止する。	7:07	・N ₂ 検出弁(V84-86)のF.C対策
< 電源操作 >			
	・4D電源停電	7:22 ↓ 7:32	電10.21-3参照
	4D電源喪失で、V84-198、199が「閉」となるため、2次主配管室(B)の温度を監視する		
= 2 課点検開始 =			

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
	＝ 2 課点検終了＝		
	<p style="text-align: center;">< 電源操作 ></p> <p>・ 4 D 電源復電</p>	11:38 ↓ 11:50	電10. 21- 4参照
2- 1	遮コン、ペデブロワをA→Bに切り換える。	12:00	
- 2	自動給油装置をA→Bに切り換える。	13:19	
- 3	床下窒素雰囲気監視装置内のO ₂ 濃度計用ポンプ(P-1)を起動する。	13:24	
- 4	圧空コンプレッサをC点検後、A/B→A/Cに切り換える。	16:27	

電源設備点検時

プラント操作

4 S 電源盤点検

チェックシート

H3. 10月21日(月) 3 / 4

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
< 電源操作前 >			
1- 1	機器運転状態確認(プラント状態表による。)		
- 2	仮設電源の継ぎ込みの完了を確認する。		・添付資料-1 参照
- 3	床上酸素濃度計の仮設電源の継ぎ込みを実施し、起動する。		・添付資料-1 参照
- 4	保物モニタ関連機器の停止を確認する。(4S) (放管担当者:干場氏)		
- 5	「常陽」警備所にP・P用電源が停電することを連絡する。(4S)	13:40	
- 6	2次Arガス系の第1減圧弁弁V36.2-1を「閉」にする。(Arガス系の圧力を監視する)	13:27	・4S電源喪失でV36.2-16が「閉」となる為
- 7	2次主PL計を「POWER OFF」にする。(4S)	13:21	
- 8	2次補助PL計を「POWER OFF」にする。(4S)	13:16	
- 9	2次純化系ロジックを「開ロック」にする。	13:13	
-10	2次補助充填弁V32.2-3を「全閉」にする。	13:13	
-11	2次主循環ポンプA, Bを停止する。(4S)	13:15	
-12	抵抗ファン2A, 1Bを停止する		
-13	潤滑油ポンプ2A, 1Bを停止する。(4S)		
-14	1次主循環ポンプA, Bを停止する。(4S)	13:20	・ポニーモータ引継ぎ確認
-15	床下-床上圧力検出弁V84-852をSW-S3により「閉」にする。(4S)	13:27	・A704(#422-2)
-16	床下-床上圧力検出切替え弁V84-853を「全開」にする。	13:30	・R303上室
-17	FFD-CG法を停止する。	13:50	・添付資料-12 参照
-18	水冷却池設備の停止を確認する。		・燃取Grにて停止
-19	自動連続式PL計を「待機」にする。	14:27	

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
	<p style="text-align: center;">< 電源操作 ></p> <p>・ 4S電源停電</p>	14:12 ↓ 14:30	電10.21-5参照
	<p>＝ 2 課点検開始＝</p>		

電源設備点検時
プラント操作
チェックシート

4 S 電源盤点検

H3. 10月23日(水) 1/1

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
	＝ 2 課点検終了＝		
	< 電源操作 > ・ 4 S 電源復電	16:00 ↓ 16:32	電10.23-3参照
	< 電源操作後 >		
1-1	2次主循環ポンプ潤滑油ポンプ2A, 1Bを起動する。	16:49	
-2	抵抗ファン2A, 1Bを起動する	16:52	
-3	2次主循環ポンプA, Bを起動する	16:55	
-4	2次純化系ロジックを「復帰」にする。		
-5	2次補助充填弁V32. 2-3を「2%開」にする	17:10	
-6	2次主PL計を「POWER ON」にする。		
-7	2次補助PL計を「POWER ON」にする。		
-8	保物モニタ関連機器の起動を確認する。 (放管担当者: 氏)		・放管にて出勤時起動
-9	「常陽」警備所にP・P用電源が復電したことを連絡する。		
-10	2次Arガス系の第1減圧弁前弁V36. 2-1を「開」にする。	16:44	
-11	床下-床上圧力検出切替え弁V84-853を「全閉」にする。		・R303上室
-12	床下-床上圧力検出弁V84-852をSW-S3により「開」にする。		・A704(#422-2)
-13	FFD-CG法を起動する。	18:54	・添付資料-12参照
-14	燃取格外制御盤の4S制御電源SWを「入」とし、24系隔離弁を「開」、T/Rタンク隔離弁を「開」にする。		
-15	水冷却池設備を起動する。	16:41	・燃取にて起動

電源設備点検時
プラント操作
チェックシート

仮設電源復旧、弁ロック
補助電源受電切替え

H3. 10月24日(水) 1/1

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
1	予熱N。ガス系、制御・操作電源以外の仮設電源を復旧する。		・添付資料-1参照 (No.2、3は除く)
2	弁ロックを実施する。		・添付資料-1参照
<u>補助電源切替え操作前</u>			
3-1	格内ベピコンが停止中であることを確認する。		
-2	格内ベピコン2台のCOSを「停止」にする。	14:22	復電時の起動防止
-3	「常陽」警備所へ停電の連絡をする。	14:22	外周P・P関係
-4	M/Bゲートモニタの停止を確認する。		放管に確認する
-5	1次Na液面計盤の冷房装置を停止する。	14:24	
-6	予熱N。ガスプロアを停止する。	14:03	
4	<u>補助電源受電先切替え操作</u> (2D-P/C受電から 2A-P/C受電に切替える。)	14:38 ↓ 14:44	電10.24-3参照
<u>補助電源切替え操作後</u>			
5-1	予熱N。ガスプロアを起動する。	14:54	
-2	格内ベピコン2台のCOSを「自動」にする。		
-3	「常陽」警備所へ復電の連絡をする。		
-4	1次Na液面計盤の冷房装置を起動する。	15:15	

7 C, 7 D 電源停電時

呼吸ガスヘッダ隔離操作

H3. 10月25日(金)朝 1/2

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前のプラント操作			
(1)	1次系カバーガス圧力が安定していることを確認する 呼吸ガス圧力調整ヘッダ-圧力(PIS 36.1-9) 50±20mmAq	A-712 (#424)	5:08	
(2)	1次Ar呼吸ガス圧力調整ヘッダを隔離する。			・隔離の復旧まで カバーガス圧力の調 整が不能の為、 圧力監視を行う。
(a)	供給弁 V36.1-20, 22 「閉」	A-712 (#424)	5:16	
(b)	排気弁 V36.1-44, 46 「自動」 (確認)	"	5:16	・隔離状態中、 カバーガス圧力に異 常が生じた場合は、 速やかに隔 離を復旧する。 順序：3
(c)	1次D/T(B)呼吸弁 V36.1-29B 「閉」	R-303	5:18	
(d)	1次主ポンプ(B)呼吸弁 V36.1-33 「閉」	"	5:18	
(e)	1次主ポンプ(A)呼吸弁 V36.1-34 「閉」	"	5:19	
(f)	R/V, IHX (A), (B)呼吸弁 V36.1-31 「閉」 (確認)	"	5:19	
(3)	1次Ar呼吸ガス圧力調整ヘッダのガスパージを行う	A-712 (#424)	5:20	
(a)	V36.1-44 「閉」			・V36.1-22手動 「閉」にて、V36. 1-46が自動「開 で1回かき、V3 6.1-22を「閉」 とする。
(b)	V36.1-22(供給弁小弁)を手動で「開閉」 し、呼吸ガス圧力調整ヘッダのガスパージを3回行う		5:23	
(c)	V36.1-44 「自動」		5:24	
(d)	V36.1-22 「閉」確認		5:24	
(4)	1次Ar呼吸ガス圧力調整ヘッダを負圧にする。	A-712 (#424)	5:25	・炉容器カバーガス 圧力に注意。
(a)	排気弁 V36.1-46 「開」			
(b)	呼吸ガス圧力ヘッダ-圧力(V36.1-9) 0mmAq以下 確認		5:25	
(c)	排気弁 V36.1-46 「自動」		5:25	

H3. 10月25日(金)朝 2/2

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
2	電源切替え操作を実施する。			・電源操作マニュアル参照
3	操作後、プラント復旧			
	(1) 1次Ar呼吸ガスヘッダ安全弁(V36.1-62A 62B)が「閉」になった事を確認する。	A-712 (#424)		
	(2) 1次Ar呼吸ガス圧力調整ヘッダのガスパーズを行う	A-712 (#424)		
	(a) V36.1-44 「閉」		7:47	
	(b) V36.1-22(供給弁小弁)を手動で「開閉」し、呼吸ガス圧力調整ヘッダのガスパーズを10回行う。		7:50	・V36.1-22手動「開」にて、V36.1-46が自動「開」で1回と替え、V36.1-22を「閉」とする。
	(c) V36.1-44 「自動」			
	(d) V36.1-22 「閉」確認			
	(3) 1次Ar呼吸ガス圧力調整ヘッダを復旧する。			
	(a) 1次D/T(B)呼吸弁 V36.1-29B 「開」	R-303	8:07	
	(b) 1次主ポンプ(B)呼吸弁 V36.1-33 「開」	R-303	8:09	
	(c) 1次主ポンプ(A)呼吸弁 V36.1-34 「開」	R-303	8:09	
	(d) 供給弁 V36.1-20, 22 「自動」	A-712 (#424)	8:10	
	(e) 排気弁 V36.1-44, 46 「自動」 (確認)	A-712 (#424)		
	(4) 1次系カバーガス圧力制御が正常に行われている事を確認する。	A-712 (#424)		

電源設備点検時
プラント操作
チェックシート

5 C, 7 C 整流装置
6 C インバータ
7 C 負荷電圧補償装置

停止

H3. 10月25日(金) 1/3

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
	<>電源操作前<>		
1-1	機器運転状態確認(プラント状態表による。)		
-2	「常陽」警備所へ停電の連絡をする。(6S)	6:08	P. P用 電源
-3	核計装CH-1, 3, 4, 6, 7のモードSWを「零」にする。(6C, 6S)	5:30	
-4	CT冷却ガス放射能モニタ盤を停止する。(6S)	5:26	・A-207 のマニュアル参照
-5	格納容器雰囲気監視装置(ハロゲン計、酸素濃度計、湿分計)を停止する。	3:30	・添付資料-6 参照 ・V84-93 F.Cにて、サンプルガスの排気が不可となる為
-6	FFD-CG法を停止する。(6S)	3:38	・添付資料-12 参照
-7	放射線監視盤の停止を確認する。(6C)(IM-1)	3:47	・放管にて前日に停止
-8	2次主PL計を「Power on」にする。	3:50	
-9	遮蔽コンクリート冷却圧力制御系の「MAN」を確認する。		・V84-93のF. C対策 「N2 排気弁(内)」
-10	V84-151を「閉」とする。(R-401)	5:27	・V84-150 のF. O対策
-11	床下N2 圧力制御系を「MAN」0%から、「MAN」50%に変更する。	5:59	
-12	空気導入弁V84-87の開度調整を行う。	5:59	・床上、床下圧力が0mmAqとなるように調整する。
-13	2次補助充填弁(V32.2-3)を「全閉」にする。	5:29	
-14	2次純化系電磁ポンプを停止する。 (1) 2次純化系ロジックを「開ロック」にする。 (2) 2次純化系「C/T 送風機」CSを「切」にする。 (3) 「2次純化系電磁ポンプ」を停止する。 (4) 「C/T 温度」調節計(TIC34.2-1)を「MAN」にし、出力を0%にする。 (5) 「A, B 充填元弁」(V34.2-4A, 5A, 4B, 5B)を「閉」にする。	5:29	
-15	2次主循環ポンプA, Bを停止する。	5:33	
-16	2次主ポンプ油ポンプ2A, 1Bを停止する。	5:33	
-17	2次主ポンプ抵抗ファン2A, 1Bを停止する。	5:33	
-18	オーバフロー系電磁ポンプを停止する。	5:50	
-19	1次純化系電磁ポンプを停止する。	5:57	

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
1-20	A, BボニーモータのCSを「切引保持」にする	6:04	
-21	1次補助電磁ポンプを起動する。 (1) 補助電磁ポンプ冷却ダンパを全開にする。 (2) 補助電磁ポンプCS(D系)を「入」とし、 電磁ポンプを起動する。 (3) 補助電磁ポンプIVR・CSを「増」とし、 流量を65m ³ /hにする。		
	<>電源操作<>		(6:10) 2課中制入り
	6S電源 切替え 6C電源 特殊受電 6Cインバータ 停止 5C電源 停電及び、5C整流装置 停止 7C電源 特殊受電 7C整流装置 停止	6:13 7:03	電10.25-1参照
	<>電源操作後<>		
2-1	2次Naレベル計の電源を「ON」にする。(6C)	7:13	
-2	1次Na液面計変換器(2)の LIC31. 1-4A(1次主ポンプA液面) LIC31. 1-4B(1次主ポンプB液面) LIC31. 1-5A(O/F-C, A液面) LIC31. 1-5B(O/F-C, B液面) を「MAN」から「AUTO」に切り換える。	7:09	・A-504(#202-2)
-3	「A, B充填元弁」(V34.2-4A, 5A, 4B, 5B)を 「開」にする。	7:15	
-4	「2次純化系電磁ポンプ」を起動する。 (流量 4/2m ³ /hに調整する。)		
-5	2次純化系「C/T送風機」を起動する。		
-6	2次補助充填弁(V32.2-3)を「2%開」にする。		
-7	2次主ポンプ油ポンプ2A, 1Bを起動する。		
-8	2次主ポンプ抵抗ファン2A, 1Bを起動する。		
-9	2次主循環ポンプA, Bを起動する。	7:22	
-10	2次純化系ロジックCOSを「復帰」にする	7:30	
-11	オーバフロー系電磁ポンプを起動する。	7:28	
-12	1次純化系電磁ポンプを起動する。	7:36	

操作順序	操 作 内 容	操作時刻	備 考
-13	N2 ガス隔離弁V74-6のCSを「開」にする (6C)		
-14	Arガス隔離弁V73-13のCSを「開」にする。 (6C)		
-15	核計装CH-1, 3, 4, 6, 7のモードSWを 「測定」にする。(6C, 6S)	7:52	
-16	2次補助貫通部ヒータのCSを「入」にする。 (6S) CS 「P-108-01H~04H」 CS 「P-109-01H~04H」	7:19	
-17	「常陽」警備所へ復電の連絡をする。(6S)	7:19	
-18	格納容器雰囲気監視装置(ハロゲン計、酸素濃度 計、湿分計)を起動する。	7:59	・添付資料-6参照
-19	CT冷却ガス放射能モニタ盤を起動する。(6S)	8:16	・A-207 のマニュアル参照
-20	FFD-CG法を復旧する。	8:11	・添付資料-12参照
-21	放射線監視盤の起動を確認する。	7:55	放管にて起動
-22	2次主PL計を「Power on」でPNC TN9410 95-269 にする。	6	
-23	V84-151を「開」にする。	8:12	
— 2 課点検開始 —			

7 C, 7 D 電源停電時

呼吸ガスヘッダ隔離操作

H3. 11月12日(火)タ 1/2

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前のプラント操作			
	(1) 1次系カバーガス圧力が安定していることを確認する 呼吸ガス圧力調整ヘッダ-圧力(PIS 36.1-9) 50±20mmAq	A-712 (#424)	17:37	
	(2) 1次Ar呼吸ガス圧力調整ヘッダを隔離する。			・隔離の復旧まで カバーガス圧力の調整が不能の為、 圧力監視を行う。
	(a) 供給弁 V36.1-20, 22 「閉」	A-712 (#424)	17:37	
	(b) 排気弁 V36.1-44, 46 「自動」 (確認)	"	"	
	(c) 1次D/T(B)呼吸弁 V36.1-29B 「閉」	R-303	17:39	・隔離状態中、 カバーガス圧力に異常が生じた場合は、 速やかに隔離を復旧する。 順序：3
	(d) 1次主ポンプ(B)呼吸弁 V36.1-33 「閉」	"	17:39	
	(e) 1次主ポンプ(A)呼吸弁 V36.1-34 「閉」	"	17:40	
	(f) R/V, IHX (A), (B)呼吸弁 V36.1-31 「閉」 (確認)	"	17:40	
	(3) 1次Ar呼吸ガス圧力調整ヘッダのガスパージを行う	A-712 (#424)	17:37	
	(a) V36.1-44 「閉」			
	(b) V36.1-22(供給弁小弁)を手動で「開閉」し、 呼吸ガス圧力調整ヘッダのガスパージを3回行う		17:42	・V36.1-22手動「開」にて、 V36.1-46が自動「開」で1回 と替え、V36.1-22を「閉」とする。
	(c) V36.1-44 「自動」		17:42	
	(d) V36.1-22 「閉」確認		17:43	
	(4) 1次Ar呼吸ガス圧力調整ヘッダを負圧にする。	A-712 (#424)		・炉容器カバーガス圧力に注意。
	(a) 排気弁 V36.1-46 「開」			
	(b) 呼吸ガス圧力ヘッダ-圧力(V36.1-9) 0mmAq以下 確認			
	(c) 排気弁 V36.1-46 「自動」		17:44	

H3. 11月12日(火)タ 2/2

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
2	電源切替え操作を実施する。			・電源操作マニュアル参照
3	操作後、プラント復旧			
	(1) 1次Ar呼吸ガスヘッダ安全弁(V36.1-62A 62B)が「閉」になった事を確認する。	A-712 (#424)	19:10	
	(2) 1次Ar呼吸ガス圧力調整ヘッダのガスパージを行う	A-712 (#424)		
	(a) V36.1-44 「閉」		19:11	
	(b) V36.1-22(供給弁小弁)を手動で「開閉」し、呼吸ガス圧力調整ヘッダのガスパージを10回行う。		19:11	・V36.1-22手動「開」にて、V36.1-46が自動「開」で1回かき換え、V36.1-22を「閉」とする。
	(c) V36.1-44 「自動」			
	(d) V36.1-22 「閉」確認			
	(3) 1次Ar呼吸ガス圧力調整ヘッダを復旧する。			
	(a) 1次D/T(B)呼吸弁 V36.1-29B 「開」	R-303	19:20	
	(b) 1次主ポンプ(B)呼吸弁 V36.1-33 「開」	R-303	19:20	
	(c) 1次主ポンプ(A)呼吸弁 V36.1-34 「開」	R-303	19:21	
	(d) 供給弁 V36.1-20, 22 「自動」	A-712 (#424)	19:22	
	(e) 排気弁 V36.1-44, 46 「自動」(確認)	A-712 (#424)	19:22	
	(4) 1次系カバーガス圧力制御が正常に行われている事を確認する。	A-712 (#424)		

電源設備点検時 5C, 7C整流装置
 プラント操作 6Cインバータ 運転
 チェックシート 7C負荷電圧補償装置

H3. 11月12日(火) 1/3

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
＝ 2 課点検終了 ＝			
<>電源操作前<>			
1-1	機器運転状態確認(プラント状態表による。)	17:20	
-2	「常陽」警備所へ停電の連絡をする。(6S)	17:58	P. P用 電源
-3	核計装CH-1, 3, 4, 6, 7のモードSWを「零」にする。(6C, 6S)	17:10	
-4	CT冷却ガス放射能モニタ盤を停止する。(6S)	15:29	・A-207 のマニュアル参照
-5	格納容器雰囲気監視装置(ハロゲン計、酸素濃度計、湿分計)を停止する。	17:30	・添付資料-6参照 ・V84-93 F. Cにて、サンプルガスの排気が不可となる為 ・添付資料-12参照
-6	FFD-CG法を停止する。(6S)		
-7	放射線監視盤の停止を確認する。(6C)(IM-1)	17:14	・直にて実施
-8	2次主PL計を「Power on」にする。	15:38	
-9	遮蔽コンクリート冷却圧力制御系の「MAN」を確認する。		・V84-93のF. C対策 「N2 排気弁(内)」
-10	V84-151を「閉」とする。(R-401)	17:48	・V84-150 のF. O対策
-11	床下N2 圧力制御系を「MAN」0% から、「MAN」50%に変更する。	17:51	
-12	空気導入弁V84-87の開度調整を行う。	17:51	・床上、床下圧力が0 mmAqとなるように調整する。
-13	2次補助充填弁(V32.2-3)を「全閉」にする。	17:52	
-14	2次純化系電磁ポンプを停止する。 (1) 2次純化系ロジックを「開ロック」にする。 (2) 2次「C/T送風機」CSを「切」にする。 (3) 「2次純化系電磁ポンプ」を停止する。 (4) 「C/T温度」調節計(TIC34.2-1)を「MAN」にし、出力を0%にする。 (5) 「A, B充填元弁」(V34.2-4A, 5A, 4B, 5B)を「閉」にする。	17:53	
-15	2次主循環ポンプA, Bを停止する。	17:56	
-16	2次主ポンプ油ポンプ1A, 2Bを停止する。	17:56	
-17	2次主ポンプ抵抗ファン1A, 2Bを停止する	17:57	
-18	1次Ar呼吸ガス圧力調整ヘッダの制御モードを「低圧」から「通常」に切り換える。		(確認のみ)

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
	<>電源操作<>		
	7C電源 特殊受電復帰及び、 7C整流装置 運転	18:04	電11. 12-1参照
	5C電源 復電及び、5C整流装置 運転 6Cインバータ 運転 6C電源 特殊受電復帰 6S電源 切替え	18:51	
	<>電源操作後<>		
2-1	2次Naレベル計の電源を「ON」にする。(6C)	18:53	
-2	1次Na液面計変換器(2)の LIC31. 1-4A(1次主ポンプA液面) LIC31. 1-4B(1次主ポンプB液面) LIC31. 1-5A(O/F-C, A液面) LIC31. 1-5B(O/F-C, B液面) を「MAN」から「AUTO」に切り換える。	18:54	・A-504(#202-2)
-3	「A, B充填元弁」(V34.2-4A, 5A, 4B, 5B)を 「開」にする。	18:57	
-4	「2次純化系電磁ポンプ」を起動する。 (流量 4/2m ³ /hに調整する。)	18:57	
-5	2次純化系C/T送風機を起動する。		
-6	2次主ポンプ油ポンプ1A, 2Bを起動する。	18:59	
-7	2次主ポンプ抵抗ファン1A, 2Bを起動する	18:58	
-8	2次主循環ポンプA, Bを起動する。	19:04	
-9	2次純化系ロジックを「復帰」にする。	19:14	
-10	2次補助充填弁(V32.2-3)を「2%開」にする。	19:14	
-11	N2ガス隔離弁V74-6のCSを「開」にする (6C)	18:50	
-12	Arガス隔離弁V73-13のCSを「開」にす る。 (6C)	18:50	
-13	核計装CH-1, 3, 4, 6, 7のモードSWを 「測定」にする。 (6C, 6S)	19:05	
-14	2次補助貫通部ヒータのCSを「入」にする。 (6S) CS 「P-108-01H~04H」 CS 「P-109-01H~04H」	19:22	

操作順序	操 作 内 容	操作時刻	備 考
-15	「常陽」警備所へ復電の連絡をする。(6S)	19:10	
-16	格納容器雰囲気監視装置(ハロゲン計、酸素濃度計、湿分計)を起動する。	19:26	・添付資料-6参照
-17	CT冷却ガス放射能モニタ盤を起動する。(6S)	19:34	・A-207のマニュアル参照
-18	FFD-CG法を復旧する。	(停止中)	・添付資料-12参照
-19	放射線監視盤を起動する。	19:20	・直にて起動
-20	2次主PL計を「Power on」から「Stand by」にする。	19:18	
-21	V84-151を「全開」とする。	19:23	
-22	1次Ar呼吸ガス圧力調整ヘッダの制御モードを「通常」から「低圧」に切り換える。	19:24	

7 C, 7 D 電源停電時

呼吸ガスヘッダ隔離操作

H3. 11月14日(木) 朝 1/2

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前のプラント操作			
(1)	1次系カバーガス圧力が安定していることを確認する 呼吸ガス圧力調整ヘッダ圧力(PIS 36.1-9) 5.0 ± 2.0 mmAq	A-712 (#424)	6:00	
(2)	1次Ar呼吸ガス圧力調整ヘッダを隔離する。			・隔離の復旧まで カバーガス圧力の調整が不能の為、 圧力監視を行う。
(a)	供給弁 V36.1-20, 22 「閉」	A-712 (#424)	6:03	・隔離状態中、 カバーガス圧力に異常が生じた場合は、 速やかに隔離を復旧する。 順序：3
(b)	排気弁 V36.1-44, 46 「自動」 (確認)	"		
(c)	1次D/T(B)呼吸弁 V36.1-29B 「閉」	R-303		
(d)	1次主ポンプ(B)呼吸弁 V36.1-33 「閉」	"		
(e)	1次主ポンプ(A)呼吸弁 V36.1-34 「閉」	"		
(f)	R/V, IHX (A), (B)呼吸弁 V36.1-31 「閉」 (確認)	"		
(3)	1次Ar呼吸ガス圧力調整ヘッダのガスパージを行う	A-712 (#424)		
(a)	V36.1-44 「閉」			・V36.1-22手動 「開」にて、V36.1-46が自動「開」 で1回とせよ、V36.1-22を「閉」とする。
(b)	V36.1-22 (供給弁小弁)を手動で「開閉」し、呼吸ガス圧力調整ヘッダのガスパージを3回行う			
(c)	V36.1-44 「自動」			
(d)	V36.1-22 「閉」確認			
(4)	1次Ar呼吸ガス圧力調整ヘッダを負圧にする。	A-712 (#424)		・炉容器カバーガス圧力に注意。
(a)	排気弁 V36.1-46 「開」			
(b)	呼吸ガス圧力ヘッダ圧力 (V36.1-9) 0 mmAq以下 確認			
(c)	排気弁 V36.1-46 「自動」			

H3. 11月14日(木)朝 2/2

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
2	電源切替え操作を実施する。			・電源操作マニュアル参照
3	操作後、プラント復旧			
	(1) 1次Ar呼吸ガスヘッダ安全弁(V36.1-62A 62B)が「閉」になった事を確認する。	A-712 (#424)		
	(2) 1次Ar呼吸ガス圧力調整ヘッダのガスパージを行う	A-712 (#424)		
	(a) V36.1-44 「閉」			
	(b) V36.1-22(供給弁小弁)を手動で「開閉」し、呼吸ガス圧力調整ヘッダのガスパージを10回行う。			・V36.1-22手動「開」にて、V36.1-46が自動「開」で1回と替え、V36.1-22を「閉」とする。
	(c) V36.1-44 「自動」			
	(d) V36.1-22 「閉」確認			
	(3) 1次Ar呼吸ガス圧力調整ヘッダを復旧する。			
	(a) 1次D/T(B)呼吸弁 V36.1-29B 「開」	R-303		
	(b) 1次主ポンプ(B)呼吸弁 V36.1-33 「開」	R-303		
	(c) 1次主ポンプ(A)呼吸弁 V36.1-34 「開」	R-303		
	(d) 供給弁 V36.1-20, 22 「自動」	A-712 (#424)		
	(e) 排気弁 V36.1-44, 46 「自動」 (確認)	A-712 (#424)		
	(4) 1次系カバースガス圧力制御が正常に行われている事を確認する。	A-712 (#424)	7:06	

電源設備点検時
プラント操作
チェックシート

5D及び7D整流装置
6Dインバータ
7D負荷電圧補償装置

点検

H3. 11月14日(木) 1/2

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
< 電源操作前 >			
1-1	放射線監視盤 (IM-2) の停止を確認する。 (6D)		・放管にて11月13日に停止
-2	機器運転状態確認 (プラント状態表による)		
-3	核計装CH-2、5、8のモードスイッチを「零」にする。 (6D)	6:11	
-4	格納容器雰囲気監視盤 (ハロゲン計、酸素濃度計、湿分計) を停止する。	6:07	・V84-94F.Cにて、サンプルガスの排気が不可となるため。 ・添付資料-6参照
-5	遮蔽コンクリート冷却圧力制御系の「MAN」を確認し、床下N ₂ 圧力制御系を「MAN」0%から、「MAN」50%を確認する。	6:21	・N ₂ 排気弁V84-94F.C 対策
-6	空気導入弁V84-87を「閉」にする。		・N ₂ 排気弁V84-94F.C 対策 (開度を確認しておく)
-7	7S電源母線切り替え前スタコンをOFFにする。	6:08	
-8	2号D/G43AM2を「自動」から「手動」に切り替える。	6:12	・7D電源復電時の2号D/G自動起動阻止
-9	2次補助PL計を「POWER ON」にする。	6:02	
-10	2次主PL計を「POWER ON」にする。	6:04	
-11	2次補助充填弁V32. 2-3を「全閉」にする。	6:08	
-12	2次純化系ロジックを「開ロック」にする。	6:14	
-13	2次主循環ポンプBを停止する。(7D)	6:16	
-14	2次Na純化系CT送風機を停止する。	6:18	
-15	電磁ポンプを停止する。	6:18	
-16	V34. 2-4A, 5A, 4B, 5Bを「全閉」にする。	6:18	
-17	2次補助電磁ポンプ、冷却ファンNO1を停止する (7S)	6:19	

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
< 電源操作 >			
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6 D電源特殊受電 ・ 6 Dインバータ停止 ・ 5 D電源停止、5 D整流装置停止 ・ 7 S電源母線切り替え ・ 7 D電源特殊受電 ・ 7 D整流装置停止 	6 : 3 0 ↓ 6 : 5 8	電 1 1 . 1 4 - 3 参照 電 1 1 . 1 4 - 4 参照 電 1 1 . 1 4 - 4 参照 電 1 1 . 1 4 - 5 参照 電 1 1 . 1 4 - 6 参照 電 1 1 . 1 4 - 6 参照
< 電源操作後 >			
2- 1	2次系予熱ヒータ制御装置を復旧する。		
- 2	2次主循環ポンプ潤滑油ポンプ2Bを起動する。	7 : 1 5	
- 3	2次主循環ポンプBを起動する。	7 : 1 8	
- 4	2次補助充填弁V32. 2-3を「2%開」にする	7 : 2 6	
- 5	V34. 2-4A, 5A, 4B, 5Bを「全開」にする。	7 : 2 6	
- 6	2次Na純化系電磁ポンプを起動する	7 : 2 6	
- 7	” CT送風機を起動する	7 : 2 6	
- 8	2次補助電磁ポンプ、冷却ファンNO1を起動する	7 : 3 1	
- 9	2次Na純化系ロジックを「復帰」にする。	7 : 3 5	
- 10	2次補助PL計を「OPERATION」にする。		
- 11	2次主PL計を「STAND BY」にする。	7 : 2 6	「STAND BY」→「OPERATION」
- 12	2号D/G43AM2を「手動」から「自動」に切り替える。	7 : 2 6	
- 13	N ₂ ガス隔離弁V74-5のCSを「開」にする。	7 : 1 2	・ Rランプ点灯確認
- 14	Arガス隔離弁V73-12のCSを「開」にする	7 : 1 2	・ Rランプ点灯確認
- 15	核計装CH-2、5、8のモードスイッチを「測定」にする。	7 : 3 0	
- 16	2次系Naレベル計の電源を「ON」にする。	7 : 2 5	・ 2次系D/Tレベル計 「M」→「A」
- 17	スタコンを負荷に合わせて投入する。	7 : 3 6	
- 18	格納容器雰囲気監視盤(ハロゲン計、酸素濃度計、湿分計)を起動する。	7 : 0 6	・ 添付資料-6参照
- 19	空気導入弁(V84-87)を開にする。		
＝ 2 課点検開始 ＝			

電源設備点検時
プラント操作
チェックシート

2D-P/C主回路更新

H3. 11月18日(月) 1/1

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
	<<電源操作前プラント操作>>	5:30	プラント状態表参照
1-1	圧空コンプレッサー A/C→A/B		
-2	主循環ポンプ上蓋室再循環ファン 停止		
-3	主循環ポンプ上蓋室東側軸流ファン 停止		
-4	廃ガス処理室系給・排気ファン B→A		
-5	格納容器換気設備室系排気ファン B→A		
-6	P/C室(B)給気ファン 停止		
-7	2号DG 停止		
-8	1次主循環ポンプ油ポンプ 2B→1B		
-9	メンテナンス建家のゲートモニタ 停止	11/17 16:10	放管にて停止
-1	主冷空調P2からP1に切替えをボイラ室に連絡する。		
2	<<4D電源特殊受電操作>> 2D-P/C受電から 4C→4S→4D受電に切り替える。	6:45 ↓ 6:52	電11.18-3参照
3	<<2D-P/C停電操作>>	6:55 ↓ 7:31	電11.18-3参照
	<<2課点検開始>>	(8:00)	

電源設備点検時
プラント操作
チェックシート

2 D P / C 点検

H3. 11月24日(日) 1/1

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
	<< 2 課 点検 終了 >>		
	<u>2 D P/C電源復電操作</u>	9:13 ~ 9:52 9:26 復電	電 11. 24-3 参照
	<u>2 D P/C電源復電操作後</u>		
1 - 1	主冷空調切替可である旨をボイラ室に連絡する。		} 84系ファン点検中のため 起動せず。
- 2	1次主循環ポンプ油ポンプを、1 Bから2 Bへ切り換える。		
- 3	主循環ポンプ上蓋室再循環ファンBを起動する。		
- 4	主循環ポンプ上蓋室東側軸流ファンを起動する。		
- 5	P/C室給気ファンBを起動する。		
	<u>4 D電源切換え操作前</u>		
2	床下雰囲気監視盤を停止する。		
	<u>4 D電源切換え操作</u>	10:10 10:19 復電	電 11. 24-4 参照
	<u>4 D電源切換え操作後</u>		
3 - 1	床下雰囲気監視盤を起動する。		

電源設備点検時
プラント操作
チェックシート

1 D - M / C 点検

H3. 11月25日(月) 1/2

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
	<> 電源切替 停電操作前 <>		
1 - 1	機器運転状態確認(プラント状態表による)		廃棄物処理建家は11/22 処置済
- 2	FFD-CG法(ガスクロ含む)を停止する。	5:15	
- 3	圧空コンプレッサーをA/C からA/B に切り替える。	5:25	
- 4	格内ベビコンが停止中であることを確認する。		
- 5	格内ベビコン2台のCOSを「停止」にする。	5:15	
- 6	DG-P/C室(B)給気ファンNo.1を停止する。	5:18	
- 7	1次主循環ポンプ(B)油ポンプを2Bから1Bに切り替える。	5:40	
- 8	常陽警備所へ停電の連絡をおこなう。	6:10	P・P関係
	<< 電源操作 >>		(6:20 2課 中制入り)
	<> 3 D・3 S-P/C 特殊受電操作 <> (1D-M/C受電から3C-P/C受電に切り替える。)	6:20	電11. 25-3参照
	<> 2 D-P/C 特殊受電操作 <> (1D-M/C受電から2C・2SP/C 受電に切り替える。)	6:37	電11. 25-4参照
	<> 1 HD-P/C 母線連絡操作 <> (1D-M/C受電から1HC-P/C 受電に切り替える。)	6:59	電11. 25-5参照
	<> 2 HD-P/C 母線連絡操作 <> (1D-M/C受電から2HC-P/C 受電に切り替える。)	7:08	電11. 25-5参照
	<> 1 D - M / C 停電操作 <>	7:20 ↓ 7:48	電11. 25-6参照

操作順序	操 作 内 容	操作時刻	備 考
	<> 電源切替 停電操作後 <>		
2- 1	常陽警備所へ復電操作完了の連絡を行う。	7:30	P・P関係
- 2	2次系予熱ヒータ引込みユニットNFBの「ON」を確認する。	7:33	
- 3	FFD-CG法(ガスクロ含む)を起動する。	7:53	
- 4	DG-P/C室(B)給気ファンNo.1を起動する。	7:58	
- 5	格内ベピコン2台のCOSを「自動」にする。	8:10	
- 6	1次主循環ポンプ(B)油ポンプを1Bから2Bに切り替える。	8:20	
- 7	圧空コンプレッサーをA/B からA/C に切り替える。	8:13	
- 8	FFD-CG法の運転状態を確認する。		
- 7	A-504室の冷房装置を起動する。	8:30	
	＝ 2 課 点検開始 ＝		

電源設備点検時 プラント操作 チェックシート
 5 D及び7 D整流装置
 6 Dインバータ
 7 D負荷電圧補償装置
 点検

H3. 11月30日(土) 1/2

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
= 2 課点検終了 =			
< 電源操作前 >			
1- 1	機器運転状態確認(プラント状態表による)		
- 2	核計装CH-2、5、8のモードスイッチを「零」にする。	13:05	
- 3	床下窒素雰囲気監視盤(ハロゲン計、酸素濃度計、湿分計)を停止する。	13:20	・N ₂ 排気弁V84-94F.C対策 ・添付資料-6参照
- 4	空気導入弁V84-87を「閉」にする。	13:31	・N ₂ 排気弁V84-94F.C対策 (開度を確認しておく。)
- 5	7S電源母線切り替え前スタコンをOFFにする。	13:32	
- 6	2号D/G43AM2を「自動」から「手動」に切り替える。		・7D電源復電時の2号D/G 自動起動阻止
< 電源操作 >			
	<ul style="list-style-type: none"> ・7D整流装置運転 ・7D電源特殊受電復旧 ・7S電源復旧 ・5D電源復旧及び5D整流装置運転 ・6Dインバータ運転 ・6D電源特殊受電復旧 	14:10 ↓ 15:21	電11.30-3参照 電11.30-3参照 電11.30-4参照 電11.30-5参照 電11.30-6参照 電11.30-7参照
< 電源操作後 >			
2- 1	2号D/G43AM2を「手動」から「自動」に切り替える。	15:24	
- 2	N ₂ ガス隔離弁V74-5のCSを「開」にする。		・Rランプ点灯確認
- 3	Arガス隔離弁V73-12のCSを「開」にする		・Rランプ点灯確認
- 4	空気導入弁V84-87を「開」にする。		

操作順序	操 作 内 容	操作時刻	備 考
- 5	核計装CH-2、5、8のモードスイッチを「測定」にする。	15:49	
- 6	2次系Naレベル計の電源を「ON」にする。	15:24	・2次系D/Tレベル計 「M」→「A」
- 7	スタコンを負荷に合わせて投入する。	15:47	
- 8	格納容器雰囲気監視盤（ハロゲン計、酸素濃度計、湿分計）を起動する。	17:11 ~ 19:50	・添付資料-6 参照
- 9	放射線監視盤を起動する。（IM-2）		・放管にて起動
- 10	弁ロックを復旧する。	18:15 ~ 19:45	・添付資料-11 参照

電源設備点検時
プラント操作チェックシート

1 D - M / C 復電

H3. 12月 1日(日) 1/1

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
= 2 課 点検終了 =			
<> 電源切替 復旧作業前 <>			
1- 1	格内ベビコンが停止中であることを確認し、格内ベビコン2台のCOSを「停止」にする。		復電時の起動防止
- 2	FFD-CG法(ガスクロ含む)を停止する。		
- 3	圧空コンプレッサーをA/C からA/B に切り替える。		
- 4	DG-P/C室(B)給気ファンNo.1を停止する。		
- 5	1次主循環ポンプ(B)油ポンプを2Bから1Bに切り替える。		
- 6	常陽警備所へ停電連絡を行う。		P・P関係
<> 1 D - M / C 復電操作 <>			
		10:23	電12. 1-3参照
<> 1HD-P/C 母線連絡復帰操作 <> (1HC-P/C 受電から1D-M/C受電に切り替える。)			
			電12. 1-5参照
<> 2HD-P/C 母線連絡復帰操作 <> (2HC-P/C 受電から1D-M/C受電に切り替える。)			
			電12. 1-5参照
<> 3D・3S-P/C特殊受電復帰操作<> (3C-P/C受電から1D-M/C受電に切り替える。)			
			電12. 1-6参照
<> 2D-P/C 特殊受電復帰操作<> (2C・2SP/C 受電から1D-M/C受電に切り替える。)			
		11:50	電12. 1-6参照
<> 電源切替 復電操作後 <>			
2- 1	2次系予熱ヒータ引込みユニットNFBの「ON」を確認する。		
- 2	常陽警備所へ復電完了の連絡を行う。		P・P関係
- 3	FFD-CG法(ガスクロ含む)を起動する。		
- 4	DG-P/C室(B)給気ファンNo.1を起動する。		
- 5	圧空コンプレッサーをA/B からA/C に切り替える。		
- 6	格内ベビコン2台のCOSを「自動」にする。		
- 7	1次主循環ポンプ(B)油ポンプを1Bから2Bに切り替える。		
- 8	メンテナンス建家のゲートモニタを起動する。	12/2実施	2日放管にて起動 (担当者: △△氏)

電源設備点検時
プラント操作
チェックシート

1 C-M/C
主回路更新

H3. 12月 4日 (水) 1/2

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
<>電源操作前プラント操作<>			
1-1	機器運転状態確認		プラント状態表参照
-2	圧空C/PをB/CからC/Bに切り替える。		
-3	1次現場制御室系給・排気ファンをNo.1からNo.2に切り替える。		
-4	SFF建家非常系負荷の停止をボイラー室に依頼する。	15:50	
-5	放管関係機器の停止を確認する。		放管にて停止 12月3日実施 (担当者:干場氏)
-6	格納容器雰囲気監視装置を停止する。 (ハロゲン計、酸素濃度計、湿分計)	16:50	添付資料-6参照
-7	旋回クレーン作業、燃取作業が停止中であることを確認する。		
-8	1次系ガスクロ停止(4C)、FFD-CG法停止	16:41	
-9	格 設備室系給気ファンNo. 1を停止する。		(止まっていた)
-10	水冷却池水処理設備の停止を確認する。		水冷却池水処理設備点検中
-11	床ドレンピットポンプの選択COSを「自動」から「手動」に切り替える。	16:13	
-12	P/C(A)給気ファンNo. 1を停止する。	16:05	
-13	照射課に2C-P/Cの停電を連絡する。		担当:野口氏(2685)
<> 電源操作 <>			
	4S電源受電切替え(4C受電から4D受電)	19:53	電12.4-3参照
	3C-P/C特殊受電(3C←3S・3D)	↓	電12.4-4参照
	2C・2S-P/C特殊受電(2C・2S←2D)	21:06	電12.4-5参照
<>電源操作後<>			
2-1	照射課に2C-P/Cの復電を連絡する。		担当:野口氏 12月5日 9:00
-2	放管関係機器の起動を確認する。		担当:干場氏 12月5日 9:00 (IRAF、水モニタ)

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
- 3	格納容器雰囲気監視盤を起動する。 (ハロゲン計、酸素濃度計、湿分計)		添付資料-6 参照
- 4	1次予熱ヒータを再スタートさせる。	21:12	
- 5	格 設備室系給気ファンNo. 1を起動する。		
- 6	床ドレンピットポンプの選択COSを「手動」から「自動」に切り替える。	20:30	
- 7	1次系ガスクロ起動、FFD-CG法起動		
- 8	燃取格外制御盤の制御電源(4S)を「入」にし 24系隔離弁を「開」、T/Rタンク隔離弁を「開」にする。	21:09	
- 9	廃ガスタンク選択ボタンを「ON」にする。	21:11	
- 10	SFF建家非常系負荷の起動をボイラ室に依頼する。	21:18	
<>電源操作<>			
	1 HC-P/C 母線連絡	21:10	電12.4-6 参照
	2 HC-P/C 母線連絡	↓	電12.4-7 参照
	1 C-M/C 停電	22:30	電12.4-7 参照
————— 2課 点検開始 —————			

電源設備点検時
プラント操作
チェックシート

1 C - M / C 点検

H3. 12月10日(火) 1/2

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
	————— 2課 点検終了 —————		
	<>電源操作<>		
	1 C - M / C 復電	17:16	電12. 10-3
	1 HC - P / C 母線切替	↓	電12. 10-4
	2 HC - P / C 母線切替	18:08	電12. 10-5
	<>電源操作前<>		
4- 1	S F F 建家非常系負荷の停止をボイラー室に依頼する。	16:04	
- 2	格納容器雰囲気監視装置を停止する。(2S) (ハロゲン計、酸素濃度計、湿分計)	16:40	添付資料-6 参照
- 3	旋回クレーン作業、燃取作業が停止中であることを確認する。		
- 4	格 設備室系給気ファンNo. 1を停止する。	17:03	
- 5	1次系ガスクロ停止、F F D - C G 法停止	16:25	添付資料-12 参照
- 6	P / C (A) 給気ファンNo. 1を停止する。	16:04	
- 7	水冷却池水処理設備を停止する。		燃取Grにて停止 (担当:鈴木(寿)氏)
- 8	床ドレンピットポンプの選択COSを「自動」から「手動」に切り替える。	17:01	
- 9	放管関係機器の停止を確認する。	16:57	放管にて停止 (担当:干場氏)
- 10	I R A F の空調を停止する。	16:57	照射課にて停止

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
<>電源操作<>			
	3C-P/C特殊受電復帰	18:04	電12. 10-5参照
	2C・2S-P/C特殊受電復帰	↓	電12. 10-6参照
	4S電源受電切替え(4Dから4C受電)	18:30	電12. 10-7参照
<>電源操作後<>			
5-1	1次主循環ポンプ潤滑油ポンプを2Bから1Bに切り替える。		
-2	1次系予熱ヒータを再スタートさせる。		
-3	1次系ガスクロ起動、FFD-CG法起動	12/11 4:30	
-4	SFF建家非常系負荷の復旧をボイラー室に依頼する。	19:15	
-5	格納容器雰囲気監視装置を起動する。 (ハロゲン計、酸素濃度計、湿分計)	19:10	添付資料-6参照
-6	主冷空調P-2からP-1に切替えをボイラ室に依頼する。	12/11	
-7	格 設備室系給気ファンNo. 1を起動する。	19:20	
-8	放管関係機器の起動を確認する。		11日放管にて起動 (担当:干場氏)
-9	廃ガスタンク「AB」選択PBをONにする。	19:15	
-10	P/C(A)給気ファンNo. 1を起動する。	18:43	
-11	燃取関係機器(4S)の復旧及び水冷却池水処理設備を起動し、24系隔離弁及びT/R隔離弁を「開」にする。	19:25	燃取Grにて起動 (担当:鈴木(寿)氏)
-12	床ドレンピットポンプの選択COSを「手動」から「自動」に切り替える。	19:15	
-13	IRAFの空調を起動する。	18:41	照射課にて起動
<> 電源操作 終了後 機器切替え <>			
6-1	1次現場制御室給気ファン 2 → 1	} 12/12 実施	
-2	1次現場制御室排気ファン 2 → 1		

電源設備点検時
プラント操作 補助電源盤点検
チェックシート

H4. 2月18日(火) 1/1

操作順序	操作内容	操作時刻	備考
<u>補助電源 停電操作前</u>			
1-1	格内ベビコンが停止中であることを確認する。	9:30	
-2	格内ベビコン 2台のCOSを「停止」にする。		
-3	「常陽」警備所へ停電の連絡をする。	9:27	外周P・P関係
-4	放管関係機器の停止を確認する。	9:24	
-5	1次Na液面計盤の冷房装置を停止する。	9:23	
-6	自動連続式PL計を「運転」から「停止」にする	9:21	H34.1-69,70「ON」
<u>補助電源 停電操作</u>			
2-1	・CB252A4「切」(2A-P/C受電終了)	9:40	電 2.18-3参照
-2	・予熱N2 ガスブロウ制御電源の仮設電源を復旧する。	↓ 10:30	添付資料-1参照
<< 2 課 点 検 >>			
<u>補助電源 復電操作</u>			
3-1	・CB252D10「入」(2D-P/C受電)	16:54 終了	電 2.18-4参照
<u>補助電源 復電操作後</u>			
4-1	格内ベビコン 2台のCOSを「自動」にする。		
-2	「常陽」警備所へ復電の連絡をする。		
-3	1次Na液面計盤の冷房装置を起動する。		
-4	放管関係機器の起動を依頼する。		
-5	自動連続式PL計を「停止」から「待機」にし、8時間以上フラッシングを行う。	17:05	

参考資料－ 2

電源設備操作チェックシート

電源設備操作チェックシート

平成3年10月14日 (月)

PNC TN9410 95-269

<点検対象> 2HC-P/C、1HC-P/C 点検

<操作内容> 1、 2HC-P/C 停電

<< 2課 点検 >>

2、 2HC-P/C 復電

3、 1HC-P/C 停電

<< 2課 点検 >>

4、 1HC-P/C 復電

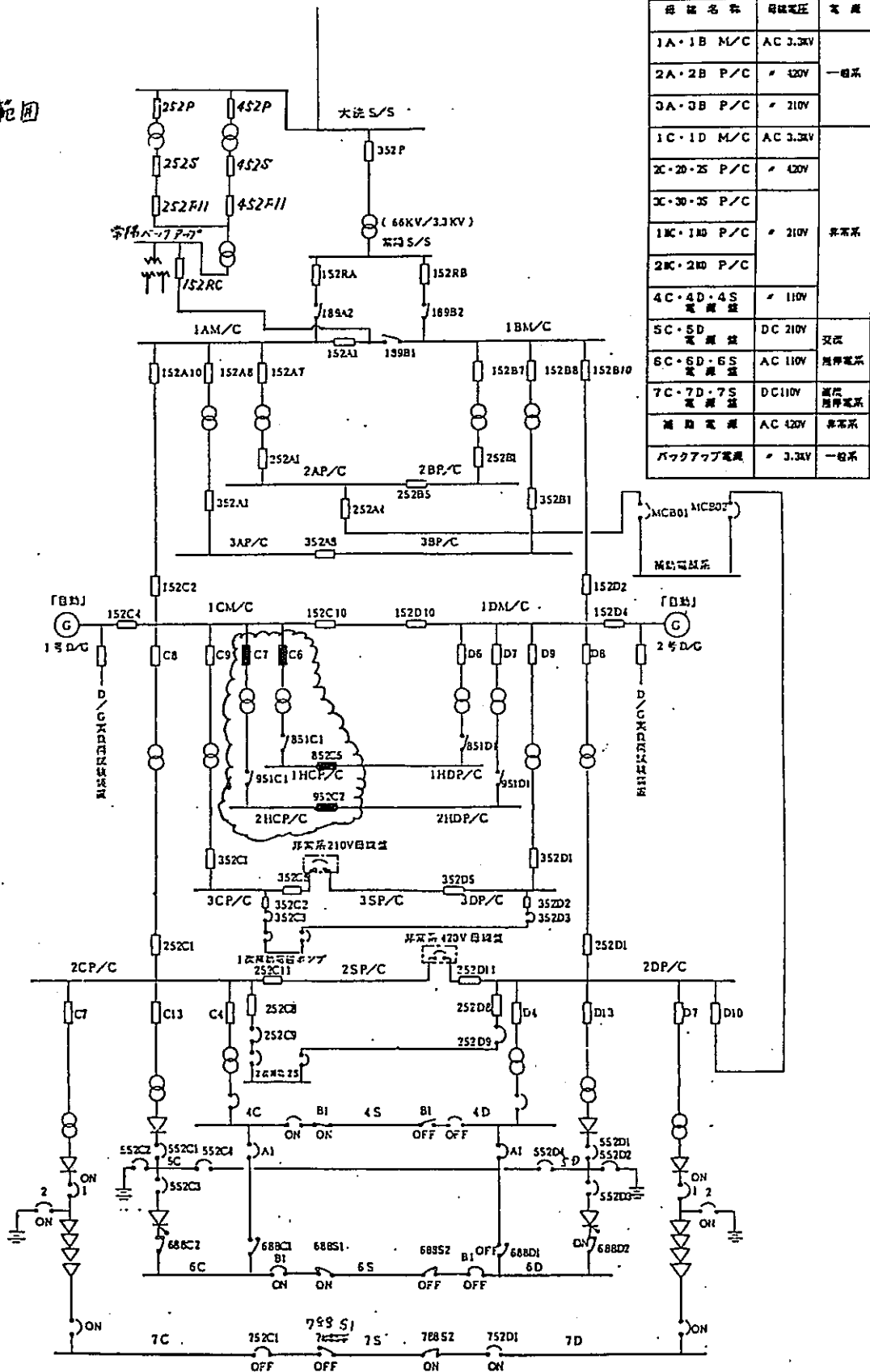
1HC, 2HC-P/C

平成 3 年 / 10 月 / 14 日 (月)

☁ : 停電範囲

□ : ON

■ : OFF



「常陽」電源設備系統図

Oは、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1 / 4)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<u>2HC P/C 停電</u>			
	(a) 2HC P/C の次の各CBを「切」にする。			
	1) 2次予熱ヒータC/C (1)	S-402 (#664)	0	
	2) 2次予熱ヒータC/C (2)		0	
	3) 2次予熱ヒータC/C (3)		0	
	4) 2次予熱ヒータC/C (4)		0	
	(b) 2HC P/C の母線連絡用CB952C2が「切」、制御電源スイッチ”8”が「切」、 CB952C2が「試験位置」である事を確認する。	S-202 (#649)	0	
(c) 1C M/C の2HC P/C用CB152C7を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」 とし、CB152C7を「試験位置」にする。	A-705 (#311)	000	<2HC P/C 停電> 「C系 低電圧」ANN 点灯	
(d) 2HC P/C変圧器2次側のナイフスイッチを「手動開放」とし、制御電源スイッチ”8”を 「切」にする。	S-202 (#649)	00		
(e) 電源設備操作7C分電盤内2HC P/C 制御電源用NFB-B4を「切」にする。	A-706 (#325)	0		
(f) スペースヒータ分電盤内、2次系ヒータ用NFB-B1を「切」にする。	S-201 (#648)	0		
	<< 2課 点検 開始 >>			
	<< 2課 点検 終了 >>			
2	<u>2HC P/C 復電</u>			
(a) 2HC P/C の母線連絡用CB952C2が「切」、制御電源スイッチ”8”が「切」、 CB952C2が「試験位置」である事を確認する。	S-202 (#649)	*		

PNC TN9410 95-269

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(2 / 4)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
	(b) 電源設備操作7C分電盤内2HC P/C 制御電源用NFB-B4を「入」にする。	A-706 (#325)	*	2HC P/C 復電
	(c) 2HC P/C変圧器2次側の制御電源スイッチ"8"を「入」にし、ナイフスイッチを手動投入する。	S-202 (#649)	**	
	(d) 1C M/C の2HC P/C用CB152C7を「運転位置」にし、制御電源スイッチ"8"を「入」とし、CB152C7を「入」にする。	A-705 (#311)	***	
	(e) 2HC P/C の次の各CBを「入」にする。			
	1) 2次予熱ヒータC/C (1)	S-402 (#664)	*	
	2) 2次予熱ヒータC/C (2)		*	
	3) 2次予熱ヒータC/C (3)		*	
	4) 2次予熱ヒータC/C (4)		*	
	(f) 2次予熱ヒータのトリップしている各NFBを一旦「リセット」し、再投入する。	S-501 (#692-1 ~15)		
	(g) スペースヒータ分電盤内、2次系ヒータ用NFB-B1を「入」にする。	S-201 (#648)	*	

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(3 / 4)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
3	<p><u>1HC P/C 停電</u></p> <p>(a) 1HC P/Cの次の各CBを「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CBを「試験位置」にする。</p> <p>1) 1次予熱ヒータ接触器 (1) CB852C2</p> <p>2) 1次予熱ヒータ接触器 (2) CB852C3</p> <p>3) 1次予熱ヒータ接触器 (6) CB852C4</p> <p>4) 2次補助予熱ヒータ接触器 CB852C6</p> <p>(b) 1HC P/C の母線連絡用CB852C5が「切」、制御電源スイッチ”8”が「切」、CB852C5が「試験位置」である事を確認する。</p> <p>(c) 1HC P/C の順序投入COS43Aを「解除」とする。</p> <p>(d) 1C M/C の1HC P/C用CB152C6を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」CB152C6を「試験位置」まで引き出す。</p> <p>(e) 1HC P/C変圧器2次側のナイフスイッチを「手動開放」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」にする。</p> <p>(f) 電源設備操作7C分電盤内1HC P/C 制御電源用NFB-B3を「切」にする。</p> <p>(g) スペースヒータ分電盤内、非常系C用NFB-A4を「切」にする。</p>	<p>A-706 (#322)</p> <p>000</p> <p>000</p> <p>000</p> <p>000</p> <p>A-706 (#322)</p> <p>0</p> <p>A-706 (#322)</p> <p>0</p> <p>A-705 (#311)</p> <p>000</p> <p>-706 (#322)</p> <p>00</p> <p>A-706 (#325)</p> <p>S-201 (#648)</p> <p>0</p>	<p>0</p> <p>0</p> <p>0</p> <p>0</p> <p>0</p> <p>0</p> <p>0</p> <p>0</p> <p>0</p> <p>0</p> <p>0</p>	
<p><< 2課点検開始 >></p> <p><< 2課点検終了 >></p>				

140-

PNC TN9410 95-269

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(4 / 4)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
	<u>1HC P/C 復電</u>			
	(a) 1HC P/C の母線連絡用CB852C5が「切」、制御電源スイッチ”8”が「切」、CB852C5が「試験位置」である事を確認する。	A-706 (#322)	*	
	(b) 電源設備操作7C分電盤内1HC P/C 制御電源用NFB-B3を「入」にする。	A-706 (#325)	*	
	(c) 1HC P/C変圧器2次側の制御電源スイッチ”8”を「入」にし、ナイフスイッチを手動投入する。	A-706 (#322)	**	「C系 低電圧」ANN 発生
	(d) 1C M/C の1HC P/C用CB152C6を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB152C6を「入」にする。	A-705 (#311)	***	1HC P/C 復電
	(e) 1HC P/C の次の各CBを「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CBを「入」にする。	A-706 (#322)		
	1) 1次予熱ヒータ接触器 (1) CB852C2		***	
	2) 1次予熱ヒータ接触器 (2) CB852C3		***	
	3) 1次予熱ヒータ接触器 (6) CB852C4		***	
	4) 2次補助予熱ヒータ接触器 CB852C6		***	
	(f) 1HC P/C の順序投入COS43Aを「自動」にする。	A-706 (#322)	*	
	(g) スペースヒータ分電盤内、非常系C用NFB-A4を「入」にする。	S-201 (#648)	*	
	(h) 2次補助予熱ヒータのトリップしている引き込みユニット (NFB) を投入する。	A-505 (#223)		3ユニット

電源設備操作チェックシート

平成3年10月15日 (火)

PNC TN9410 95-269

<点検対象> 2HC-P/C、1HC-P/C 点検

<操作内容> 1、 2HC-P/C 停電

<< 2課 点検 >>

2、 2HC-P/C 復電

3、 1HC-P/C 停電

<< 2課 点検 >>

4、 1HC-P/C 復電

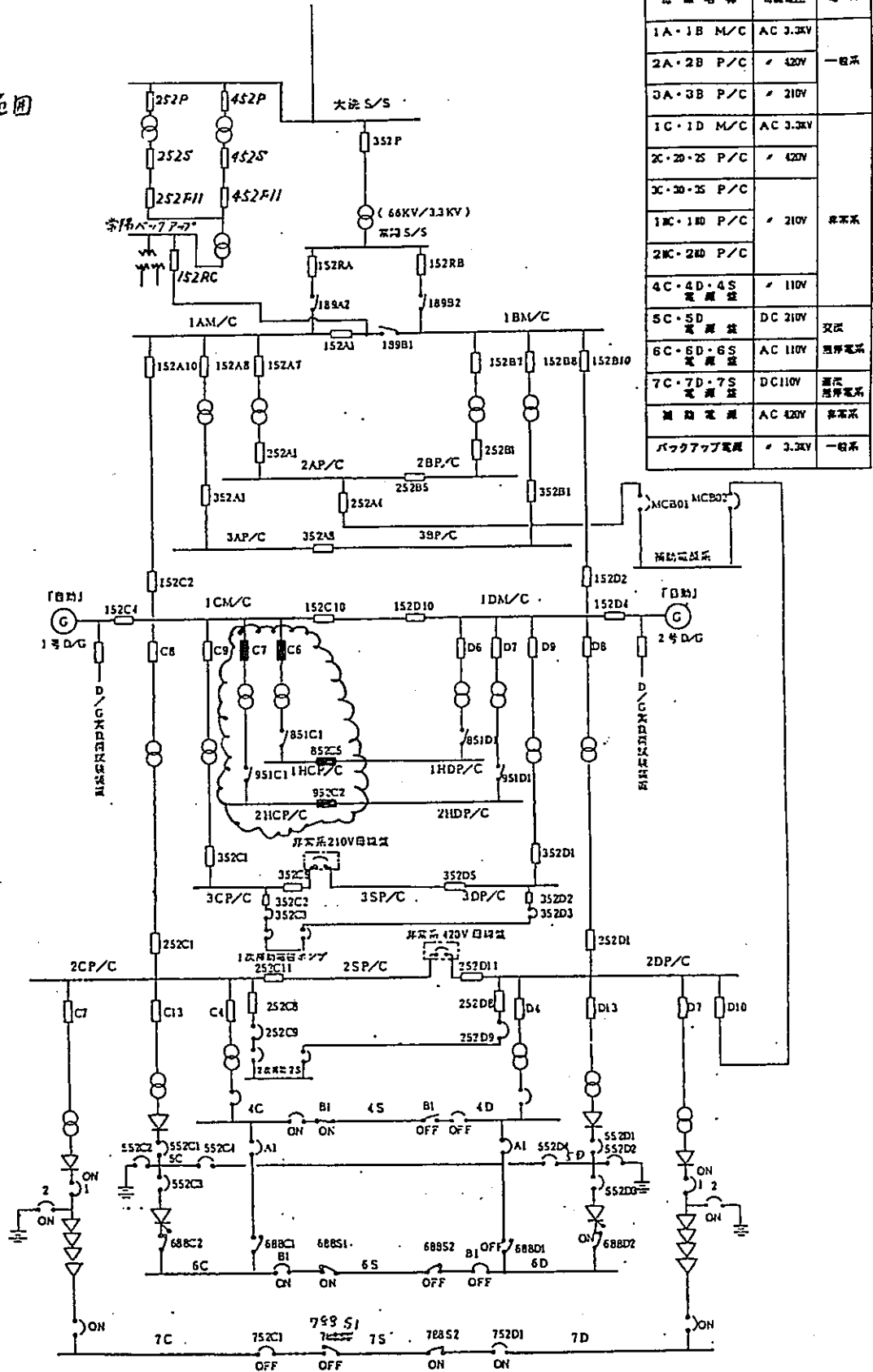
平成3年10月15日(火)

1HC, 2HC-P/C

☁ : 停電範囲

□ : ON

■ : OFF



「常陽」電源設備系統図

電10. 15- 2

Oは、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1 / 4)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<p><u>2HC P/C 停電</u></p> <p>(a) 2HC P/C の次の各CBを「切」にする。</p> <p>1) 2次予熱ヒータC/C (1)</p> <p>2) 2次予熱ヒータC/C (2)</p> <p>3) 2次予熱ヒータC/C (3)</p> <p>4) 2次予熱ヒータC/C (4)</p> <p>(b) 2HC P/C の母線連絡用CB952C2が「切」、制御電源スイッチ”8”が「切」、CB952C2が「試験位置」である事を確認する。</p> <p>(c) 1C M/C の2HC P/C用CB152C7を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」CB152C7を「試験位置」にする。</p> <p>(d) 2HC P/C変圧器2次側のナイフスイッチを「手動開放」とし、制御電源スイッチ”8”を「切」にする。</p> <p>(e) 電源設備操作7C分電盤内2HC P/C 制御電源用NFB-B4を「切」にする。</p> <p>(f) スペースヒータ分電盤内、2次系ヒータ用NFB-B1を「切」にする。</p>	<p>S-402 (#664)</p> <p>0</p> <p>0</p> <p>0</p> <p>0</p> <p>S-202 (#649)</p> <p>0</p> <p>A-705 (#311)</p> <p>000</p> <p>S-202 (#649)</p> <p>00</p> <p>A-706 (#325)</p> <p>S-201 (#648)</p> <p>0</p>	<p>0</p> <p>0</p> <p>0</p> <p>0</p> <p>0</p> <p>0</p> <p>0</p> <p>0</p> <p>0</p> <p>0</p> <p>0</p>	<p><2HC P/C 停電> 「C系 低電圧」ANN 点灯</p>
	<p><< 2課 点検 開始 >></p> <p><< 2課 点検 終了 >></p>			
2	<p><u>2HC P/C 復電</u></p> <p>(a) 2HC P/C の母線連絡用CB952C2が「切」、制御電源スイッチ”8”が「切」、CB952C2が「試験位置」である事を確認する。</p>	<p>S-202 (#649)</p>	<p>*</p>	

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(2 / 4)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
	(b) 電源設備操作7C分電盤内2HC P/C 制御電源用NFB-B4を「入」にする。	A-706 (#325)	*	
	(c) 2HC P/C変圧器2次側の制御電源スイッチ”8”を「入」にし、ナイフスイッチを手動投入する。	S-202 (#649)	**	
	(d) 1C M/C の2HC P/C用CB152C7を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB152C7を「入」にする。	A-705 (#311)	***	< 2HC P/C 復電 >
	(e) 2HC P/C の次の各CBを「入」にする。			
	1) 2次予熱ヒータC/C (1)	S-402 (#664)	*	
	2) 2次予熱ヒータC/C (2)		*	
	3) 2次予熱ヒータC/C (3)		*	
	4) 2次予熱ヒータC/C (4)		*	
	(f) 2次予熱ヒータのトリップしている各NFBを一旦「リセット」し、再投入する。	S-501 (#692-1 ~15)		
	(g) スペースヒータ分電盤内、2次系ヒータ用NFB-B1を「入」にする。	S-201 (#648)	*	

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(3 / 4)

PNC TN9410 95-269

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
3	<p><u>1HC P/C 停電</u></p> <p>(a) 1HC P/Cの各CBを「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CBを「試験位置」にする。</p> <p>1) 1次予熱ヒータ接触器 (1) CB852C2</p> <p>2) 1次予熱ヒータ接触器 (2) CB852C3</p> <p>3) 1次予熱ヒータ接触器 (6) CB852C4</p> <p>4) 2次補助予熱ヒータ接触器 CB852C6</p> <p>(b) 1HC P/C の母線連絡用CB852C5が「切」、制御電源スイッチ”8”が「切」、CB852C5が「試験位置」である事を確認する。</p> <p>(c) 1HC P/C の順序投入COS43Aを「解除」にする。</p> <p>(d) 1C M/C の1HC P/C用CB152C6を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB152C6を「試験位置」にする。</p> <p>(e) 1HC P/C変圧器2次側のナイフスイッチを「手動開放」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」にする。</p> <p>(f) 電源設備操作7C分電盤内1HC P/C 制御電源用NFB-B3を「切」にする。</p> <p>(g) スペースヒータ分電盤内、非常系C用NFB-A4を「切」にする。</p>	<p>A-706 (#322)</p> <p>A-706 (#322)</p> <p>A-706 (#322)</p> <p>A-705 (#311)</p> <p>A-706 (#322)</p> <p>A-706 (#325) S-201 (#648)</p>	<p>000</p> <p>000</p> <p>000</p> <p>000</p> <p>0</p> <p>0</p> <p>000</p> <p>00</p> <p>0</p> <p>0</p>	<p>< 1HC P/C 停電 > 「C系 低電圧」ANN発生</p>
<p><< 2課 点検 開始 >></p> <p><< 2課 点検 終了 >></p>				

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(4 / 4)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
	<u>1HC P/C 復電</u>			
	(a) 1HC P/C の母線連絡用CB852C5が「切」、制御電源スイッチ”8”が「切」、CB852C5が「試験位置」である事を確認する。	A-706 (#322)	*	
	(b) 電源設備操作7C分電盤内1HC P/C 制御電源用NFB-B3を「入」にする。	A-706 (#325)	*	
	(c) 1HC P/C変圧器2次側の制御電源スイッチ”8”を「入」にし、ナイフスイッチを手動投入する。	A-706 (#322)	**	「C系 低電圧」ANN 発生
	(d) 1C M/C の1HC P/C用CB152C6を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB152C6を「入」にする。	A-705 (#311)	***	1HC P/C 復電
	(e) 1HC P/C の次の各CBを「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CBを「入」にする。	A-706 (#322)		
	1) 1次予熱ヒータ接触器 (1) CB852C2		***	
	2) 1次予熱ヒータ接触器 (2) CB852C3		***	
	3) 1次予熱ヒータ接触器 (6) CB852C4		***	
	4) 2次補助予熱ヒータ接触器 CB852C6		***	
	(f) 1HC P/C の順序投入COS43Aを「自動」にする。	A-706 (#322)	*	
	(g) スペースヒータ分電盤内、非常系C用NFB-A4を「入」にする。	S-201 (#648)	*	
	(h) 2次補助予熱ヒータのトリップしている引き込みユニット (NFB) を投入する。	A-505 (#223)		3ユニット

電源設備操作チェックシート

平成3年10月16日 (水)

PNC TN9410 95-269

<点検対象> 2A-P/C、3A-P/C 点検

<操作内容> 1、 2A-P/C 停電

2、 3A-P/C 停電

<< 2課 点検 >>

3、 3A-P/C 復電

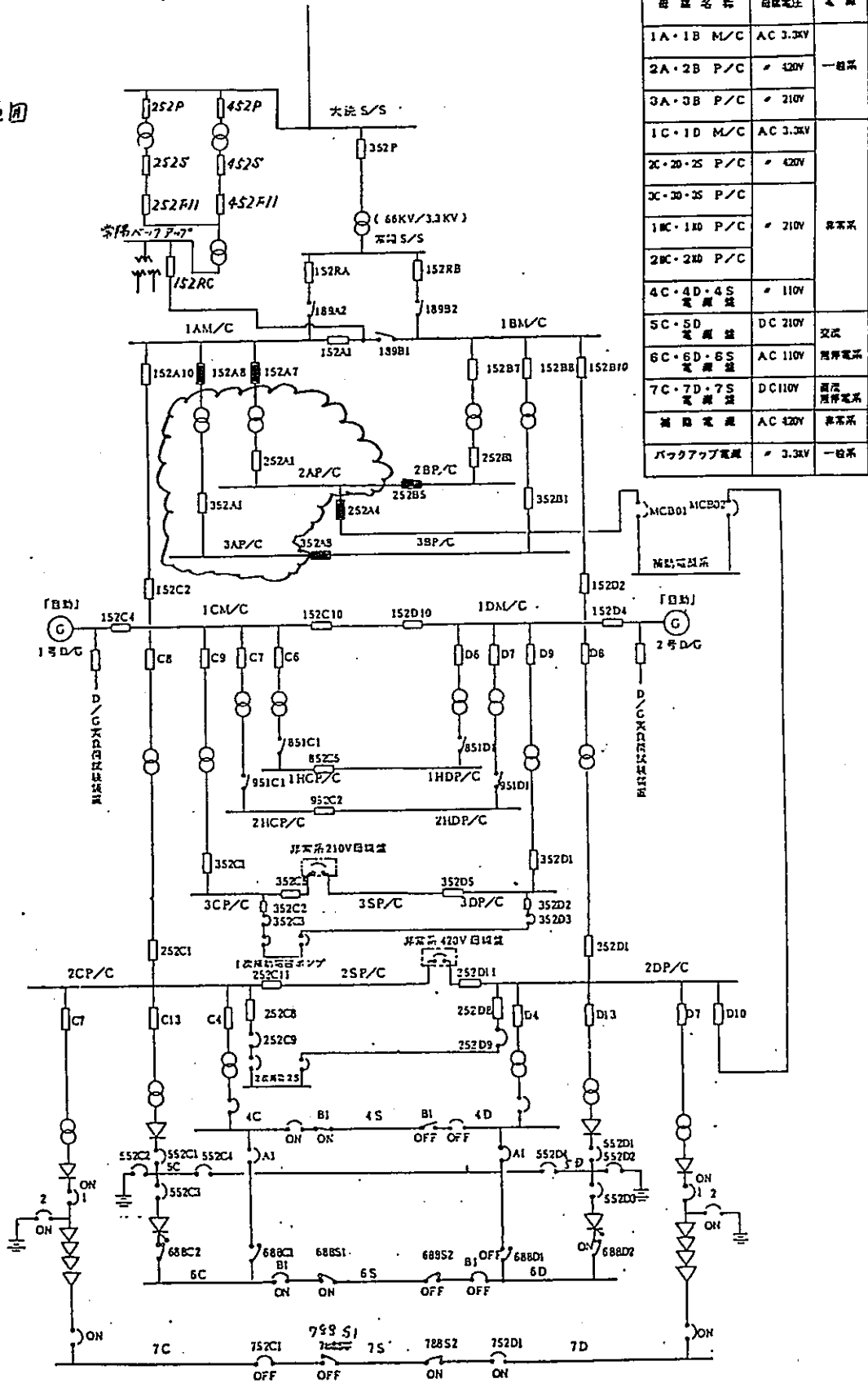
4、 2A-P/C 復電

2A, 3A-P/C

☁ : 停電範囲

□ : ON

■ : OFF



「常陽」電源設備系統図

電10.16-2

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1 / 4)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<p><u>2A P/C 停電</u></p> <p>(a) 2A P/Cの次の各CBを「切」にし、制御電源スイッチ " 8" を「切」とし、CBを「試験位置」にする。</p> <p>(1) メンテナンス建家 2A C/C用 CB252A2</p> <p>(2) 主冷却機建家 2AC/C用 CB252A3</p> <p>(3) 補助電源設備用 CB252A4 (確認)</p> <p>(b) 1A M/Cの2A P/C用 CB152A7を「切」にし、制御電源スイッチ " 8" を「切」とし、CB152A7を「試験位置」にする。</p> <p>(c) 2A P/Cの変圧器2次側 CB252A1を「切」にし、制御電源スイッチ " 8" を「切」とし、CB252A1を「試験位置」にする。</p> <p>(d) 電源設備操作 7S分電盤内、2A P/C用 NFB-B1を「切」にする。</p> <p>(e) スペースヒータ分電盤内、一般系A用 NFB-B3を「切」にする。</p> <p>(f) 2B P/Cの母線連絡用CB252B5が「切」、制御電源スイッチ " 8" が「切」、CB252B5が「試験位置」にあることを確認する。</p> <p>(g) 補助電源系 MCB-01 (一般系 2A P/C) が「切」であることを確認する。</p>	<p>S-201 (#643)</p> <p>S-201 (#641)</p> <p>S-201 (#643)</p> <p>S-201 (#647)</p> <p>S-201 (#648)</p> <p>S-201 (#644)</p> <p>A-707 (#326)</p>	<p>○○○</p> <p>○○○</p> <p>○</p> <p>○○○</p> <p>○○○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>< 2A P/C 停電 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ANN 発生 「A系 低電圧」 ・ANN リセット可 「A系 低電圧」 <p>・スペースヒータ NFB-B3は2Aと3A P/Cの共用であるため復電は両方の点検終了後とする。</p>

PNC TN9410 95-269

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
2	<p><u>3A P/C 停電</u></p> <p>(a) 3A P/Cの次の各CBを「切」にし、制御電源スイッチ " 8" を「切」とし、CBを「試験位置」にする。</p> <p>(1) 動力電源用 CB352A2</p> <p>(2) 原子炉付属建家 3A C/C用 CB352A3</p> <p>(3) 脱塩水供給 3A C/C用 CB352A4</p> <p>(4) Na供給 3A 電源用 CB352A5 (確認)</p> <p>(5) 予熱N2 ガス加熱器接触器盤用 CB352A6 (確認)</p> <p>(6) 母線連絡用 CB352A8 (確認)</p> <p>(b) 1A M/Cの3A P/C用CB152A8を「切」にし、制御電源スイッチ " 8" を「切」とし、CB152A8を「試験位置」にする。</p> <p>(c) 3A P/Cの変圧器2次側CB352A1を「切」にし、制御電源スイッチ " 8" を「切」とし、CB352A1を「試験位置」にする。</p> <p>(d) 電源設備操作 7S分電盤内、3A P/C用 NFB-B3を「切」にする。</p> <p>(e) スペースヒータ分電盤内、一般系A用 NFB-B3の「切」を確認する。</p> <p>(f) 常陽予備電源開閉器盤内のNFBの「切」を確認する。</p>	<p>S-201 (#645)</p> <p>S-201 (#641)</p> <p>S-201 (#645)</p> <p>S-201 (#647)</p> <p>S-201 (#648) A-707 (2D, 3S P/C の裏の壁)</p>	<p>○○○</p> <p>○○○</p> <p>○○○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○○○</p> <p>○○○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>< 3A P/C 停電 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ANN が発生する「A系 低電圧」 ・ANN リセット可「A系 低電圧」 ・2Aと3A P/Cの供用 NFB ・鍵 NO. E-25
	<p><< 2 課点検開始 >></p> <p><< 2 課点検終了 >></p>			

Oは、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(3 / 4)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
3	<u>3A P/C 復電</u>			・スペースヒータ NFB-B3は2Aと3A P/Cの共用であるため復電は両方の点検終了後とする。
	(a) 電源設備操作 7S分電盤内、3A P/C用 NFB-B3を「入」にする。	S-201 (#647)	*	
	(b) 3A P/Cの変圧器2次側 CB352A1を「運転位置」にし、制御電源スイッチ"8"を「入」とし、CB352A1を「入」にする。	S-201 (#645)	***	・ANN 発生 「A系 低電圧」
	(c) 1A M/Cの3A P/C用 CB152A8を「運転位置」にし、制御電源スイッチ"8"を「入」とし、CB152A8を「入」にする。	S-201 (#641)	***	< 3A P/C 復電 > ・ANN リセット可 「A系 低電圧」
	(d) 3A P/Cの次の各CBを「運転位置」にし、制御電源スイッチ "8"を「入」とし、CBを「入」にする。	S-201 (#645)		
	(1) 動力電源用 CB352A2		***	
	(2) 原子炉付属建家 3A C/C用 CB352A3		***	
	(3) 脱塩水供給 3A C/C用 CB352A4		***	
	(e) 3A P/Cの次の各CBが「試験位置」で、制御電源スイッチ "8"が「切」であることを確認する。	S-201 (#645)		
	(1) Na供給 3A 電源用 CB352A5		*	
	(2) 予熱N2 ガス加熱器接触器盤用 CB352A6		*	
	(3) 母線連絡用 CB352A8		*	
	(f) 常陽予備電源開閉器盤内のNFBの「切」を確認する。	A-707 (2D, 3S P/C の裏の壁)	*	・鍵 NO. E-25

PNC TN9410 95-269

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
4	<p><u>2A P/C 復電</u></p> <p>(a) 電源設備操作 7S分電盤内、2A P/C用NFB-B1を「入」にする。</p> <p>(b) 2A P/Cの変圧器2次側 CB252A1を「運転位置」にし、制御電源スイッチ"8"を「入」とし、CB252A1を「入」にする。</p> <p>(c) 1A M/Cの2A P/C用 CB152A7を「運転位置」にし、制御電源スイッチ"8"を「入」とし、CB152A7を「入」にする。</p> <p>(d) 2A P/Cの次の各CBを「運転位置」にし、制御電源スイッチ "8"を「入」とし、CBを「入」にする。</p> <p style="padding-left: 40px;">(1) メンテナンス建家 2A C/C用 CB252A2</p> <p style="padding-left: 40px;">(2) 主冷却機建家 2AC/C用 CB252A3</p> <p>(e) 2A P/Cの補助電源設備用 CB252A4が「切」、制御電源スイッチ "8"が「切」、CB252A4が「試験位置」であることを確認する。</p> <p>(f) 2B P/Cの母線連絡用 CB252B5が「切」、制御電源スイッチ "8"が「切」、CB252B5が「試験位置」であることを確認する。</p> <p>(g) 補助電源系 MCB-01 (一般系 2A P/C)が「切」であることを確認する。</p> <p>(h) スペースヒータ分電盤内、一般系A用 NFB-B3を「入」にする。</p>	<p>S-201 (#647)</p> <p>S-201 (#643)</p> <p>S-201 (#641)</p> <p>S-201 (#643)</p> <p>S-201 (#643)</p> <p>S-201 (#643)</p> <p>S-201 (#644)</p> <p>A-707 (#326)</p> <p>S-201 (#648)</p>	<p>*</p> <p>***</p> <p>***</p> <p>***</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>**</p>	<p>・ANN 発生 「A系 低電圧」</p> <p>< 2A P/C 復電 > ・ANN リセット可 「A系 低電圧」</p> <p>・スペースヒータ NFB-B3は 2Aと3A P/Cの共用であるため 復電時は 3A P/C 点検も終了 していること。</p>

電源設備操作チェックシート

平成3年10月17日 (木)

PNC TN9410 95-269

<点検対象> 3C-P/C 点検

<操作内容> 1、 3C-P/C 停電

<< 2課 点検 >>

2、 3C-P/C 復電

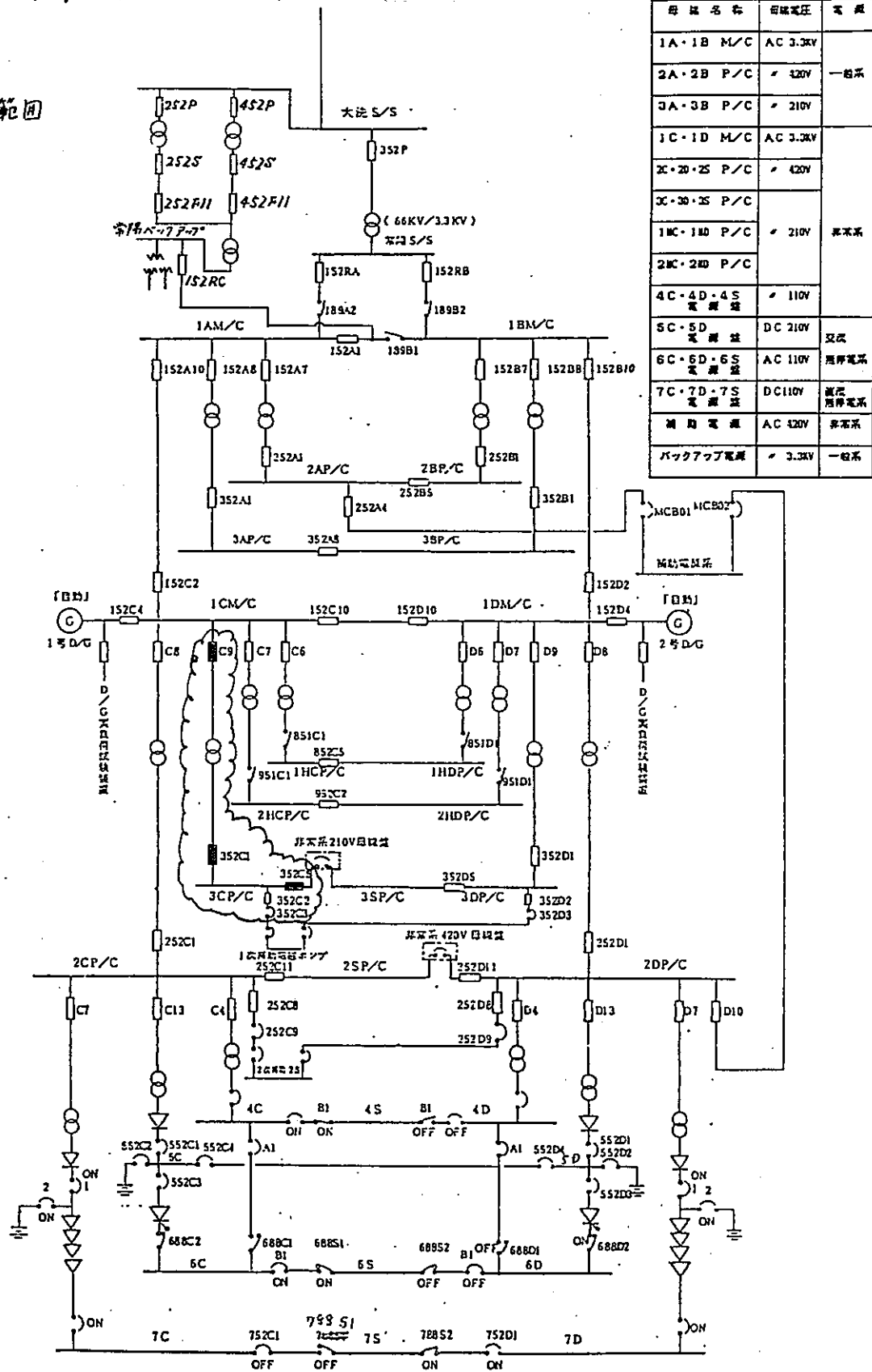
平成3年10月17日(木)

3C-P/C

☁ : 停電範囲

□ : ON

■ : OFF



「常陽」電源設備系統図

電10.17-2

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1 / 3)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<p><u>3 C P/C 停電</u></p> <p>(a) 3 C P/Cの順序投入 COS 4 3 Aを「解除」にする。</p> <p>(b) 3 C P/Cの次の各CBを「切」にし、制御電源スイッチ” 8”を「切」とし、CBを「試験位置」にする。</p> <p>(1) 1次補助冷却系電磁ポンプ用 CB 3 5 2 C 2 「切」確認</p> <p>(2) 1次補助冷却系電磁ポンプ (NFB)用 NFB 3 5 2 C 3 「切」確認</p> <p>(3) 計算機 3 C電源用 CB 3 5 2 C 4</p> <p>(4) 3 S P/C用 CB 3 5 2 C 5 「切」確認</p> <p>(5) 主冷却建家 3 C C/C用 CB 3 5 2 C 6</p> <p>(c) 1 C M/Cの3 C P/C用CB 1 5 2 C 9を「切」にし、制御電源スイッチ” 8”を「切」とし、CB 1 5 2 C 9を「試験位置」にする。</p> <p>(d) 3 C P/Cの変圧器2次側CB 3 5 2 C 1を「切」にし、制御電源スイッチ” 8”を「切」とし、CB 3 5 2 C 1を「試験位置」にする。</p> <p>(e) 1次補助電磁ポンプ用MCB盤の3 C P/C側NFBを「切」にする。</p> <p>(f) 非常系 2 1 0 V母線盤内NFBを「切」にする。</p>	<p>A-706 (#321)</p> <p>A-706 (#321)</p> <p>A-705 (#311)</p> <p>A-706 (#321)</p> <p>A-706 (#326)</p> <p>A-707 (#357)</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○○○</p> <p>○</p> <p>○○○</p> <p>○○○</p> <p>○○○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>「3 CP/C 計算機」ANN (順序投入監視盤)</p> <p>「A主循環Na流量低」ANN (2次系電磁流量計電源喪失)</p> <p>< 3 C P/C 停電 ></p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(2 / 3)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
	(g) 電源設備操作7 C分電盤内、3 C P/C制御電源用NFB-B2を「切」にする。 (h) スペースヒータ分電盤内、非常系C用 NFB-A4を「切」にする。	A-706 (#325) S-201 (#648)	○ ○	
	<< 2 課 点検 >>			
2	<u>3 C P/C 復電</u> (a) 電源設備操作7 C分電盤内、3 C P/C制御電源用NFB-B2を「入」にする。 (b) 3 C P/Cの変圧器2次側CB352C1を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB352C1を「入」にする。 (c) 1 C M/Cの3 C P/C用CB152C9を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB152C9を「入」にする。 (d) 3 C P/Cの次の各CBを「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CBを「入」にする。 (1) 計算機 3 C 電源用 CB352C4 (2) 主冷却機 3 C C/C用 CB352C6	A-706 (#325) A-706 (#321) A-705 (#311) A-706 (#321)	* *** *** *** ***	「3 C P/C不足電圧」 「C系低電圧」ランプ点灯 < 3 C P/C 復電 > 「C系低電圧」リセット

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(3 / 3)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
	(e) 3 C P/Cの次の各CBの「切」を確認する。	A-706 (#321)		
	(1) 1次補助冷却系電磁ポンプ用 CB352C2		*	
	(2) 1次補助冷却系電磁ポンプ (NFB)用 NFB 352C3		*	
	(3) 3 S P/C用 CB352C5		*	
	(f) 3 C P/Cの順序投入COS 43Aを「自動」にする。	A-706 (#321)	*	
	(g) 非常系210V母線盤 NFBを「入」にする。	A-707 (#357)	*	
	(h) 1次補助電磁ポンプ用MCB盤の3 C P/C側NFBを「入」にする。	A-706 (#326)	*	
	(i) スペースヒータ分電盤内、非常系C用NFB-A4を「入」にする。	S-201 (#648)	*	

電源設備操作チェックシート

平成3年10月18日 (金)

<点検対象>

2 S - P / C 点検

<操作内容>

1、 2 S - P / C 停電

<< 2課 点検 >>

2、 2 S - P / C 復電

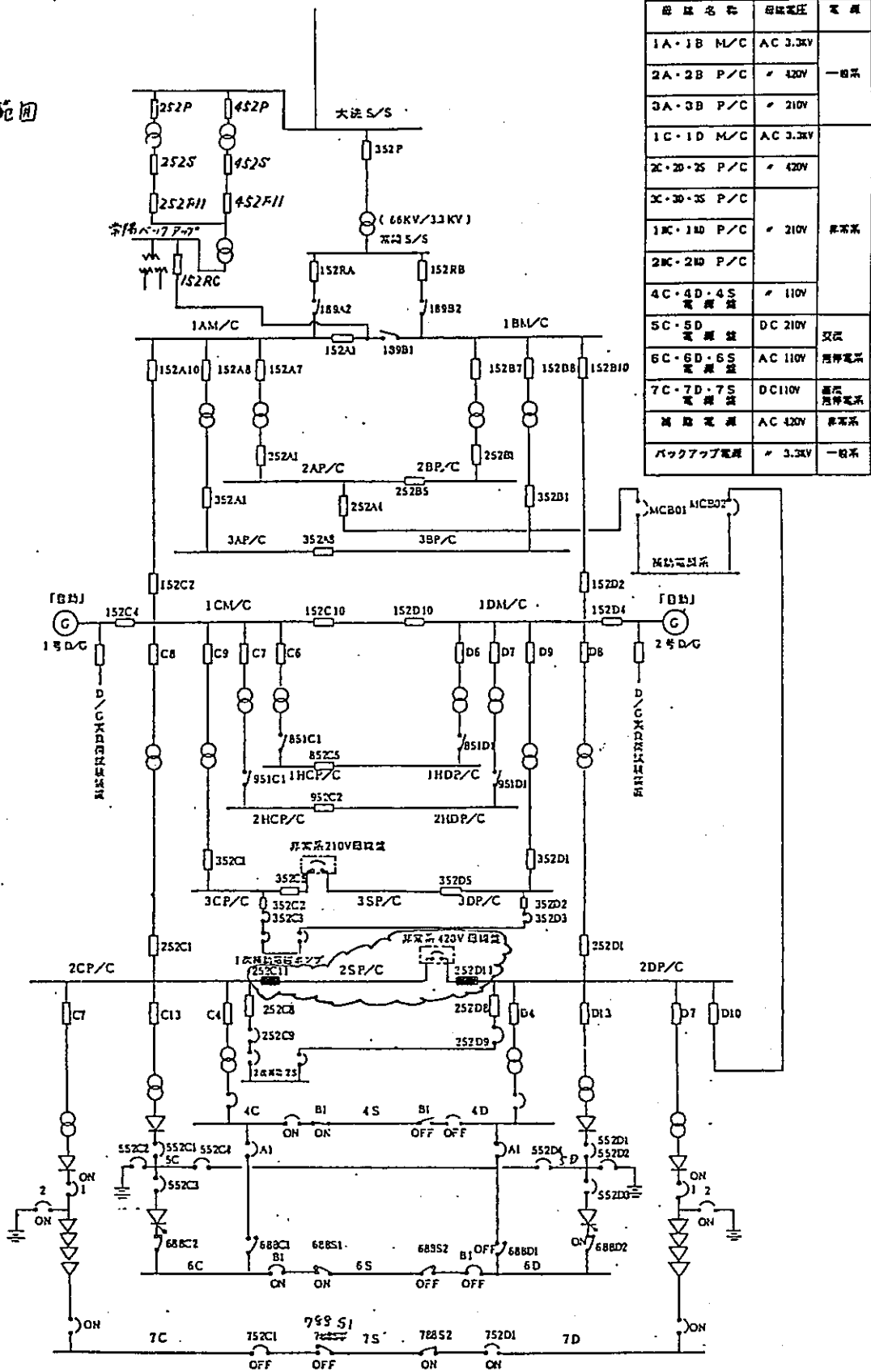
平成3年10月18日(金)

2S-P/C

☁ : 停電範囲

□ : ON

■ : OFF



母線名称	母線電圧	電機
1A・1B M/C	AC 3.3KV	一般系
2A・2B P/C	420V	
3A・3B P/C	210V	
1C・1D M/C	AC 3.3KV	非本系
2C・2D P/C	420V	
3C・3D P/C	210V	
1E・1F P/C	210V	
4C・4D・4S	110V	交流
5C・5D	DC 210V	
6C・6D・6S	AC 110V	直流
7C・7D・7S	DC 110V	
高圧電機	AC 420V	非本系
バックアップ電機	3.3KV	一般系

「常陽」電源設備系統図

電10.18-2

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1 / 3)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<p><u>2S-P/C 停電</u></p> <p>(a) 2S-P/Cの順序投入COS43Aを「解除」にする。</p> <p>(b) 2S-P/Cの次の各CBを「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CBを「試験位置」にする。</p> <p>(1) 原子炉付属建家 2S-C/C用 CB252S1</p> <p>(2) メンテナンス建家 2S-C/C用 CB252S2</p> <p>(3) SFF建家 (非常系) 電源設備用 CB252S3</p> <p>(4) 原子炉建家 2S-1C/C用 CB252S4</p> <p>(5) 原子炉建家 2S-2C/C用 CB252S5</p> <p>(6) 非常系照明電源盤用 CB252S6</p> <p>(c) 2C-P/Cの2S-P/C用CB252C11を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB252C11を「試験位置」にする。</p> <p>(d) 2D-P/Cの2S-P/C用CB252D11が「切」及び「試験位置」であることを確認する。</p> <p>(e) 非常系AC420V母線盤内NFBを「切」にする。</p> <p>(f) 電源設備操作7C分電盤7S系内、2S-P/C制御用NFB-A5を「切」にする。</p>	<p>A-705 (#313)</p> <p>A-705 (#313)</p> <p>A-705 (#312)</p> <p>A-707 (#332)</p> <p>A-707 (#356)</p> <p>A-706 (#325)</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○○○</p> <p>○○○</p> <p>○○○</p> <p>○○○</p> <p>○○○</p> <p>○○○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>< 2S-P/C 停電 ></p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(2 / 3)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	(g) スペースヒータ分電盤内、非常系C用NFB-A4を「切」にする。	S-201 (#648)	○	
<< 2 課 点 検 >>				
2	<p>2S-P/C 復電</p> <p>(a) 電源設備操作7C分電盤7S系内、2S-P/C制御電源用NFB-A5を「入」にする。</p> <p>(b) 非常系AC420V母線盤内NFBを「入」にする。</p> <p>(c) 2D-P/Cの2S-P/C用CB252D11が「切」及び「試験位置」であることを確認する。</p> <p>(d) 2C-P/Cの2S-P/C用CB252C11を「運転位置」にし、制御電源スイッチ"8"を「入」とし、CB252C11を「入」にする。</p>	<p>A-706 (#325)</p> <p>A-707 (#356)</p> <p>A-707 (#332)</p> <p>A-705 (#312)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>***</p>	<p>< 2S-P/C 復電 ></p>

Oは、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(3 / 3)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
	<p>(e) 2S-P/Cの次の各CBを「運転位置」にし、制御電源スイッチ"8"を「入」とし、CBを「入」にする。</p> <p>(1) 原子炉付属建家 2S-C/C用 CB252S1</p> <p>(2) メンテナンス建家 2S-C/C用 CB252S2</p> <p>(3) SFF建家 (非常系) 電源設備用 CB252S3</p> <p>(4) 原子炉建家 2S-1C/C用 CB252S4</p> <p>(5) 原子炉建家 2S-2C/C用 CB252S5</p> <p>(6) 非常系照明電源盤用 CB252S6</p> <p>(f) 2S-P/Cの順序投入COS43Aを「自動」にする。</p> <p>(g) スペースヒータ分電盤内、非常系C用NFB-A4を「入」にする</p>	<p>A-705 (#313)</p> <p>A-705 (#313)</p> <p>S-201 (#648)</p>	<p>***</p> <p>***</p> <p>***</p> <p>***</p> <p>***</p> <p>***</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p>コントロール盤の点検に伴い、復旧は点検終了後とする。</p>

PNC TN9410 95-269

PNC TN9410 95-269

電源設備操作チェックシート

平成3年10月19日 (土)

PNC TN9410 95-269

<点検対象> 「常陽」変電所・1A-M/C 点検

<操作内容> 1、 商用電源喪失前点検

2、 一般系停電操作

3、 「常陽」S/S、1A-M/C、1B-M/C 停電

<< 2課 点検 ・ 工務課 点検 >>

4、 「常陽」S/S 復電

5、 「常陽」S/S「負荷タップ切替器」への電源供給操作

6、 1A-M/C、1B-M/C 復電

7、 1C-M/C、1D-M/C 商用電源への復旧

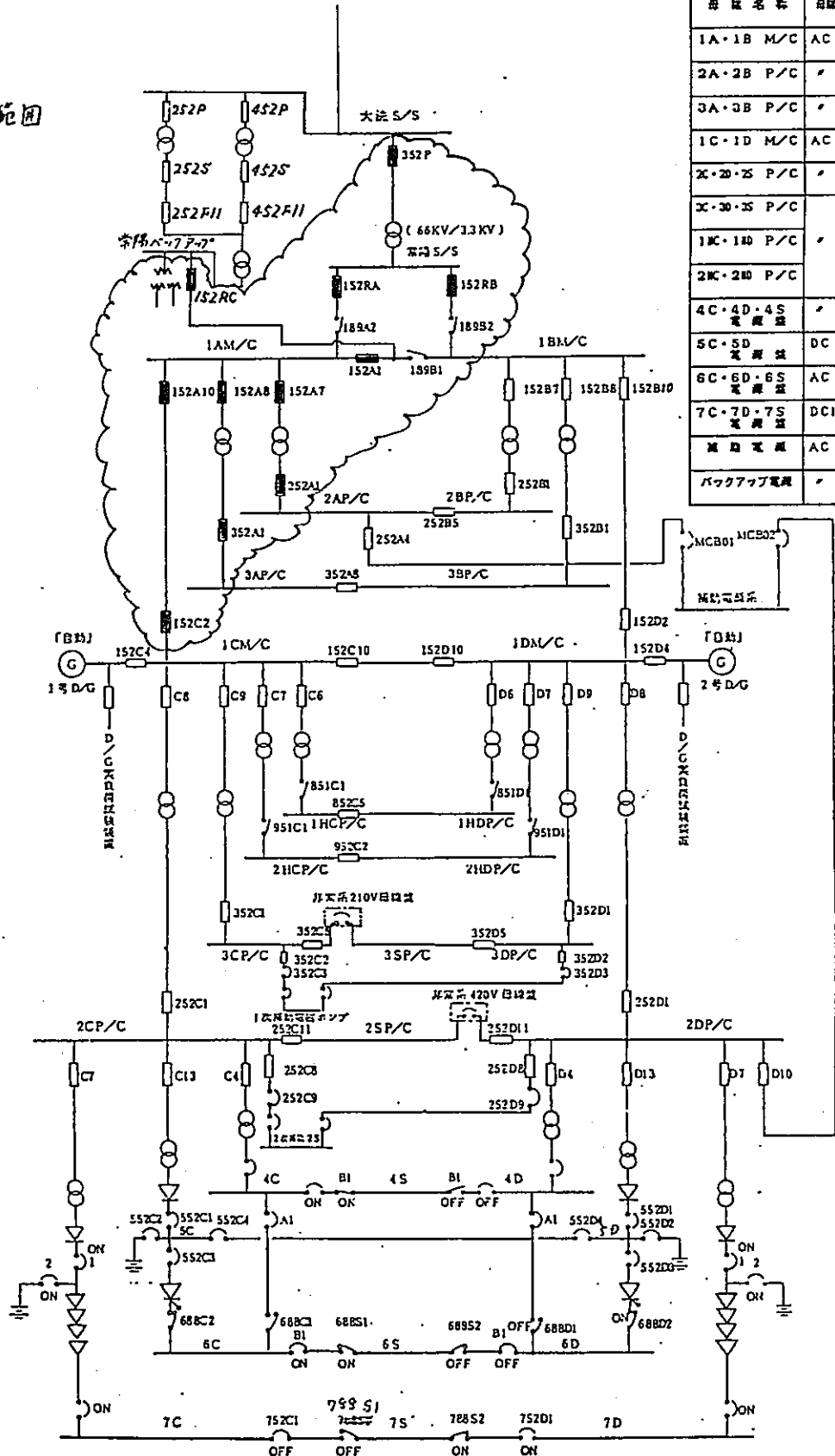
常陽変電所, 1A-M/C

平成3年10月19日(土)

☁ : 停電範囲

□ : ON

■ : OFF



母線名称	母線電圧	電線
1A・1B M/C	AC 3.3KV	一相系
2A・2B P/C	φ 320V	
3A・3B P/C	φ 210V	
1C・1D M/C	AC 3.3KV	非相系
2C・2D P/C	φ 420V	
3C・3D P/C	φ 210V	
4C・4D P/C	φ 110V	
5C・5D 電線盤	DC 210V	交流
6C・6D・6S 電線盤	AC 110V	三相電線
7C・7D・7S 電線盤	DC 110V	直流三相電線
減圧電線	AC 420V	非相系
バックアップ電線	φ 3.3KV	一相系

「常陽」電源設備系統図

電10.19-2

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1 / 14)

PNC TN9410 95-269

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<p><u>商用電源喪失前の電源設備点検</u></p> <p>(a) 1号・2号D/Gの自動待機状態を確認する。</p> <p>①電源監視盤”自動””中央”ランプ点灯</p> <p>②D/G関係のANN点灯が無い事</p> <p>③D/G燃料の主貯油槽が5 0 0 0 l以上であること</p> <p>④D/G補機類の電源及びCOS選択の確認</p> <p>⑤D/G始動用空気貯槽の圧力が2 5 kg/cm²以上であること</p> <p>(b) 電源母線構成を確認する。(通常状態)</p> <p>①2C-P/C順序投入COS 4 3 A「自動」</p> <p>②2S-P/C ” ”</p> <p>③2C-P/C 2S-P/C用CB 2 5 2 C 1 1「入」</p> <p>④2D-P/C順序投入COS 4 3 A「自動」</p> <p>⑤3C-P/C ” ”</p> <p>⑥3D-P/C ” ”</p> <p>⑦3S-P/C ” ”</p> <p>⑧3D-P/C 3S-P/C用CB 3 5 2 D 5「入」</p> <p>⑨4S電源盤4C受電(ナイフスイッチ確認)</p>	<p>A-7 1 2 (# 4 2 7)</p> <p>”</p> <p>S-1 2 7 S-1 2 8 S-1 2 5 S-1 3 0 S-1 2 5 S-1 3 0</p> <p>A-7 0 5 (# 3 1 2)</p> <p>”</p> <p>A-7 0 5 (# 3 1 2)</p> <p>A-7 0 7 (# 3 3 2)</p> <p>A-7 0 6 (# 3 2 1)</p> <p>A-7 0 7 (# 3 3 4)</p> <p>A-7 0 7 (# 3 3 3)</p> <p>A-7 0 7 (# 3 3 4)</p> <p>A-7 0 6 (# 3 2 3)</p>		

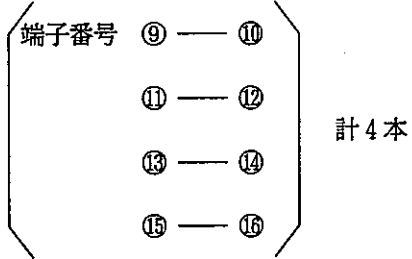
Oは、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(3 / 1 4)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
2	<u>工務課（大洗変電所）へ停電前の準備完了を連絡</u> (工務課で352P「切」予定15分前に東電へ連絡)			電話連絡 352P「切」 予定15分前に連絡
3	<u>商用電源の停電</u> (a)工務課へ停電を連絡する。 時間 6:29 (b)電源監視盤にて大洗変電所常陽線用CS3-352Pを「切」にする。 時間 6:30	A-712 A-712 (#427)	 O	 一般系電源停電
4	<u>非常系電源の確認</u> (a)1号・2号D/Gの自動起動・電圧確立確認 (b)P/C, C/Cの自動投入確認 (c)D/G機関に異常のない事を確認する。	A-712 (#427) S-125 S-130		
5	<u>常陽変電所の停電分離</u> (a)大洗変電所遮断器352Pの「切・ロック」を依頼する。 (b)常陽変電所A系CB152RAを「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、 CB152RAを「試験位置」にする。 (c)常陽変電所B系CB152RBを「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、 CB152RBを「試験位置」にする。	大洗S/S A-712 (#427) 常陽S/S A-712 (#427) 常陽S/S	 OOO OOO	工務課所掌 （「切・ロック」と電源操作 は並行して行う）

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(4 / 14)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
5	(d)電源設備操作7 S分電盤内・屋外・変電所制御・操作電源NFB-A1を「切」にする。 (e)スペースヒータ分電盤内・屋外M/C用NFB-C2を「切」にする。 (f)原付3 AC/C盤の活線浄油装置電源用NFB-1Fを「切」にする。 (g)原付3 AC/C盤の主変圧器タップ切換器用NFB-2Cを「切」にする。 (h)電源監視補助盤にて屋外M/C用(タップチェンジャー、転送トリップ等)制御電源用ヒューズを抜く。 <div style="text-align: center;">  </div>	S-201 (#647) S-201 (#648) A-509 (#267) " A-712 (#406)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	常陽制御電源喪失ANN発生
6	<u>6KV常陽線(バックアップ系)分離</u> (a)6KV常陽線(バックアップ系)遮断器CB152RCの「切」を確認する。 (b)6KV常陽線(バックアップ系)遮断器CB152RCの制御電源スイッチ"8"の「切」、CB152RCの「試験位置」を確認する。	S-201 S-201	○ ○○	
7	<u>1A-M/Cの停電分離</u> (a)1A-M/Cの次の各CBを「切」にし、制御電源スイッチ"8"を「切」とし、CBを「試験位置」にする。	S-201 (#641)		

Oは、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(5 / 1 4)

PNC TN9410 95-269

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考		
7	① A-1次主循環ポンプ用	CB152A3	S-201 (#641)	OOO	(低電圧ANNのため)	
	② 主冷却機建家1A-C/C用	CB152A6	"	OOO		
	③ 2A-P/C用	CB152A7	"	OOO		
	④ 3A-P/C用	CB152A8	"	OOO		
	⑤ A-SC用	CB152A9 (確認)	"	OOO		
	⑥ 1C-M/C用	CB152A10	"	OOO		
	⑦ 1RAF用	CB152A11	"	OOO		
	⑧ 一般照明用	CB152A12	"	OOO		
	⑨ 第2使用済燃料貯蔵施設用	CB152A13	"	OOO		
	(c)1A-M/Cの次の各CBの「切」、制御電源スイッチ"8"の「切」、CBの「試験位置」を確認する。		S-201 (#641)			
	① 母線連絡用	CB152A1	"	O		
	② A-予熱N ₂ ガブロウ用	CB152A5	"	O		
	(d)1A-M/C電源引込み用DS189A2を「開放」にする。		S-201 (#641)	O		
	(e)電源設備操作7S分電盤内1A-M/C制御電源用NFB-A2を「切」にする。		S-201 (#647)	O		
(f)電源設備操作7S分電盤内1A-M/C操作電源用NFB-A3を「切」にする		"	O			
(g)スペースヒータ分電盤内一般系A用NFB-B3を「切」にする。		S-201 (#648)	O			

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(6 / 1 4)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
7	(h) 1 C-M/C電源引込CB152C2の「切」を確認し、制御電源スイッチ” 8”を「切」とし CB152C2を「試験位置」にする。 (i) 2 A-P/C変圧器2次CB252A1を「切」にし、制御電源スイッチ” 8”を「切」とし、 CB252A1を「試験位置」にする。 (j) 3 A-P/C変圧器2次CB352A1を「切」にし、制御電源スイッチ” 8”を「切」とし、 CB352A1を「試験位置」にする。	A-705 (#311)	○○○	
		S-201 (#643)	○○○	
		S-201 (#645)	○○○	
8	<u>1 B-M/Cの停電分離</u> (a) 1 B-M/C母線連絡用DS189B1の「切」及び「開放位置」を確認する。 (b) 1 B-M/C電源引込DS189B2を「開放」する。	S-201 (#642)	○	
		S-201 (#642)	○	
	工務課、2課点検			

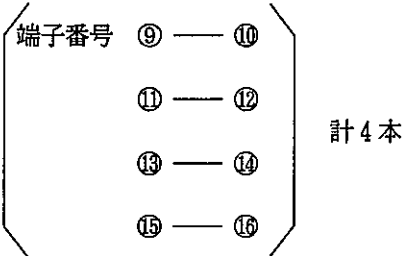
- 171 -

PNC TN9410 95-269

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(7 / 14)

PNC TN9410 95-269

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
9	<p><u>常陽変電所の受電</u></p> <p>(a)電源監視補助盤にて屋外M/C用（タップチェンジャー、転送トリップ等）制御電源用ヒューズを入れる。</p> <div style="text-align: center;">  <p>端子番号 ⑨ — ⑩ ⑪ — ⑫ ⑬ — ⑭ ⑮ — ⑯</p> <p>計4本</p> </div> <p>(b)原付3AC/C盤の活線浄油装置電源用NFB-1Fを「入」にする。</p> <p>(c)原付3AC/C盤の主変圧器タップ切換器用NFB-2Cを「入」にする。</p> <p>(d)電源設備操作7S分電盤内屋外・変電所制御・操作電源NFB-A1を「入」にする。</p> <p>(e)スペースヒータ分電盤内屋外M/C用NFB-C2を「入」にする。</p> <p>(f)工務課へ352P「切・ロック」解除を依頼する。</p> <p>(g)工務課より352P「切・ロック」解除終了の連絡を受けた後、工務課へ復電を連絡する。</p> <p>(h)電源監視盤にて大洗変電所常陽線用CS3-352Pを「入」にする。 (予定時間 18:00頃)</p>	<p>A-712 (#406)</p> <p>A-509 (#267)</p> <p>"</p> <p>S-201 (#647)</p> <p>S-201 (#648)</p> <p>大洗S/S</p> <p>A-712 (#427)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p>工務課所掌</p> <p>Rランプ点灯確認</p>

Oは、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(9 / 14)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
10-1	(d) 1A-M/C電源引込み用DS189A2を「入」にする。 (e) 常陽変電所B系、CB152RBが「試験位置」、制御電源スイッチ”8”が「切」であることを確認する。(1B-M/C充電防止確認) (f) 常陽変電所A系、CB152RAを「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」としCB152RAを「入」にする。	S-201 (#641) 常陽S/S 常陽S/S A-712	* ***	1A-M/C復電
10-2	<u>3A-P/Cの復電</u> (a) 3A-P/Cの3A-P/C変圧器2次側CB352A1を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB352A1を「入」にする。 (b) 1A-M/Cの3A-P/C用152A8を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB152A8を「入」にする。	S-201 (#645) S-201 (#641)	*** ***	A系低電圧ANN発生 ・3A-P/C復電
	工務課 常陽S/S負荷タップ切換装置 作動特性試験開始			19:30頃の予定
	工務課 作動特性試験終了			

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
11	<p><u>1B-M/C 復電</u></p> <p>(a) 1B-M/C母線連絡用DS189B1の「切」及び「開放位置」を確認する。</p> <p>(b) 1B-M/C電源引込用DS189B2を「入」にする。</p> <p>(c) 常陽変電所B系CB152RBを「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」にし、CB152RBを「入」にする。</p>	<p>S-201 (#642)</p> <p>S-201 (#642)</p> <p>常陽S/S A-712 (#427)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>***</p>	(工務課所掌) 1B-M/C受電
12	<p><u>1A-M/C 復電</u></p> <p>(a) 電源設備操作7S分電盤内1A-M/C制御電源用NFB-A2の「入」を確認する。</p> <p>(b) 電源設備操作7S分電盤内1A-M/C制御電源用NFB-A3の「入」を確認する。</p> <p>(c) 1A-M/C母線連絡用CB152A1の「切」、制御電源スイッチ”8”の「切」、CB152A1の「試験位置」を確認する。</p> <p>(d) 1A-M/C電源引込用DS189A2の「入」を確認する。</p> <p>(e) 常陽変電所A系152RAの「運転位置」、制御電源スイッチ”8”の「入」、CB152RAの「入」を確認する。</p> <p>(f) 1A-M/Cの次の各CBを「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」にし、CBを「入」にする。</p> <p>① A-1次主ポンプ用 CB152A3 「入」は後で行う</p> <p>② 主冷1A-C/C CB152A6</p>	<p>S-201 (#647)</p> <p>”</p> <p>S-201 (#641)</p> <p>”</p> <p>常陽S/S A-712 (#427)</p> <p>S-201 (#641)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>***</p> <p>***</p>	

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(12/14)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
14	<p><u>1C-M/C 商用電源運転の復旧</u></p> <p>(a) 自動同期盤のCOS" 8"を「入」にする。</p> <p>(b) 1A-M/Cの1C-M/C用CB152A10を「入」にする。</p> <p>(c) 同期並列用プラグを仮置場所から抜き出してCOS43-25C2に挿入する。</p> <p>(d) 同期スイッチCOS43-25C2を「自動」にする。 ※起動側、運転側の電圧、周波数を確認する。</p> <p>(e) TCB152C2が自動的に投入されたのを確認する。</p> <p>(f) CS7-65M1を「低減」側に操作し、DG電力計指示値が0.2MWになるまで 負荷移動する。</p> <p>(g) CS3-152C4を速やかに「切」にする。</p> <p>(h) 同期スイッチCOS43-25C2を「切」にする。</p> <p>(i) 約5分間1号DGの無負荷運転を行う。</p> <p>(j) COS43-AM1を「手動」にする。</p> <p>(k) CS1-G1を「停止命令」にして、DGを停止する。 DGターニング実施</p> <p>(l) COS43-AM1を「自動」にする。</p>	<p>A-712 (#405)</p> <p>A-712 (#427)</p> <p>"</p> <p>"</p> <p>"</p> <p>"</p> <p>"</p> <p>"</p> <p>"</p> <p>"</p> <p>A-712 (#427)</p> <p>"</p>	<p>*</p>	<p>同期検定器が作動する</p> <p>TCB152C2のRランプが点灯</p> <p>DGのモータリング防止のため0MW以下にしない事</p> <p>TCB152C2のGランプが点灯 TCB152C2の投入後40秒経過すればTCB152C4は自動的に開放になる</p> <p>機関の冷却運転</p> <p>1号DG状態表示灯「手動」 点灯 1号DG回転数 0rpm 電 圧 0V</p> <p>1号DG状態表示灯「自動」 点灯</p>

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
15	<p><u>1D-M/C 商用電源運転の復旧</u></p> <p>(a) 1B-M/Cの1D-M/C用CB152B10を「入」にする。</p> <p>(b) 同期並列用プラグをCOS43-25C2から抜き出してCOS43-25D2に挿入する。</p> <p>(c) 同期スイッチCOS43-25D2を「自動」にする。 ※起動側、運転側の電圧、周波数を確認する。</p> <p>(d) TCB152D2が自動的に投入されたのを確認する。</p> <p>(e) CS7-65M2を「低減」側に操作し、DG電力計指示値が0.2MWになるまで負荷移動する。</p> <p>(f) CS3-152D4を速やかに「切」にする。</p> <p>(g) 同期スイッチCOS43-25D2を「切」にする。</p> <p>(h) 同期並列用プラグを仮置場に戻す。</p> <p>(i) 約5分間2号DGの無負荷運転を行う。</p> <p>(j) COS43-AM2を「手動」にする。</p> <p>(k) CS1-G2を「停止命令」にして、DGを停止する。 DGターニング実施</p>	<p>A-712 (#427)</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>A-712 (#427)</p>		<p>同期検定器が作動する</p> <p>TCB152C2のRランプが点灯</p> <p>DGのモータリング防止のため0MW以下にしない事</p> <p>TCB152C2のGランプが点灯 TCB152C2の投入後40秒経過すればTCB152C4は自動的に開放になる</p> <p>機関の冷却運転</p> <p>2号DG状態表示灯「手動」点灯</p> <p>2号DG回転数 0rpm 電 圧 0V</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(14/14)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
15	(l) COS43-AM1を「自動」にする。 (m) 自動同期盤の制御電源COS"8"を「切」にする。	A-712 (#427)		2号DG状態表示灯「自動」点灯
16	6KV常陽線(バックアップ系)分離 (a) 6KV常陽線(バックアップ系)遮断器CB152RCの「切」を確認する。 (b) 6KV常陽線(バックアップ系)遮断器CB152RCの制御電源スイッチ"8"の「切」、 CB152RCの「試験位置」を確認する。	S-201	*	
		S-201	**	

電源設備操作チェックシート

(1 / 2)

平成3年10月20日 (日)

<点検対象>

2 C - P / C、4 C 電源盤

<操作内容>

- 1、 2 S - P / C 母線切替え (2 C - P / C 受電 → 2 D P / C 受電)
- 2、 2次補助 2 S - C / C 母線切替え (2 C - P / C 受電 → 2 D - P / C 受電)
- 3、 4 S 電源 母線切替え (4 C 受電 → 4 D 受電)
- 4、 4 C 電源停電
- 5、 5 C 電源特殊受電、5 C 整流装置停止
- 6、 7 C 電源特殊受電 (2 C - P / C 受電 → 7 D、7 S 受電)
- 7、 7 C 整流装置停止
- 8、 2 C - P / C 停電

<< 2 課 点検 >>

電10.20-1

電源設備操作チェックシート

(2 / 2)

平成3年10月20日 (日)

<点検対象>

2 C - P / C、4 C 電源盤

<操作内容>

9、 2 C - P / C 復電

10、 7 C 整流装置運転

11、 7 C 電源特殊受電復旧 (7 D、7 S 受電→2 C - P / C 受電)

12、 5 C 電源特殊受電復旧、5 C 整流装置運転

13、 4 C 電源復電

14、 4 S 電源 母線切替え (4 D 受電→4 C 受電)

15、 2 次補助 2 S - C / C 母線切替え (2 D - P / C 受電→2 C - P / C 受電)

16、 2 S - P / C 母線切替え (2 D - P / C 受電→2 C - P / C 受電)

電10.20-2

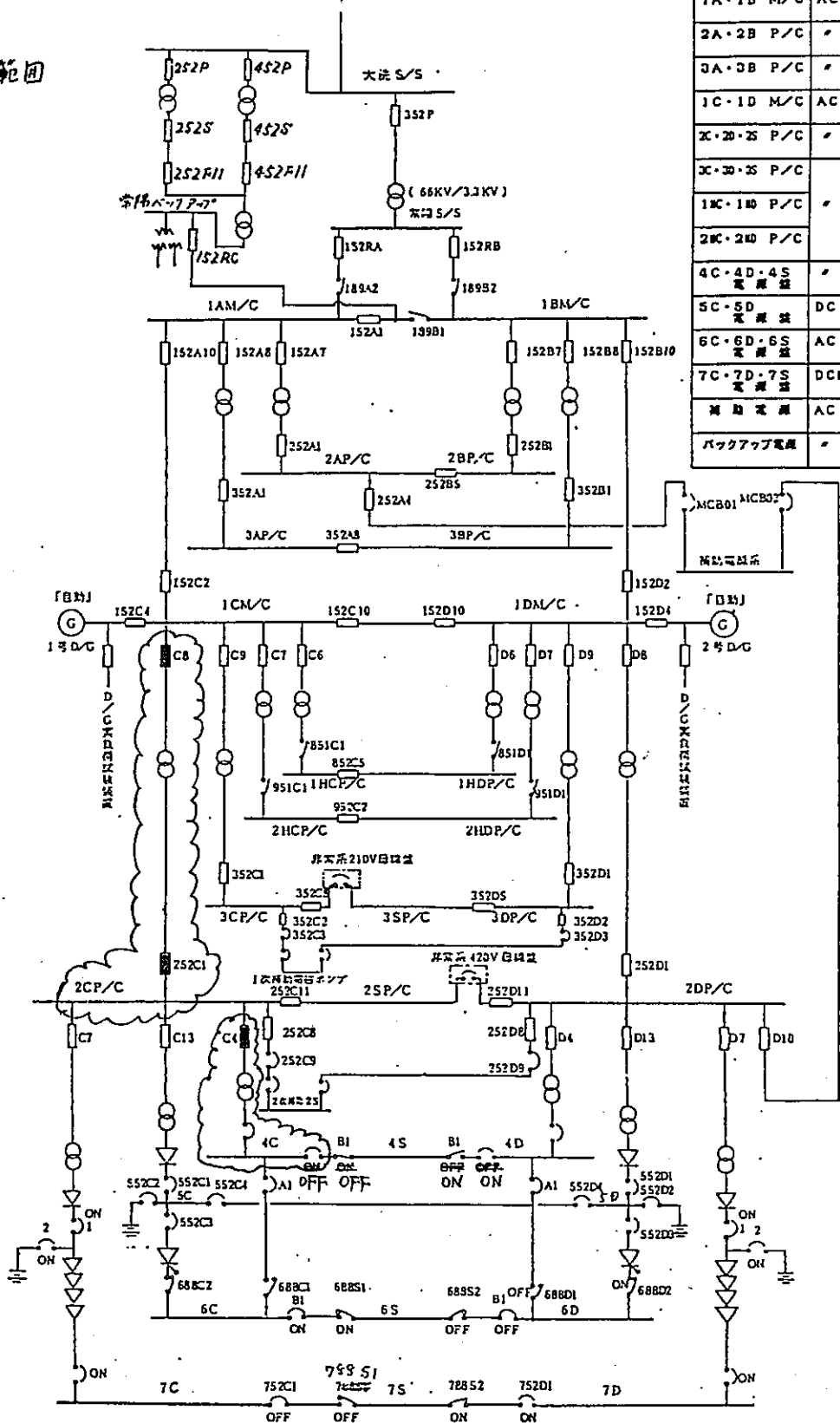
平成 3 年 / 0 月 20 日 (日)

2C-P/C, 4C 電源盤

☁ : 停電範囲

□ : ON

■ : OFF



回路名称	回路電圧	系統
1A・1B M/C	AC 3.3KV	一般系
2A・2B P/C	420V	
3A・3B P/C	210V	
1C・1D M/C	AC 3.3KV	非常系
2C・2D P/C	420V	
3C・3D P/C	210V	
4C・4D・4S 電源盤	110V	交流 制御電源
5C・5D 電源盤	DC 210V	
6C・6D・6S 電源盤	AC 110V	交流 制御電源
7C・7D・7S 電源盤	DC 110V	
補助電源	AC 420V	非常系
バックアップ電源	3.3KV	一般系

「常陽」電源設備系統図

電10.20-3

Oは、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1 / 10)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<u>2 S P/C 母線切替え (2 CP/C 受電→2 DP/C 受電)</u>			
	(a)非常系AC420V母線盤のNFBの「入」を確認する。	A-707 (#356)		
	(b)2 CP/C の2 SP/C 用CB252C11を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB252C11を「試験位置」にする。	A-705 (#312)	○○○	< 2 SP/C 停電 >
	(c)2 DP/C の2 SP/C 用CB252D11を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB252D11を「入」にする。	A-707 (#332)	○○○	< 2 SP/C 復電 >
2	<u>2次補助2 S C/C 母線切替え (2 CP/C 受電→2 DP/C 受電)</u>			
	(a)2 CP/C の2次補助2 SC/C 用CB252C8を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB252C8を「試験位置」にする。	A-705 (#312)	○○○	< 2次補助2 SC/C 停電 >
	(b)2 CP/C の2次補助2 SC/C 用NFB-252C9を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」にする。	A-705 (#312)	○○	
	(c)2次補助2 SC/C MCB盤2 DP/C 系NFBの「入」を確認する。	A-705 (#319)		
	(d)2次補助2 SC/C MCB盤2 CP/C 系NFBを「切」にする。	A-705 (#319)	○	
	(e)2 DP/C の2次補助2 SC/C 用NFB-252D9を「入」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」にする。	A-707 (#322)	○○	
	(f)2 DP/C の2次補助2 SC/C 用CB252D8を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB252D8を「入」にする。	A-707 (#322)	○○○	< 2次補助2 SC/C 復電 >
3	<u>4 S 電源 母線切替え (4 C 受電→4 D 受電)</u>			
	(a)4 C 電源盤内の4 S 電源用NFB-B1を「切」にする。	A-706 (#324)	○	< 4 S 電源停電 >

Oは、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(2 / 1 0)

PNC TN9410 95-269

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
3	(b) 4 D電源盤内の 4 S電源用NFB-B 1の「切」を確認する。 (c) 4 S電源盤内の 4 C側電源引き込み用ナイフスイッチを「切」にする。 (d) 4 S電源盤内の 4 D側電源引き込み用ナイフスイッチを「入」にする。 (e) 4 D電源盤内の 4 S電源用NFB-B 1を「入」にする。	A-707 (#336) A-706 (#323) A-706 (#323) A-707 (#336)	○ ○ ○	< 4 S電源復電 >
4	<u>4 C電源 停電</u> (a) 6 C電源盤の 4 C電源側CS 3-688C1の「切」を確認する。 (b) 6 C電源盤のCOS 43Aを「手動」にする。 (c) 4 C電源盤内の次の各NFBを「切」にする。 (1) 6 C電源盤用 NFB-A 1 (2) 1号DG補機盤用 NFB-C 1 (3)酸素濃度計 (記録計) 用 NFB-C 2 (4)中央制御室分電盤 (4 C系) 用 NFB-C 3 (5)カバ-ガス純度監視装置用 NFB-C 4 (d) 2 CP/C の 4 C電源用CB 252C4を「切」にし、制御電源スイッチ” 8”を「切」とし、C B 252C4を「試験位置」にする。 (e) 4 C電源盤内の電源引き込み用NFB-B 2を「切」にする。	A-704 (#304) A-704 (#304) A-706 (#324) A-704 (#304) A-704 (#304) A-706 (#324) A-705 (#312) A-706 (#324)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	< 4 C電源停電 > C系低電圧ANN発生

- 184 -

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(3 / 10)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
4	(f)電源設備7C分電盤内、4C電源盤用NFB-C1を「切」にする。 (g)スペースヒータ分電盤内、非常系C用NFB-A4を「切」にする。	A-706 (#325) S-201 (#648)	○ ○	< 5C整流装置停電 >
5	<u>5C電源 特殊受電</u> (a)2CP/Cの5C整流装置用CB252C13を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB252C13を「試験位置」にする。 (b)6Cインバータ盤裏内の5C整流装置入力側NFBを「切」にする。 *バッテリーの電圧確認を行う。 (c)5C電源の母線連絡用CS-552C4を手動投入する。 (d)5D電源の母線連絡用CS-552D4を手動投入する。	A-705 (#312) A-704 A-704 (#302) A-707 (#338)	○○○ ○ ○ ○	< 7C電源停電 >
6	<u>7C電源 特殊受電 (2CP/C受電→7D, 7S受電)</u> (a)7C電源の7S電源用CS-752C1を「入」にする。 (b)7C電源の電源引き込み用CS-752C2を「切」にする。 (c)7S電源のCOS43TDを「定検」にする。 (d)7S電源の7C側電源引き込み用CS3-788S2が「入」で保持されていることを確認する。 (e)7S電源の7C側電源引き込み用CS3-788S1を「入」にする。 (Rランプ点灯まで「入」を保持する。)	A-704 (#306) A-704 (#306) A-707 (#307) A-707 (#307) A-707 (#307)	○ ○ ○ ○ ○	< 7C電源復電 >

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(4 / 1 0)

PNC TN9410 95-269

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
7	<p><u>7 C 整流装置停止</u></p> <p>(a) 2 CP/C の 7 C 整流装置用 CB 2 5 2 C 7 を「切」にし、制御電源スイッチ” 8 ”を「切」とし CB 2 5 2 C 7 を「試験位置」にする。</p> <p>(b) 7 C 整流装置盤内、7 C 整流装置出力側 NFB-1 を「切」にする。</p> <p>(c) 7 C 負荷電圧補償装置盤内、蓄電池用 NFB-2 を「切」にする。</p> <p>(d) 7 C 整流装置盤内、制御電源用 NFB-3 を「切」にする。</p> <p>(e) 電源設備操作 7 C 分電盤内、7 C 整流装置制御電源用 NFB-A1 を「切」にする。</p> <p>(f) 7 C 蓄電池開閉器盤内、7 C 用 NFB を「切」にする。</p>	<p>A-705 (#312)</p> <p>A-704 (#305)</p> <p>A-704 (#308)</p> <p>A-704 (#305)</p> <p>A-706 (#325)</p> <p>A-603</p>	<p>○○○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>< 7 C 整流装置停止 ></p>
8	<p><u>2 C P/C 停電</u></p> <p>(a) 2 CP/C の COS 4 3 A を「解除」にする。</p> <p>(b) 2 CP/C の次の各 CB を「切」にし、制御電源スイッチ” 8 ”を「切」とし、CB を「試験位置」にする。</p> <p>(1) 原子炉付属建家 2 C-1C/C 用 CB 2 5 2 C 2</p> <p>(2) 原子炉付属建家 2 C-2C/C 用 CB 2 5 2 C 3</p> <p>(3) 4 C 電源用 CB 2 5 2 C 4 (確認)</p> <p>(4) A 遮コンプロア用 CB 2 5 2 C 5</p> <p>(5) 原子炉建屋 2 CC/C 用 CB 2 5 2 C 6</p>	<p>A-705 (#312)</p> <p>A-705 (#312)</p>	<p>○</p> <p>○○○</p> <p>○○○</p> <p>○○○</p> <p>○○○</p>	

- 1 8 6 -

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(5 / 1 0)

PNC TN9410 95-269

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
8	(6) 7 C 整流装置用 CB 2 5 2 C 7 (確認) (7) 2 次補助 2 S C/C 用 CB 2 5 2 C 8 (確認) (8) 2 次補助 2 S C/C (NFB) 用 CB 2 5 2 C 9 (確認) (9) 1 R A F 用 CB 2 5 2 C 1 0 (10) 2 S P/C 用 CB 2 5 2 C 1 1 (確認) (11) 主冷却機建家 2 C C/C 用 CB 2 5 2 C 1 2 (12) 5 C 整流装置用 CB 2 5 2 C 1 3 (確認) (c) 1 C M/C の 2 C P/C 用 CB 1 5 2 C 8 を「切」にし、制御電源スイッチ” 8 ”を「切」とし、 CB 1 5 2 C 8 を「試験位置」にする。 (d) 2 D P/C の 2 S P/C 用 CB 2 5 2 D 1 1 が「入」、制御電源スイッチ” 8 ”が「入」、 CB 2 5 2 D 1 1 が「運転位置」であることを確認する。 (e) 2 C P/C 変圧器 2 次側 CB 2 5 2 C 1 を「切」にし、制御電源スイッチ” 8 ”を「切」とし、 CB 2 5 2 C 1 を「試験位置」にする。 (f) 電源設備操作 7 C 分電盤内、2 C P/C 制御電源用 NFB-B 1 を「切」にする。	 A-705 (#311) A-707 (#332) A-705 (#312) A-706 (#325)	 ○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○	 < 2 C P/C 停電 >
	<< 2 課 点検 >>			

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(6 / 1 0)

PNC TN9410 95-269

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
9	<p><u>2 CP/C 復電</u></p> <p>(a) 電源設備操作7C分電盤内、2 CP/C 制御電源用NFB-B1を「入」にする。</p> <p>(b) 2 CP/C 変圧器2次側CB252C1を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB252C1を「入」とする。</p> <p>(c) 1 CM/C の2 CP/C 用CB152C8を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB152C8を「入」とする。</p> <p>(d) 2 CP/C の次の各CBを「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CBを「入」にする。</p> <p>(1) 原子炉付属建家2C-1C/C 用 CB252C2</p> <p>(2) 原子炉付属建家2C-2C/C 用 CB252C3</p> <p>(3) A遮コンプロア用 CB252C5</p> <p>(4) 原子炉建屋2CC/C 用 CB252C6</p> <p>(5) IRAF用 CB252C10</p> <p>(6) 主冷却機建家2CC/C 用 CB252C12</p> <p>(e) 2 CP/C のCOS43Aを「自動」にする。</p>	<p>A-706 (#325)</p> <p>A-705 (#312)</p> <p>A-705 (#311)</p> <p>A-705 (#312)</p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p>A-705 (#312)</p>	<p>*</p> <p>***</p> <p>***</p> <p>***</p> <p>***</p> <p>***</p> <p>***</p> <p>***</p> <p>*</p>	<p>< 2 CP/C 復電 ></p>

- 1 8 8 -

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(7 / 1 0)

PNC TN9410 95-269

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1 0	<u>7 C 整流装置運転</u> (a) 電源設備操作 7 C 分電盤内、7 C 整流装置制御電源用 NFB-A1 を「入」にする。 (b) 7 C 整流装置盤内、制御電源用 NFB-3 を「入」にする。 (c) 7 C 負荷電圧補償装置盤内、蓄電池用 NFB-2 を「入」にする。 (d) 7 C 整流装置盤内、7 C 整流装置出力側 NFB-1 を「入」にする。 (e) 2 CP/C の 7 C 整流装置用 CB 2 5 2 C 7 を「運転位置」にし、制御電源スイッチ” 8 ”を「入」とし、CB 2 5 2 C 7 を「入」にする。 (f) 7 C 蓄電池開閉器盤内、7 C 用 NFB を「入」にする。	A-7 0 6 (#325) A-7 0 4 (#305) A-7 0 4 (#308) A-7 0 4 (#305) A-7 0 5 (#312) A-6 0 3	* * * * *** *	< 7 C 整流装置運転 >
1 1	<u>7 C 電源 特殊受電復旧 (7 D, 7 S 受電→2 CP/C 受電)</u> (a) 7 S 電源の 7 C 側電源引き込み用 CS 3-7 8 8 S 1 を「切」にする。 (b) 7 S 電源の COS 4 3 TD を「通常」にする。 (c) 7 C 電源の電源引き込み用 CS-7 5 2 C 2 を「入」にする。 (d) 7 C 電源の 7 S 電源用 CS-7 5 2 C 1 を「切」にする。	A-7 0 7 (#307) A-7 0 7 (#307) A-7 0 4 (#306) A-7 0 4 (#306)	* * * *	< 7 C 電源停電 > < 7 C 電源復電 >

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1 2	5 C電源 特殊受電復旧			
	(a) 2 CP/C の5 C整流装置用CB 2 5 2 C 1 3を「運転位置」にし、制御電源スイッチ” 8”を「入」とし、CB 2 5 2 C 1 3を「入」にする。	A-7 0 5 (#312)	***	< 5 C整流装置運転 >
	(b) 5 D電源の母線連絡用CS-5 5 2 D 4を手動切にする。	A-7 0 7 (#338)	*	
	(c) 5 C電源の母線連絡用CS-5 5 2 C 4を手動切にする。	A-7 0 4 (#302)	*	
	(d) 6 Cインバータ盤裏内の5 C整流装置入力側NFBを「入」にする。	A-7 0 4	*	
1 3	4 C電源 復旧			
	(a) 6 C電源盤の4 C電源側CS 3-6 8 8 C 1が「切」であることを確認する。	A-7 0 4 (#304)	*	< 4 C電源復電 >
	(b) 電源設備操作7 C分電盤内、4 C電源盤用NFB-C 1を「入」にする。	A-7 0 6 (#325)	*	
	(c) スペースヒータ分電盤内、非常系C用NFB-A 4を「入」にする。	S-2 0 1 (#648)	*	
	(d) 4 C電源の電源引き込み用NFB-B 2を「入」にする。	A-7 0 6 (#324)	*	
	(e) 2 CP/C の4 C電源用CB 2 5 2 C 4を「運転位置」にし、制御電源スイッチ” 8”を「入」とし、CB 2 5 2 C 4を「入」にする。	A-7 0 5 (#312)	***	
	(f) 4 C電源盤内の次の各NFBを「入」にする。	A-7 0 6 (#324)		
	(1) 6 C電源盤用	NFB-A 1	*	
	(2) 1号DG補機盤用	NFB-C 1	*	
	(3) 酸素濃度計 (記録計) 用	NFB-C 2	*	
	(4) 中央制御室分電盤 (4 C系) 用	NFB-C 3	*	

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(9 / 10)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1 3	(5)カバーガス純度監視装置用 NFB-C4 (g) 6 C電源盤のCOS43Aを「自動」にする。		* *	
1 4	<u>4 S電源 母線切替え (4 D電源→4 C電源)</u> (a) 4 C電源盤内の4 S電源用NFB-B1の「切」を確認する。 (b) 4 D電源盤内の4 S電源用NFB-B1を「切」にする。 (c) 4 S電源盤内の4 D電源引き込み用ナイフスイッチを「切」にする。 (d) 4 S電源盤内の4 C側電源引き込み用ナイフスイッチを「入」にする。 (e) 4 C電源盤内の4 S電源用NFB-B1を「入」にする。	A-706 (#324) A-707 (#336) A-706 (#323) A-706 (#323) A-706 (#324)	* * * * *	< 4 S電源停電 > < 4 S電源復電 >

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(10/10)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
15	2次補助2S C/C 母線切替え(2DP/C受電→2CP/C受電)			
	(a) 2DP/Cの2次補助2SC/C用CB252D8を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB252D8を「試験位置」にする。	A-707 (#322)	***	<2次補助2SC/C停電>
	(b) 2DP/Cの2次補助2SC/C用NFB-252D9を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」にする。	A-707 (#322)	*	
	(c) 2次補助2SC/C MCB盤2CP/C系NFBを「入」にする。	A-705 (#319)	*	
	(d) 2CP/Cの2次補助2SC/C用NFB-252C9を「入」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」にする。	A-705 (#312)	*	
	(e) 2CP/Cの2次補助2SC/C用CB252C8を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB252C8を「入」にする。	A-705 (#312)	***	<2次補助2SC/C復電>
	(f) 2次補助2SC/C MCB盤2DP/C系NFBの「入」を確認する。	A-705 (#319)		
16	2S P/C 母線切替え(2DP/C受電→2CP/C受電)			
	(a) 2SP/CのCOS43Aが「自動」であることを確認する。	A-705 (#313)		
	(b) 2DP/Cの2SP/C用CB252D11を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB252D11を「試験位置」にする。	A-707 (#332)	***	<2SP/C停電>
	(c) 2CP/Cの2SP/C用CB252C11を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB252C11を「入」にする。	A-705 (#312)	***	<2SP/C復電>
	(e) 非常系AC420V母線盤のNFBの「入」を確認する。	A-707 (#356)		

電源設備操作チェックシート

平成3年10月21日 (月)

PNC TN9410 95-269

<点検対象>

4 D 電源盤、4 S 電源盤

<操作内容>

1、 4 D 電源停電

<< 2 課 点検 >>

2、 4 D 電源復電

3、 4 S 電源停電

<< 2 課 点検 >>

電10.21-1

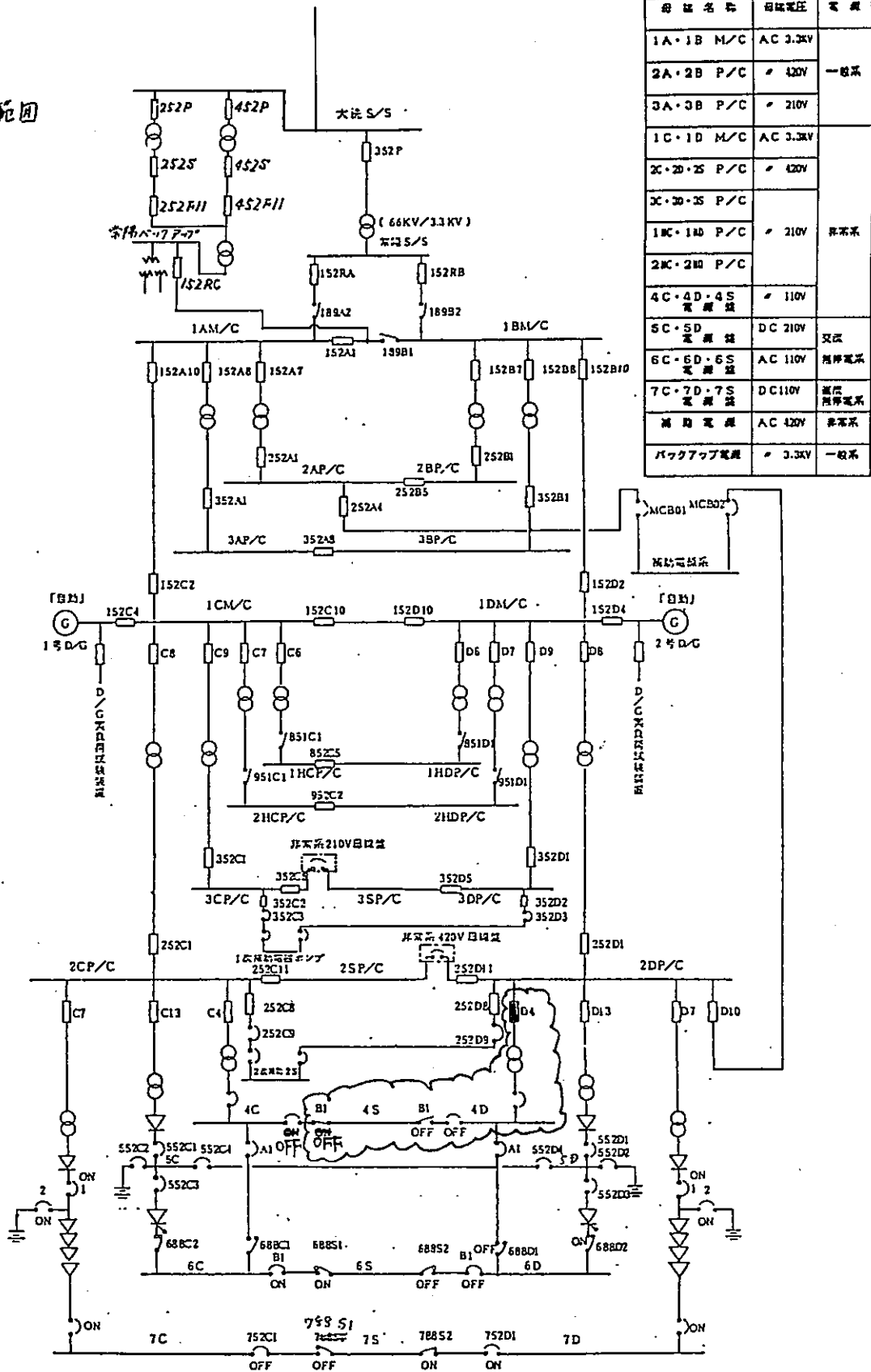
平成3年10月21日(月)

4D, 4S電源盤

☉ : 停電範囲

□ : ON

■ : OFF



「常陽」電源設備系統図

電10.21-2

Oは、タグ取り付け

*は、タグの取り外しを示す。

(2 / 2)

PNC TN9410 95-269

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
2	<p><u>4D電源復電</u></p> <p>(a) 4D電源盤内、4S電源盤用NFB-B1の「切」を確認する。</p> <p>(b) 4S電源盤の裏盤内、4D電源側ナイフスイッチの「切」を確認する。</p> <p>(c) 6D電源盤の4D電源側CS3-688D1の「切」を確認する。</p> <p>(d) 電源設備操作7D分電盤内、4D電源盤用NFB-B2を「入」にする。</p> <p>(e) 4D電源盤の電源引き込み用NFB-B2を「入」にする。</p> <p>(f) 2DP/Cの4D電源盤用CB252D4を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB252D4を「入」にする。</p> <p>(g) 4D電源盤内の次の各NFBを「入」にする。</p> <p> (1) 6D電源盤用 NFB-A1</p> <p> (2) 2号DG補機盤用 NFB-C1</p> <p> (3) 中央制御室分電盤(4D系)用 NFB-C3</p> <p>(h) 6D電源盤のCOS43Aを「自動」にする。</p> <p>(i) スペースヒータ分電盤内、非常系D用NFB-A3を「入」にする。</p>	<p>A-707 (#336)</p> <p>A-706 (#323)</p> <p>A-707 (#340)</p> <p>A-707 (#345)</p> <p>A-707 (#336)</p> <p>A-707 (#332)</p> <p>A-707 (#336)</p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p>A-707 (#340)</p> <p>S-201 (#648)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>***</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p>< 4D電源復電 > ・ANN リセット可 「D系低電圧」</p>

Oは、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1 / 2)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チ ェ ッ ク	備 考
1	<p><u>4 S 電源 停電</u></p> <p>(a) 4 D 電源盤内、4 S 電源盤用 NFB-B 1 が「切」であることを確認する。</p> <p>(b) 4 S 電源盤内の次の各 NFB を「切」にする。</p> <p>(1) 1 次計装分電盤 (4 S系) NFB-A 1</p> <p>(2) 主冷却建家 4 S分電盤 NFB-A 2</p> <p>(3) 中央制御室分電盤 (4 S系) NFB-A 3</p> <p>(4) 原子炉付属建家分電盤 (4 S系) NFB-B 1</p> <p>(5) 現場保物計装分電盤 NFB-B 2</p> <p>(6) 予備 NFB-B 3 確認</p> <p>(7) P・P用 NFB-C 1</p> <p>(8) 廃棄物処理系計装盤 NFB-C 2</p> <p>(9) 予備 NFB-C 3 確認</p> <p>(10) メンテナンス建家計装盤 NFB-C 4</p> <p>(11) 2 次補助現場制御盤 NFB-D 1</p> <p>(12) 原子炉建家分電盤 (4 S系) NFB-D 2</p> <p>(13) 予備 NFB-D 3 確認</p>	<p>A-707 (#336)</p> <p>A-706 (#323)</p>	<p>O</p> <p>O</p> <p>O</p> <p>O</p> <p>O</p> <p>O</p> <p>O</p> <p>O</p> <p>O</p> <p>O</p> <p>O</p> <p>O</p> <p>O</p>	

Oは、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(2 / 2)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	(c) 4C電源盤内、4S電源盤用NFB-B1を「切」にする。 (d) 4S電源盤の裏盤内、4C電源側452S1を「切」にする。 (e) 4S電源盤の裏盤内、4D電源側45.2S2が「切」であることを確認する。 (f) 電源設備操作7C分電盤7S系内、4S電源盤用NFB-B5を「切」にする。 (g) スペースヒータ分電盤内、非常系C用NFB-A4を「切」にする。	A-706 (#324) A-706 (#323) A-706 (#323) A-706 (#325) S-201 (#648)	O O O O O	< 4S電源 停電 >
	<< 2 課 点検 >>			

電源設備操作チェックシート

平成3年10月23日 (水)

PNC TN9410 95-269

<点検対象>

4 S 電源盤

<操作内容>

1、 4 S 電源復電

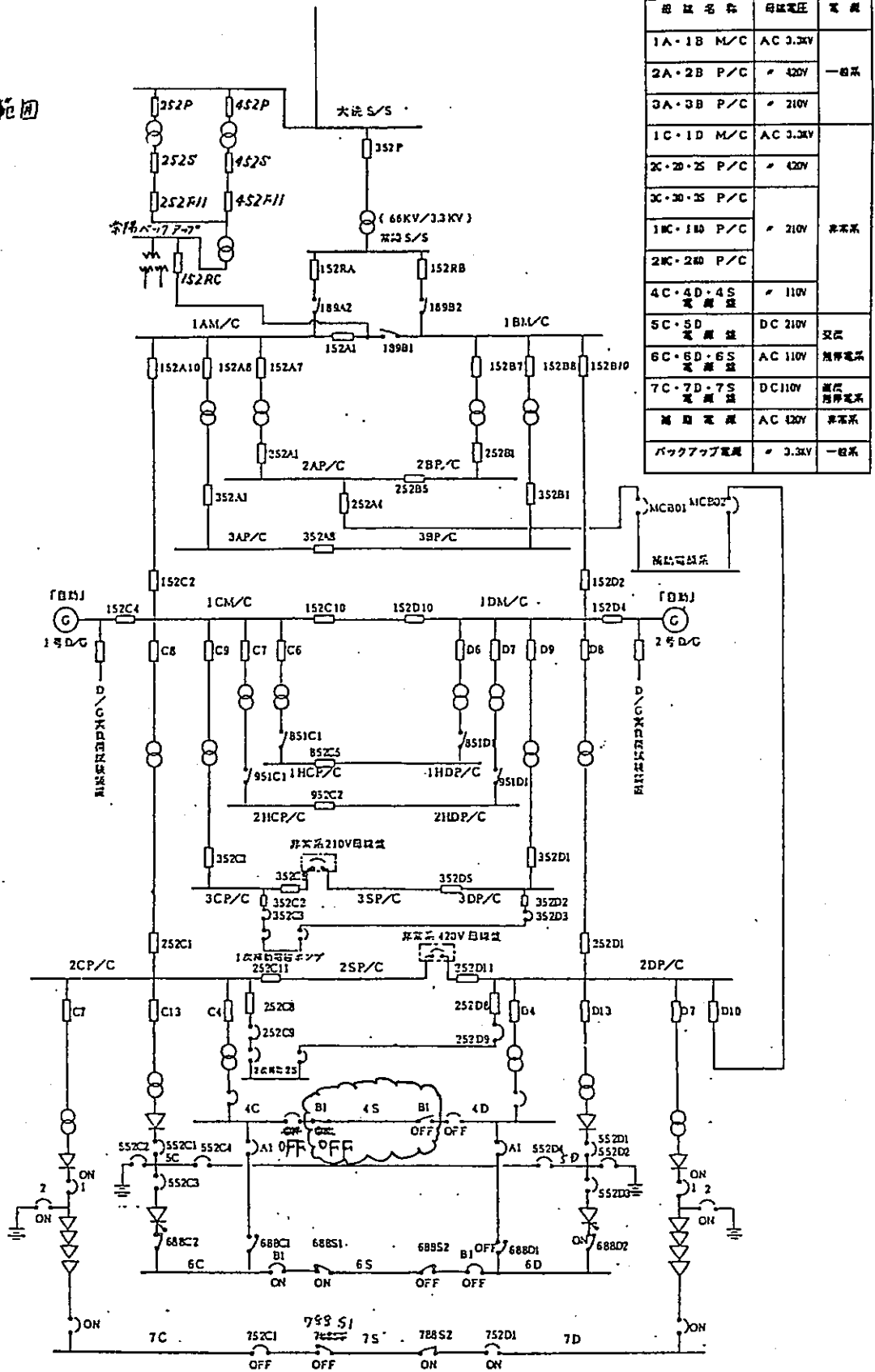
平成 3 年 / 10 月 23 日 (水)

4 S 電源盤

☁ : 停電範囲

□ : ON

■ : OFF



回路名称	回路電圧	電線
1A・1B M/C	AC 3.3kV	一般系
2A・2B P/C	≒ 420V	
3A・3B P/C	≒ 210V	
1C・1D M/C	AC 3.3kV	非常系
2C・2D P/C	≒ 420V	
3C・3D P/C	≒ 210V	
4C・4D・4S 電機盤	≒ 110V	
5C・5D 電機盤	DC 210V	交流
6C・6D・6S 電機盤	AC 110V	無停電系
7C・7D・7S 電機盤	DC 110V	無停電系
補助電源	AC 420V	非常系
バックアップ電源	≒ 3.3kV	一般系

「常陽」電源設備系統図

電10.23-2

Oは、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1 / 2)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<p><u>4 S電源復電</u></p> <p>(a) 4 D電源盤内、4 S電源盤用NFB-B1が「切」であることを確認する。</p> <p>(b) 4 S電源盤の裏盤内、4 D電源側452S2が「切」であることを確認する。</p> <p>(c) 電源設備操作7C分電盤7S系内、4 S電源盤用NFB-B5を「入」にする。</p> <p>(d) 4 S電源盤の裏盤内、4 C電源側452S1用制御電源スイッチ”8”を「入」とし、452S1を「入」にする。</p> <p>(e) 4 C電源盤内、4 S電源盤用NFB-B1を「入」にする。</p> <p>(f) 4 S電源盤内の次の各NFBを「入」にする。</p> <p>(1)1次計装分電盤 (4 S系) NFB-A1</p> <p>(2)主冷却建家 4 S分電盤 NFB-A2</p> <p>(3)中央制御室分電盤 (4 S系) NFB-A3</p> <p>(4)原子炉付属建家分電盤 (4 S系) NFB-B1</p> <p>(5)現場保物計装分電盤 NFB-B2</p> <p>(6)P・P用 NFB-C1</p> <p>(7)廃棄物処理系計装盤 NFB-C2</p> <p>(8)メンテナンス建家計装盤 NFB-C4</p> <p>(9)2次補助現場制御盤 NFB-D1</p> <p>(10)原子炉建家分電盤 (4 S系) NFB-D2</p>	<p>A-707 (#336)</p> <p>A-706 (#323)</p> <p>A-706 (#325)</p> <p>A-706 (#323)</p> <p>A-706 (#324)</p> <p>A-706 (#323)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p>< 4 S電源 復電 > ・ANN リセット可 「4 S 電源」</p>

電源設備操作チェックシート

平成3年10月24日 (水)

PNC TN9410 95-269

<停電対象>

補助電源

<操作内容>

- 1、 補助電源受電先切替え (2D-P/C受電から2A-P/C受電に切替える)

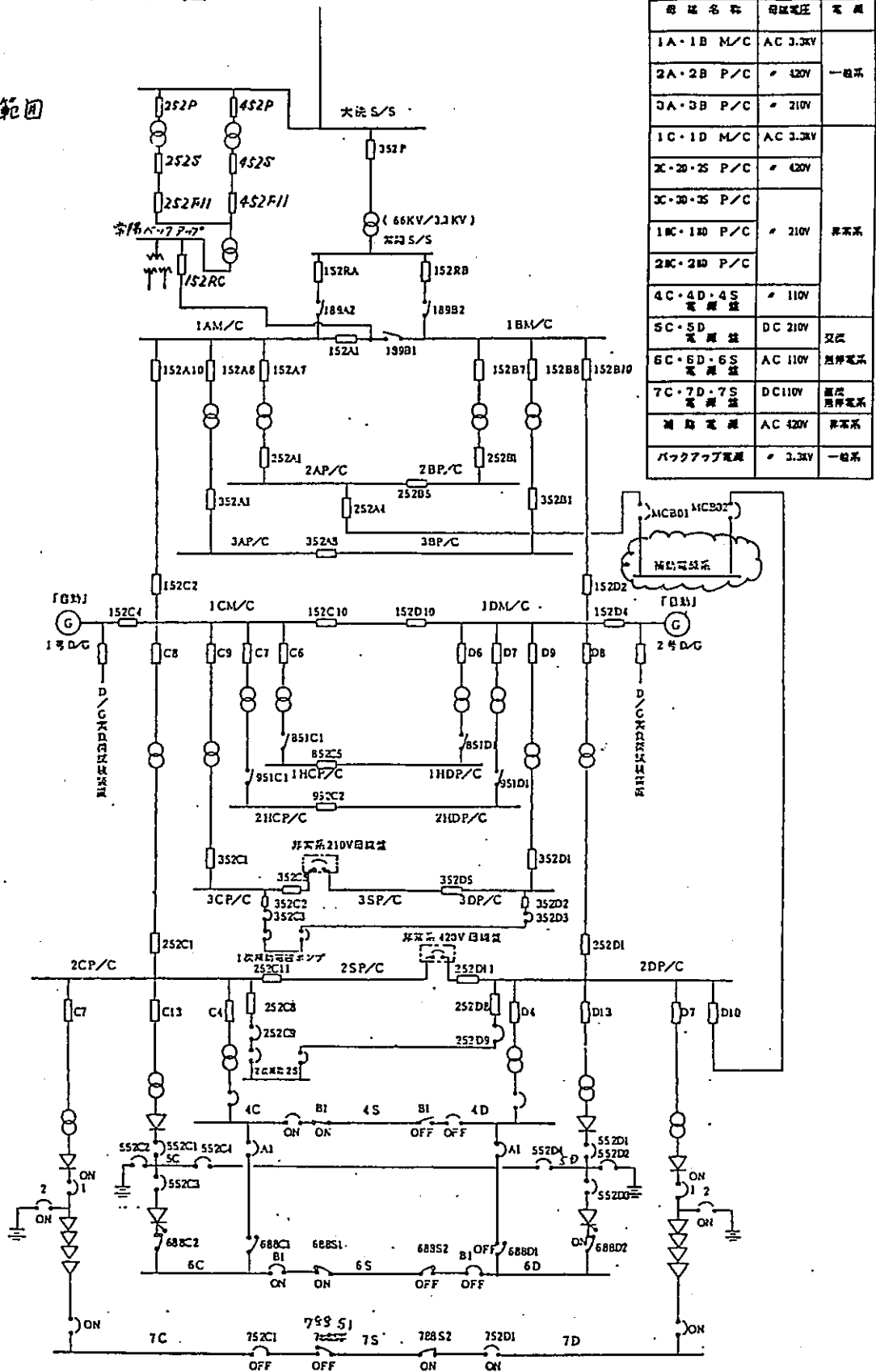
平成3年10月24日(水)

補助電源受電切替え

☁ : 停電範囲

□ : ON

■ : OFF



母線名称	母線電圧	系統
1A・1B M/C	AC 3.3KV	一般系
2A・2B P/C	φ 420V	
3A・3B P/C	φ 210V	
1C・1D M/C	AC 3.3KV	非常系
2C・2D P/C	φ 420V	
3C・3D P/C	φ 210V	
1E・1F P/C	φ 210V	
4C・4D・4S	φ 110V	交流
5C・5D	DC 210V	
6C・6D・6S	AC 110V	直流
7C・7D・7S	DC 110V	
補助電源	AC 420V	非常系
バックアップ電源	φ 3.3KV	一般系

「常陽」電源設備系統図

電10.24-2

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1 / 1)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<p><u>補助電源 切替え (2D P/C 受電→2A P/C 受電)</u></p> <p>(a) 2D-P/Cの補助電源設備用CB252D10を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB252D10を「試験位置」にする。</p> <p>(b) 受電盤 (補助電源設備) の非常系 MCB-02を「切」にする。</p> <p>(c) 受電盤 (補助電源設備) の一般系 MCB-01を「入」にする。</p> <p>(d) 2A-P/Cの補助電源設備用CB252A4を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB252A4を「入」にする。</p>	<p>A-707 (#332)</p> <p>A-707 (#326)</p> <p>A-707 (#326)</p> <p>S-201 (#643)</p>	<p>○○○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○○○</p>	<p><補助電源設備 停電></p> <p><補助電源設備 復電></p>

電源設備操作チェックシート

平成3年10月25日 (金)

PNC TN9410 95-269

<点検対象> 5C整流装置・6Cインバータ・7C整流装置・7C負荷電圧補償装置 停止

<操作内容> 1、 6S電源 切替 (6C受電から6D受電へ切り替える。)

2、 6C電源 特殊受電 (6Cインバータ受電から6D・6S受電へ切り替える。)

3、 6Cインバータ 停止

4、 5C電源 停電及び 5C整流装置 停止

5、 7C電源 特殊受電 (2C P/C受電から7D・7S受電へ切り替える。)

6、 7C整流装置 停止

<< 2課 点検 開始 >>

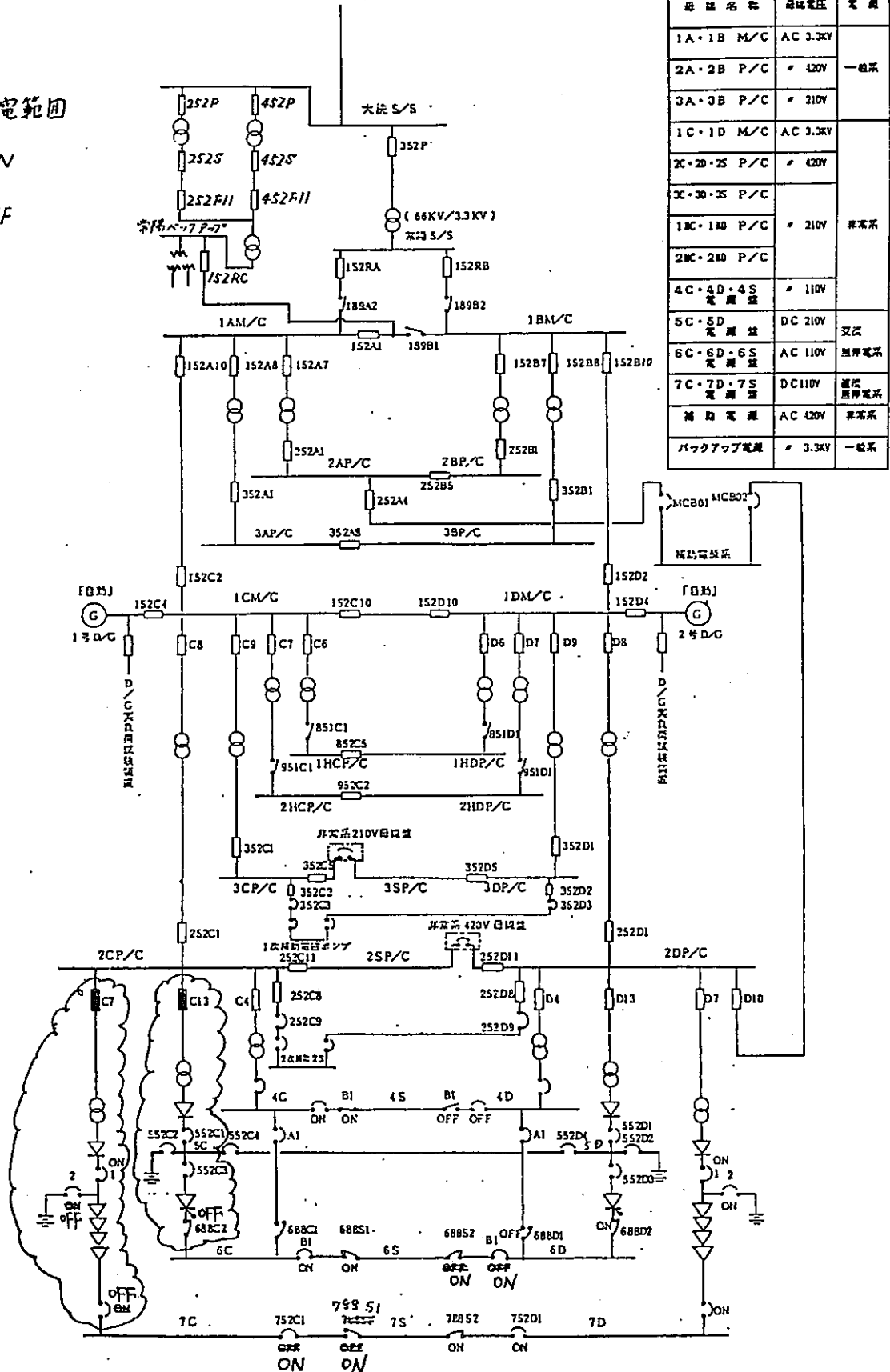
平成 3 年 / 10 月 25 日 (金)

C系無停電電源

☁ : 停電範囲

□ : ON

■ : OFF



「常陽」電源設備系統図

電10.25-2

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1 / 6)

PNC TN9410 95-269

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<p><u>6 S 電源 切替え (6C受電→6D受電)</u></p> <p>(a) 6 S 電源盤の COS 4 3 Aが「手動」であることを確認する。</p> <p>(b) 6 D 電源盤の 6 S 電源盤用 NFB-B 1を「入」にする。</p> <p>(c) 6 S 電源盤の 6 C 電源側 CS 3-688-S1を「切」にする。</p> <p>(d) 6 S 電源盤の 6 D 電源側 CS 3-688-S2を「入」にする。</p>	<p>A-704 (#341)</p> <p>A-707 (#340)</p> <p>A-704 (#341)</p> <p>A-704 (#341)</p>	<p></p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>・CSにてNFB を操作できない場合は、盤内NFB を手動にて操作する。</p> <p>< 6 S 電源 停電 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・G ランプ点灯 確認 ・ANN 発生 「常陽 S/S制御電源喪失」 「電源監視盤 AC 喪失」 「6 S 電源 (低電圧)」 <p>< 6 S 電源 復電 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・R ランプ点灯 確認

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(2 / 6)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
2	<p><u>6 C電源 特殊受電 (6 Cインバータ受電→6 D・6 S受電)</u></p> <p>(a) 6 C電源盤の4 C電源側CS3-688C1が「切」であることを確認する。</p> <p>(b) 6 C電源盤内、6 S電源盤用NFB-B1が「入」であることを確認する。</p> <p>(c) 6 C電源盤のCOS43Aを「手動」にする。</p> <p>(d) 4 C電源盤内、6 C電源盤用NFB-A1を「切」にする。</p> <p>(e) 6 C電源盤の6 Cインバータ側CS3-688C2を「切」にする。</p> <p>(f) 6 S電源盤のCOS43TAを「定検」にする。</p> <p>(g) 6 S電源盤の6 D電源側CS3-688S2が「入」で保持されていることを確認する。</p> <p>(h) 6 S電源盤の6 C電源側CS3-688S1を「入」にする。</p>	<p>A-704 (#304)</p> <p>A-704 (#304)</p> <p>A-704 (#304)</p> <p>A-706 (#324)</p> <p>A-704 (#304)</p> <p>A-704 (#341)</p> <p>A-704 (#341)</p> <p>A-704 (#341)</p>	<p></p> <p></p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>・CSにてNFB を操作できない場合は、盤内NFB を手動にて操作する。</p> <p>・G ランプ点灯 確認</p> <p>< 6 C電源 停電 ></p> <p>・G ランプ点灯 確認</p> <p>・ANN 発生 「C系低電圧」</p> <p>・R ランプ点灯 確認</p> <p>< 6 C 電源 復電 ></p> <p>・R ランプ点灯 確認</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(3 / 6)

PNC TN9410 95-269

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
3	<p><u>6Cインバータ 停止</u></p> <p>(a) 6Cインバータ(1) 盤前面の「停止」P. Bを押し、インバータを停止する。</p> <p>(b) 5C電源盤の6Cインバータ入力用CS3-552C3を「切」にする。</p> <p>(c) 5C整流装置盤内の次の6Cインバータ盤制御電源用NFBを「切」にする。</p> <p>(1) AC200V 制御電源用 NFB-8C (5C整流装置盤より)</p> <p>(2) AC110V 制御電源(インバータ出力)用 NFB-8I (6Cインバータ出力より)</p> <p>(3) DC110V 制御電源用 NFB-8D (5C電源盤より)</p>	<p>A-704 (#303)</p> <p>A-704 (#302)</p> <p>A-704 (#303)</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p><6Cインバータ 停止 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転ランプ 消灯確認 ・ANN 発生 「交流無停電 C」 (6Cインバータの 出力電圧 低) ・G ランプ点灯 確認 ・NFBの位置Noは、 NFB-E2 NFB-E11 NFB-E1

- 210 -

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(4 / 6)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
4	<p><u>5 C 電源 停電及び 5 C 整流装置 停止</u></p> <p>(a) 5 C 電源盤の母線連絡用 NFB-5 5 2 C 4 が「切」であることを確認する。</p> <p>(b) 5 D 電源盤の母線連絡用 NFB-5 5 2 D 4 が「切」であることを確認する。</p> <p>(c) 2 C P/C の 5 C 整流装置用 CB 2 5 2 C 1 3 を「切」にし、制御電源スイッチ「8」を「切」とし、CB 2 5 2 C 1 3 を「試験位置」にする。</p> <p>(d) 5 C 電源盤の 5 C 蓄電池出 (入) 力 CS 3-5 5 2 C 2 を「切」にする。</p> <p>(e) 5 C 電源盤の 5 C 整流器出力 CS 3-5 5 2 C 1 を「切」にする。</p> <p>(f) 5 C 整流装置盤内、制御電源用 NFB-1 を「切」にする。</p> <p>(g) 電源設備操作 7 C 分電盤内、5 C 整流装置用 NFB-C 4 を「切」にする。</p> <p>(h) 電源設備操作 7 C 分電盤内、5 C 電源盤用 NFB-A 2 を「切」にする。</p> <p>(i) NFB-5 5 2 C 2 の 2 次側が充電状態の為、5 C 蓄電池の 5 C 開閉器盤内 MCB-3 を「切」にする。</p> <p>(j) 6 C インバータ盤裏側の整流器入力 5 2 を「切」にする。</p>	<p>A-7 0 4 (#3 0 2)</p> <p>A-7 0 7 (#3 3 8)</p> <p>A-7 0 5 (#3 1 2)</p> <p>A-7 0 4 (#3 0 2)</p> <p>A-7 0 4 (#3 0 2)</p> <p>A-7 0 4 (#3 0 1)</p> <p>A-7 0 6 (#3 2 5)</p> <p>A-7 0 6 (#3 2 5)</p> <p>A-6 0 3</p> <p>A-7 0 4 (#3 0 5)</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○○○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>< 5 C 電源 停止及び、 5 C 整流装置 停止 ></p> <p>・ ANN 発生 「交流無停電 C」 (5 C 整流装置の 出力電圧 低)</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(5 / 6)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
5	<p><u>7C電源 特殊受電 (2C P/C受電→7D, 7S受電)</u></p> <p>(a) 7C電源盤の7S電源盤用CS3-752C1を「入」にする。</p> <p>(b) 7C電源盤内の電源引き込み用NFB-A1を「切」にする。</p> <p>(c) 7S電源盤のCOS43TDを「定検」にする。</p> <p>(d) 7S電源盤の7D電源側CS3-788-S2が「入」で保持されていることを確認する。</p> <p>(e) 7S電源盤の7C電源側CS3-788-S1を「入」にする。 (Rランプ点灯まで「入」を保持する。)</p>	<p>A-704 (#306)</p> <p>A-704 (#306)</p> <p>A-707 (#307)</p> <p>A-707 (#307)</p> <p>A-707 (#307)</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>< 7C電源 停電 > ・ANN 発生 「C系 低電圧」 「1号DG制御電源喪失」</p> <p>< 7C電源 復電 ></p>

PNC TN9410 95-269

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(6 / 6)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
6	<p><u>7C整流装置 停止</u></p> <p>(a) 2C P/Cの7C整流装置用CB252C7を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB252C7を「試験位置」にする。</p> <p>(b) 7C負荷電圧補償装置盤内、7C蓄電池主回路用NFB-2を「切」にする。</p> <p>(c) 7C負荷電圧補償装置盤内、ファン電源用NFBを「切」にする。</p> <p>(d) 7C整流装置盤内、7C直流主回路側NFB-1を「切」にする。</p> <p>(e) 7C整流装置盤内、制御電源用NFB-3を「切」にする。</p> <p>(f) 電源設備操作7C分電盤内、7C整流装置用NFB-A1を「切」にする。</p> <p>(g) スペースヒータ分電盤内、無停電系C用NFB-A2を「切」にする。</p> <p>(h) インバータ盤（補助電源設備）内、MCB-17を「切」にする。</p> <p>(i) NFB-2の2次側が充電状態の為、7C蓄電池の開閉器盤内MCB-1を「切」にする。</p>	<p>A-705 (#312)</p> <p>A-704 (#308)</p> <p>A-704 (#308)</p> <p>A-704 (#305)</p> <p>A-704 (#305)</p> <p>A-706 (#325)</p> <p>S-201 (#648)</p> <p>A-707 (#346)</p> <p>A-603</p>	<p>○○○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>・ANN 発生 「直流無停電 C」 (出力電圧 低)</p> <p>・ANNリセット可 「直流無停電 C」 (出力電圧 低)</p> <p>(5C, 5D, 7C, 7D 整流装置盤の デジタル電圧計用電源)</p>

電源設備操作チェックシート

平成3年11月12日 (火)

<点検対象> 5C整流装置・6Cインバータ・7C整流装置・7C負荷電圧補償装置 運転

<操作内容> << 2課 点検 終了 >>

1、 7C電源 特殊受電復旧及び 7C整流装置 運転

2、 5C電源 復電及び 5C整流装置 運転

3、 6Cインバータ 運転

4、 6C電源 特殊受電復旧(6D・6S受電から6Cインバータ受電へ切り替える。)

5、 6S電源 切替 (6C受電から6D受電へ切り替える。)

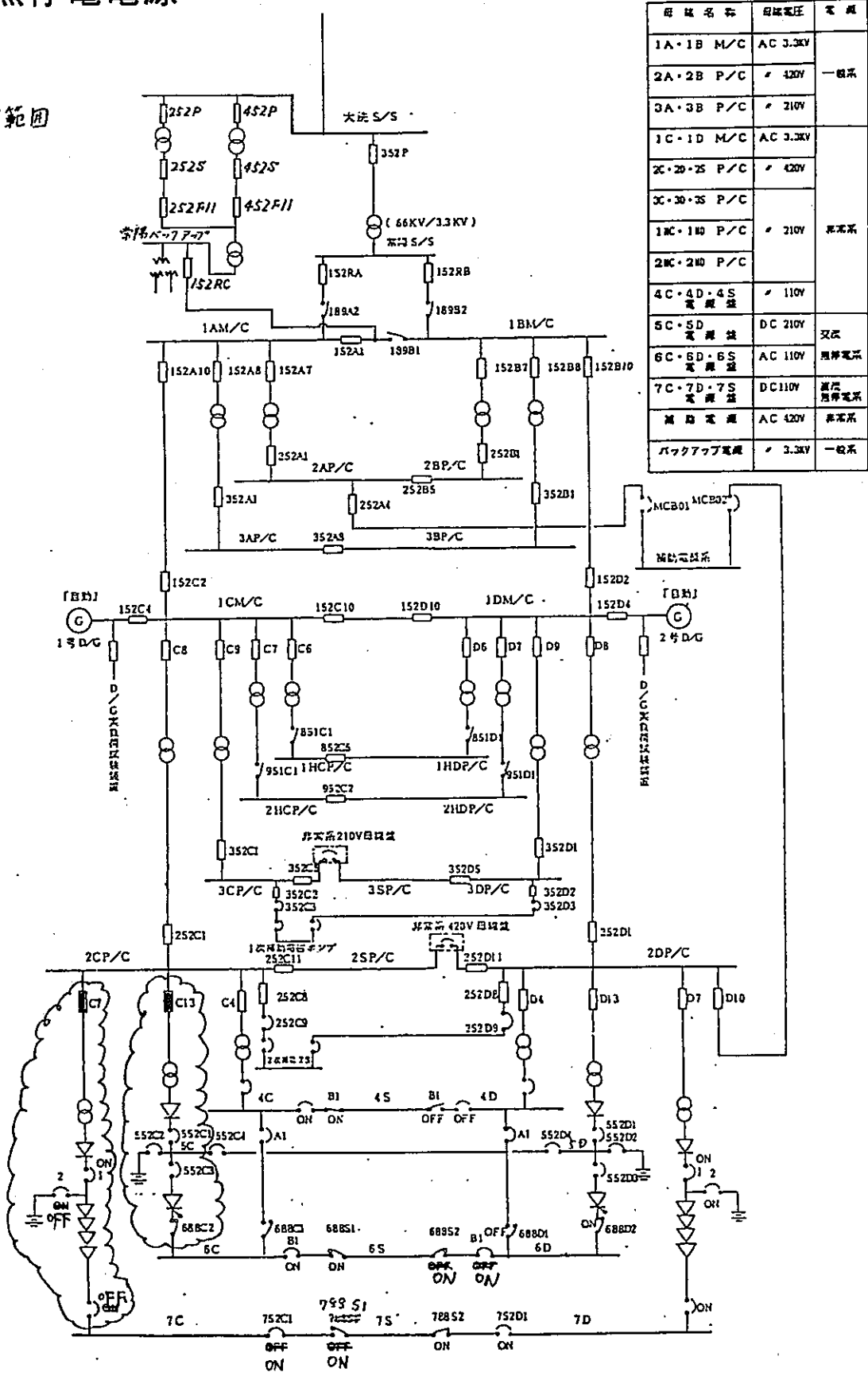
平成 3 年 11 月 12 日 (火)

C系無停電電源

☁ : 停電範囲

□ : ON

■ : OFF



回路名称	回路電圧	電機
1A・1B M/C	AC 3.3KV	一般系
2A・2B P/C	420V	
3A・3B P/C	210V	
1C・1D M/C	AC 3.3KV	非常系
2C・2D・2S P/C	420V	
3C・3D・3S P/C		
1MC・1MD P/C	210V	非常系
2MC・2MD P/C		
4C・4D・4S 電機盤	110V	交流
5C・5D 電機盤	DC 210V	
6C・6D・6S 電機盤	AC 110V	制御電機
7C・7D・7S 電機盤	DC 110V	
補助電機	AC 420V	非常系
バックアップ電機	3.3KV	一般系

「常陽」電源設備系統図

電 11. 12 - 2

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1 / 6)

PNC TN9410 95-269

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<p><u>7 C電源 特殊受電復旧及び 7 C整流装置 運転</u></p> <p>(a) 7 C電源盤内の電源引き込み用NFB-A1が「切」であることを確認する。</p> <p>(b) 7 C整流装置盤内、7 C直流主回路側NFB-1が「切」であることを確認する。</p> <p>(c) 7 C負荷電圧補償装置盤内、蓄電池主回路用NFB-2が「切」であることを確認する。</p> <p>(d) 7 S電源盤のCOS43Aが「手動」であることを確認する。</p> <p>(e) 7 S電源盤の7 C電源側CS3-788S1を「切」にする。</p> <p>(f) 7 C電源盤の7 S電源盤用CS3-752-C1を「切」にする。</p> <p>(g) 7 S電源盤のCOS43TDを「通常」にする。</p> <p>(h) 7 C蓄電池の7 C開閉器盤内MCB-1を「入」にする。</p> <p>(j) インバータ盤（補助電源設備）の裏盤内のMCB-17を「入」にする。</p> <p>(j) 電源補助監視盤内、7 C電源盤の制御電源用NFB-6Cが「入」であることを確認する。</p> <p>(k) 7 C負荷電圧補償装置盤内、蓄電池主回路用NFB-2を「入」にする。</p>	<p>A-704 (#306)</p> <p>A-704 (#305)</p> <p>A-704 (#308)</p> <p>A-707 (#307)</p> <p>A-707 (#307)</p> <p>A-704 (#306)</p> <p>A-707 (#307)</p> <p>A-603</p> <p>A-707 (#346)</p> <p>A-712 (#406)</p> <p>A-704 (#308)</p>	<p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p>・CSにてNFB を操作出来ない場合は、盤内NFB にて操作する。</p> <p>< 7 C電源 停電 ></p> <p>・ANN 発生</p> <p>「C系 低電圧」</p> <p>「1号DG制御電源喪失」</p> <p>「電源監視盤AC喪失」</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(2 / 6)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
	(l) 7C電源盤内の電源引き込み用NFB-A1を「入」にする。	A-704 (#306)	*	< 7C電源 復電 > ・ANN リセット可 「C系 低 電圧」 「1号DG制御電源喪失」 「電源監視盤AC喪失」
	(m) 電源設備操作7C分電盤内、7C整流装置用NFB-A1を「入」にする。	A-706 (#325)	*	
	(n) 7C整流装置盤内、制御電源用NFB-3を「入」にする。	A-704 (#305)	*	
	(o) 2C P/Cの7C整流装置用CB252C7を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB252C7を「入」にする。	A-705 (#312)	***	< 7C整流装置 運転 >
	(p) 7C整流装置盤内、7C直流主回路側NFB-1を「入」にする。	A-704 (#305)	*	

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(3 / 6)

PNC TN9410 95-269

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
2	<p><u>5 C電源 復電及び 5 C整流装置 運転</u></p> <p>(a) 6 Cインバータ盤裏側の整流器入力用5 2を「入」にする。</p> <p>(b) 5 C蓄電池の5 C開閉器盤内MCB-3を「入」にする。</p> <p>(c) 電源設備操作7 C分電盤内、5 C電源盤用NFB-A2を「入」にする。</p> <p>(d) 電源設備操作7 C分電盤内、5 C整流装置用NFB-C4を「入」にする。</p> <p>(e) 5 C電源盤の母線連絡用NFB-5 5 2 C4が「切」であることを確認する。</p> <p>(f) 5 C電源盤の母線連絡用NFB-5 5 2 D4が「切」であることを確認する。</p> <p>(g) 5 C整流装置盤内、制御電源用NFB-1を「入」にする。</p> <p>(h) 2 C P/Cの5 C整流装置用CB2 5 2 C13を「運転位置」にし、制御電源スイッチ” 8”を「入」とし、CB2 5 2 C13を「入」にする。</p> <p>(i) 5 C電源盤の5 C整流器出力CS3-5 5 2 C1を「入」にする。</p> <p>(j) 5 C電源盤の5 C蓄電池出(入)力CS3-5 5 2 C2を「入」にする。</p>	<p>A-7 0 4 (# 3 0 5)</p> <p>A-6 0 3</p> <p>A-7 0 6 (# 3 2 5)</p> <p>A-7 0 6 (# 3 2 5)</p> <p>A-7 0 4 (# 3 0 2)</p> <p>A-7 0 7 (# 3 3 2)</p> <p>A-7 0 4 (# 3 0 1)</p> <p>A-7 0 5 (# 3 1 2)</p> <p>A-7 0 4 (# 3 0 2)</p> <p>A-7 0 4 (# 3 0 2)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>***</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p>・ANN 発生 「交流無停電 C」 (5 C整流装置の 出力電圧 低)</p> <p>< 5 C整流装置 運転 ></p> <p>< 5 C電源 復電 > ・ANN リセット可 「交流無停電 C」</p>

- 2 1 8 -

Oは、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(4 / 6)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
3	<p><u>6Cインバータ 運転</u></p> <p>(a) 5C整流装置盤内の次の6Cインバータ盤制御電源用NFBを「入」にする。</p> <p>(1) AC200V 制御電源用 NFB-8C (5C整流装置盤より)</p> <p>(2) AC110V 制御電源(6Cインバータ出力)用 NFB-8I (6Cインバータ出力より)</p> <p>(3) DC110V 制御電源用 NFB-8D (5C電源盤より)</p> <p>(b) 5C電源盤の6Cインバータ入力用CS3-552C3を「入」にする。</p> <p>(c) 6Cインバータ盤前面の「インバータ」P. Bを押し、インバータを運転する。</p>	<p>A-704 (#303)</p> <p>A-704 (#302)</p> <p>A-704 (#303)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p>・NFBの位置Noは、 NFB-E2</p> <p>NFB-E11</p> <p>NFB-E1</p> <p>・ANN 発生 「交流無停電 C」 (6Cインバータの 出力電圧 低:制御電源 が復電した為)</p> <p><6Cインバータ 運転 ></p> <p>・ANN リセット可 「交流無停電 C」</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(5 / 6)

PNC TN9410 95-269

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
4	<p><u>6 C電源 特殊受電復旧</u></p> <p>(a) 6 C電源盤の4 C電源側CS3-688C1が「切」であることを確認する。</p> <p>(b) 6 S電源盤の6 C電源側CS3-688S1を「切」にする。</p> <p>(c) 6 S電源盤のCOS43TAを「通常」にする。</p> <p>(d) 6 C電源盤の6 Cインバータ側CS3-688C2を「入」にする。</p> <p>(e) 4 C電源盤内、6 C電源盤用NFB-A1を「入」にする。</p> <p>(f) 6 C電源盤のCOS43Aを「自動」にする。</p>	<p>A-704 (#304)</p> <p>A-704 (#341)</p> <p>A-704 (#341)</p> <p>A-704 (#304)</p> <p>A-706 (#324)</p> <p>A-704 (#304)</p>	<p></p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p></p> <p>< 6 C電源 停電 > ・ANN 発生 「C系 低電圧」</p> <p>< 6 C電源 復電 > ・ANN リセット可 「C系 低電圧」</p>

Oは、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(6 / 6)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
5	<p><u>6 S電源 切替</u></p> <p>(a) 6 C電源盤の6 S電源盤用NFB-B1が「入」であることを確認する。</p> <p>(b) 6 S電源盤のCOS43Aが「手動」であることを確認する。</p> <p>(c) 6 S電源盤の6 D電源側CS3-688S2を「切」にする。</p> <p>(d) 6 S電源盤の6 C電源側CS3-688S1を「入」にする。</p> <p>(e) 6 D電源盤の6 S電源盤用NFB-B1を「切」にする。</p> <p>(f) スペースヒータ分電盤内、無停電C系用NFB-A2を「入」にする。</p>	<p>A-704 (#304)</p> <p>A-704 (#341)</p> <p>A-704 (#341)</p> <p>A-704 (#341)</p> <p>A-707 (#340)</p> <p>S-201 (#648)</p>	<p></p> <p></p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p></p> <p></p> <p>< 6 S電源 停電 > ・ANN 発生 「6 S 電源」</p> <p>< 6 S電源 復電 > ・ANN リセット可 「6 S 電源」</p>

電源設備操作チェックシート

平成3年11月14日 (木)

PNC TN9410 95-269

<点検対象> 5D整流装置・6Dインバータ・7D整流装置・7D負荷電圧補償装置 停止

<操作内容> 1、 6D電源特殊受電 (6Dインバータ受電→6C、6S受電)

2、 6Dインバータ停止

3、 5D電源停電及び5D整流装置停止

4、 7S電源 母線切替え (7D受電→7C受電)

5、 7D電源特殊受電 (2D-P/C受電→7C、7S受電)

6、 7D整流装置停止

<< 2課 点検 >>

平成3年11月14日(木)

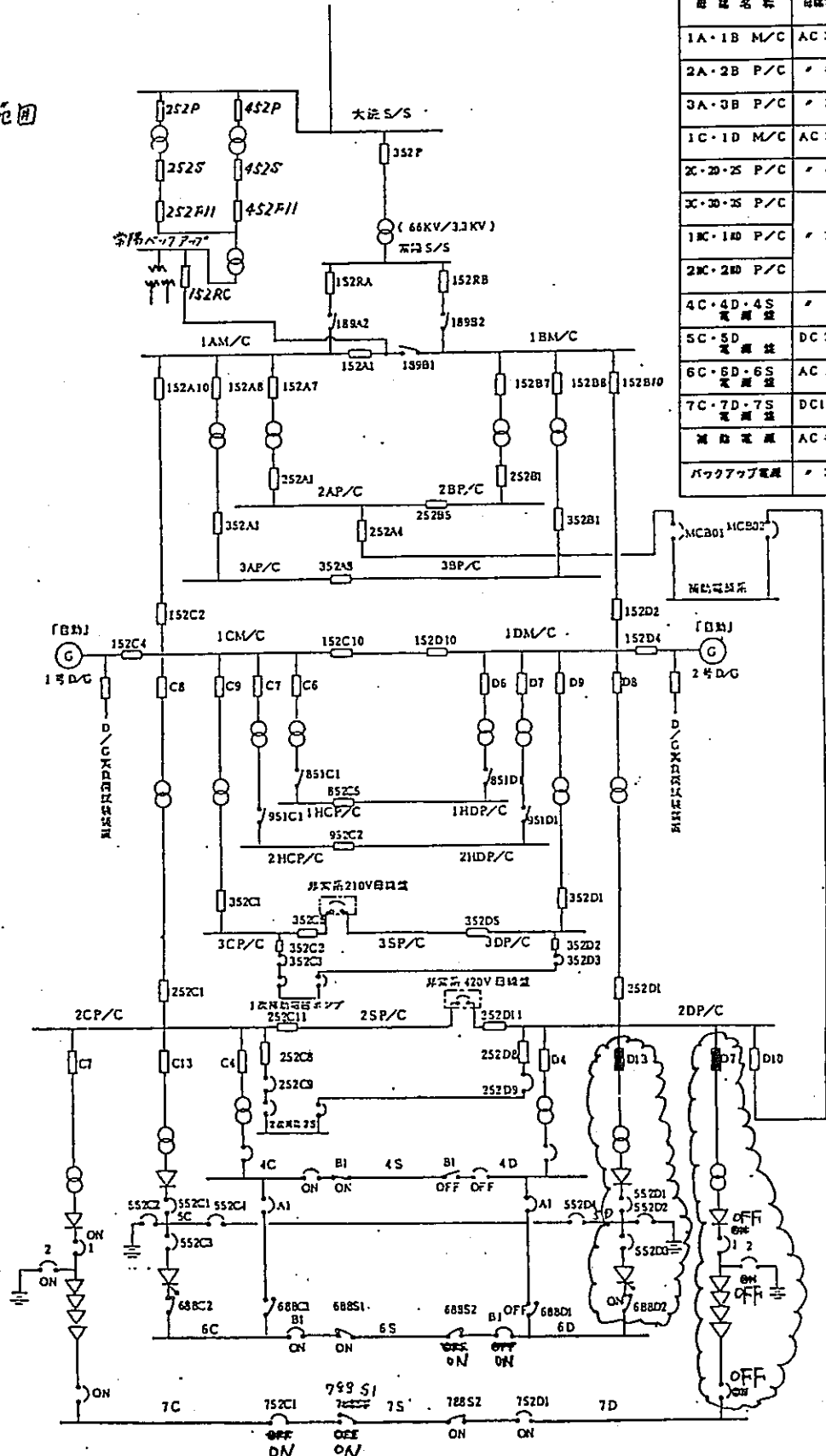
D系無停電電源

☁ : 停電範囲

□ : ON

■ : OFF

回路名称	回路電圧	電線
1A・1B M/C	AC 3.3kV	一般系
2A・2B P/C	420V	
3A・3B P/C	210V	
1C・1D M/C	AC 3.3kV	非常系
2C・2D P/C	420V	
3C・3D P/C	210V	
1E・1F P/C	210V	非常系
2E・2F P/C	210V	
4C・4D・4S 電線盤	110V	交流
5C・5D 電線盤	DC 210V	
6C・6D・6S 電線盤	AC 110V	遮断電線
7C・7D・7S 電線盤	DC 110V	
補助電線	AC 420V	非常系
バックアップ電線	3.3kV	一般系



「常陽」電源設備系統図

電11. 14 - 2

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1 / 5)

PNC TN9410 95-269

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<p><u>6D電源特殊受電 (6Dインバータ受電→6C・6S受電)</u></p> <p>(a) 6D電源盤の4D電源側CS3-688D1が「切」であることを確認する。</p> <p>(b) 6D電源盤のCOS43Aを「手動」にする。</p> <p>(c) 6D電源盤内、6S電源盤用NFB-B1を「入」にする。</p> <p>(d) 4D電源盤内、6D電源盤用NFB-A1を「切」にする。</p> <p>(e) 6D電源盤の6Dインバータ側CS3-688D2を「切」にする。</p> <p>(f) 6S電源盤のCOS43TAを「定検」にする。</p> <p>(g) 6S電源盤の6D電源側CS3-688S2を「入」にする。</p> <p>(h) 6S電源盤の6C電源側CS3-688S1が「入」で保持されていることを確認する。</p>	<p>A-707 (#340)</p> <p>A-707 (#340)</p> <p>A-707 (#340)</p> <p>A-707 (#336)</p> <p>A-707 (#340)</p> <p>A-704 (#341)</p> <p>A-704 (#341)</p> <p>A-704 (#304)</p>	<p></p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>・Gランプ点灯確認</p> <p>< 6D電源停電 ></p> <p>・Gランプ点灯確認</p> <p>・ANNが発生する。 「D系低電圧」 「電源監視盤AC喪失」</p> <p>< 6D電源復電 ></p> <p>・Rランプ点灯確認</p> <p>・ANN リセット可 「D系低電圧」 「電源監視盤AC喪失」</p>

- 224 -

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(2 / 5)

PNC TN9410 95-269

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
2	<u>6Dインバータ停止</u>			
	(a) 6Dインバータ(1)盤のCS3-72を「停止」にする。	A-707	○	<6Dインバータ停止> ・運転ランプ消灯確認 ・ANN 発生 「交流無停電 D」 (6Dインバータの出力電圧低)
	(b) 5D電源盤の6Dインバータ入力用CS3-552D3を「切」にする。	A-707	○	・Gランプ点灯確認
	(c) 5D整流装置盤内の次の6Dインバータ盤制御電源用NFBを「切」にする。	A-707		
	① AC200V制御電源用(5D整流装置盤より) NFB-8C		○	NFB-E2
② AC110V制御電源用(インバータ出力)用(6Dインバータ出力より) NFB-8I		○	NFB-E11	
③ DC110V制御電源用(5D電源盤より) NFB-8D		○	NFB-E1 ・ANN リセット可 「交流無停電 D」 (制御電源喪失の為)	
3	<u>5D電源停電、5D整流装置停止</u>			
	(a) 5C電源盤の母線連絡用NFB-552C4が「切」であることを確認する。	A-704 (#302)	○	・Gランプ点灯確認 (CS3-552C4)
	(b) 5D電源盤の母線連絡用NFB-552D4が「切」であることを確認する。	A-707	○	・Gランプ点灯確認 (CS3-552D4)
	(c) 2DP/Cの5D整流装置用CB-252D13を「切」にし、制御電源スイッチ"8"を「切」とし、CB-252D13を「試験位置」にする。	A-707 (#332)	○○○	
	(d) 5D電源盤の5D蓄電池出(入)力用CS3-552D2を「切」にする。	A-707	○	<5D電源停電及び、5D整流装置停止> ・Gランプ点灯確認 ・ANN 発生 「交流無停電 D」 (5D整流装置の出力電圧低)

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(3 / 5)

PNC TN9410 95-269

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
3	(e) 5 D電源盤の5 D整流器出力CS 3-5 5 2 D 1を「切」にする。 (f) 5 D整流装置盤内、制御電源用NFB-1を「切」にする。 (g) 電源設備操作7 D分電盤内、5 D整流装置用NFB-C 1を「切」にする。 (h) 電源設備操作7 D分電盤内、5 D電源盤用NFB-B 3を「切」にする。 (i) NFB-5 5 2 D 2の2次側が充電状態の為、5 D蓄電池の5 D開閉器盤内MCB-4を「切」にする。 (j) 5 D整流装置裏盤内、5 D整流装置入力用NFB-5 2を「切」にする。	A-7 0 7 A-7 0 7 A-7 0 7 A-7 0 7 A-7 0 8 A-7 0 7	○ ○ ○ ○ ○ ○	・Gランプ点灯確認 ・ANN リセット可 「交流無停電 D」 (制御電源喪失の為)
4	<u>7 S電源 母線切替え (7 D受電→7 C受電)</u> (a) 7 S電源盤のCOS 4 3 Aが「手動」であることを確認する。 (b) 7 S電源盤の7 D電源側CS 3-7 8 8 S 2を「切」にする。 (c) 7 C電源盤の7 S電源盤用CS 3-7 5 2 C 1を「入」にする。 (d) 7 S電源盤の7 C電源側CS 3-7 8 8 S 1を「入」にする。 (Rランプ点灯まで「入」を保持する。)	A-7 0 7 A-7 0 7 A-7 0 4 A-7 0 7	○ ○ ○ ○	< 7 S電源停電 > ・Gランプ点灯確認 ・ANN 発生 「常陽S/S 制御電源喪失」 「電源監視盤DC喪失」 「7 S電源低電圧」 ・Rランプ点灯確認 < 7 S電源復電 > ・Rランプ点灯確認 ・ANN リセット可 「常陽S/S 制御電源喪失」 「電源監視盤DC喪失」 「7 S電源低電圧」

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(4 / 5)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
5	<p><u>7D電源 特殊受電 (2DP/C 受電→7C, 7S受電)</u></p> <p>(a) 7D電源盤の7S電源盤用CS3-752D1が「入」であることを確認する。</p> <p>(b) 7D電源盤内の電源引込み用NFB-A1を「切」にする。</p> <p>(c) 7S電源盤のCOS43TDを「定検」にする。</p> <p>(d) 7S電源盤の7C電源側CS3-788S1が「入」で保持されていることを確認する。</p> <p>(e) 7S電源盤の7D電源側CS3-788S2を「入」にする。 (Rランプ点灯まで「入」を保持する。)</p>	<p>A-707 (#342)</p> <p>A-707 (#342)</p> <p>A-707 (#307)</p> <p>A-707 (#307)</p> <p>A-707 (#307)</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>・Rランプ点灯確認</p> <p>< 7D電源停電 ></p> <p>・Gランプ点灯確認</p> <p>・ANN 発生 「D系低電圧」 「2号DG制御電源喪失」</p> <p>・Rランプ点灯確認</p> <p>< 7D電源復電 ></p> <p>・Rランプ点灯確認</p> <p>・ANN リセット可 「D系 低電圧」 「2号DG制御電源喪失」</p>
6	<p><u>7D整流装置 停止</u></p> <p>(a) 2DP/C の7D整流装置用CB252D7を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」としCB252D7を「試験位置」にする。</p> <p>(b) 7D負荷電圧補償装置盤内、7D蓄電池用NFB-2を「切」にする。</p> <p>(c) 7D負荷電圧補償装置盤内、7D蓄電池用NFB-4を「切」にする。</p> <p>(d) 7D整流装置盤内、7D整流装置出力側NFB-1を「切」にする。</p> <p>(e) 7D整流装置盤内、制御電源用NFB-3を「切」にする。</p> <p>(f) 電源設備操作7D分電盤内、7D整流装置用NFB-C2を「切」にする。</p>	<p>A-707 (#382)</p> <p>A-707 (#343)</p> <p>A-707 (#343)</p> <p>A-707 (#344)</p> <p>A-707 (#344)</p> <p>A-707 (#345)</p>	<p>○○○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>< 7D整流装置停止. ></p> <p>・ANN 発生 「直流無停電 D」 (出力電圧低)</p> <p>・ANN リセット可 「直流無停電 D」 (出力電圧低)</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(5 / 5)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
6	(g)スペースヒータ分電盤内、無停電系D用NFB-A1を「切」にする。 (h)インバータ盤(補助電源設備)の裏盤内のMCB-17を「切」にする。 (i)NFB-2の2次側が充電状態の為、7D蓄電池の7D開閉器盤内MCB-2を「切」にする。	S-201 (#648) A-707 (#346) A-708	○ ○ ○	(5C, 5D, 7C, 7D 整流装置盤のデジタル電圧計用電源)
	<< 2 課 点 検 >>			

PNC TN9410 95-269

- 228 -

電源設備操作チェックシート

平成3年11月18日 (月)

<点検対象>

2D - P/C 点検

<操作内容>

1、 4D電源設備 切替 (2D-P/C受電から4C系受電へ切替える。)

2、 2D-P/C 停電

<< 2課 点検 >>

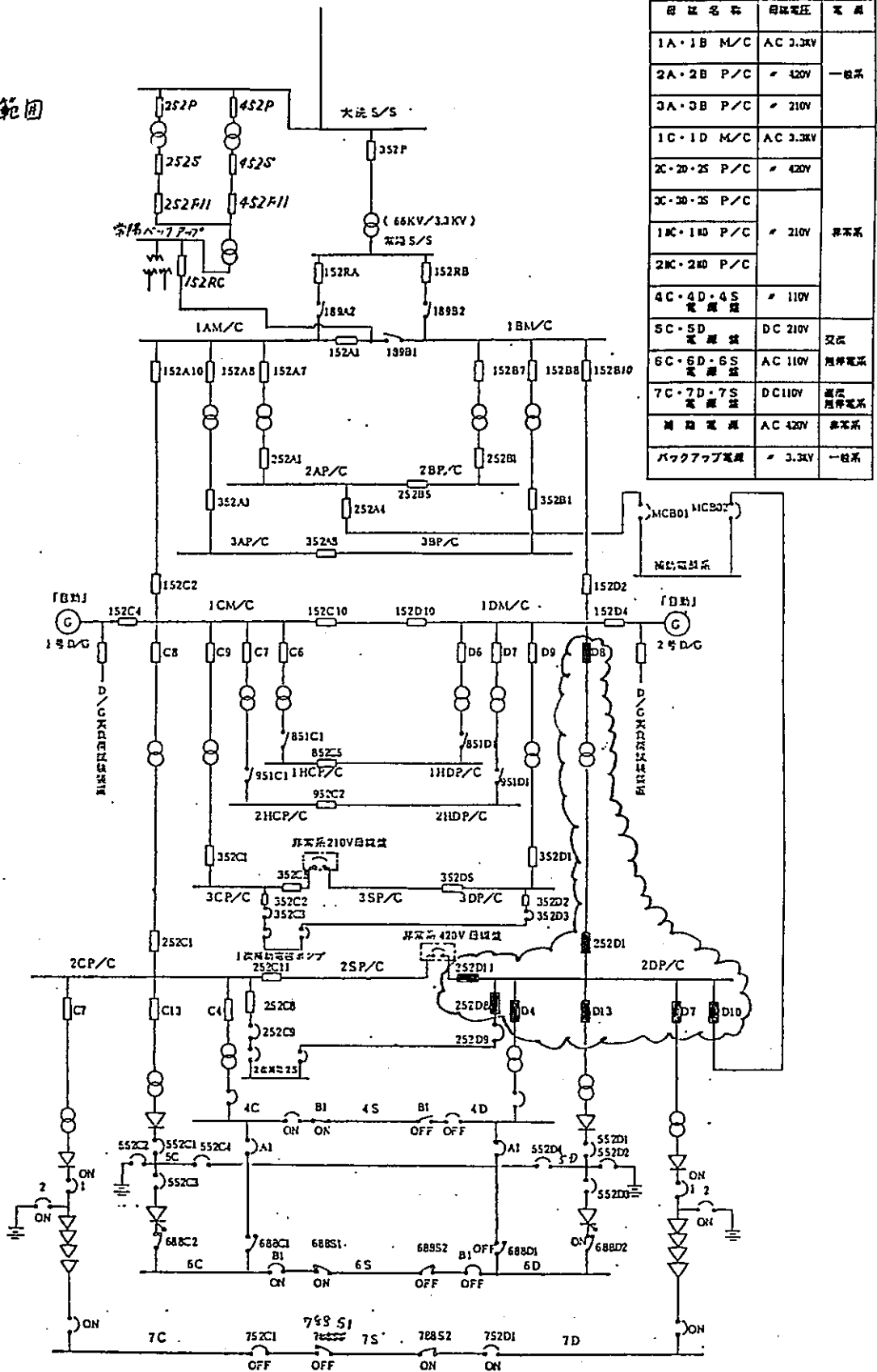
平成3年11月18日(月)

2D-P/C

☁ : 停電範囲

□ : ON

■ : OFF



「常陽」電源設備系統図

電11.18-2

Oは、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1 / 2)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<u>4D電源盤 特殊受電 (4C→4S→4D)</u>			
	(a) 4S電源盤の4C電源盤側452-S1の"8"が「入」であることを確認する。	A-706 (#323)		・盤裏面
	(b) 4S電源盤の4D電源盤側452-S2の"8"が「入」であることを確認する。	A-706 (#323)		・ "
	(c) 2D-P/Cの4D電源用CB252D4を「切」にし、制御電源スイッチ"8"を「切」とし、CB252D4を「試験位置」にする。	A-707 (#332)	000	<4D電源 停電> ・ANN 発生 「4D電源」
	(d) 4D電源引込み用NFB-B2を「切」にする。	A-706 (#336)	0	
	(e) 4D電源盤内の4S電源用NFB-B1を「入」にする。	A-706 (#336)	0	
	(f) 4S電源盤のCOS-43Tを「定検」にする。	A-706 (#323)	0	・盤裏面
	(g) 4S電源盤のCS3-452-S1が「入」で保持されていることを確認する。	A-706 (#323)		・ "
	(h) 4S電源盤のCS3-452-S2を「入」にする。	A-706 (#323)	0	・ " <4D電源 復電>
2	<u>2D-P/C 停電</u>			
	(a) 2D-P/Cの順序投入COS43Aを「解除」にする。	A-707 (#332)	0	
	(b) 2D-P/Cの次の各CBを「切」にし、制御電源スイッチ"8"を「切」とし、CBを「試験位置」にする。	A-707 (#332)		
	① 原子炉付属建家 2D-1C/C用 CB252D2	A-707 (#332)	000	・ANN 発生
	② 原子炉付属建家 2D-2C/C用 CB252D3		000	・ANN 発生
	③ 4D電源用 CB252D4 確認のみ			
	④ B遮コンプロワ用 CB252D5		000	・ANN 発生

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(2 / 2)

PNC TN9410 95-269

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
	⑤ 原子炉建家 2D-C/C用 CB252D6	A-707 (#332)	000	
	⑥ 7D整流装置用 CB252D7 確認		0	
	⑦ 2次補助 2S-C/C用 CB252D8 確認		0	
	⑧ 補助電源設備用 CB252D10 確認		0	
	⑨ 2S-P/C用 CB252D11 確認		0	
	⑩ 主冷却機建家 2D-C/C用 CB252D12		000	
	⑪ 5D整流装置用 CB252D13 確認		0	
	(c) 2D-P/Cの2次補助2S-C/C用 CB252D9が「切」であることを確認し、 制御電源スイッチ”8”を「切」にする。	A-707 (#332)	0	
	(d) 1D-M/Cの2D-P/C用 CB152D8を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を 「切」とし、CB152D8を「試験位置」にする。	A-707 (#331)	000	<2D-P/C 停電> ・ANN 発生 「D系低電圧」
	(e) 2D-P/Cの変圧器2次側 CB252D1を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を 「切」とし、CB252D1を「試験位置」にする。	A-707 (#332)	000	
	(f) 非常系AC420V母線盤内、NFBを「切」にする。	A-707 (#356)	0	
	(g) 2次補助 2S-C/C MCB盤内、D系のNFBを「切」にする。	A-705 (#は無し)	0	
	(h) 電源設備操作7D分電盤内、2D-P/C制御用 NFB-A3を「切」にする。	A-707 (#345)	0	
	(i) スペースヒータ分電盤内、非常系Dスペースヒータ用 NFB-A3を「切」にする。	S-201 (#648)	0	

電源設備操作チェックシート

平成3年11月24日 (日)

PNC TN9410 95-269

<点検対象>

2D-P/C 復電

<操作内容>

<< 2課 点検終了 >>

1、 2D-P/C 復電

2、 4D電源 母線切替え (4C受電→2D-P/C受電)

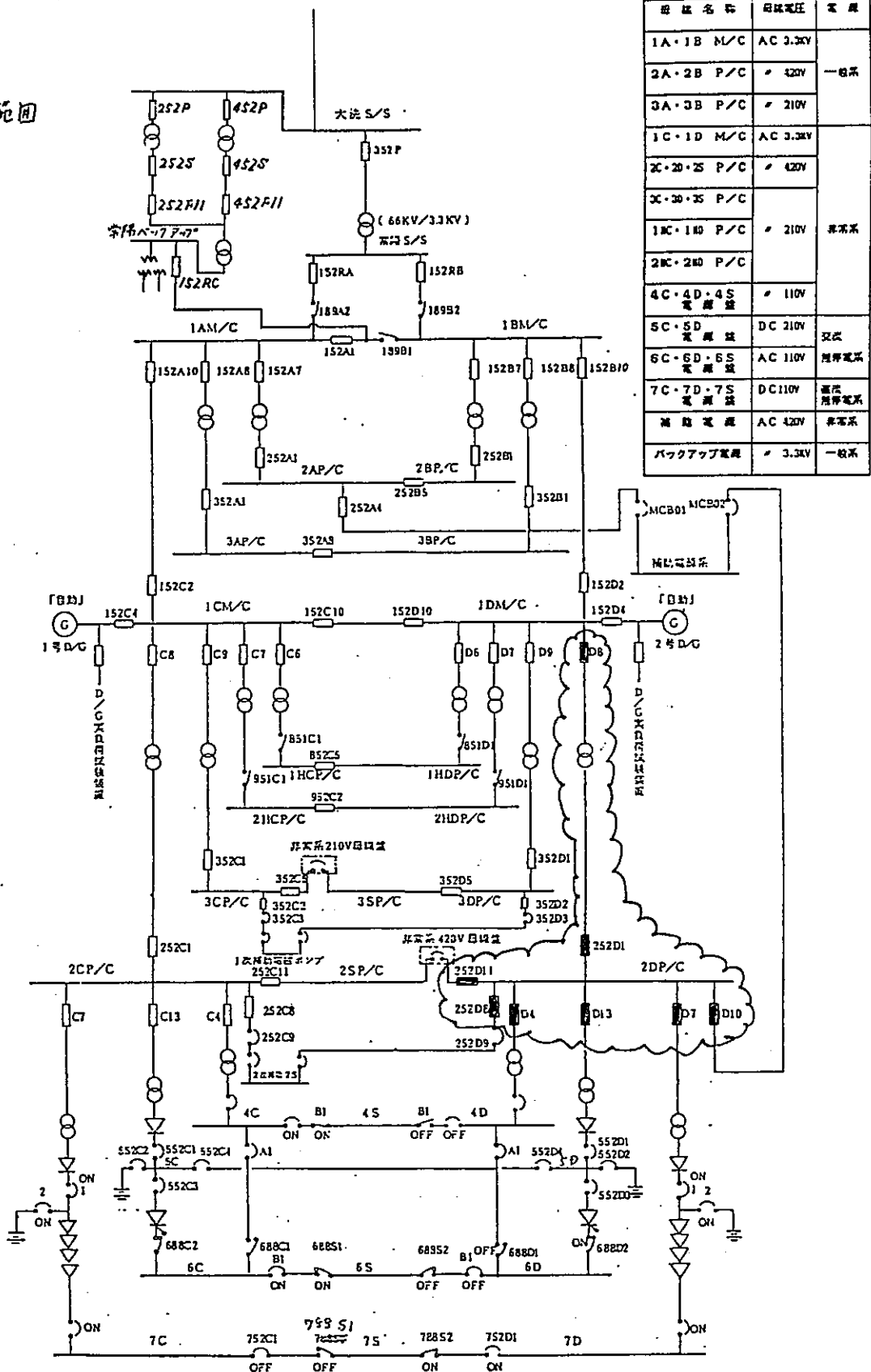
平成 3 年 11 月 24 日 (日)

2D-P/C

☁ : 停電範囲

□ : ON

■ : OFF



「常陽」電源設備系統図

電 11. 24 - 2

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1/2)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<u>2D-P/C復電</u>			
	(a) 電源設備操作7D分電盤内、2D-P/C制御電源用 NFB-A3を「入」にする。	A-707 (#345)	*	
	(b) 2D-P/Cの変圧器2次側 CB252D1を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB252D1を「入」にする。	A-707 (#332)	***	
	(c) 1D-M/Cの2D-P/C用 CB152D8を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB152D8を「入」にする。	A-707 (#331)	***	<2D-P/C復電>
	(d) 2D-P/Cの次の各CBを「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CBを「入」にする。	A-707 (#332)		
	① 原子炉付属建家 2D-1C/C 用 CB252D2		***	
	② 原子炉付属建家 2D-2C/C 用 CB252D3		***	
	③ B遮コンプロウ用 CB252D5		***	
	④ 原子炉建家 2D-2C/C 用 CB252D6		***	
	⑤ 主冷却機建家 2D-C/C 用 CB252D12		***	
	(e) 次の各CBの「切」を確認する。	A-707 (#332)		
	① 7D整流装置用 CB252D7		*	
	② 2次補助 2S-C/C 用 CB252D8		*	
	③ 補助電源用 CB252D10		*	
	④ 2S-P/C 用 CB252D11		*	
	⑤ 5D整流装置用 CB252D13		*	

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(2 / 2)

PNC TN9410 95-269

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	(f) 2D-P/Cの2次補助 2S-C/C用 CB252D9が「切」である事を確認し、制御電源スイッチ”8”を「入」にする。	A-707 (#332)	*	
	(g) 2D-P/Cの順序投入COS43Aを「自動」にする。	A-707 (#332)	*	
	(h) 非常系 AC420V 母線盤内、NFBを「入」にする。	A-707 (#356)	*	
	(i) 2次補助 2S-C/CMCB盤内、D系のNFBを「入」にする。	A-705 (#は無し)	*	
	(j) スペースヒータ分電盤内、非常系Dスペースヒータ用 NFB-A3を「入」にする。	S-201 (#648)	*	
2	<u>4D電源盤 復電</u>			
	(a) 4S電源盤の4C電源盤側452-S1の”8”が「入」であることを確認する。	A-706 (#323)		・ 盤裏面
	(b) 4S電源盤の4D電源盤側452-S2の”8”が「入」であることを確認する。	A-706 (#323)		・ ”
	(c) 4S電源盤のCS3-452-S2を「切」にする。	A-706 (#323)	*	・ ”
	(d) 4S電源盤のCOS-43Tを「通常」にする。	A-706 (#323)	*	< 4D電源停電 > ・ ”
	(e) 4S電源盤のCS3-452-S1が「入」で保持されていることを確認する。	A-706 (#323)		・ ”
	(f) 4D電源盤内の4S電源用NFB-B1を「切」にする。	A-706 (#336)	*	
	(g) 4D電源引き込み用NFB-B2を「入」にする。	A-706 (#336)	*	
	(h) 2D-P/Cの4D電源用CB252D4を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB252D4を「入」にする。	A-707 (#332)	***	< 4D電源復電 >

電源設備操作チェックシート

平成3年11月25日 (月)

<点検対象>

1D-M/C 点検

<操作内容>

1. 3S・3D-P/C 特殊受電 (1D-M/C受電から3C-P/C受電に切り替える。)
2. 2D-P/C 特殊受電 (1D-M/C受電から2C・2S-P/C受電に切り替える。)
3. 1HD-P/C 母線連絡 (1D-M/C受電から1HC-P/C受電に切り替える。)
4. 2HD-P/C 母線連絡 (1D-M/C受電から2HC-P/C受電に切り替える。)
5. 1D-M/C 停電

<< 2課 点検 >>

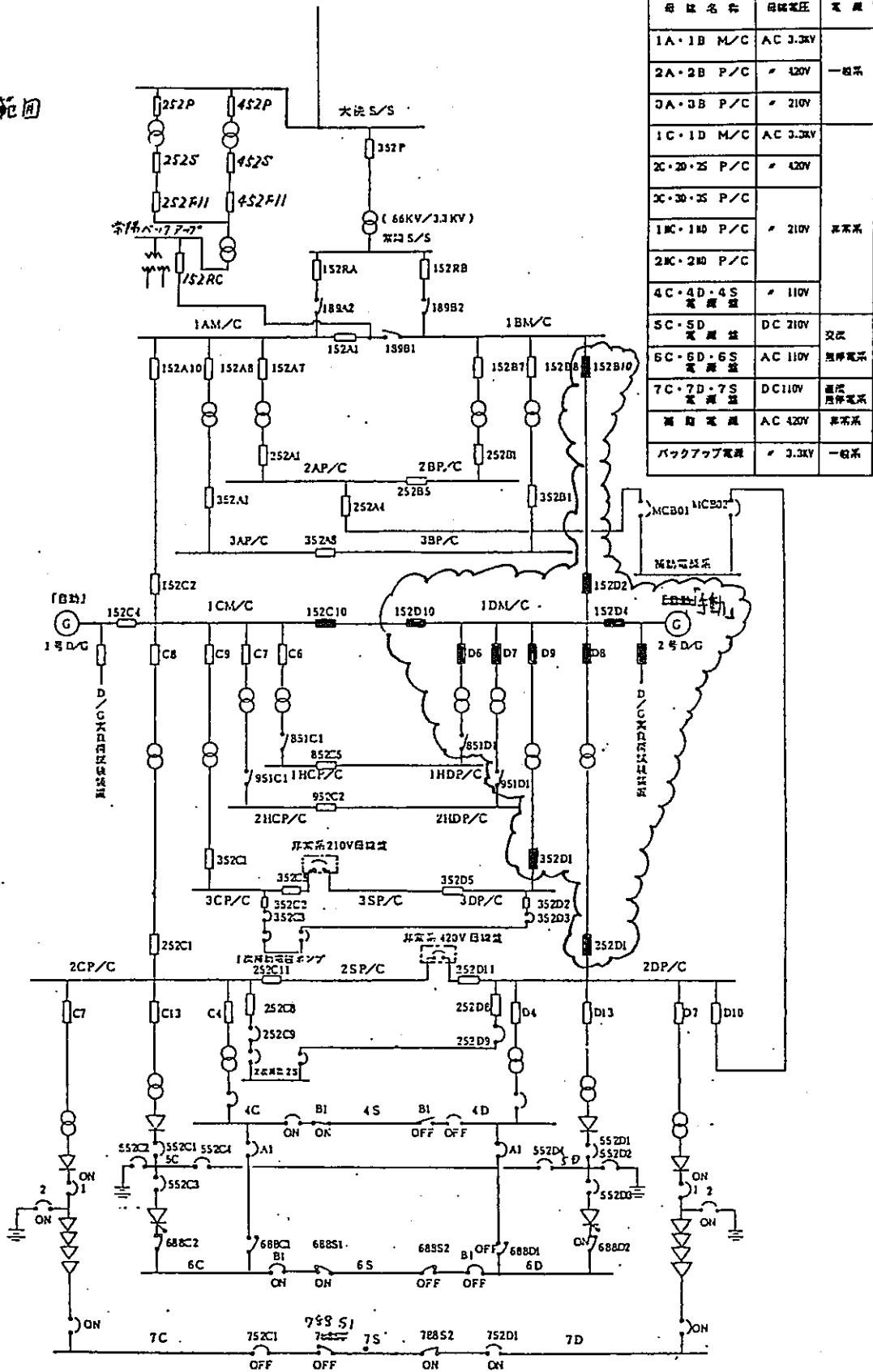
平成 3 年 11 月 25 日 (月)

1D-M/C

☁ : 停電範囲

□ : ON

■ : OFF



「常陽」電源設備系統図

電11.25-2

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1 / 5)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<p><u>3S・3D-P/C 特殊受電 (1D-M/C受電→3C-P/C受電)</u></p> <p>(a) 非常系210V母線盤 NFBの「入」を確認する。</p> <p>(b) 3C-P/Cの3S-P/C用CB352C5を「運転位置」とし、制御電源スイッチ”8”を「入」にする。</p> <p>(c) 1D-M/Cの3D-P/C用CB152D9を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB152D9を「試験位置」にする。</p> <p>(d) 3D-P/C変圧器2次CB352D1を「切」にし、CB352D1を「試験位置」にする。</p> <p>(e) 2課にて以下の作業を行う。 3C-P/Cの3S-P/C用CB352C5のL1～L2端子をジャンパする。</p> <p>(f) 3C-P/Cの3S-P/C用CB352C5を「入」にし、3D・3S-P/Cの負荷側順序投入を確認する。</p> <p>(g) 2課にて(e)にて行ったL1～L2端子のジャンパを取り外す。</p> <p>(h) 3D-P/C変圧器2次CB352D1の制御電源スイッチ”8”を「切」にする。</p>	<p>A-707 (#357)</p> <p>A-706 (#321)</p> <p>A-707 (#331)</p> <p>A-707 (#334)</p> <p>A-706 (#321)</p> <p>A-706 (#321)</p> <p>A-706 (#321)</p> <p>A-707 (#334)</p>	<p></p> <p>OO</p> <p>OOO</p> <p>OO</p> <p></p> <p>O</p> <p></p> <p>O</p>	<p></p> <p>・G ランプ点灯 確認</p> <p><3S・3D-P/C停電> ・ANN 発生 「D系 低電圧」</p> <p>・制御電源スイッチ”8”を「切」にすると3D-P/Cが復電しても負荷側の自動投入がされない為、負荷側自動投入後”8”を「切」にする。</p> <p></p> <p><3S・3D-P/C 復電> ・ANN リセット可 「D系 低電圧」</p>

PNC TN9410 95-269

Oは、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(2 / 5)

PNC TN9410 95-269

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
2	<u>2D-P/C 特殊受電 (1D-M/C受電→2C・2S-P/C受電)</u>			
	(a) 非常系420V母線盤NFBの「入」を確認する。	A-707 (#356)		
	(b) 2D-P/Cの2S-P/C用CB252D11を「運転位置」とし、制御電源スイッチ "8"を「入」にする。	A-707 (#332)	OO	
	(c) 1D-M/Cの2D-P/C用CB152D8を「切」にし、制御電源スイッチ"8"を 「切」とし、CB152D8を「試験位置」にする。	A-707 (#331)	OOO	< 2D-P/C 停電 > ・ANN 発生 「D系 低電圧」
	(d) 2D-P/C変圧器2次CB252D1を「切」にし、制御電源スイッチ"8"を「切」とし CB252D1を「試験位置」にする。	A-707 (#332)	OOO	
	(e) 2課にて以下の作業を行う。 2D-P/Cの2S-P/C用CB252D11のL1~L2端子をジャンパする。	A-707 (#332)		
	(f) 2D-P/Cの2S-P/C用CB252D11を「入」にする。	A-707 (#332)	O	
	(g) 2課にて(e)にて行ったL1~L2端子のジャンパを取り外す。	A-707 (#332)		< 2D-P/C 復電 > ・ANN リセット可 「D系 低電圧」
	(h) 2D-P/Cの次の各CBを「入」にする。	A-707 (#332)		
	(1) 原子炉付属建家2D-1C/C用	CB252D2		
	(2) 原子炉付属建家2D-2C/C用	CB252D3		
	(3) 4D電源用	CB252D4		
	(4) B-遮蔽コンクリートブロウ用	CB252D5		
	(5) 原子炉建家2D-C/C	CB252D6		
	(6) 主冷却機建家2D-C/C用	CB252D12 「入」確認		

- 240 -

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
3	<u>1HD-P/C 母線連絡 (1D-M/C受電→1HC-P/C受電)</u>			
	(a) 1D-M/Cの1HD-P/C用CB152D6を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB152D6を「試験位置」にする。	A-707 (#331)	000	<1HD-P/C 停電> ・ANN 発生 「D系 低電圧」
	(b) 1HD-P/C変圧器2次盤のK. S852D1を「手動開放」にする。	A-707 (#335)	0	・制御電源スイッチ”8”を「切」にすると2D-P/Cが復電しても負荷側の自動投入がされない為、負荷側自動投入後、”8”を「切」にする。
	(c) 1HC-P/Cの母線連絡用CB852C5を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB852C5を「入」にする。	A-706 (#332)	000	<1HD-P/C 復電> ・ANN リセット可 「D系 低電圧」
	(d) 1HD-P/Cの負荷側順序投入を確認する。			
(e) 1HD-P/C変圧器2次盤のK. S852D1の制御電源スイッチ”8”を「切」にする。	A-707 (#335)	0		
4	<u>2HD-P/C 母線連絡 (1D-M/C受電→2HC-P/C受電)</u>			
	(a) 1D-M/Cの2HD-P/C用CB152D7を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB152D7を「試験位置」にする。	A-707 (#331)	000	<2HD-P/C 停電> ・ANN 発生 「D系 低電圧」
	(b) 2HD-P/C変圧器2次盤のK. S952D1を「手動開放」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」にする。	S-203 (#650)	00	・ANN リセット可
(c) 2HC-P/Cの母線連絡用CB952C2を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB952C2を「入」にする。	S-202 (#649)	000	<2HD-P/C 復電>	

電源設備操作チェックシート

平成3年11月30日 (日)

PNC TN9410 95-269

<点検対象> 5D整流装置・6Dインバータ・7D整流装置・7D負荷電圧補償装置 運転

<操作内容> << 2課 点検 終了 >>

- 1、 7D整流装置運転
- 2、 7D電源特殊受電復旧 (7C、7S受電→2D-P/C受電)
- 3、 7S電源 母線切替え (7C受電→7D受電)
- 4、 5D電源復電及び5D整流装置運転
- 5、 6Dインバータ運転
- 6、 6D電源特殊受電復旧 (6C、6S受電→6Dインバータ受電)

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(5 / 5)

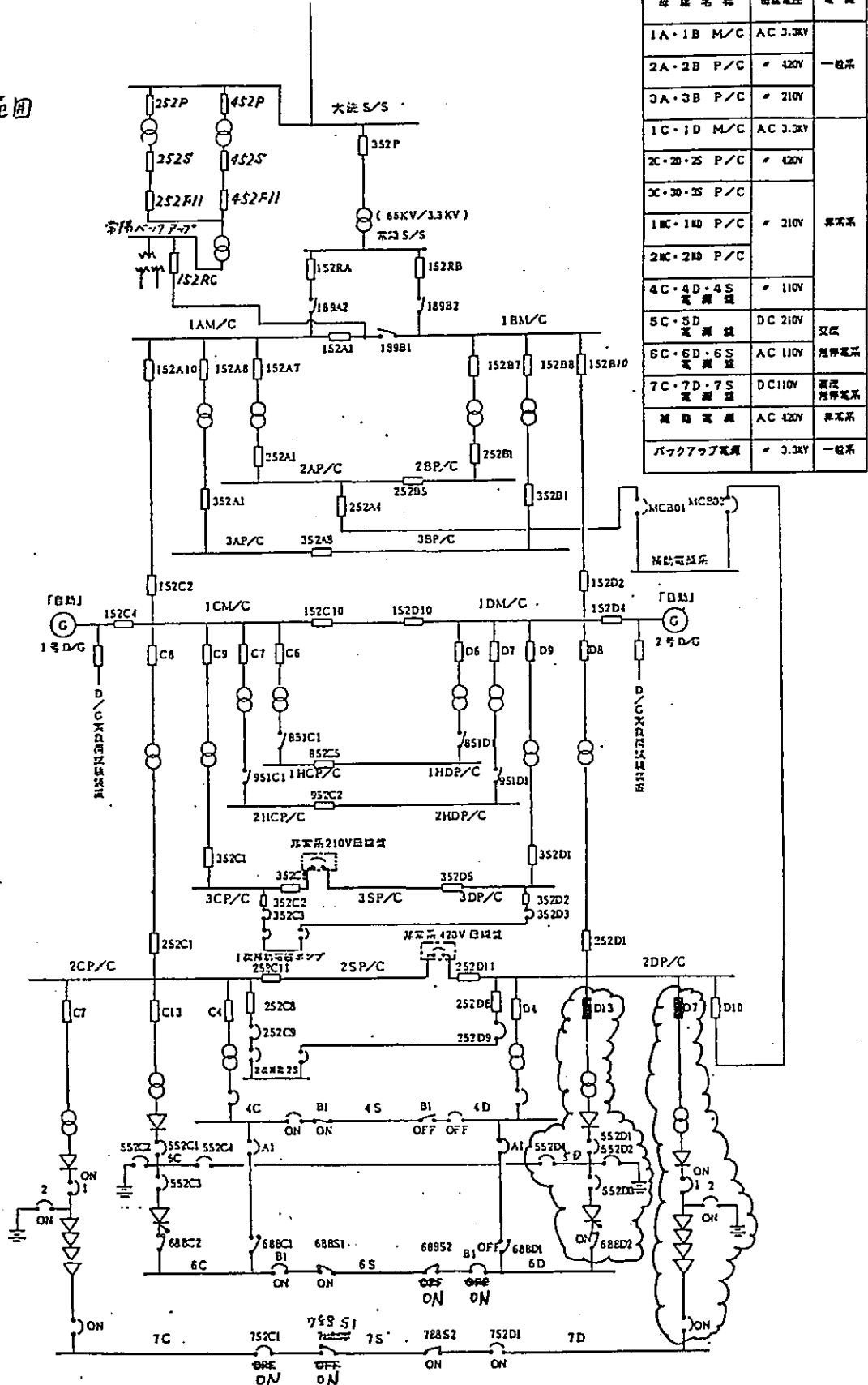
手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
5	(d) 実負荷試験設備用CB152D41の「切」、制御電源スイッチ”8”の「切」、 CB152D41の「試験位置」を確認する。 (e) 電源監視盤にて1B-M/Cの1D-M/C用CB152B10を「切」にする。 (f) 1D-M/Cの商用電源引込み用CB152D2の「自動開放」を確認する。 (g) 1B-M/Cの1D-M/C用CB152B10の制御電源スイッチ”8”を「切」にし、 CB152B10を「試験位置」にする。 (h) スペースヒータ分電盤内、非常系D用NFB-A3を「切」にする。 (i) 1D-M/Cの商用電源引き込み用CB152D2の制御電源スイッチ”8”を「切」にし、 CB152D2を「試験位置」にする。 (j) 電源設備操作 7D分電盤内、1D-M/C制御電源用NFB-A1を「切」にする。 (k) 電源設備操作 7D分電盤内、1D-M/C操作電源用NFB-A2を「切」にする。	A-707 (#350) 中央制御室 (#427) 中央制御室 (#427) S-201 (#642) S-201 (#648) A-707 (#331) A-707 (#345) A-707 (#345)	○ ○ ○ ○○ ○ ○○ ○ ○	< 1D-M/C 停電 > ・G ランプ点灯 確認 ・ANN 発生 「D系 低電圧」 ・ANN リセット可 「D系 低電圧」
	<< 2 課 点 検 >>			

D系無停電電源

☁ : 停電範囲

□ : ON

■ : OFF



回路名称	回路電圧	電源
1A・1B M/C	AC 3.3KV	一般系
2A・2B P/C	AC 420V	
3A・3B P/C	AC 210V	
1C・1D M/C	AC 3.3KV	非常系
2C・2D P/C	AC 420V	
3C・3D P/C	AC 210V	
1B C・1B D P/C	AC 210V	
2B C・2B D P/C	AC 210V	
4C・4D・4S 電源盤	AC 110V	
5C・5D 電源盤	DC 210V	交流
6C・6D・6S 電源盤	AC 110V	無停電系
7C・7D・7S 電源盤	DC 110V	無停電系
補助電源	AC 420V	非常系
バックアップ電源	AC 3.3KV	一般系

「常陽」電源設備系統図

電11.30-2

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1 / 5)

PNC TN9410 95-269

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<p><u>7S・7D電源 特殊受電復旧及び7D整流装置運転</u></p> <p>(a) 7D電源盤内の電源引込み用NFB-A1の「切」を確認する。</p> <p>(b) 7D蓄電池の7D開閉器盤内MCB-2を「入」にする。</p> <p>(c) 電源設備操作7D分電盤内、7D整流装置NFB-C2を「入」にする。</p> <p>(d) 7D整流装置盤内、制御電源用NFB-3を「入」にする。</p> <p>(e) インバータ盤(補助電源設備)の裏盤内のMCB-17を「入」にする。</p> <p>(f) 7D負荷電圧補償装置盤内、7D蓄電池用NFB-2を「入」にする。</p> <p>(g) 7D負荷電圧補償装置盤内、7D蓄電池用NFB-4を「入」にする。</p> <p>(h) 7D整流装置盤内、出力側NFB-1を「入」にする。</p> <p>(i) 2DP/Cの7D整流装置用CB252D7を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB252D7を「入」にする。</p>	<p>A-707 (#342)</p> <p>A-708</p> <p>A-707 (#345)</p> <p>A-707 (#344)</p> <p>A-707 (#346)</p> <p>A-707 (#343)</p> <p>A-707 (#343)</p> <p>A-707 (#332)</p> <p>A-707 (#332)</p>	<p></p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>***</p>	<p></p> <p></p> <p>(5C, 5D, 7C, 7D整流装置盤のデジタル電圧計用電源)</p> <p>< 7D整流装置運転 ></p>
2	<p><u>7D電源特殊受電復旧(7C, 7S受電→2DP/C受電)</u></p> <p>(a) 7S電源盤の7D電源側CS3-788S2を「切」にする。</p> <p>(b) 7S電源盤のCOS43TDを「通常」にする。</p>	<p>A-707 (#307)</p> <p>A-707 (#307)</p>	<p>*</p> <p>*</p>	<p>< 7D電源停電 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・Gランプ点灯確認 ・ANN発生 「D系低電圧」 「2号DG制御電源喪失」

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
2	(c) 7D電源盤内の電源引き込み用NFB-A1を「入」にする。	A-707 (#342)	*	< 7D電源復電 > ・Rランプ点灯確認 ・ANN リセット可 「D系低電圧」 「2号DG制御電源喪失」
3	<u>7S電源 母線切替え (7C受電→7D受電)</u>			
	(a) 7D電源盤の7S電源盤用CS3-752D1が「入」であることを確認する。	A-707 (#342)		・Rランプ点灯確認
	(b) 7S電源盤の7C電源側CS3-788S1を「切」にする。	A-707 (#307)	*	< 7S電源停電 > ・Gランプ点灯確認 ・ANN 発生 「常陽S/S 制御電源喪失」 「電源監視盤DC喪失」 「7S電源低電圧」
	(c) 7S電源盤の7C電源側CS3-788S2を「入」にする。	A-707 (#307)	*	< 7S電源復電 > ・Rランプ点灯確認 ・ANN リセット可 「常陽S/S 制御電源喪失」 「電源監視盤DC喪失」 「7S電源低電圧」
	(d) 7C電源盤の7C電源盤用CS3-752C1を「切」にする。	A-707 (#306)	*	・Gランプ点灯確認
	(e) 7S電源盤のCOS43Aが「手動」であることを確認する。	A-707 (#307)		

Oは、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(3 / 5)

PNC TN9410 95-269

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
4	<p><u>5 D電源復電、5 D整流装置運転</u></p> <p>(a) 5 D蓄電池の5 D開閉器盤内MCB-4を「入」にする。</p> <p>(b) 電源設備操作7 D分電盤内、5 D電源盤用NFB-B3を「入」にする。</p> <p>(c) 電源設備操作7 D分電盤内、5 D整流装置用NFB-C1を「入」にする。</p> <p>(d) 5 C電源盤の母線連絡用NFB-552C4が「切」であることを確認する。</p> <p>(e) 5 D電源盤の母線連絡用NFB-552D4が「切」であることを確認する。</p> <p>(f) 5 D整流装置内、制御電源用NFB-1を「入」にする。</p> <p>(g) 2 DP/C の5 D整流装置CB252D13を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB252D13を「入」にする。</p> <p>(h) 5 D整流装置裏盤内、5 D整流装置入力側NFB-52を「入」にする。</p> <p>(i) 5 D電源盤の5 D整流器出力CS3-552D1を「入」にする。</p> <p>(j) 5 D電源盤の5 D蓄電池出(入)力CS3-552D2を「入」にする。</p>	<p>A-708</p> <p>A-707 (#345)</p> <p>A-707 (#345)</p> <p>A-704 (#302)</p> <p>A-707</p> <p>A-707</p> <p>A-707</p> <p>A-707</p> <p>A-707</p> <p>A-707</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>***</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p>・ANN 発生 「交流無停電D」 (5 D整流装置の 出力電圧低)</p> <p>・Gランプ点灯確認 (CS3-552C4)</p> <p>・Gランプ点灯確認 (CS3-552D4)</p> <p>< 5 D整流装置運転 ></p> <p>< 5 D整流装置運転及び 5 D電源復電 ></p> <p>・Rランプ点灯確認 ・ANN リセット可 「交流無停電D」 ・Rランプ点灯確認</p>

- 248 -

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
5	<p><u>6Dインバータ運転</u></p> <p>(a) 6Dインバータ(1) 盤内の次の6Dインバータ盤制御電源用NFBを「入」にする。</p> <p>① AC200V制御電源用(5D整流装置盤より) NFB-8C</p> <p>② AC110V制御電源(インバータ出力)用(6Dインバータ出力より) NFB-8I</p> <p>③ AC110V制御電源用(5D電源盤より) NFB-8D</p> <p>(b) 5D電源盤の6Dインバータ入力用CS3-552D3を「入」にする。</p> <p>(c) 6Dインバータ(1) 盤のCS3-72を「運転」にする。</p>	<p>A-707</p> <p>A-707</p> <p>A-707</p>	<p></p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p>・NFBの位置No. は、</p> <p>NFB-E2</p> <p>NFB-E11</p> <p>NFB-E1</p> <p>・ANN 発生 「交流無停電D」 (6Dインバータの出力電 圧低: 制御電源復電の為)</p> <p>・ランプ点灯確認</p> <p><6Dインバータ運転></p> <p>・ANN リセット可 「交流無停電D」</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(5 / 5)

PNC TN9410 95-269

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
6	<p><u>6D電源 特殊受電復旧 (6C・6S受電→6Dインバータ)</u></p> <p>(a) 6D電源盤の4D電源側CS3-688D1が「切」であることを確認する。</p> <p>(b) 6S電源盤の6D電源側CS3-688S2を「切」にする。</p> <p>(c) 6D電源盤内、6S電源盤用NFB-B1を「切」にする。</p> <p>(d) 6S電源盤のCOS43TAを「通常」にする。</p> <p>(e) 6D電源盤の6Dインバータ側CS3-688D2を「入」にする。</p> <p>(f) 4D電源盤内、6D電源盤用NFB-A1を「入」にする。</p> <p>(g) 6D電源盤のCOS43Aを「自動」にする。</p> <p>(h) スペースヒータ分電盤内、無停電系D用NFB-A1を「入」にする。</p>	<p>A-707 (#340)</p> <p>A-704 (#341)</p> <p>A-707 (#340)</p> <p>A-707 (#341)</p> <p>A-707 (#340)</p> <p>A-707 (#336)</p> <p>A-707 (#340)</p> <p>S-201 (#648)</p>	<p></p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p>・Gランプ点灯確認</p> <p>< 6D電源停電 ></p> <p>・Gランプ点灯確認</p> <p>・ANN 発生 「D系低電圧」</p> <p>< 6D電源復電 ></p> <p>Rランプ点灯確認</p> <p>・ANN リセット可 「D系低電圧」 「交流無停電D」</p>

- 250 -

電源設備操作チェックシート

平成3年12月 1日 (日)

<点検対象>

1D-M/C 復電

<操作内容>

<< 2課 点検終了 >>

1. 1D-M/C 復電

2. 1HD-P/C 復旧操作 (1HC-P/C受電から1D-M/C受電に切り替える。)

3. 2HD-P/C 復旧操作 (2HC-P/C受電から1D-M/C受電に切り替える。)

4. 3S・3D-P/C 復旧操作 (3C-P/C受電から1D-M/C受電に切り替える。)

5. 2D-P/C 復旧操作 (2C・2S-P/C受電から1D-M/C受電に切り替える。)

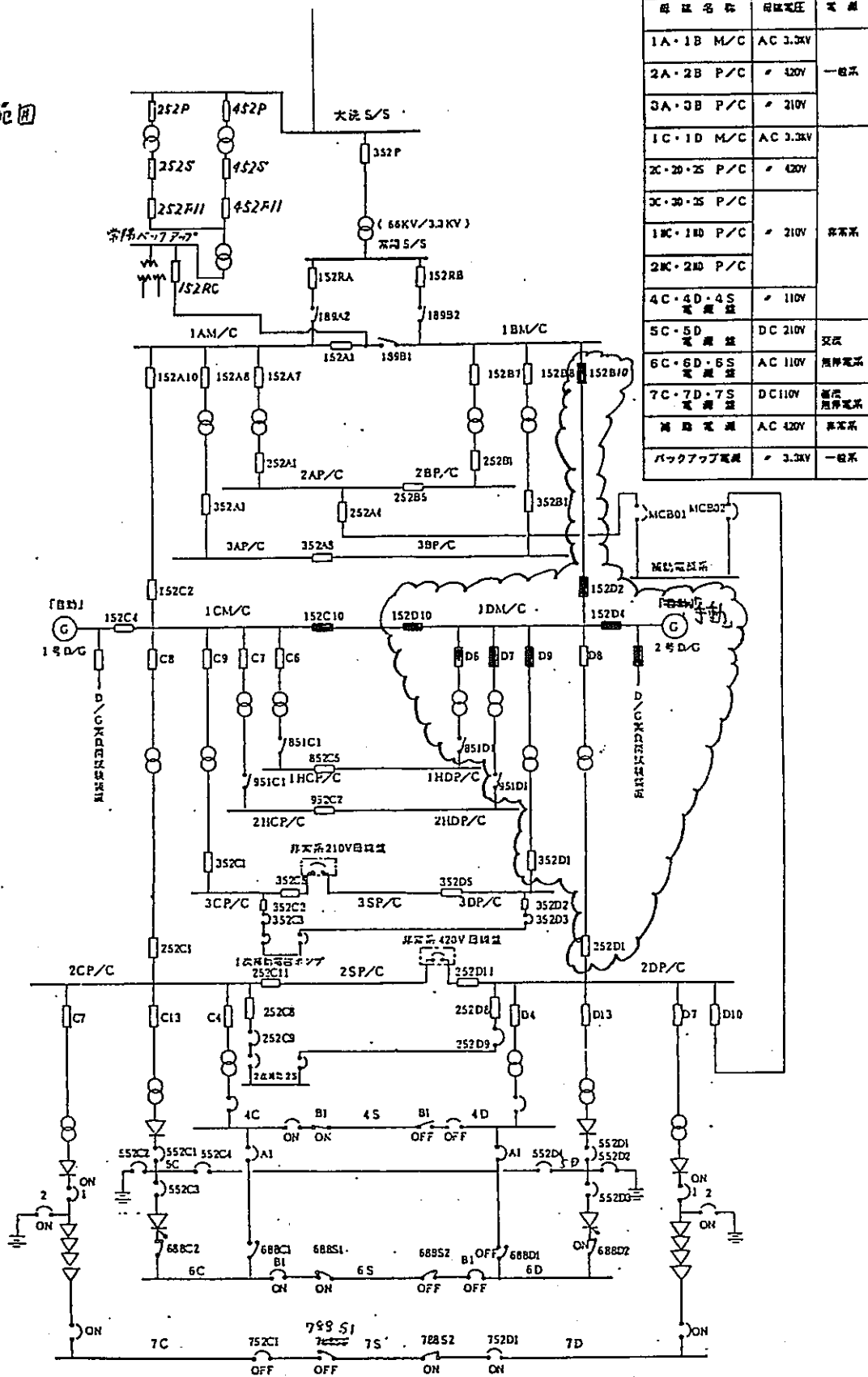
平成 3 年 / 2 月 1 日 (日)

1 D - M / C

☁ : 停電範囲

□ : ON

■ : OFF



「常陽」電源設備系統図

電 12. 1 - 2

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1 / 4)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<p><u>1D-M/C 復電</u></p> <p>(a) 1C-M/Cの母線連絡用CB152C10の「切」、制御電源スイッチ”8”の「切」、CB152C10の「試験位置」を確認する。</p> <p>(b) 電源設備操作 7D分電盤内、1D-M/C制御電源用NFB-A1を「入」にする。</p> <p>(c) 電源設備操作 7D分電盤内、1D-M/C操作電源用NFB-A2を「入」にする。</p> <p>(d) スペースヒータ分電盤内、非常系D用NFB-A3を「入」にする。</p> <p>(e) 1B-M/Cの1D-M/C用CB152B10を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」にする。</p> <p>(f) 1D-M/Cの商用電源引き込み用CB152D2を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」にする。</p> <p>(g) 電源監視盤にて、以下の操作を行う。</p> <p>① 1B-M/Cの1D-M/C用CB152B10を「入」にする。</p> <p>② 同期並列インターロックCOS43-25D2を「手動」にする。</p> <p>③ 1D-M/Cの商用電源引き込み用CB152D2を「入」にする。</p> <p>④ 同期並列インターロックCOS43-25D2を「切」にする。</p> <p>(h) 1D-M/Cの2号D/G電源引き込み用CB152D4を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」にする。</p>	<p>A-707 (#331)</p> <p>A-707 (#345)</p> <p>A-707 (#345)</p> <p>S-201 (#648)</p> <p>S-201 (#642)</p> <p>A-707 (#331)</p> <p>中央制御室 (#427)</p> <p>A-707 (#331)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>**</p> <p>**</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>**</p>	<p>・ANN 発生 「D系 低電圧」</p> <p>< 1D-M/C 復電 > ・ANN リセット可 「D系 低電圧」</p> <p>Tag. 回収のみ、操作無し</p>

Oは、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(2 / 4)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
2	(i) 1D-M/Cの2号D/G電源引込み用CB152D4「切」を確認する。 (j) 2号D/Gを自動待機にする。 ① 2号D/G機関運転ハンドルを「運転」にする。 ② 電源設備操作 7D分電盤内、2号D/G制御電源用NFB-C3を「入」にする。 ③ 電源監視盤の2号D/G COS43Rを「中央」にする。 ④ 電源監視盤の2号D/G COS43AM2を「自動」にする。 (k) 1D-M/Cの母線連絡用CB152D10の「切」、制御電源スイッチ”8”の「切」、CB152D10の「試験位置」を確認する。 (l) 1D-M/CのBフレオン冷凍機用CB152D5を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB152D5を「入」にする。 (m) 実負荷試験設備用CB152D41の「切」、制御電源スイッチ”8”の「切」、CB152D41の「試験位置」を確認する。	A-712 (#427) S-130 A-707 (#345) S-130 (#631) A-712 (#427) A-707 (#331) A-707 (#331) A-707 (#350)	* * * * * * *** *	Tag.回収のみ (停止状態保持)

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(3 / 4)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
3	<p><u>1HD-P/C 復旧 (1HC-P/C受電→1D-M/C受電)</u></p> <p>(a) 1HC-P/Cの母線連絡用CB852C5を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB852C5を「試験位置」にする。</p> <p>(b) 1HD-P/C変圧器2次盤のK. S852D1を「手動投入」し、制御電源スイッチ”8”を「入」にする。</p> <p>(c) 1D-M/Cの1HD-P/C用CB152D6を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB152D6を「入」にする。</p> <p>(d) 1HD-P/Cの負荷側 順序投入を確認する。</p>	<p>A-706 (#332)</p> <p>A-707 (#335)</p> <p>A-707 (#331)</p> <p>A-707 (#335)</p>	<p>***</p> <p>**</p> <p>***</p>	<p><1HD-P/C 停電></p> <p>・ANN 発生 「D系 低電圧」</p> <p><1HD-P/C 復電></p> <p>・ANN リセット可 「D系 低電圧」</p>
4	<p><u>2HD-P/C 復旧 (2HC-P/C受電→1D-M/C受電)</u></p> <p>(a) 2HC-P/Cの母線連絡用CB952C2を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB952C2を「試験位置」にする。</p> <p>(b) 2HD-P/C変圧器2次盤のK. S952D1を「手動投入」し、制御電源スイッチ”8”を「入」にする。</p> <p>(c) 1D-M/Cの2HD-P/C用CB152D7を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB152D7を「入」にする。</p> <p>(d) 2次予熱ヒータC/CのトリップしているNFBを一旦「切」にし、再投入する。</p> <p>(e) 2次補助系貫通部ペネヒータのNFBの「切」を確認する。</p>	<p>S-202 (#649)</p> <p>S-203 (#650)</p> <p>A-707 (#331)</p> <p>S-501 (#692-1 ~9)</p> <p>A-505 (#230)</p>	<p>***</p> <p>**</p> <p>***</p>	<p><2HD-P/C 停電></p> <p>・ANN 発生 「D系 低電圧」</p> <p><2HD-P/C 復電></p> <p>・ANN リセット可 「D系 低電圧」</p> <p>・8ユニット (NFB-B~I)</p> <p>・P-108, 109系 ヒータ</p>

Oは、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(4 / 4)

PNC TN9410 95-269

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
5	<u>3S・3D-P/C 復旧 (3C-P/C受電→1D-M/C受電)</u>			
	(a) 3C-P/Cの3S-P/C用CB352C5を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB352C5を「試験位置」にする。	A-706 (#321)	***	< 3S・3D-P/C停電 >
	(b) 3D-P/C変圧器2次CB352D1を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB352D1を「入」にする。	A-707 (#334)	***	・ANN 発生 「D系 低電圧」
	(c) 1D-M/Cの3D-P/C用CB152D9を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB152D9を「入」にする。	A-707 (#331)	***	< 3S・3D-P/C復電 > ・ANN リセット可 「D系 低電圧」
	(d) 非常系210V母線盤 NFBの「入」を確認する。	A-707 (#357)		
	(e) 3S・3D-P/Cの負荷側順序投入を確認する。			
6	<u>2D-P/C 復旧 (2D・2S-P/C受電→1D-M/C受電)</u>			
	(a) 2D-P/C変圧器2次CB252D1を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」にする。	A-707 (#332)	**	
	(b) 2D-P/Cの2S-P/C用CB252D11を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB252D11を「試験位置」にする。	A-707 (#332)	***	< 2D-P/C 停電 > ・ANN 発生 「D系 低電圧」
	(c) 2D-P/C変圧器2次CB252D1を「入」にする。	A-707 (#332)	*	
	(d) 1D-M/Cの2D-P/C用CB152D8を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB152D8を「入」にする。	A-707 (#331)	***	< 2D-P/C 復電 > ・ANN リセット可 「D系 低電圧」
	(e) 2D-P/Cの負荷側順序投入を確認する。	A-707 (#332)		

電源設備操作チェックシート

平成 3年12月 4日 (水)

<点検対象>

1 C - M / C 点検

<操作内容>

- 1、 4 S電源受電切替 (4 C受電から、4 D受電に切替える。)
- 2、 3 C-P/C特殊受電 (1 C-M/C受電から、3 D, 3 S-P/C受電に切替える。)
- 3、 2 C, 2 S-P/C特殊受電 (1 C-M/C受電から、2 D-P/C受電に切替える。)
- 4、 1 HC-P/C母線連絡 (1 C-M/C受電から、1 HD-P/C受電に切替える。)
- 5、 2 HC-P/C母線連絡 (1 C-M/C受電から、2 HD-P/C受電に切替える。)
- 6、 1 C-M/C停電

<< 2課 点検 >>

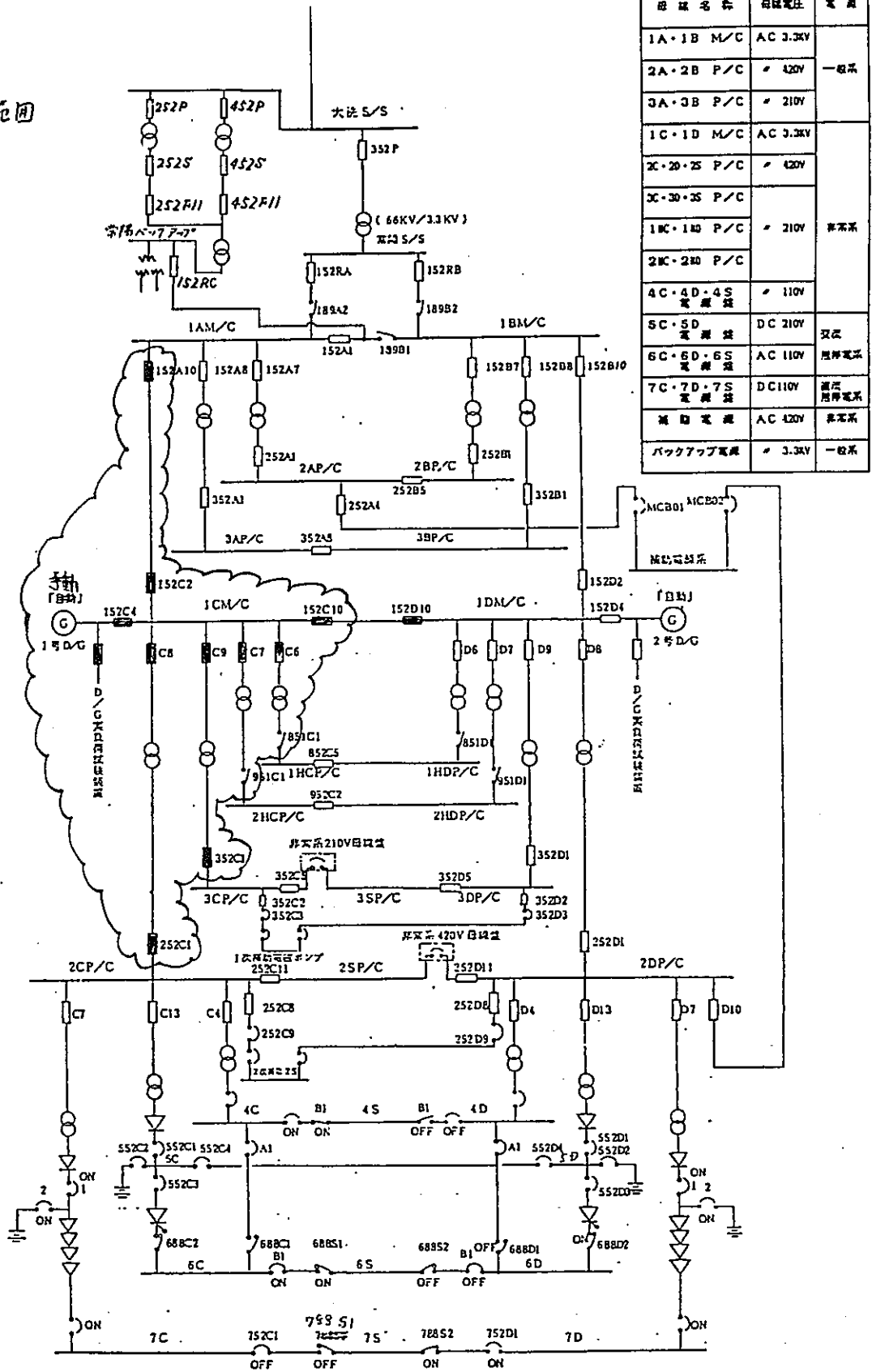
平成3年/2月4日(水)

IC-M/C

☁ : 停電範囲

□ : ON

■ : OFF



回路名称	回路電圧	系統
1A・1B M/C	AC 3.3KV	一般系
2A・2B P/C	≠ 420V	
3A・3B P/C	≠ 210V	
1C・1D M/C	AC 3.3KV	非常系
2C・2D P/C	≠ 420V	
3C・3D P/C		
1E・1F P/C	≠ 210V	
2E・2F P/C		
4C・4D・4S	≠ 110V	交流 用停電系
5C・5D	DC 210V	
6C・6D・6S	AC 110V	直流 用停電系
7C・7D・7S	DC 110V	
バックアップ電源	≠ 3.3KV	一般系

「常陽」電源設備系統図

電12. 4-2

Oは、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1 / 6)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<p><u>4 S 電源盤 受電切替え (4 C 受電 → 4 D 受電)</u></p> <p>(a) 4 S 電源盤の4 C 電源盤側4 5 2 - S 1の” 8 ” が「入」であることを確認する。</p> <p>(b) 4 S 電源盤の4 D 電源盤側4 5 2 - S 2の” 8 ” が「入」であることを確認する。</p> <p>(c) 4 D 電源盤内の4 S 電源用NFB-B 1を「入」にする。</p> <p>(d) 4 S 電源盤のCS 3 - 4 5 2 - S 1を「切」にする。</p> <p>(e) 4 S 電源盤のCS 3 - 4 5 2 - S 2を「入」にする。</p> <p>(f) 4 C 電源盤内の4 S 電源用NFB-B 1を「切」にする。</p>	<p>A-706 (#323)</p> <p>A-706 (#323)</p> <p>A-707 (#336)</p> <p>A-706 (#323)</p> <p>A-706 (#323)</p> <p>A-706 (#324)</p>	<p></p> <p></p> <p>O</p> <p>O</p> <p>O</p> <p>O</p>	<p>・ 盤裏面</p> <p>・ ”</p> <p>< 4 S 電源 停電 ></p> <p>< 4 S 電源 復電 ></p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(2 / 6)

PNC TN9410 95-269

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
2	<p><u>3C-P/C 特殊受電 (1C-M/C受電→3D・3S-P/C受電)</u></p> <p>(a) 1号D/Gの自動待機を解除する。</p> <p>① 電源監視盤の1号D/G COS43AM1を「自動」から「手動」にする。</p> <p>② 1号D/G盤の1号D/G COS43Rを「中央」から「現場」にする。</p> <p>③ 電源設備操作7C分電盤内、1号D/G制御電源用 NFB-D1を「切」にする。</p> <p>④ 1号D/G機関運転ハンドルを「停止」にする。</p> <p>⑤ 1号D/G電源引き込み用 CB152C4 の「切」を確認する。</p> <p>⑥ 1号D/G電源引き込み用 CB152C4 の制御電源スイッチ”8”を「切」にし、CB152C4 を「試験位置」にする。</p> <p>(b) 非常系210V母線盤NFBの「入」を確認する。</p> <p>(c) 3C-P/Cの3S-P/C用 CB352C5 を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」にする。</p> <p>(d) 1C-M/Cの3C-P/C用 CB152C9 を「切」にし、制御電源スイッチ”8”「切」とし、CB152C9を「試験位置」にする。</p> <p>(e) 3C-P/C変圧器2次 CB352C1 を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB352C1を「試験位置」にする。</p> <p>(f) 2課にて以下の作業を行う。 3C-P/Cの3S-P/C用 CB352C5のL1～L2端子をジャンパする。</p>	<p>A-712 (#427)</p> <p>S-125 (#621)</p> <p>A-706 (#325)</p> <p>S-125</p> <p>A-712 (#427)</p> <p>A-705 (#311)</p> <p>A-707 (#357)</p> <p>A-706 (#321)</p> <p>A-705 (#311)</p> <p>A-706 (#321)</p> <p>A-706 (#321)</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○○</p> <p>○</p> <p>○○</p> <p>○○</p> <p>○○</p> <p>○○</p> <p>○</p>	<p>・1号D/G 状態表示 「手動」表示点灯確認</p> <p>・1号D/G 状態表示 「現場」表示点灯確認</p> <p><3C-P/C 停電></p>

- 260 -

Oは、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(3 / 6)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考	
2	(g) 3C-P/Cの3S-P/C用 CB352C5を「入」にする。	A-706 (#321)	O	<3C-P/C 復電>	
	(h) 2課にて (e)項にて行ったL1~L2端子のジャンパを取り外す。	A-706 (#321)			
	(i) 3C-P/Cの次の各CBを「入」にする。 ① 計算機電源用 CB352C4 ② 主冷却機建家3C-C/C CB352C6	A-706 (#321)	O		
	<u>2C・2S-P/C 特殊受電 (1C-M/C受電→2D-P/C受電)</u>				
	(a) 非常系420V母線盤NFBの「入」を確認する。	A-707 (#356)			
	(b) 2D-P/Cの2S-P/C用 CB252D11を「運転位置」にし、制御電源スイッチ"8"を「入」にする。	A-707 (#332)	OO		
	(c) 1C-M/Cの2C-P/C用 CB152C8を「切」にし、制御電源スイッチ"8"を「切」とし、CB152C8を「試験位置」にする。	A-705 (#311)	OOO	<2C・2S-P/C 停電> <4C 電源停電>	
	(d) 2C-P/C変圧器2次 CB252C1を「切」にし、CB252C1を「試験位置」にする。	A-705 (#312)	OO	・制御電源スイッチ"8"を「切」にすると2C-P/Cが特殊受電しても負荷側の自動投入がされない為、負荷側自動投入後、"8"を「切」にする。	
(e) 2課にて以下の作業を行う。 2D-P/Cの2S-P/C用 CB252D11のL1~L2端子をジャンパする。	A-707 (#332)				

Oは、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(4 / 6)

PNC TN9410 95-269

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
	(f) 2D-P/Cの2S-P/C用 CB252D11を「入」にし、2C・2S-P/Cの 負荷側順序投入を確認する。	A-707 (#332)	O	
	(g) 2課にて (e)項にて行ったL1~L2端子のジャンパを取り外す。	A-707 (#332)		
	(h) 2C-P/C変圧器2次 CB252C1の制御電源スイッチ"8"を「切」にする。	A-705 (#312)	O	
3	<u>1HC-P/C 母線連絡 (1C-M/C受電→1HD-P/C受電)</u>			
	(a) 1C-M/Cの1HC-P/C用 CB152C6を「切」にし、制御電源スイッチ"8" を「切」とし、CB152C6を「試験位置」にする。	A-705 (#311)	OOO	<1HC-P/C 停電>
	(b) 1HC-P/C変圧器2次盤のK、Sを「手動開放」にする。	A-706 (#322)	O	・制御電源スイッチ"8"を 「切」にすると1HC-P/Cが 特殊受電しても負荷側の自 動投入がされない為、負荷 側自動投入、"8"を 「切」にする。
	(c) 1HC-P/Cの母線連絡用 CB852C5を「運転位置」にし、制御電源スイッチ "8"を「入」とし、CB852C5を「入」にする。	A-706 (#322)	OOO	<1HC-P/C 復電>
	(d) 1HC-P/Cの負荷側順序投入を確認する。			
	(e) 1HC-P/C変圧器2次盤のK、Sの制御電源スイッチ"8"を「切」にする。	A-706 (#322)	O	
	(f) 2次補助予熱ヒータC/CのトリップしているNFBを一旦「切」とし、再投入する。	A-505 (#223-2)		・3ユニット (NFB-A, B, C)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
4	<p><u>2HC-P/C 母線連絡 (1C-M/C受電→1HD-P/C受電)</u></p> <p>(a) 1C-M/Cの2HC-P/C用 CB152C7を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB152C7を「試験位置」にする。</p> <p>(b) 2HC-P/C変圧器2次盤のK. Sを「手動開放」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」にする。</p> <p>(c) 2HC-P/Cの母線連絡用 CB952C2を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB952C2を「入」にする。</p> <p>(d) 2次予熱ヒータC/CのトリップしているNFBを一旦「切」とし、再投入する。</p>	<p>A-705 (#311)</p> <p>S-202 (#649)</p> <p>S-202 (#649)</p> <p>S-501 (#691-1 ~ 691-15)</p>	<p>OOO</p> <p>OO</p> <p>OOO</p>	<p><2HC-P/C 停電></p> <p><2HC-P/C 復電></p> <p>・12ユニット (NFB-A, J~T)</p>
5	<p><u>1C-M/C 停電</u></p> <p>(a) 1C-M/CのA-フロン冷凍機用 CB152C5の「切」、制御電源スイッチ”8”の「切」、CB152C5の「試験位置」を確認する。</p> <p>(b) 1C-M/Cの床上冷凍機用 CB152C11を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB152C11を「試験位置」にする。</p> <p>(c) 1C-M/Cの母線連絡用 CB152C10の「切」(中制)、制御電源スイッチ”8”の「切」、CB152C10の「試験位置」を確認する。</p> <p>(d) 1号D/G負荷試験用 CB152C41の「切」、制御電源スイッチ”8”の「切」、CB152C41の「試験位置」を確認する。</p> <p>(e) 電源監視盤のCS152A10を「切」にする。</p>	<p>A-705 (#311)</p> <p>A-705 (#311)</p> <p>A-712 (#427) A-705 (#311)</p> <p>A-705 (#320)</p> <p>A-712 (#427)</p>	<p>O</p> <p>OOO</p> <p>O</p> <p>O</p> <p>O</p>	<p><1C-M/C 停電></p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(6 / 6)

PNC TN9410 95-269

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
	<p>(f) 電源監視盤にて CB152C2の「自動開放」を確認する。</p> <p>(g) 1A-M/Cの1C-M/C用 CB152A10の制御電源スイッチ”8”を「切」にし CB152A10を「試験位置」にする。</p> <p>(h) スペースヒータ分電盤内、非常系C用 NFB-A4を「切」にする。</p> <p>(i) 1C-M/Cの商用電源引き込み用 CB152C2の制御電源スイッチ”8”を「切」にし、CB152C2を「試験位置」にする。</p> <p>(j) 電源設備操作 7C分電盤内、1C-M/C制御電源用 NFB-A3を「切」にする。</p> <p>(k) 電源設備操作 7C分電盤内、1C-M/C操作電源用 NFB-A4を「切」にする。</p> <p>(l) 1D-M/Cの母線連絡用 CB152D10の「切」(中制)、制御電源スイッチ”8”の「切」、CB152D10の「試験位置」を確認する。</p>	<p>A-712 (#427)</p> <p>S-201 (#641)</p> <p>S-201 (#648)</p> <p>A-705 (#311)</p> <p>A-706 (#325)</p> <p>A-706 (#325)</p> <p>A-712 (#427) A-707 (#331)</p>	<p>○</p> <p>○○</p> <p>○</p> <p>○○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	
	<p>————— 2 課点検開始 —————</p>			

電源設備操作チェックシート

平成 3年12月10日 (火)

<点検対象>

1 C - M / C 復電

<操作内容>

<< 2課 点検 終了 >>

1、 1 C - M / C 復電

2、 1 H C - P / C 復旧操作 (1 H D - P / C 受電から、1 C - M / C 受電に切替える。)

3、 2 H C - P / C 復旧操作 (2 H D - P / C 受電から、1 C - M / C 受電に切替える。)

4、 3 C - P / C 復旧操作 (3 D, 3 S - P / C 受電から、1 C - M / C 受電に切替える。)

5、 2 C, 2 S - P / C 復旧操作 (2 D - P / C 受電から、1 C - M / C 受電に切替える。)

6、 4 S 電源 受電切替え (4 D 受電から、4 C 受電に切替える。)

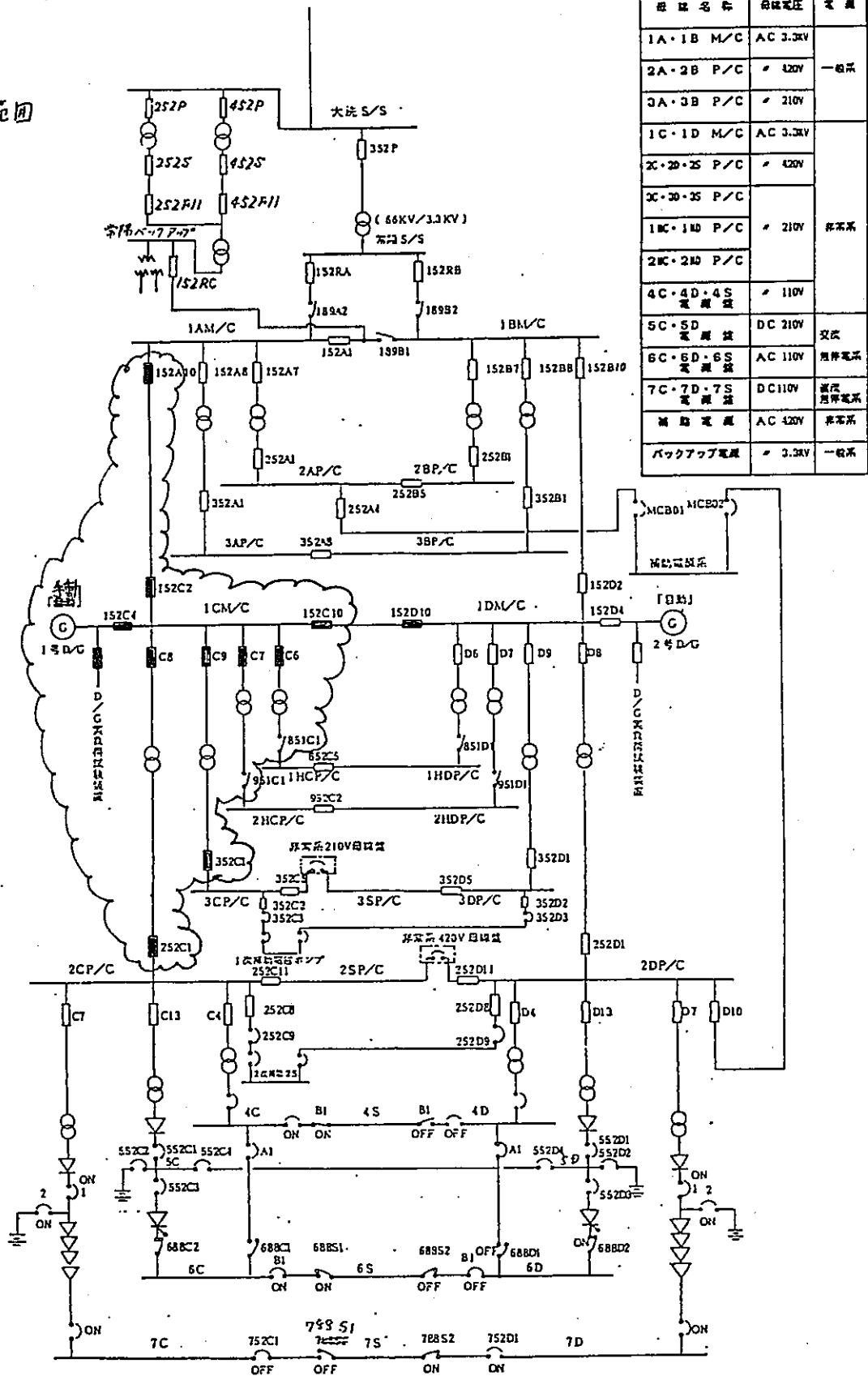
平成3年12月10日(水)

IC-M/C

☁ : 停電範囲

□ : ON

■ : OFF



「常陽」電源設備系統図

電12.10-2

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<p><u>1C-M/C 復電</u></p> <p>(a) 1D-M/Cの母線連絡用 CB152D10の「切」(中制)、制御電源スイッチ”8”の「切」、CB152D10の「試験位置」を確認する。</p> <p>(b) 1C-M/Cの母線連絡用 CB152C10の「切」(中制)、制御電源スイッチ”8”の「切」、CB152C10の「試験位置」を確認する。</p> <p>(c) 電源設備操作 7C分電盤内、1C-M/C制御電源用 NFB-A3を「入」にする。</p> <p>(d) 電源設備操作 7C分電盤内、1C-M/C操作電源用 NFB-A4を「入」にする。</p> <p>(e) スペースヒータ分電盤内、非常系C用 NFB-A4を「入」にする。</p> <p>(f) 1A-M/Cの1C-M/C用 CB152A10を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」にする。</p> <p>(g) 1C-M/Cの商用電源引き込み用 CB152C2を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」にする。</p> <p>(h) 電源監視盤にて、以下の操作を行う。</p> <p>① 1A-M/Cの1C-M/C用 CB152A10を「入」にする。</p> <p>② 同期並列インターロックCOS43-25C2を「手動」にする。</p> <p>③ 1C-M/Cの商用電源引き込み用 CB152C2を「入」にする。</p> <p>④ 同期並列インターロックCOS43-25C2を「切」にする。</p>	<p>A-712 (#427) A-707 (#331)</p> <p>A-712 (#427) A-705 (#311)</p> <p>A-706 (#325)</p> <p>A-706 (#325)</p> <p>S-201 (#648)</p> <p>S-201 (#641)</p> <p>A-705 (#311)</p> <p>A-712 (#427)</p>	<p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>**</p> <p>**</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p>< 1C-M/C 復電 ></p>

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
	(i) 1C-M/CのA-フロン冷凍機用 CB152C5の「切」、制御電源スイッチ”8”の「切」、CB152C5の「試験位置」を確認する。 (j) 1C-M/Cの床上冷凍機用 CB152C11を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB152C11を「入」にする。 (k) 1号D/G負荷試験用 CB152C41の「切」、制御電源スイッチの「切」、CB152C41の「試験位置」を確認する。	A-705 (#311) A-705 (#311) A-705 (#320)	* *** *	
2	<u>1HC-P/C 母線切替 (1HC-P/C受電→1C-M/C受電)</u> (a) 1HC-P/Cの母線連絡用 CB852C5を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB852C5を「試験位置」にする。 (b) 1HC-P/C変圧器2次盤のK、Sを「手動投入」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」にする。 (c) 1C-M/Cの1HC-P/C用 CB152C6を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB152C6を「入」にする。 (D) 1HC-P/Cの負荷側順序投入を確認する。 (E) 2次補助予熱ヒータC/CのトリップしているNFBを一旦「切」にし、再投入する。	A-706 (#322) A-706 (#322) A-705 (#311) A-706 (#322) A-505 (#223-2)	*** ** *** 	<1HC-P/C 停電> <1HC-P/C 復電> ・3ユニット (NFB-A, B, C)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
3	<u>2HC-P/C 母線切替 (2HC-P/C受電→1C-M/C受電)</u>			
	(a) 2HC-P/Cの母線連絡用 CB952C2を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB952C2を「試験位置」にする。	S-202 (#649)	***	<2HC-P/C 停電>
	(b) 2HC-P/C変圧器2次盤のK. Sを「手動投入」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」にする。	S-202 (#649)	**	
	(c) 1C-M/Cの2HC-P/C用 CB152C7を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB152C7を「入」にする。	A-705 (#311)	***	<2HC-P/C 復電>
(D) 2次予熱ヒータC/CのトリップしているNFBを一旦「切」にし、再投入する。	S-501 (#691-1 ~ 691-15)		・12ユニット (NFB-A, J~T)	
4	<u>3C-P/C 復電 (3D・3S-P/C受電→1C-M/C受電)</u>			
	(a) 3C-P/Cの3S-P/C用 CB352C5を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB352C5を「試験位置」にする。	A-706 (#321)	***	<3C-P/C 停電>
	(b) 3C-P/C変圧器2次 CB352C1を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB352C1を「入」にする。	A-706 (#321)	***	
	(c) 1C-M/Cの3C-P/C用 CB152C9を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB152C9を「入」にする。	A-705 (#311)	***	<3C-P/C 復電>
	(d) 非常系210V母線盤NFBの「入」を確認する。	A-707 (#357)		
(e) 3C-P/Cの負荷側順序投入を確認する。	A-706 (#321)			

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
5	<u>2C・2S-P/C 復電 (2D-P/C受電→1C-M/C受電)</u>			
	(a) 2D-P/Cの2S-P/C用 CB252D11を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB252D11を「試験位置」にする。	A-707 (#332)	***	<2C・2S-P/C 停電> <4C・4S 電源停電>
	(b) 2C-P/C変圧器2次 CB252C1を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB252C1を「入」にする。	A-705 (#312)	***	
	(c) 1C-M/Cの2C-P/C用 CB152C8を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”「入」とし、CB152C8を「入」にする。	A-705 (#311)	***	<2C・2S-P/C 復電> <4C・4S 電源復電>
	(d) 2C・2S-P/Cの負荷側順序投入を確認する。	A-705 (#312)		
	(e) 非常系420V母線盤NFBの「入」を確認する。	A-707 (#356)		
	(f) 1号D/Gを自動待機にする。			
	(1) 1号D/G電源引き込み用 CB152C4を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」にする。	A-705 (#311)	**	
	(2) 1号D/G電源引き込み用 CB152C4 の「切」を確認する。	A-712 (#427)	*	
	(3) 1号D/G機関運転ハンドルを「運転」にする。	S-125	*	
	(4) 電源設備操作7C分電盤内、1号D/G制御電源用 NFB-D1を「入」にする。	A-706 (#325)	*	
	(5) 1号D/G盤の1号D/G COS43Rを「現場」から「中央」にする。	S-125 (#621)	*	・1号D/G 状態表示 「中央」表示点灯確認
	(6) 電源監視盤の1号D/G COS43AM1を「手動」から「自動」にする。	A-712 (#427)	*	・1号D/G 状態表示 「自動」表示点灯確認

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
6	<p><u>4 S電源盤 受電切替え (4 D受電→4 C受電)</u></p> <p>(a) 4 S電源盤の4 C電源盤側4 5 2-S 1の” 8” が「入」であることを確認する。</p> <p>(b) 4 S電源盤の4 D電源盤側4 5 2-S 2の” 8” が「入」であることを確認する。</p> <p>(c) 4 C電源盤内の4 S電源用NFB-B 1を「入」にする。</p> <p>(d) 4 S電源盤のCS 3-4 5 2-S 2を「切」にする。</p> <p>(e) 4 S電源盤のCS 3-4 5 2-S 1を「入」にする。</p> <p>(f) 4 D電源盤内の4 S電源用NFB-B 1を「切」にする。</p>	<p>A-7 0 6 (#3 2 3)</p> <p>A-7 0 6 (#3 2 3)</p> <p>A-7 0 6 (#3 2 4)</p> <p>A-7 0 6 (#3 2 3)</p> <p>A-7 0 6 (#3 2 3)</p> <p>A-7 0 7 (#3 3 6)</p>	<p></p> <p></p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p>・盤裏面</p> <p>・ ”</p> <p>< 4 S電源 停電 ></p> <p>< 4 S電源 復電 ></p>

電源設備操作チェックシート

平成 4年 2月18日 (火)

PNC TN9410 95-269

<停電対象>

補助電源

<操作内容>

1、 補助電源 停電 (2A-P/C受電 終了)

<< 2課 点検 >>

2、 補助電源 復電 (2D-P/C受電 開始)

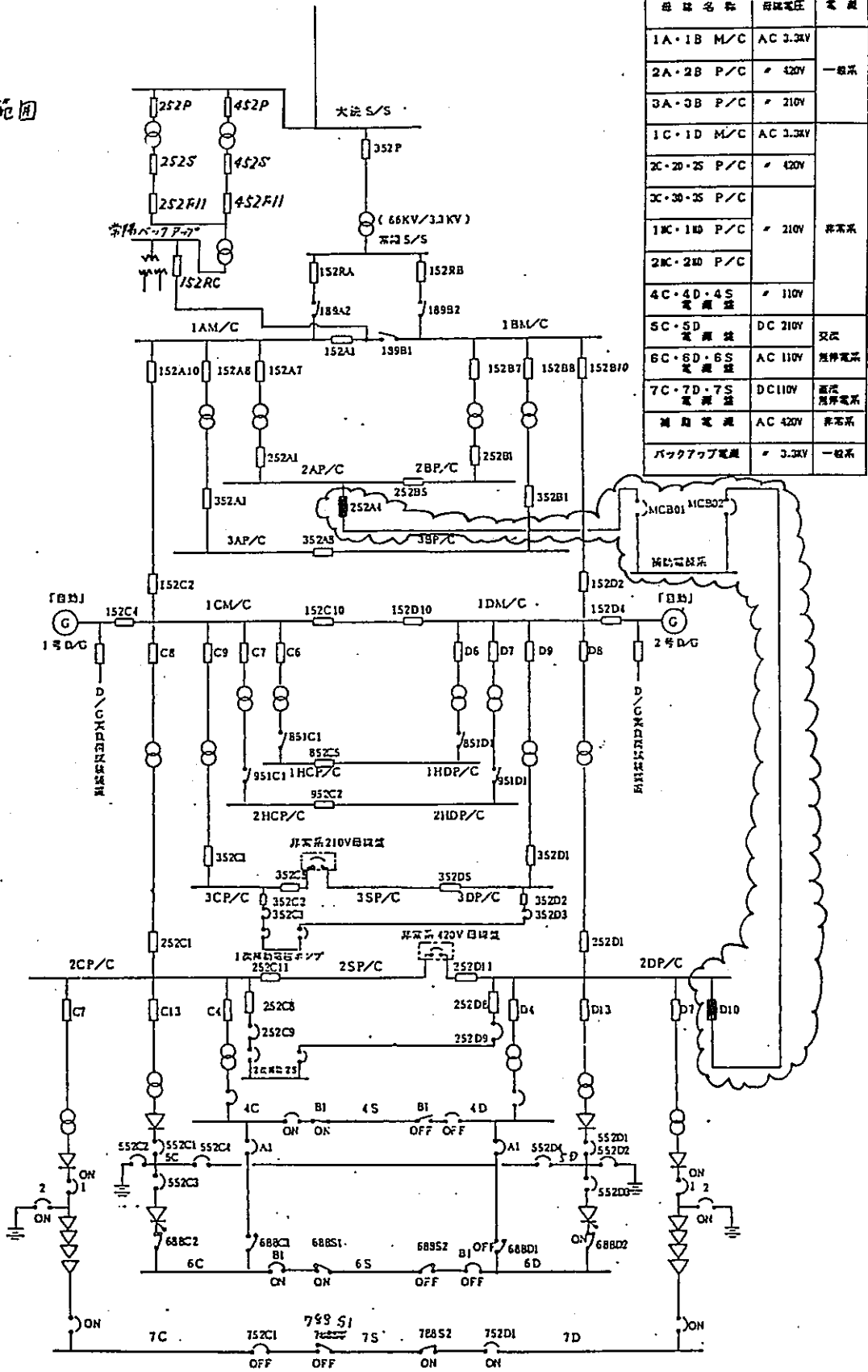
補助電源

平成 4 年 2 月 18 日 (火)

☁ : 停電範囲

□ : ON

■ : OFF



回路名称	回路電圧	電流
1A・1B M/C	AC 3.3KV	一般系
2A・2B P/C	420V	
3A・3B P/C	210V	
1C・1D M/C	AC 3.3KV	非常系
2C・2D・2S P/C	420V	
3C・3D・3S P/C	210V	
1K・1M P/C	210V	非常系
2K・2M P/C	210V	
4C・4D・4S 電源盤	110V	交流 特殊電源
5C・5D 電源盤	DC 210V	
6C・6D・6S 電源盤	AC 110V	直流 特殊電源
7C・7D・7S 電源盤	DC 110V	
補助電源	AC 420V	非常系
バックアップ電源	3.3KV	一般系

「常陽」電源設備系統図

電 2. 18 - 2

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(1 / 3)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<p><u>補助電源 停電</u></p> <p>(a) 2D-P/Cの補助電源設備用CB252D10の「切」、制御電源スイッチ”8”の「切」、CB252D10の「試験位置」を確認する。</p> <p>(b) 2A-P/Cの補助電源設備用CB252A4を「切」にし、制御電源スイッチ”8”を「切」とし、CB252A4を「試験位置」にする。</p> <p>(c) 受電盤（補助電源設備）の非常系 MCB-02の「切」を確認する。</p> <p>(d) 受電盤（補助電源設備）の一般系 MCB-01を「切」にする。</p> <p>(e) 受電盤（補助電源設備）の以下のNFBを「切」にする。</p> <p>① 分電盤(1)</p> <p>② 分電盤(2)</p> <p>③ 分電盤(3)</p> <p>④ 整流装置</p> <p>(f) 補助系インバータのCSを「停止」にし、インバータを停止する。</p> <p>(g) 整流装置の以下のNFBを「切」にする。</p> <p>① 交流入力用</p> <p>② 蓄電池用</p>	<p>A-707 (#332)</p> <p>S-201 (#643)</p> <p>A-707 (#326)</p> <p>A-707 (#326)</p> <p>A-707 (#326)</p> <p>A-707 (#346)</p> <p>A-707 (#347)</p>	<p>○○○</p> <p>*** ○○○</p> <p>○</p> <p>* ○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>中制Tag. とダブルTag.</p> <p>中制Tag. 回収 (H. 3-16) <補助電源設備 停電></p> <p>中制Tag. とダブルTag.</p> <p>中制Tag. 回収 (H. 3-16)</p>

○は、タグ取り付け *は、タグの取り外しを示す。

(2 / 3)

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
	③ インバータ入力用	A-707 (#347)	○	
	<< 2 課 点 検 >>			
2	<p><u>補助電源 復電</u></p> <p>(a) 2A-P/Cの補助電源設備用CB252A4の「切」、制御電源スイッチ”8”の「切」、CB252A4の「試験位置」を確認する。</p> <p>(b) 受電盤（補助電源設備）の一般系 MCB-01の「切」を確認する。</p> <p>(c) 受電盤（補助電源設備）の非常系 MCB-02を「入」にする。</p> <p>(d) 2D-P/Cの補助電源設備用CB252D10を「運転位置」にし、制御電源スイッチ”8”を「入」とし、CB252D10を「入」にする。</p> <p>(e) 受電盤（補助電源設備）の以下のNFBを「入」にする。</p> <p>① 分電盤(1)</p> <p>② 分電盤(2)</p> <p>③ 分電盤(3)</p> <p>④ 整流装置</p>	<p>S-201 (#643)</p> <p>A-707 (#326)</p> <p>A-707 (#326)</p> <p>A-707 (#332)</p> <p>A-707 (#326)</p>	<p>***</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>***</p> <p>***</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p> <p>*</p>	<p>中制Tag. 回収 (H.3-16)</p> <p>中制Tag. 回収 (H.3-16) <補助電源設備 復電></p>

参考資料－ 3

プラント状態表

平成 3年10月14日 (月) 電源設備点検時プラント状態表 その1

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				2HC-P/C 1HC-P/C	
1次主循環ポンプ (主モータ)	1A, 7S, 3S, 6S	A			
	1B, 6C, 6D, 4S	B			
1次主循環ポンプ (ボイモータ)	7C	A	停止中		
	7D 7S	B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2C	1A			
		1B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2D	2A			
		2B			
1次主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2C	A			
	2D	B			
1次補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C	C母線			
	3D, 7D, 6D	D母線			
オーバフロー 電磁ポンプ	3S, 4S				
	6S, 6C				
1次純化系 電磁ポンプ	3S, 4S				
	6C				
1次純化系 CT冷却ブロウ	2B				
2次主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C	A			
	4S, 6S	B			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1A			
		2A			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1B			
		2B			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1A			
		2A			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1B			
		2B			
2次補助系 電磁ポンプ	2C	C母線			
	2D 7S, 6S	D母線			
2次補助系 電磁ポンプ	2S, 7S	1			
		2			
2次純化系 電磁ポンプ	3C, 7S				
2次純化系 電磁ポンプ	3C				
1次純化系 CT冷却ファン	2A, 7C				
1次系予熱ヒータ	1HC	1HC			
	1HD	1HD			

平成 3年10月14日 (月) 電源設備点検時プラント状態表 その2

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				2HC-P/C	1HC-P/C
2次系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C 2HD, 6D, 7D	2HC 2HD			
予熱N2 ガスブロワ	1A, 7S, 4S 1B	A B	停止中		
予熱N2 ガス系 潤滑油ポンプ	2 B	A B			
空調系 循環ポンプ	2 C 2 D	A B			
補給水ポンプ	2 C 2 D	A B			
補機系 揚水ポンプ	2 C 2 D	A B			
空気圧縮機	2C, 4C 2S, 4S 2D, 4D	A B C			
格内ベピコン	補助電源 (2A, 2D)	予備 自動			
A r 廃ガス 圧縮機	2C 4S 2D	A B			
非常用 A r 廃ガス 圧縮機	3S, 4S				
N2 廃ガス ブロワ	2C 4S 2D	A B			
N2 再循環 ブロワ	2C 4S 2D	A, B C, D			
遮蔽コンクリートブロワ	2 C 2 D	A B			
ベデスタルブースタブロワ	2C, 6C 2D, 6D	A B			
格納容器常用 給・排気ファン	2 C 2 D	A B			
フレオン冷凍機	1C, 2C 1D, 2D	A B	停止中		
機器冷却ファン	2C 4S 2D	A B			
アニュラス 排気ファン	2 C 2 D	A B	停止中		
補助電源	2 A 2 D	一般系 非常系			

平成 3年10月14日 (月) 電源設備点検時プラント状態表 その3

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				2 HC-P/C	1 HC-P/C
自動 P L 計	補助電源 6 4 S	運 転 停 止			
2 次 主 P L 計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
1 次 主 循 環 ポンプ 潤 滑 油 ポンプ	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
空 調 器	2 C	A			
冷 却 水 ポンプ	2 D	B			
中 央 制 御 室	2 C	A			
空 調 器	2 D	B			
真 空 給 水 ポンプ	2 C 2 D	A B			
P/C室 (A)	2 C	1			
給 気 ファン	2 C	2			
P/C室 (B)	2 D	1			
給 気 ファン	2 D	2			
接 触 器 盤 室	2 C	1			
給 気 ファン	2 D	2			
接 触 器 盤 室	2 C	1			
排 気 ファン	2 D	2			
1 次 現 場 制 御 室 系	2 C	1			
給 気 ファン	2 D	2			
1 次 現 場 制 御 室 系	2 C	1			
排 気 ファン	2 D	2			
圧 縮 空 気 供 給 系	2 B	1			
給 気 ファン	2 B	2			
圧 縮 空 気 供 給 系	2 B	1			
排 気 ファン	2 B	2			
水 冷 却 池 室 系	2 B	1			
給 気 ファン	2 B	2			
水 冷 却 池 室 系	2 B	1			
排 気 ファン	2 B	2			
燃 料 洗 浄 室 系	2 C	1			
給 気 ファン	2 D	2			
燃 料 洗 浄 室 系	2 C	1			
排 気 ファン	2 D	2			
1 次 A E ガス ハ ル フ 操 作 室 系	2 B	1			
給 気 ファン	2 B	2			
1 次 A E ガス ハ ル フ 操 作 室 系	2 B	1			
排 気 ファン	2 B	2			

平成 3年10月14日 (月) 電源設備点検時プラント状態表 その4

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				2HC-P/C	1HC-P/C
装填燃料貯蔵室系	2 B	1			
空調器		2			
装填燃料貯蔵室系	2 B	1			
排気ファン		2			
ホット配管路系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
ホット配管路系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
廃ガス処理室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
廃ガス処理室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
格設備室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
格設備室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
外気取入れ	2 B				
ファン					
スタコン	7 S				
補機系 冷却タワー	2 C	A			
	2 D	B			
空調系 冷却タワー	2 C	A			
	2 D	B			

平成 3年10月15日 (火) 電源設備点検時プラント状態表 その1

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				2HC-P/C	1HC-P/C
1次主循環ポンプ (主モータ)	1A, 7S, 3S, 6S 1B, 6C, 6D, 4S	A			
		B			
1次主循環ポンプ (ボイラモータ)	7C 7S 7D	A	停止中		
		B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 C	1 A			
		1 B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 D	2 A			
		2 B			
1次主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2 C 2 D	A			
		B			
1次補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C 3D, 7D, 6D	C母線			
		D母線			
オーバフロー 電磁ポンプ	3S, 4S 6S, 6C				
1次純化系 電磁ポンプ	3S, 4S 6C				
1次純化系 C T 冷却ブロウ	2 B				
2次主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C 4S, 5S 1B, 2B, 7D, 6D	A			
		B			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1 A			
		2 A			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1 B			
		2 B			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1 A			
		2 A			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1 B			
		2 B			
2次補助系 電磁ポンプ	2C 2D 7S, 6S	C母線			
		D母線			
2次補助系 冷却ファン	2S, 7S	1			
		2			
2次純化系 電磁ポンプ	3C, 7S				
2次純化系 冷却ファン	3C				
1次純化系 C T 冷却ファン	2A, 7C				
1次系予熱ヒータ	1HC 1S, 7S 1HD	1HC			
		1HD			

平成 3年10月15日 (火) 電源設備点検時プラント状態表 その2

<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 停止操作 機器運転状態 </div>			点検前	点検中	点検後
				2HC-P/C	1HC-P/C
2次系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C 2HD, 6D, 7D	2HC 2HD			
予熱N2 ガスブロウ	1A 7S, 4S 1B	A B	停止中		
予熱N2 ガス系 潤滑油ポンプ	2 B	A B			
空調系 循環ポンプ	2 C 2 D	A B			
補給水ポンプ	2 C 2 D	A B			
補機系 揚水ポンプ	2 C 2 D	A B			
空気圧縮機	2C, 4C 2D, 4D	A B C			
格内ベピコン	補助電源 (2A 2D)	予備 自動			
Ar廃ガス 圧縮機	2C 4S 2D	A B			
非常用 Ar廃ガス 圧縮機	3S, 4S				
N2廃ガス ブロウ	2C 4S 2D	A B			
N2再循環 ブロウ	2C 4S 2D	A, B C, D			
遮断コンクリートブロウ	2 C 2 D	A B			
ベDESTALブースタブロウ	2C, 6C 2D, 6D	A B			
格納容器常用 給・排気 ファン	2 C 2 D	A B			
フレオン冷凍機	1C, 2C 1D, 2D	A B	停止中		
機器冷却ファン	2C 4S 2D	A B			
アニュラス 排気ファン	2 C 2 D	A B	停止中		
補助電源	2 A 2 D	一般系 非常系			

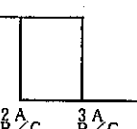
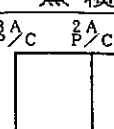
平成 3年10月15日 (火) 電源設備点検時プラント状態表 その3

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				2HCP/C	1HCP/C
自動 P L 計	補助電源 6 4 S	運 轉 停 止			
2次主 P L 計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
空調器	2 C	A			
冷却水ポンプ	2 D	B			
中央制御室	2 C	A			
空調器	2 D	B			
真空給水ポンプ	2 C 2 D	A B			
P/C室(A)		1			
給気ファン	2 C	2			
P/C室(B)		1			
給気ファン	2 D	2			
接触器盤室	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
接触器盤室	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
圧縮空気供給系		1			
給気ファン	2 B	2			
圧縮空気供給系		1			
排気ファン	2 B	2			
水冷却池室系		1			
給気ファン	2 B	2			
水冷却池室系		1			
排気ファン	2 B	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
1次Aエガス ハルフ操作室系	2 B	1			
給気ファン		2			
1次Aエガス ハルフ操作室系	2 B	1			
排気ファン		2			

平成 3年10月15日 (火) 電源設備点検時プラント状態表 その4

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				2HCP/C	1HCP/C
装填燃料貯蔵室系 空調器	2 B	1 2			
装填燃料貯蔵室系 排気ファン	2 B	1 2			
ホット配管路系 給気ファン	2 C 2 D	1 2			
ホット配管路系 排気ファン	2 C 2 D	1 2			
廃ガス処理室系 給気ファン	2 C 2 D	1 2			
廃ガス処理室系 排気ファン	2 C 2 D	1 2			
格 設備室系 給気ファン	2 C 2 D	1 2			
格 設備室系 排気ファン	2 C 2 D	1 2			
外気取入れ ファン	2 B				
スタコン	7 S				
補機系冷却塔 ブロー	2 C	A			
	2 D	B			
空調系冷却塔 ブロー	2 C	A			
	2 D	B			

平成 3年10月16日 (水) 電源設備点検時プラント状態表 その1

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			2A, 3A P/C運転 	2A, 3A P/C点検	 復電
1次主循環ポンプ (主モータ)	1A, 7S, 3S, 6S 1B, 6C, 6D, 4S	A B			
1次主循環ポンプ (サブモータ)	7C, 7S 7D	A B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2C	1A 1B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2D	2A 2B			
1次主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2C 2D	A B			
1次補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C 3D, 7D, 6D	C母線 D母線			
オーバフロー 電磁ポンプ	3S, 4S 6S, 6C				
1次純化系 電磁ポンプ	3S, 4S 6C				
1次純化系 CT冷却ブロワ	2B				
2次主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C 4S, 6S 1B, 2B, 7D, 6D	A B			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1A 2A			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1B 2B			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1A 2A			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1B 2B			
2次補助系 電磁ポンプ	2C, 7S, 6S 2D	C母線 D母線			
2次補助系 電磁ポンプ 冷却ファン	2S, 7S	1 2			
2次純化系 電磁ポンプ	3C, 7S				10/17 3C-P/C点検終了まで 停止中
2次純化系 電磁ポンプ 冷却ファン	3C				10/17 3C-P/C点検終了まで 停止中
2次純化系 CT冷却ファン	2A, 7C				10/17 3C-P/C点検終了まで 停止中
1次系予熱ヒータ	1HC 1S, 7S 1HD	1HC 1HD			

平成 3年10月16日 (水) 電源設備点検時プラント状態表 その2

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			2A, 3A P/C運転		3A P/C 3A P/C 復電
			2A P/C 3A P/C	2A, 3A P/C点検	
2次系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C 2HD, 6D, 7D	2HC 2HD			
予熱N2 ガスブロウ	1A 1B 7S, 4S	A B		停止中	
予熱N2 ガス系 潤滑油ポンプ	2 B	A B			
空調系 循環ポンプ	2 C 2 D	A B			
補給水ポンプ	2 C 2 D	A B			
補機系 揚水ポンプ	2 C 2 D	A B			
空気圧縮機	2C, 4C 2S, 4S 2D, 4D	A B C			
格内ベピコン	補助電源 (2A, 2D)	停止 自動			
A r 廃ガス 圧縮機	2C 4S 2D	A B			
非常用 A r 廃ガス 圧縮機	3S, 4S				
N2 廃ガス ブロウ	2C 4S 2D	A B			
N2 再循環 ブロウ	2C 4S 2D	A, B C, D			
遮蔽コンクリートブロウ	2 C 2 D	A B			
ベデスタルプースタブロウ	2C, 6C 2D, 6D	A B			
格納容器常用 給・排気 ファン	2 C 2 D	A B			
フ レ オ ン 冷 凍 機	1C, 2C 1D, 2D	A B		点検のため停止中	
機器冷却ファン	2C 4S 2D	A B			
ア ニ ュ ラ ス 排気ファン	2 C 2 D	A B		格内機器搬出入口開放により停止中	
補助電源	2 A 2 D	一般系 非常系			

平成 3年10月16日 (水) 電源設備点検時プラント状態表 その3

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			2A, 3A P/C運転		3A P/C 2A P/C 復電
				2A, 3A P/C点検	
自動 P L 計	補助電源 6 4 2C	運転停止			
2次主 P L 計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			10/17 3C-P/C 点検終了までPOWER-ON
2次補助 P L 計	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
空調器	2 C	A			
冷却水ポンプ	2 D	B			
中央制御室	2 C	A			
空調器	2 D	B			
真空給水ポンプ	2 C	A			
	2 D	B			
P/C室(A)		1			
給気ファン	2 C	2			
P/C室(B)		1			
給気ファン	2 D	2			
接触器盤室	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
接触器盤室	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
圧縮空気供給系		1			
給気ファン	2 B	2			
圧縮空気供給系		1			
排気ファン	2 B	2			
水冷却池室系		1			
給気ファン	2 B	2			
水冷却池室系		1			
排気ファン	2 B	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
1次A ₁ ガス バルブ操作室系		1			
給気ファン	2 B	2			
1次A ₁ ガス バルブ操作室系		1			
排気ファン	2 B	2			

平成 3年10月16日 (水) 電源設備点検時プラント状態表 その4

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			2A, 3A P/C運転 2A P/C 3A P/C	2A, 3A P/C点検	2A P/C 3A P/C 復電
装填燃料貯蔵室系 空調器	2 B	1 2			
装填燃料貯蔵室系 排気ファン	2 B	1 2			
ホット配管路系 給気ファン	2 C 2 D	1 2			
ホット配管路系 排気ファン	2 C 2 D	1 2			
廃ガス処理室系 給気ファン	2 C 2 D	1 2			
廃ガス処理室系 排気ファン	2 C 2 D	1 2			
格設備室系 給気ファン	2 C 2 D	1 2			
格設備室系 排気ファン	2 C 2 D	1 2			
外気取入れ ファン	2 B				
スタコン	7 S				
補機系 冷却塔 フロワ	2 C	A			
	2 D	B			
空調系 冷却塔 フロワ	2 C	A			
	2 D	B			

平成 3年10月17日 (木) 電源設備点検時プラント状態表 その1

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			3C P/C	3C P/C 点検	
1次主循環ポンプ (主モータ)	1A, 7S, 3S, 6S	A			
	1B, 6C, 6D, 4S	B			
1次主循環ポンプ (ボローモータ)	7C	A			
	7D 7S	B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 C	1 A			
		2 A			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 D	1 B			
		2 B			
1次主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2 C	A			
	2 D	B			
1次補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C	C母線			
	3D, 7D, 6D	D母線			
オーバフロー 電磁ポンプ	3S, 4S				
	6S, 6C				
1次純化系 電磁ポンプ	3S, 4S				
	6C				
1次純化系 C T 冷却ブロウ	2 B				
2次主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C 4S, 6S	A			
		B			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1 A			
		2 A			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1 B			
		2 B			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1 A			
		2 A			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1 B			
		2 B			
2次補助系 電磁ポンプ	2C	C母線			
	2D 7S, 6S	D母線			
2次補助系 電磁冷却ファン	2S, 7S	1			
		2			
2次純化系 電磁ポンプ	3C, 7S				
2次純化系 電磁冷却ファン	3C				
2次純化系 C T 冷却ファン	2A, 7C				
1次系予熱ヒータ	IHC	IHC			
	4S, 7S IHD	IHD			

平成 3年10月17日 (木) 電源設備点検時プラント状態表 その2

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			3C P/C	3C P/C 点検	
2次系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C 2HD, 6D, 7D	2HC 2HD			
予熱N2 ガスブロウ	1A 1B 7S, 4S	A B	停止中		
予熱N2 ガス系 潤滑油ポンプ	2 B	A B			
空調系 循環ポンプ	2 C	A			
	2 D	B			
補給水ポンプ	2 C	A			
	2 D	B			
補機系 揚水ポンプ	2 C	A			
	2 D	B			
空気圧縮機	2C, 4C 2S, 4S 2D, 4D	A B C			
格内ベピコン	補助電源 (2A, 2D)	予備 自動			
Ar廃ガス 圧縮機	2C 4S	A			
	2D	B			
非常用 Ar廃ガス 圧縮機	3S, 4S				
N2廃ガス ブロウ	2C 4S	A			
	2D	B			
N2再循環 ブロウ	2C 4S	A, B			
	2D	C, D			
遮蔽コンクリートブロウ	2 C	A			
	2 D	B			
ベデスタルブースタブロウ	2C, 6C	A			
	2D, 6D	B			
格納容器常用 給・排気ファン	2 C	A			
	2 D	B			
フ里昂冷凍機	1C, 2C	A	停止中		
	1D, 2D	B			
機器冷却ファン	2C 4S	A			
	2D	B			
アニュラス 排気ファン	2 C	A	停止中		
	2 D	B			
補助電源	2 A	一般系			
	2 D	非常系			

平成 3年10月17日 (木) 電源設備点検時プラント状態表 その3

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			3C P/C	3C P/C 点検	
自動 P L 計	補助電源 6 4 S	運 行 停 止			
2次主 P L 計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
2次補助 P L 計	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
空調器	2 C	A			
冷却水ポンプ	2 D	B			
中央制御室	2 C	A			
空調器	2 D	B			
真空給水ポンプ	2 C	A			
	2 D	B			
P/C室(A)					
給気ファン	2 C	1 2			
P/C室(B)					
給気ファン	2 D	1 2			
接触器盤室	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
接触器盤室	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
圧縮空気供給系		1			
給気ファン	2 B	2			
圧縮空気供給系		1			
排気ファン	2 B	2			
水冷却池室系		1			
給気ファン	2 B	2			
水冷却池室系		1			
排気ファン	2 B	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
1次A ₁ ガス バルブ操作室系	2 B	1			
給気ファン		2			
1次A ₁ ガス バルブ操作室系	2 B	1			
排気ファン		2			

平成 3年10月17日 (木) 電源設備点検時プラント状態表 その4

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			3C P/C	3C P/C 点検	
装填燃料貯蔵室系 空調器	2 B	1 2			
装填燃料貯蔵室系 排気ファン	2 B	1 2			
ホット配管路系 給気ファン	2 C 2 D	1 2			
ホット配管路系 排気ファン	2 C 2 D	1 2			
廃ガス処理室系 給気ファン	2 C 2 D	1 2			
廃ガス処理室系 排気ファン	2 C 2 D	1 2			
格設備室系 給気ファン	2 C 2 D	1 2			
格設備室系 排気ファン	2 C 2 D	1 2			
外気取入れ ファン	2 B				
スタコン	7 S				
補機系 冷却塔 プロワ	2 C 2 D	A B			
空調系 冷却塔 プロワ	2 C 2 D	A B			

平成 3年10月18日 (金) 電源設備点検時プラント状態表 その1

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			2S P/C	2S P/C 点検	
1次主循環ポンプ (主モータ)	1A, 7S, 3S, 6S	A			
	1B, 6C, 6D, 4S	B			
1次主循環ポンプ (ボローモータ)	7C	A			
	7D	B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2C	1A			
		1B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2D	2A			
		2B			
1次主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2C	A			
	2D	B			
1次補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C	C母線			
	3D, 7D, 6D	D母線			
オーバフロー 電磁ポンプ	3S, 4S				
	6S, 6C				
1次純化系 電磁ポンプ	3S, 4S				
		6C			
1次純化系 C T 冷却ブロウ	2B				
2次主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C 4S, 6S	A			
		B			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1A			
		2A			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1B			
		2B			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1A			
		2A			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1B			
		2B			
2次補助系 電磁ポンプ	2C	C母線			
	7S, 6S 2D	D母線			
2次補助系 電磁ポンプ 冷却ファン	2S, 7S	1			
		2			
2次純化系 電磁ポンプ	3C, 7S				
2次純化系 電磁ポンプ 冷却ファン	3C				
2次純化系 C T 冷却ファン	2A, 7C				
1次系予熱ヒータ	1HC 1S, 7S 1HD	1HC			
		1HD			

平成 3年10月18日 (金) 電源設備点検時プラント状態表 その2

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			2S P/C	2S P/C 点検	
2次系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C 2HD, 6D, 7D	2HC 2HD			
予熱N2 ガスブロウ	1A, 7S, 4S 1B	A B		停止中	
予熱N2 ガス系 潤滑油ポンプ	2B	A B			
空調系 循環ポンプ	2C 2D	A B			
補給水ポンプ	2C 2D	A B			
補機系 揚水ポンプ	2C 2D	A B			
空気圧縮機	2C, 4C 2D, 4D	A B C			
格内ベピコン	補助電源 (2A, 2D)	予備 自動			
Ar廃ガス 圧縮機	2C 2D, 4S	A B			
非常用 Ar廃ガス 圧縮機	3S, 4S				
N2廃ガス ブロウ	2C 2D, 4S	A B			
N2再循環 ブロウ	2C 2D, 4S	A, B C, D			
遮蔽コンクリートブロウ	2C 2D	A B			
ベデスタルブーストブロウ	2C, 6C 2D, 6D	A B			
格納容器常用 給・排気ファン	2C 2D	A B			
フ里昂冷凍機	1C, 2C 1D, 2D	A B		停止中	
機器冷却ファン	2C 2D, 4S	A B			
アニュラス 排気ファン	2C 2D	A B		停止中	
補助電源	2A 2D	一般系 非常系			

平成 3年10月18日 (金) 電源設備点検時プラント状態表 その3

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			2S P/C	2S P/C 点検	
自動 P L 計	補助電源 6 4 S	運 転 停 止			
2 次 主 P L 計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
2 次 補助 P L 計	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
空調器	2 C	A			
冷却水ポンプ	2 D	B			
中央制御室	2 C	A			
空調器	2 D	B			
真空給水ポンプ	2 C	A			
	2 D	B			
P/C室(A)		1			
給気ファン	2 C	2			
P/C室(B)		1			
給気ファン	2 D	2			
接触器盤室	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
接触器盤室	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
圧縮空気供給系		1			
給気ファン	2 B	2			
圧縮空気供給系		1			
排気ファン	2 B	2			
水冷却機室系		1			
給気ファン	2 B	2			
水冷却機室系		1			
排気ファン	2 B	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
1次A ₁ ガス バルブ操作室系		1			
給気ファン	2 B	2			
1次A ₁ ガス バルブ操作室系		1			
排気ファン	2 B	2			

平成 3年10月18日 (金) 電源設備点検時プラント状態表 その4

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			2S P/C	2S P/C 点検	
装填燃料貯蔵室系 空調器	2 B	1			
		2			
装填燃料貯蔵室系 排気ファン	2 B	1			
		2			
ホット配管路系 給気ファン	2 C	1			
	2 D	2			
ホット配管路系 排気ファン	2 C	1			
	2 D	2			
廃ガス処理室系 給気ファン	2 C	1			
	2 D	2			
廃ガス処理室系 排気ファン	2 C	1			
	2 D	2			
格設備室系 給気ファン	2 C	1			
	2 D	2			
格設備室系 排気ファン	2 C	1			
	2 D	2			
外気取入れ ファン	2 B				
スタコン	7 S				
補機系 冷却塔	2 C	A			
	2 D	B			
空調系 冷却塔	2 C	A			
	2 D	B			

平成 3年10月19日 (土) 電源設備点検時プラント状態表 その1

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			352P (OFF)		352P (ON)
			電 費	1・2号 D/G運転	
1次主循環ポンプ (主モータ)	1A, 7S, 3S, 6S	A			
	1B, 6C, 6D, 4S	B			
1次主循環ポンプ (ボイラモータ)	7C	A			
	7D	B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2C	1A			
		1B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2D	2A			
		2B			
1次主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2C	A			
		2D	B		
1次補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C 3D, 7D, 6D	C母線			
		D母線			
オーバフロー 電磁ポンプ	3S, 4S 6S, 6C				
1次純化系 電磁ポンプ	3S, 4S 6C				
1次純化系 CT冷却ブロワ	2B				
2次主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C 4S, 6S	A			
		B			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1A			
		2A			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1B			
		2B			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1A			
		2A			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1B			
		2B			
2次補助系 電磁ポンプ	2C 7S, 6S 2D	C母線			
		D母線			
2次補助系 電磁ポンプ 冷却ファン	2S, 7S	1			
		2			
2次純化系 電磁ポンプ	3C, 7S				
2次純化系 電磁ポンプ 冷却ファン	3C				
2次純化系 CT冷却ファン	2A, 7C				
1次系予熱ヒータ	1HC 1S, 7S 1HD	1HC			
		1HD			

平成 3年10月19日 (土) 電源設備点検時プラント状態表 その2

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			352P「OFF」	1・2号 D/G運転	352P「ON」
2次系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C 2HD, 6D, 7D	2HC 2HD			
予熱N2 ガスブロウ	1A, 7S, 4S 1B	A B			
予熱N2 ガス系 潤滑油ポンプ	2B	A B			
空調系 循環ポンプ	2C 2D	A B			
補給水ポンプ	2C 2D	A B			
補機系 揚水ポンプ	2C 2D	A B			
空気圧縮機	2C, 4C 2S, 4S 2D, 4D	A B C			
格内ベピコン	補助電源 (2A, 2D)	予備 自動			
A r 廃ガス 圧縮機	2C, 4S 2D	A B			
非常用 A r 廃ガス 圧縮機	3S, 4S				
N2 廃ガス ブロウ	2C, 4S 2D	A B			
N2 再循環 ブロウ	2C, 4S 2D	A, B C, D			
遮蔽コンクリートブロウ	2C 2D	A B			
ベDESTALブースタブロウ	2C, 6C 2D, 6D	A B			
格納容器常用 給・排気ファン	2C 2D	A B			
フ レ オ ン 冷 凍 機	1C, 2C 1D, 2D	A B			
機器冷却ファン	2C, 4S 2D	A B			
ア ニ ュ ラ ス 排気ファン	2C 2D	A B			
補助電源	2A 2D	一般系 非常系			

平成 3年10月19日 (土) 電源設備点検時プラント状態表 その3

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			352P「OFF」 電費	1・2号 D/G運転	352P「ON」
自動 P L 計	補助電源 4 S	運 転 停 止			
2 次 主 P L 計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
2 次 補助 P L 計	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
空調器	2 C	A			
冷却水ポンプ	2 D	B			
中央制御室	2 C	A			
空調器	2 D	B			
真空給水ポンプ	2 C	A			
	2 D	B			
P/C室(A)		1			
給気ファン	2 C	2			
P/C室(B)		1			
給気ファン	2 D	2			
接触器盤室	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
接触器盤室	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
圧縮空気供給系		1			
給気ファン	2 B	2			
圧縮空気供給系		1			
排気ファン	2 B	2			
水冷却池室系		1			
給気ファン	2 B	2			
水冷却池室系		1			
排気ファン	2 B	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
給気	2 D	2			
燃料洗浄室系		1			
排気ファン	2 D	2			
1次A ₁ ガス バルブ操作室系		1			
給気ファン	2 B	2			
1次A ₁ ガス バルブ操作室系		1			
排気ファン	2 B	2			

平成 3年10月19日 (土) 電源設備点検時プラント状態表 その4

停止操作			点検前		点検中		点検後	
			352P「OFF」		1・2号 D/G運転		352P「ON」	
機器運転状態								
装填燃料貯蔵室系 空調器	2 B	1						
		2						
装填燃料貯蔵室系 排気ファン	2 B	1						
		2						
ホット配管路系 給気ファン	2 C	1						
	2 D	2						
ホット配管路系 排気ファン	2 C	1						
	2 D	2						
廃ガス処理室系 給気ファン	2 C	1						
	2 D	2						
廃ガス処理室系 排気ファン	2 C	1						
	2 D	2						
格設備室系 給気ファン	2 C	1						
	2 D	2						
格設備室系 排気ファン	2 C	1						
	2 D	2						
外気取入れ ファン	2 B							
スタコン	7 S							
捕機系 冷却タワー	2 C	A						
	2 D	B						
空調系 冷却タワー	2 C	A						
	2 D	B						

— 301 —

平成 3年10月20日 (日) 電源設備点検時プラント状態表 その1

停止操作 機器運転状態			点検前		点検中		点検後	
			2S 2S 2次補助 4S 5C 7C	2S 2次補助 4S 4C 5C 7C	2 CP/C、4 C点検	2C 7C 4C 5C 4S 2次補助 2S		
1次主循環ポンプ (主モータ)	1A, 7S, 3S, 6S 1B, 6C, 6D, 4S	A B						
1次主循環ポンプ (ボローモータ)	7C 7S 7D	A B						
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 C	1 A 1 B						
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 D	2 A 2 B						
1次主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2 C 2 D	A B			仮設ブロワ			
1次補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C 3D, 7D, 6D	C母線 D母線						
オーバフロー 電磁ポンプ	3S, 4S 6S, 6C							
1次純化系 電磁ポンプ	3S, 4S 6C							
1次純化系 CT冷却ブロワ	2 B							
2次主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C 4S, 6S 1B, 2B, 7D, 6D	A B						
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1 A 2 A						
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1 B 2 B						
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1 A 2 A						
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1 B 2 B						
2次補助系 電磁ポンプ	2C 7S, 6S 2D	C母線 D母線						
2次補助系 電磁冷却ファン	2S, 7S	1 2						
2次純化系 電磁ポンプ	3C, 7S							
2次純化系 電磁冷却ファン	3C							
2次純化系 CT冷却ファン	2A, 7C							
1次系予熱ヒータ	1HC 4S, 7S 1HD	1HC 1HD						

平成 3年10月20日 (日) 電源設備点検時プラント状態表 その2

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				2 CP/C, 4 C点検	
2次系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C 2HD, 6D, 7D	2HC 2HD			
予熱N2 ガスブロウ	1A 7S, 4S 1B	A B			
予熱N2 ガス系 潤滑油ポンプ	2 B	A B			
空調系 循環ポンプ	2 C 2 D	A B			
補給水ポンプ	2 C 2 D	A B			
捕機系 揚水ポンプ	2 C 2 D	A B			
空気圧縮機	2C, 4C 2S, 4S 2D, 4D	A B C			
格内ベピコン	補助電源 (2A 2D)	予備 自動			
A r 廃ガス 圧縮機	2C 4S 2D	A B			
非常用 A r 廃ガス 圧縮機	3S, 4S				
N2 廃ガス ブロウ	2C 4S 2D	A B			
N2 再循環 ブロウ	2C 4S 2D	A, B C, D			
逆蔵コンクリートブロウ	2 C 2 D	A B			
ベデスタルプースタブロウ	2C, 6C 2D, 6D	A B			
格納容器常用 給・排気ファン	2 C 2 D	A B			
フ レ オ ン 冷 凍 機	1C, 2C 1D, 2D	A B		停止中	
機器冷却ファン	2C 4S 2D	A B			
ア ニ ュ ラ ス 排気ファン	2 C 2 D	A B		停止中	
補助電源	2 A 2 D	一般系 非常系			

平成 3年10月20日 (日) 電源設備点検時プラント状態表 その3

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			 2S 2S 2次補助 4S 5C 7C 2S 2次補助 4S 4C 7C	2 CP/C. 4 C点検	 2C 7C 4C 4S 2次補助 2S 7C 4C 4S 2次補助 2S
自動 P L 計	補助電源 6 S 4 S	運転停止			
2次主 P L 計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
2次補助 P L 計	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
空調器	2 C	A			
冷却水ポンプ	2 D	B			
中央制御室	2 C	A			
空調器	2 D	B			
真空給水ポンプ	2 C	A			
	2 D	B			
P/C室(A)	2 C	1			
給気ファン		2			
P/C室(B)	2 D	1			
給気ファン		2			
接触器盤室	2 D	1			
給気ファン	2 C	2			
接触器盤室	2 D	1			
排気ファン	2 C	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
圧縮空気供給系	2 B	1			
給気ファン		2			
圧縮空気供給系	2 B	1			
排気ファン		2			
水冷却池室系	2 B	1			
給気ファン		2			
水冷却池室系	2 B	1			
排気ファン		2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
1次AUGAS 給気ファン	2 B	1			
		2			
1次AUGAS 排気ファン	2 B	1			
		2			

平成 3年10月21日 (月) 電源設備点検時プラント状態表 その1

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			4 D	4 D点検	4 D
1 次主循環ポンプ (主モータ)	1A, 7S, 3S, 6S 1B, 6C, 6D, 4S	A			
		B			
1 次主循環ポンプ (ボローモータ)	7C 7S 7D	A			
		B			
1 次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 C	1 A			
		1 B			
1 次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 D	2 A			
		2 B			
1 次主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2 C 2 D	A			
		B			
1 次補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C 3D, 7D, 6D	C母線			
		D母線			
オーバフロー 電磁ポンプ	3S, 4S 6S, 6C				
1 次純化系 電磁ポンプ	3S, 4S 6C				
1 次純化系 C T 冷却ブロワ	2 B				
2 次主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C 4S, 6S 1B, 2B, 7D, 6D	A			
		B			
2 次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1 A			
		2 A			
2 次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1 B			
		2 B			
2 次主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1 A			
		2 A			
2 次主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1 B			
		2 B			
2 次補助系 電磁ポンプ	2C 7S, 6S 2D	C母線			
		D母線			
2 次補助系 電磁冷却ファン	2S, 7S	1			
		2			
2 次純化系 電磁ポンプ	3C, 7S				
2 次純化系 電磁冷却ファン	3C				
2 次純化系 C T 冷却ファン	2A, 7C				
1 次系予熱ヒータ	1HC 1S, 7S 1HD	1HC			
		1HD			

平成 3年10月21月 (月) 電源設備点検時プラント状態表 その2

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			4 D	4 D点検	4 D
2次系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C 2HD, 6D, 7D	2HC 2HD			
予熱N2 ガスブロウ	1A, 7S, 4S 1B	A B			
予熱N2 ガス系 潤滑油ポンプ	2 B	A B			
空調系 循環ポンプ	2 C 2 D	A B			
補給水ポンプ	2 C 2 D	A B			
捕機系 揚水ポンプ	2 C 2 D	A B			
空気圧縮機	2C, 4C 2D, 4D	A B C			
格内ベピコン	補助電源 (2A, 2D)	予備 自動			
A r 廃ガス 圧縮機	2C 4S 2D	A B			
非常用 A r 廃ガス圧縮機	3S, 4S				
N2 廃ガス ブロウ	2C 4S 2D	A B			
N2 再循環 ブロウ	2C 4S 2D	A, B C, D			
遮蔽コンクリートブロウ	2 C 2 D	A B			
ベデスタブースタブロウ	2C, 6C 2D, 6D	A B			
格納容器常用 給・排気ファン	2 C 2 D	A B			
フ里昂冷凍機	1C, 2C 1D, 2D	A B		停止中	
機器冷却ファン	2C 4S 2D	A B			
アニュラス 排気ファン	2 C 2 D	A B		停止中	
補助電源	2 A 2 D	一般系 非常系			

平成 3年10月21日 (月) 電源設備点検時プラント状態表 その3

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			4 D	4 D点検	4 D
自動 P L 計	補助電源 6 4 S	運転停止			
2次主 P L 計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
2次補助 P L 計	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
空調器	2 C	A			
冷却水ポンプ	2 D	B			
中央制御室	2 C	A			
空調器	2 D	B			
真空給水ポンプ	2 C	A			
	2 D	B			
P/C室(A)	2 C	1			
給気ファン		2			
P/C室(B)	2 D	1			
給気ファン		2			
接触器盤室	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
接触器盤室	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
圧縮空気供給系	2 B	1			
給気ファン		2			
圧縮空気供給系	2 B	1			
排気ファン		2			
水冷却池室系	2 B	1			
給気ファン		2			
水冷却池室系	2 B	1			
排気ファン		2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
1次A ₁ ガス ハルプ操作系	2 B	1			
給気ファン		2			
1次A ₁ ガス ハルプ操作系	2 B	1			
排気ファン		2			

平成 3年10月21日 (月) 電源設備点検時プラント状態表 その4

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			4 D	4 D点検	4 D
装填燃料貯蔵室系 空調器	2 B	1 2			
装填燃料貯蔵室系 排気ファン	2 B	1 2			
ホット配管路系 給気ファン	2 C 2 D	1 2			
ホット配管路系 排気ファン	2 C 2 D	1 2			
廃ガス処理室系 給気ファン	2 C 2 D	1 2			
廃ガス処理室系 排気ファン	2 C 2 D	1 2			
格設備室系 給気ファン	2 C 2 D	1 2			
格設備室系 排気ファン	2 C 2 D	1 2			
外気取入れ ファン	2 B				
スタコン	7 S				
補機系 冷却塔 ブローワ	2 C 2 D	A B			
空調系 冷却塔 ブローワ	2 C 2 D	A B			

平成 3年10月21日 (月) 電源設備点検時プラント状態表 その1

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			4 S	4 S点検	
1次主循環ポンプ (主モータ)	1A, 7S, 3S, 6S	A			
	1B, 6C, 6D, 4S	B			
1次主循環ポンプ (ボローモータ)	7C	A			
	7D 7S	B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 C	1 A			
		1 B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 D	2 A			
		2 B			
1次主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2 C	A			
	2 D	B			
1次補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C	C母線			
	3D, 7D, 6D	D母線			
オーバフロー 電磁ポンプ	3S, 4S				
	6S, 6C				
1次純化系 電磁ポンプ	3S, 4S				
	6C				
1次純化系 C T 冷却ブロウ	2 B				
2次主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C 4S, 6S 1B, 2B, 7D, 6D	A			
		B			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1 A			
		2 A			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1 B			
		2 B			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1 A			
		2 A			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1 B			
		2 B			
2次補助系 電磁ポンプ	2C	C母線			
	2D 7S, 6S	D母線			
2次補助系 電磁ポンプ 冷却ファン	2S, 7S	1			
		2			
2次純化系 電磁ポンプ	3C, 7S				
2次純化系 電磁ポンプ 冷却ファン	3C				
2次純化系 C T 冷却ファン	2A, 7C				
1次系予熱ヒータ	1HC 1S, 7S 1HD	1HC			
		1HD			

平成 3年10月21日 (月) 電源設備点検時プラント状態表 その2

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			4 S	4 S点検	
2次系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C 2HD, 6D, 7D	2HC 2HD			
予熱N2 ガスブロウ	1A, 7S, 4S 1B	A B			
予熱N2 ガス系 潤滑油ポンプ	2 B	A B			
空調系 循環ポンプ	2 C 2 D	A B			
補給水ポンプ	2 C 2 D	A B			
捕機系 揚水ポンプ	2 C 2 D	A B			
空気圧縮機	2C, 4C 2S, 4S 2D, 4D	A B C			
格内ベピコン	補助電源 (2A, 2D)	予備 自動			
A r 廃ガス 圧縮機	2C 4S 2D 4S	A B			
非常用 A r 廃ガス 圧縮機	3S, 4S				
N2 廃ガス ブロウ	2C 4S 2D 4S	A B			
N2 再循環 ブロウ	2C 4S 2D 4S	A, B C, D			
遮蔽コンクリートブロウ	2 C 2 D	A B			
ベデスクルブースタブロウ	2C, 6C 2D, 6D	A B			
格納容器常用 給・排気ファン	2 C 2 D	A B			
フ レ オ ン 冷 凍 機	1C, 2C 1D, 2D	A B		停止中	
機器冷却ファン	2C 4S 2D 4S	A B			
ア ニ ュ ラ ス 排気ファン	2 C 2 D	A B		停止中	
補助電源	2 A 2 D	一般系 非常系			

平成 3年10月21日 (月) 電源設備点検時プラント状態表 その3

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			4 S	4 S点検	
自動 P L 計	補助電源 6 4 S	運転 停止			
2 次 主 P L 計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
2 次 補 助 P L 計	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
空調器	2 C	A			
冷却水ポンプ	2 D	B			
中央制御室	2 C	A			
空調器	2 D	B			
真空給水ポンプ	2 C	A			
	2 D	B			
P/C室(A)		1			
給気ファン	2 C	2			
P/C室(B)		1			
給気ファン	2 D	2			
接触器盤室	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
接触器盤室	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
圧縮空気供給系		1			
給気ファン	2 B	2			
圧縮空気供給系		1			
排気ファン	2 B	2			
水冷却池室系		1			
給気ファン	2 B	2			
水冷却池室系		1			
排気ファン	2 B	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
1次A1ガス バルブ操作室系		1			
給気ファン	2 B	2			
1次A1ガス バルブ操作室系		1			
排気ファン	2 B	2			

平成 3年10月21日 (月) 電源設備点検時プラント状態表 その4

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			4 S	4 S点検	
装填燃料貯蔵室系 空調器	2 B	1			
		2			
装填燃料貯蔵室系 排気ファン	2 B	1			
		2			
ホット配管路系 給気ファン	2 C	1			
		2			
ホット配管路系 排気ファン	2 D	1			
		2			
廃ガス処理室系 給気ファン	2 C	1			
		2			
廃ガス処理室系 排気ファン	2 D	1			
		2			
格設備室系 給気ファン	2 C	1			
		2			
格設備室系 排気ファン	2 D	1			
		2			
外気取入れ ファン	2 B				
スタコン	7 S				
補機系 冷却塔	2 C	A			
		B			
空調系 冷却塔	2 C	A			
		B			

平成 3年10月23日 (水) 電源設備点検時プラント状態表 その1

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				4 S 点検	4 S
1 次主循環ポンプ (主モータ)	1A, 7S, 3S, 6S	A			
	1B, 6C, 6D, 4S	B			
1 次主循環ポンプ (ボイラモータ)	7C	A			
	7D 7S	B			
1 次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 C	1 A			
		1 B			
1 次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 D	2 A			
		2 B			
1 次主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2 C	A			
	2 D	B			
1 次補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C	C母線			
	3D, 7D, 6D	D母線			
オーバフロー 電磁ポンプ	3S, 4S				
	6S, 6C				
1 次純化系 電磁ポンプ	3S, 4S				
	6C				
1 次純化系 C T 冷却ブロウ	2 B				
2 次主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C 4S, 6S 1B, 2B, 7D, 6D	A			
		B			
2 次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1 A			
		2 A			
2 次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1 B			
		2 B			
2 次主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1 A			
		2 A			
2 次主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1 B			
		2 B			
2 次補助系 電磁ポンプ	2C	C母線			
	2D 7S, 6S	D母線			
2 次補助系 電磁ポンプ 冷却ファン	2S, 7S	1			
		2			
2 次純化系 電磁ポンプ	3C, 7S				
2 次純化系 電磁ポンプ 冷却ファン	3C				
2 次純化系 C T 冷却ファン	2A, 7C				
1 次系予熱ヒータ	1HC	1HC			
	1S, 7S 1HD	1HD			

平成 3年10月23日 (水) 電源設備点検時プラント状態表 その2

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				4 S 点検	4 S
2次系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C 2HD, 6D, 7D	2HC 2HD			
予熱N2 ガスブロウ	1A, 7S, 4S 1B	A B			
予熱N2 ガス系 潤滑油ポンプ	2 B	A B			
空調系 循環ポンプ	2 C 2 D	A B			
補給水ポンプ	2 C 2 D	A B			
補機系 揚水ポンプ	2 C 2 D	A B			
空気圧縮機	2C, 4C 2S, 4S 2D, 4D	A B C			
格内ベピコン	補助電源 (2A, 2D)	予備 自動			
A r 廃ガス 圧縮機	2C 2D 4S	A B			
非常用 A r 廃ガス 圧縮機	3S, 4S				
N2 廃ガス ブロウ	2C 2D 4S	A B			
N2 再循環 ブロウ	2C 2D 4S	A, B C, D			
遮蔽コンクリートブロウ	2 C 2 D	A B			
ベデスタルプースタブロウ	2C, 6C 2D, 6D	A B			
格納容器常用 給・排気 ファン	2 C 2 D	A B			
フ レ オ ン 冷 凍 機	1C, 2C 1D, 2D	A B	停止中		
機器冷却ファン	2C 2D 4S	A B			
ア ニ ュ ラ ス 排気ファン	2 C 2 D	A B	停止中		
補助電源	2 A 2 D	一般系 非常系			

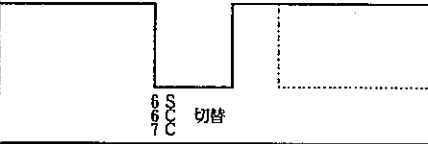
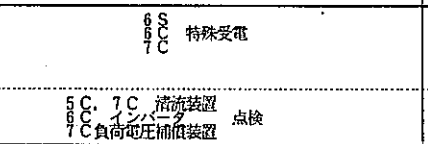
平成 3年10月23日 (水) 電源設備点検時プラント状態表 その3

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				4 S 点検	4 S
自動 P L 計	補助電源 4 S	運転 停止			
2 次 主 P L 計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
2 次 補 助 P L 計	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
空調器	2 C	A			
冷却水ポンプ	2 D	B			
中央制御室	2 C	A			
空調器	2 D	B			
真空給水ポンプ	2 C	A			
	2 D	B			
P/C室(A)		1			
給気ファン	2 C	2			
P/C室(B)		1			
給気ファン	2 D	2			
接触器盤室	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
接触器盤室	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
圧縮空気供給系		1			
給気ファン	2 B	2			
圧縮空気供給系		1			
排気ファン	2 B	2			
水冷却池室系		1			
給気ファン	2 B	2			
水冷却池室系		1			
排気ファン	2 B	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
1次A ₁ ガス バルブ操作室系	2 B	1			
給気ファン		2			
1次A ₁ ガス バルブ操作室系	2 B	1			
排気ファン		2			

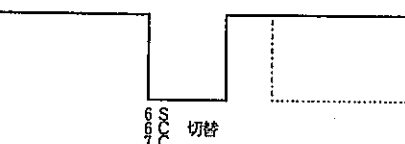
平成 3年10月23日 (水) 電源設備点検時プラント状態表 その4

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				4 S点検	4 S
装填燃料貯蔵室系 空調器	2 B	1			
		2			
装填燃料貯蔵室系 排気ファン	2 B	1			
		2			
ホット配管路系 給気ファン	2 C	1			
	2 D	2			
ホット配管路系 排気ファン	2 C	1			
	2 D	2			
廃ガス処理室系 給気ファン	2 C	1			
	2 D	2			
廃ガス処理室系 排気ファン	2 C	1			
	2 D	2			
格設備室系 給気ファン	2 C	1			
	2 D	2			
格設備室系 排気ファン	2 C	1			
	2 D	2			
外気取入れ ファン	2 B				
スタコン	7 S				
補機系 冷却タワー	2 C	A			
	2 D	B			
空調系 冷却タワー	2 C	A			
	2 D	B			

平成 3年10月25日 (金) 電源設備点検時プラント状態表 その1

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
					
1次主循環ポンプ (主モータ)	1A, 7S, 3S, 6S 1B, 6C, 6D, 4S	A		停止中	
1次主循環ポンプ (ボイラモータ)	7C 7S 7D	A B		停止中	
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 C	1 A 2 A			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 D	1 B 2 B			
1次主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2 C 2 D	A B			
1次補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C 3D, 7D, 6D	C母線 D母線			
オーバフロー 電磁ポンプ	3S, 4S 6S, 6C			停止中	
1次純化系 電磁ポンプ	3S, 4S 6C			停止中	
1次純化系 C T 冷却ブロウ	2 B			停止中	
2次主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C 4S, 6S 1B, 2B, 7D, 6D	A B			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1 A 2 A			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1 B 2 B			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1 A 2 A			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1 B 2 B			
2次補助系 電磁ポンプ	2C 7S, 6S 2D	C母線 D母線			
2次補助系 冷却ファン	2S, 7S	1 2			
2次純化系 電磁ポンプ	3C, 7S				
2次純化系 冷却ファン	3C				
2次純化系 C T 冷却ファン	2A, 7C				
1次系予熱ヒータ	1HC 1S, 7S 1HD	1HC 1HD			

平成 3年10月25日 (金) 電源設備点検時プラント状態表 その2

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				6SVC 特殊受電 5SVC 7C 整流装置 5SVC 1C インバータ 5SVC 負荷電圧補償装置	
2次系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C 2HD, 6D, 7D	2HC 2HD			
予熱N2 ガスブロウ	1A, 7S, 4S 1B	A B			
予熱N2 ガス系 潤滑油ポンプ	2 B	A B			
空調系 循環ポンプ	2 C 2 D	A B			
補給水ポンプ	2 C 2 D	A B			
補機系 揚水ポンプ	2 C 2 D	A B			
空気圧縮機	2C, 4C 2S, 4S 2D, 4D	A B C			
格内ベピコン	補助電源 (2A, 2D)	予備 自動			
A r 廃ガス 圧縮機	2C 2D 4S	A B			
非常用 A r 廃ガス 圧縮機	3S, 4S				
N2 廃ガス ブロウ	2C 2D 4S	A B			
N2 再循環 ブロウ	2C 2D 4S	A, B C, D			
遮蔽コンクリートブロウ	2 C 2 D	A B			
ベDESTALP-スタブロウ	2C, 6C 2D, 6D	A B			
格納容器常用 給・排気 ファン	2 C 2 D	A B			
フ レ オ ン 冷 凍 機	1C, 2C 1D, 2D	A B	停止中		
機器冷却ファン	2C 2D 4S	A B			
ア ニ ュ ラ ス 排気ファン	2 C 2 D	A B	停止中		
補助電源	2 A 2 D	一般系 非常系			

平成 3年10月25日 (金) 電源設備点検時プラント状態表 その3

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
自動 P L 計	補助電源 6 4 S	運 転 停 止	停止中		
2 次 主 P L 計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
2次 補助 P L 計	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
空調器	2 C	A			
冷却水ポンプ	2 D	B			
中央制御室	2 C	A			
空調器	2 D	B			
真空給水ポンプ	2 C	A			
	2 D	B			
P/C室(A)		1			
給気ファン	2 C	2			
P/C室(B)		1			
給気ファン	2 D	2			
接触器盤室	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
接触器盤室	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
圧縮空気供給系		1			
給気ファン	2 B	2			
圧縮空気供給系		1			
排気ファン	2 B	2			
水冷却池室系		1			
給気ファン	2 B	2			
水冷却池室系		1			
排気ファン	2 B	2			
燃料洗浄室系		1			
給気ファン	2 C	2			
燃料洗浄室系		1			
排気ファン	2 D	2			
1次「ガスバルブ」操作室系		1			
給気ファン	2 B	2			
1次「ガスバルブ」操作室系		1			
排気ファン	2 B	2			

平成 3年11月12日 (火) 電源設備点検時プラント状態表 その1

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				6SC 7C 特殊受電	6SC 7C 切替
1次主循環ポンプ (主モータ)	1A, 7S, 3S, 6S	A	停止中	停止中	停止中
	1B, 6C, 6D, 4S	B			
1次主循環ポンプ (ボイラモータ)	7C	A	停止中	停止中	停止中
	7D, 7S	B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2C	1A	停止中	停止中	停止中
		2A			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2D	1B	停止中	停止中	停止中
		2B			
1次主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2C	A	停止中	停止中	停止中
		2D			
1次補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C 3D, 7D, 6D	C母線	停止中	停止中	停止中
		D母線			
オーバフロー 電磁ポンプ	3S, 4S 6S, 6C		停止中	停止中	停止中
1次純化系 電磁ポンプ	3S, 4S 6C		停止中	停止中	停止中
1次純化系 C T 冷却ブロウ	2B		停止中	停止中	停止中
2次主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C 4S, 6S 1B, 2B, 7D, 6D	A			
		B			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1A			
		2A			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1B			
		2B			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1A			
		2A			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1B			
		2B			
2次補助系 電磁ポンプ	2C, 7S, 6S 2D	C母線			
		D母線			
2次補助系 電磁ポンプ 冷却ファン	2S, 7S	1			
		2			
2次純化系 電磁ポンプ	3C, 7S				
2次純化系 電磁ポンプ 冷却ファン	3C				
2次純化系 C T 冷却ファン	2A, 7C				
1次系予熱ヒータ	1HC 1S, 7S 1HD	1HC			
		1HD			

平成 3年11月12日 (火) 電源設備点検時プラント状態表 その2

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				6S 6C 7C 特殊受電	5C 6C 7C インバータ 負荷電圧補償装置
2次系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C 2HD, 6D, 7D	2HC 2HD			
予熱N2 ガスブロウ	1A 1B 7S, 4S	A B			
予熱N2 ガス系 潤滑油ポンプ	2B	A B			
空調系 循環ポンプ	2C 2D	A B			
補給水ポンプ	2C 2D	A B			
補機系 揚水ポンプ	2C 2D	A B			
空気圧縮機	2C, 4C 2S, 4S 2D, 4D	A B C			
格内ベピコン	補助電源 (2A 2D)	予備 自動			
A r 廃ガス 圧縮機	2C 2D 4S	A B			
非常用 A r 廃ガス 圧縮機	3S, 4S				
N2 廃ガス ブロウ	2C 2D 4S	A B			
N2 再循環 ブロウ	2C 2D 4S	A, B C, D			
遮蔽コンクリートブロウ	2C 2D	A B			
ベDESTALブースタブロウ	2C, 6C 2D, 6D	A B			
格納容器常用 給・排気ファン	2C 2D	A B			
フ レ オ ン 冷 凍 機	1C, 2C 1D, 2D	A B	停止中		
機器冷却ファン	2C 2D 4S	A B			
ア ニ ュ ラ ス 排気ファン	2C 2D	A B	停止中		
補助電源	2A 2D	一般系 非常系			

平成 3年11月12日 (火) 電源設備点検時プラント状態表 その3

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				6C 7C 特殊受電 5C, 7C 整流装置 6C インバータ 7C 負荷電圧補償装置 点検	6C 7C 切替
自動 P L 計	補助電源 6 4 S	運転停止			
2次主 P L 計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
2次補助 P L 計	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
空調器	2 C	A			
冷却水ポンプ	2 D	B			
中央制御室	2 C	A			
空調器	2 D	B			
真空給水ポンプ	2 C	A			
	2 D	B			
P/C室(A)		1			
給気ファン	2 C	2			
P/C室(B)		1			
給気ファン	2 D	2			
接触器盤室	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
接触器盤室	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
圧縮空気供給系		1			
給気ファン	2 B	2			
圧縮空気供給系		1			
排気ファン	2 B	2			
水冷却也室系		1			
給気ファン	2 B	2			
水冷却也室系		1			
排気ファン	2 B	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
1次エアガスバルブ操作系		1			
給気ファン	2 B	2			
1次エアガスバルブ操作系		1			
排気ファン	2 B	2			

平成 3年11月14日 (木) 電源設備点検時プラント状態表 その1

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				5D 整流装置 6D インバータ 7D 整流装置 7D 負荷電圧補償装置	
1次主循環ポンプ (主モータ)	1A, 7S, 3S, 6S 1B, 6C, 6D, 4S	A B		停止中	
1次主循環ポンプ (ボローモータ)	7C 7D	A B		停止中	
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 C	1 A 1 B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 D	2 A 2 B			
1次主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2 C 2 D	A B			
1次補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C 3D, 7D, 6D	C母線 D母線			
オーバフロー 電磁ポンプ	3S, 4S 6S, 6C			停止中	
1次純化系 電磁ポンプ	3S, 4S 6C			停止中	
1次純化系 C T 冷却ブロワ	2 B			停止中	
2次主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C 4S, 6S 1B, 2B, 7D, 6D	A B	——	——	
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1 A 2 A			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1 B 2 B			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1 A 2 A			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1 B 2 B			
2次補助系 電磁ポンプ	2C 2D	7S, 6S C母線 D母線	——	——	
2次補助系 電磁冷却ファン	2S, 7S	1 2	——	——	
2次純化系 電磁ポンプ	3C, 7S				
2次純化系 電磁冷却ファン	3C				
2次純化系 C T 冷却ファン	2A, 7C				
1次系予熱ヒータ	1HC 1S, 7S 1HD	1HC 1HD			

平成 3年11月14日 (木) 電源設備点検時プラント状態表 その2

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				5D整流装置 6Dインバータ 7D整流装置 7D負荷地圧補償装置	
2次系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C	2HC			
	2HD, 6D, 7D	2HD			
予熱N2 ガスブロウ	1A, 7S, 4S	A			
	1B	B			
予熱N2 ガス系 潤滑油ポンプ	2 B	A			
		B			
空調系 循環ポンプ	2 C	A			
		B			
補給水ポンプ	2 C	A			
		B			
補機系 揚水ポンプ	2 C	A			
		B			
空気圧縮機	2C, 4C	A			
	2D, 4D	B			
格内ベピコン	補助電源 (2A, 2D)	予備 自動			
Ar廃ガス 圧縮機	2C, 4S	A			
		B			
非常用Ar廃ガス 圧縮機	3S, 4S				
N2廃ガス ブロウ	2C, 4S	A			
		B			
N2再循環 ブロウ	2C, 4S	A, B			
		C, D			
遮蔽コンクリートブロウ	2 C	A			
		B			
ベデスタルブースタブロウ	2C, 6C	A			
		B			
格納容器常用 給・排気ファン	2 C	A			
		B			
フレオン冷凍機	1C, 2C	A			
		B			
機器冷却ファン	2C, 4S	A			
		B			
アニュラス 排気ファン	2 C	A			
		B			
補助電源	2 A	一般系		停止中	
		2 D	非常系		

平成 3年11月14日 (木) 電源設備点検時プラント状態表 その3

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				5 D 整流装置 6 D インバータ 7 D 整流装置 7 D 負荷電圧補償装置	
自動 P L 計	補助電源 6 4 S	運 転 停 止			
2 次 主 P L 計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
2 次 補 助 P L 計	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
空調器	2 C	A			
冷却水ポンプ	2 D	B			
中央制御室	2 C	A			
空調器	2 D	B			
真空給水ポンプ	2 C	A			
	2 D	B			
P/C室(A)	2 C	1			
給気ファン		2			
P/C室(B)	2 D	1			
給気ファン		2			
接触器盤室	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
接触器盤室	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
圧縮空気供給系	2 B	1			
給気ファン		2			
圧縮空気供給系	2 B	1			
排気ファン		2			
水冷却池室系	2 B	1			
給気ファン		2			
水冷却池室系	2 B	1			
排気ファン		2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
1次A「ガスバルブ」作動系	2 B	1			
給気ファン		2			
1次A「ガスバルブ」作動系	2 B	1			
排気ファン		2			

平成 3年11月14日 (水) 電源設備点検時プラント状態表 その4

機器運転状態			点検前				点検中		点検後	
							5D整流装置 6Dインバータ 7D整流装置 7D負荷電圧補償装置			
装填燃料貯蔵室系 空調器	2 B	1								
		2								
装填燃料貯蔵室系 排気ファン	2 B	1								
		2								
ホット配管路系 給気ファン	2 D	1								
		2								
ホット配管路系 排気ファン	2 D	1								
		2								
廃ガス処理室系 給気ファン	2 D	1								
		2								
廃ガス処理室系 排気ファン	2 D	1								
		2								
格 設備室系 給気ファン	2 D	1								
		2								
格 設備室系 排気ファン	2 D	1								
		2								
外気取入れ ファン	2 B	1								
		2								
スタコン	7 S									
補機系 冷却タワー	2 D	A								
		B								
空調系 冷却タワー	2 D	A								
		B								

平成 3年11月18日 (月) 電源設備点検時プラント状態表 その1

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				2 D. P/C 電源停止	
1 次主循環ポンプ (主モータ)	1A, 7S, 3S, 6S	A			
	1B, 6C, 6D, 4S	B			
1 次主循環ポンプ (ボローモータ)	7C	A		停止中	
	7D	B			
1 次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 C	1 A			
		1 B			
1 次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 D	2 A			
		2 B			
1 次主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2 C	A			
		2 D	B		
1 次補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C 3D, 7D, 6D	C母線			
		D母線			
オーバフロー 電磁ポンプ	3S, 4S 6S, 6C				
1 次純化系 電磁ポンプ	3S, 4S 6C				
1 次純化系 C T 冷却ブロウ	2 B				
2 次主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C 4S, 6S	A			
		B			
2 次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1 A			
		2 A			
2 次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1 B			
		2 B			
2 次主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1 A			
		2 A			
2 次主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1 B			
		2 B			
2 次補助系 電磁ポンプ	2C, 7S, 6S 2D	C母線			
		D母線			
2 次補助系 電磁ポンプファン	2S, 7S	1			
		2			
2 次純化系 電磁ポンプ	3C, 7S				
2 次純化系 電磁ポンプファン	3C				
1 次純化系 C T 冷却ファン	2A, 7C				
1 次系予熱ヒーク	1HC 1S, 7S 1HD	1HC			
		1HD			

平成 3年11月18日 (月) 電源設備点検時プラント状態表 その2

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				2 D P/C 電源停止	
2 次系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C	2HC			
	2HD, 6D, 7D	2HD			
予熱N2 ガスブロウ	1A, 7S, 4S	A			
	1B	B			
予熱N2 ガス系 潤滑油ポンプ	2 B	A			
		B			
空調系 循環ポンプ	2 C	A			
	2 D	B			
補給水ポンプ	2 C	A			
	2 D	B			
補機系 揚水ポンプ	2 C	A			
	2 D	B			
空気圧縮機	2C, 4C	A			
	2D, 4D	B, C			
格内ベピコン	補助電源 (2A, 2D)	予備 自動			
Ar廃ガス 圧縮機	2C	A			
	2D, 4S	B			
非常用Ar廃ガス 圧縮機	3S, 4S				
N2廃ガス ブロウ	2C	A			
	2D, 4S	B			
N2再循環 ブロウ	2C	A, B			
	2D, 4S	C, D			
遮蔽コンクリートブロウ	2 C	A			
	2 D	B			
ベデスタルブースタブロウ	2C, 6C	A			
	2D, 6D	B			
格納容器常用 給・排気ファン	2 C	A			
	2 D	B			
フ里昂冷凍機	1C, 2C	A			
	1D, 2D	B			
機器冷却ファン	2C	A			
	2D, 4S	B			
アニュラス 排気ファン	2 C	A		停止中	
	2 D	B			
補助電源	2 A	一般系			
	2 D	非常系			

平成 3年11月18日 (月) 電源設備点検時プラント状態表 その3

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				2 D P/C 電源停止	
自動 P L 計	補助電源 6 4 S	運 転 待 止			
2 次 主 P L 計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
1 次 主 循 環 ポンプ 潤 滑 油 ポンプ	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
空 調 器	2 C	A			
冷 却 水 ポンプ	2 D	B			
中 央 制 御 室	2 C	A			
空 調 器	2 D	B			
真 空 給 水 ポンプ	2 C 2 D	A B			
P/C (A)	2 C	1			
給 気 ファン		2			
P/C (B)	2 D	1			
給 気 ファン		2			
接 触 器 盤 室	2 C	1			
給 気 ファン	2 D	2			
接 触 器 盤 室	2 C	1			
排 気 ファン	2 D	2			
1 次 現 場 制 御 室 系	2 C	1			
給 気 ファン	2 D	2			
1 次 現 場 制 御 室 系	2 C	1			
排 気 ファン	2 D	2			
圧 縮 空 気 供 給 系	2 B	1			
給 気 ファン		2			
圧 縮 空 気 供 給 系	2 B	1			
排 気 ファン		2			
水 冷 却 池 室 系	2 B	1			
給 気 ファン		2			
水 冷 却 池 室 系	2 B	1			
排 気 ファン		2			
燃 料 洗 浄 室 系	2 C	1			
給 気 ファン	2 D	2			
燃 料 洗 浄 室 系	2 C	1			
排 気 ファン	2 D	2			
1 次 A E ガス ハ ル フ 操 作 室 系	2 B	1			
給 気 ファン		2			
1 次 A E ガス ハ ル フ 操 作 室 系	2 B	1			
排 気 ファン		2			

平成 3年11月18日 (月) 電源設備点検時プラント状態表 その4

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				2 D P/C 電源停止	
装填燃料貯蔵室系 空調器	2 B	1			
		2			
装填燃料貯蔵室系 排気ファン	2 B	1			
		2			
ホット配管路系 給気ファン	2 C	1			
	2 D	2			
ホット配管路系 排気ファン	2 C	1			
	2 D	2			
廃ガン処理室系 給気ファン	2 C	1			
	2 D	2			
廃ガス処理室系 排気ファン	2 C	1			
	2 D	2			
格 設備室系 給気ファン	2 C	1			
	2 D	2			
格 設備室系 排気ファン	2 C	1			
	2 D	2			
外気取入れ ファン	2 B				
スタコン	7 S				
補機系 冷却タワー	2 C	A			
	2 D	B			
空調系 冷却タワー	2 C	A			
	2 D	B			

— 03 03 03 —

平成 3年11月24日 (日) 電源設備点検時プラント状態表 その1

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
					2 D P/C 電源復旧
1 次主循環ポンプ (主モータ)	1A, 7S, 3S, 6S	A		停止中	
	1B, 6C, 6D, 4S	B			
1 次主循環ポンプ (ボイラモータ)	7C	A		停止中	
	7D 7S	B			
1 次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 C	1 A			
		1 B			
1 次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 D	2 A		停止中	
		2 B			
1 次主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2 C	A			
		2 D	B		
1 次補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C 3D, 7D, 6D	C母線		停止中	
		D母線			
オーバフロー 電磁ポンプ	3S, 4S 6S, 6C			停止中	
1 次純化系 電磁ポンプ	3S, 4S 6C			停止中	
1 次純化系 C T 冷却ブロウ	2 B			停止中	
2 次主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C 4S, 6S 1B, 2B, 7D, 6D	A		停止中	
		B			
2 次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1 A			
		2 A			
2 次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1 B			
		2 B			
2 次主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1 A		停止中	
		2 A			
2 次主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1 B		停止中	
		2 B			
2 次補助系 電磁ポンプ	2C 2D 7S, 6S	C母線		停止中	
		D母線			
2 次補助系 冷却ファン	2S, 7S	1		停止中	
		2			
2 次純化系 電磁ポンプ	3C, 7S			停止中	
2 次純化系 冷却ファン	3C			停止中	
1 次純化系 C T 冷却ファン	2A, 7C			停止中	
1 次系予熱ヒータ	1HC 1S, 7S 1HD	1HC			
		1HD			

平成 3年11月24日 (日) 電源設備点検時プラント状態表 その2

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
					2 D P/C 電源復旧
2次系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C	2 HC			
	2HD, 6D, 7D	2 HD			
予熱N2 ガスブロウ	1 A	A			
	7 S, 4 S 1 B	B			
予熱N2 ガス系 潤滑油ポンプ	2 B	A			
		B			
空調系 循環ポンプ	2 C	A			
		B			
補給水ポンプ	2 C	A			
		B			
補機系 揚水ポンプ	2 C	A			
		B			
空気圧縮機	2C, 4C	A			
	2S, 4S 2D, 4D	B C			
格内ベピコン	補助電源 (2A 2D)	予備 自動			
A r 廃ガス 圧縮機	2C 4S 2D	A			
		B			
非常用 A r 廃ガス 圧縮機	3S, 4S				
N2 廃ガス ブロウ	2C 4S 2D	A			
		B			
N2 再循環 ブロウ	2C 4S 2D	A, B			
		C, D			
遮蔽コンクリートブロウ	2 C 2 D	A			
		B			
ベDESTALブースタブロウ	2C, 6C 2D, 6D	A			
		B			
格納容器常用 給・排気ファン	2 C 2 D	A			
		B			
フ レ オ ン 冷 凍 機	1C, 2C 1D, 2D	A			
		B			
機器冷却ファン	2C 4S 2D	A			
		B			
ア ニ ュ ラ ス 排気ファン	2 C 2 D	A			
		B			
補助電源	2 A 2 D	一般系			
		非常系			
				停止中	

平成 3年11月24日 (日) 電源設備点検時プラント状態表 その3

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			2D P/C 電源復帰		
自動 P L 計	補助電源 6 S 4 S	運転 停止			
2次主 P L 計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
空調器	2 C	A			
冷却水ポンプ	2 D	B			
中央制御室	2 C	A			
空調器	2 D	B			
真空給水ポンプ	2 C	A			
	2 D	B			
P/C (A)	2 C	1			
給気ファン		2			
P/C (B)	2 D	1			
給気ファン		2			
接触器盤室	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
接触器盤室	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
圧縮空気供給系		1			
給気ファン	2 B	2			
圧縮空気供給系		1			
排気ファン	2 B	2			
水冷却也室系		1			
給気ファン	2 B	2			
水冷却也室系		1			
排気ファン	2 B	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
1次A「ガス バルブ操作系		1			
給気ファン	2 B	2			
1次A「ガス バルブ操作系		1			
排気ファン	2 B	2			

平成 3年11月24日 (日) 電源設備点検時プラント状態表 その4

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			2 D P/C 電源復旧		
装填燃料貯蔵室系 空調器	2 B	1			
		2			
装填燃料貯蔵室系 排気ファン	2 B	1			
		2			
ホット配管路系 給気ファン	2 C	1			
	2 D	2			
ホット配管路系 排気ファン	2 C	1			
	2 D	2			
廃ガス処理室系 給気ファン	2 C	1			
	2 D	2			
廃ガス処理室系 排気ファン	2 C	1			
	2 D	2			
格 設備室系 給気ファン	2 C	1			
	2 D	2			
格 設備室系 排気ファン	2 C	1			
	2 D	2			
外気取入れ ファン	2 B				
スタコン	7 S				
補機系 冷却タワー	2 C	A			
	2 D	B			
空調系 冷却タワー	2 C	A			
	2 D	B			

平成 3年11月25日 (月) 電源設備点検時プラント状態表 その1

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				ID-M/C 点検	
1次主循環ポンプ (主モータ)	1A, 7S, 3S, 6S	A		停止中	
	1B, 6C, 6D, 4S	B			
1次主循環ポンプ (ボローモータ)	7C	A		停止中	
	7D	B			
1次主循環ポンプ	2 C	1 A			
潤滑油ポンプ		1 B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 D	2 A		停止中	
		2 B			
1次主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2 C	A			
	2 D	B			
1次補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C	C母線		停止中	
	3D, 7D, 6D	D母線			
オーパフロー 電磁ポンプ	3S, 4S			停止中	
1次純化系 電磁ポンプ	3S, 4S			停止中	
1次純化系 C T 冷却ブロウ	2 B			停止中	
2次主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C 4S, 6S 1B, 2B, 7D, 6D	A		停止中	
		B			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1 A			
		2 A			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1 B			
		2 B			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1 A		停止中	
		2 A			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1 B		停止中	
		2 B			
2次補助系 電磁ポンプ	2C, 7S, 6S 2D	C母線		停止中	
		D母線			
2次補助系 電磁ポンプ	2S, 7S	1		停止中	
2次補助系 冷却ファン		2			
2次純化系 電磁ポンプ	3C, 7S			停止中	
2次純化系 電磁ポンプ	3C			停止中	
1次純化系 C T 冷却ファン	2A, 7C			停止中	
1次系予熱ヒータ	1HC 1S, 7S 1HD	1HC			
		1HD			

平成 3年11月25日 (月) 電源設備点検時プラント状態表 その2

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				1D-M/C 点検	
2次系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C 2HD, 6D, 7D	2HC 2HD			
予熱N2 ガスブロウ	1A 7S, 4S 1B	A B		停止中	
予熱N2 ガス系 潤滑油 ポンプ	2 B	A B			
空調系 循環 ポンプ	2 C 2 D	A B			
補給水 ポンプ	2 C 2 D	A B			
補機系 揚水 ポンプ	2 C 2 D	A B			
空気圧縮機	2C, 4C 2S, 4S 2D, 4D	A B C			
格内ベビコン	補助電源 (2A 2D)	自動 停止			
A r 廃ガス 圧縮機	2C 4S 2D	A B			
非常用 A r 廃ガス 圧縮機	3S, 4S				
N2 廃ガス ブロウ	2C 4S 2D	A B			
N2 再循環 ブロウ	2C 4S 2D	A, B C, D			
遮蔽コンクリートブロウ	2 C 2 D	A B			
ベデスタルプースタブロウ	2C, 6C 2D, 6D	A B			
格納容器常用 給・排気 ファン	2 C 2 D	A B			
フ レ オ ン 冷 凍 機	1C, 2C 1D, 2D	A B			
機器冷却 ファン	2C 4S 2D	A B			
ア ニ ュ ラ ス 排気 ファン	2 C 2 D	A B			
補助電源	2 A 2 D	一般系 非常系			

13391

平成 3年11月25日 (月) 電源設備点検時プラント状態表 その3

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				ID-M/C 点検	
自動 P L 計	補助電源 6 4 S	運 転 待 止			
2 次 主 P L 計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
2 次 補 助 P L 計	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
空 調 器	2 C	A			
冷 却 水 ポンプ	2 D	B			
中 央 制 御 室	2 C	A			
空 調 器	2 D	B			
真 空 給 水 ポンプ	2 C	A			
	2 D	B			
P/C室 (A)		1			
給 気 ファン	2 C	2			
P/C室 (B)		1			
給 気 ファン	2 D	2			
接 触 器 盤 室	2 C	1			
給 気 ファン	2 D	2			
接 触 器 盤 室	2 C	1			
排 気 ファン	2 D	2			
1 次 現 場 制 御 室 系	2 C	1			
給 気 ファン	2 D	2			
1 次 現 場 制 御 室 系	2 C	1			
排 気 ファン	2 D	2			
圧 縮 空 気 供 給 系		1			
給 気 ファン	2 B	2			
圧 縮 空 気 供 給 系		1			
排 気 ファン	2 B	2			
水 冷 却 池 室 系		1			
給 気 ファン	2 B	2			
水 冷 却 池 室 系		1			
排 気 ファン	2 B	2			
燃 料 洗 淨 室 系	2 C	1			
給 気 ファン	2 D	2			
燃 料 洗 淨 室 系	2 C	1			
排 気 ファン	2 D	2			
1 次 A ₁ ガス ハルバ作室系	2 B	1			
給 気 ファン		2			
1 次 A ₁ ガス ハルバ作室系	2 B	1			
排 気 ファン		2			

平成 3年11月25日 (月) 電源設備点検時プラント状態表 その4

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				ID-M/C 点検	
装填燃料貯蔵室系 空調器	2 B	1 2			
装填燃料貯蔵室系 排気ファン	2 B	1 2			
ホット配管路系 給気ファン	2 C 2 D	1 2			
ホット配管路系 排気ファン	2 C 2 D	1 2			
廃ガス処理室系 給気ファン	2 C 2 D	1 2			
廃ガス処理室系 排気ファン	2 C 2 D	1 2			
格設備室系 給気ファン	2 C 2 D	1 2			
格設備室系 排気ファン	2 C 2 D	1 2			
外気取入れ ファン	2 B				
スタコン	7 S				
補機系 冷却タワー	2 C	A			
	2 D	B			
空調系 冷却タワー	2 C	A			
	2 D	B			

平成 3年11月30日 (土) 電源設備点検時プラント状態表 その1

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				5D整流装置 6Dインバータ 7D整流装置 7D負荷地注油装置	7D 7S 5D 6D 7D 7S 5D 6D
1次主循環ポンプ (主モータ)	1A, 7S, 3S, 6S 1B, 6C, 6D, 4S	A B		停止中	
1次主循環ポンプ (サブモータ)	7C 7S 7D	A B		停止中	
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 C	1 A 1 B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 D	2 A 2 B			
1次主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2 C 2 D	A B			
1次補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C 3D, 7D, 6D ^{6S}	C母線 D母線		停止中	
オーバフロー 電磁ポンプ	3S, 4S 6S, 6C			停止中	
1次純化系 電磁ポンプ	3S, 4S 6C			停止中	
1次純化系 C T 冷却ブロワ	2 B			停止中	
2次主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C 4S, 6S 1B, 2B, 7D, 6D	A B		停止中	
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1 A 2 A			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1 B 2 B			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1 A 2 A		停止中	
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1 B 2 B		停止中	
2次補助系 電磁ポンプ	2C 7S, 6S 2D	C母線 D母線		停止中	
2次補助系 電磁ポンプ 冷却ファン	2S, 7S	1 2		停止中	
2次純化系 電磁ポンプ	3C, 7S			停止中	
2次純化系 電磁ポンプ 冷却ファン	3C			停止中	
2次純化系 C T 冷却ファン	2A, 7C			停止中	
1次系予熱ヒータ	IHC IHD S, 7S	IHC IHD			

平成 3年11月30日 (土) 電源設備点検時プラント状態表 その2

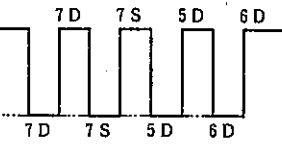
停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
2次系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C 2HD, 6D, 7D	2HC 2HD			
予熱N2 ガスブロウ	1A 1B	7S, 4S	A B		
予熱N2 ガス系 潤滑油ポンプ	2B	A B			
空調系 循環ポンプ	2C 2D	A B			
補給水ポンプ	2C 2D	A B			
補機系 揚水ポンプ	2C 2D	A B			
空気圧縮機	2C, 4C 2S, 4S 2D, 4D	A B C			
格内ベピコン	補助電源 (2A, 2D)	予備 自動			
Ar廃ガス 圧縮機	2C 2D	4S	A B		
非常用 Ar廃ガス 圧縮機	3S, 4S				
N2廃ガス ブロウ	2C 2D	4S	A B		
N2再循環 ブロウ	2C 2D	4S	A, B C, D		
遮蔽コンクリートブロウ	2C 2D	A B			
ベデスタブースタブロウ	2C, 6C 2D, 6D	A B			
格納容器常用 給・排気ファン	2C 2D	A B			
フ里昂冷凍機	1C, 2C 1D, 2D	A B			
機器冷却ファン	2C 2D	4S	A B		
アニュラス 排気ファン	2C 2D	A B		停止中	
補助電源	2A 2D	一般系 非常系			

13431

平成 3年11月30日 (土) 電源設備点検時プラント状態表 その3

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				5D 整流装置 6D インバータ 7D 整流装置 7D 負荷電圧補償装置	
自動 P L 計	補助電源 6 4 S	運 転 待 止			
2 次 主 P L 計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
2 次 補 助 P L 計	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
空 調 器	2 C	A			
冷 却 水 ポンプ	2 D	B			
中 央 制 御 室	2 C	A			
空 調 器	2 D	B			
真 空 給 水 ポンプ	2 C	A			
	2 D	B			
P/C室 (A)		1			
給 気 ファン	2 C	2			
P/C室 (B)		1			
給 気 ファン	2 D	2			
接 触 器 盤 室	2 C	1			
給 気 ファン	2 D	2			
接 触 器 盤 室	2 C	1			
排 気 ファン	2 D	2			
1 次 現 場 制 御 室 系	2 C	1			
給 気 ファン	2 D	2			
1 次 現 場 制 御 室 系	2 C	1			
排 気 ファン	2 D	2			
圧 縮 空 気 供 給 系	2 B	1			
給 気 ファン	2 B	2			
圧 縮 空 気 供 給 系	2 B	1			
排 気 ファン	2 B	2			
水 冷 却 池 室 系	2 B	1			
給 気 ファン	2 B	2			
水 冷 却 池 室 系	2 B	1			
排 気 ファン	2 B	2			
燃 料 洗 浄 室 系	2 C	1			
給 気 ファン	2 D	2			
燃 料 洗 浄 室 系	2 C	1			
排 気 ファン	2 D	2			
1 次 A ー ガス バルブ 作 業 系	2 B	1			
給 気 ファン	2 B	2			
1 次 A ー ガス バルブ 作 業 系	2 B	1			
排 気 ファン	2 B	2			

平成 3年11月30日 (土) 電源設備点検時プラント状態表 その4

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
					7D 7S 5D 6D  7D 7S 5D 6D
装填燃料貯蔵室系	2 B	1			
空調器		2			
装填燃料貯蔵室系	2 B	1			
排気ファン		2			
ホット配管路系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
ホット配管路系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
廃ガス処理室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
廃ガス処理室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
格設備室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
格設備室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
外気取入れ	2 B				
ファン					
スタコン	7 S				
補機系 冷却タワー	2 C	A			
	2 D	B			
空調系 冷却タワー	2 C	A			
	2 D	B			

平成 3年12月 1日 (日) 電源設備点検時プラント状態表 その1

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				I D-M/C 点検	
1 次主循環ポンプ (ボローグ)	1A, 7S, 3S, 6S 1B, 6C, 6D, 4S	A		停止中	
		B			
1 次主循環ポンプ (ボローグ)	7C 7S 7D	A		停止中	
		B			
1 次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 C	1 A			
		1 B			
1 次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 D	2 A		停止中	
		2 B			
1 次主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2 C 2 D	A			
		B			
1 次補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C 3D, 7D, 6D	C母線		停止中	
		D母線			
オーバフロー 電磁ポンプ	3S, 4S 6S, 6C			停止中	
1 次純化系 電磁ポンプ	3S, 4S 6C			停止中	
1 次純化系 C T 冷却ブロウ	2 B			停止中	
2 次主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C 4S, 6S 1B, 2B, 7D, 6D	A		停止中	
		B			
2 次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1 A			
		2 A			
2 次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1 B			
		2 B			
2 次主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1 A		停止中	
		2 A			
2 次主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1 B		停止中	
		2 B			
2 次補助系 電磁ポンプ	2C 7S, 6S 2D	C母線		停止中	
		D母線			
2 次補助系 電磁ポンプ	2S, 7S	1		停止中	
2 次補助系 電磁ポンプ	2S, 7S	2		停止中	
2 次純化系 電磁ポンプ	3C, 7S			停止中	
2 次純化系 電磁ポンプ	3C			停止中	
1 次純化系 C T 冷却ファン	2A, 7C			停止中	
1 次系予熱ヒータ	1HC 1S, 7S 1HD	1HC			
		1HD			

平成 3年12月 1日 (日) 電源設備点検時プラント状態表 その2

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				1D-M/C 点検	
2次系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C 2HD, 6D, 7D	2HC 2HD			
予熱N2 ガスブロウ	1A, 7S, 4S 1B	A B	停止中		
予熱N2 ガス系 潤滑油ポンプ	2 B	A B			
空調系 循環ポンプ	2 C 2 D	A B			
補給水ポンプ	2 C 2 D	A B			
補機系 揚水ポンプ	2 C 2 D	A B			
空気圧縮機	2C, 4C 2S, 4S 2D, 4D	A B C			
格内ベピコン	補助電源 (2A, 2D)	自動 停止			
A r 廃ガス 圧縮機	2C, 4S 2D	A B			
非常用 A r 廃ガス 圧縮機	3S, 4S				
N2 廃ガス ブロウ	2C, 4S 2D	A B			
N2 再循環 ブロウ	2C, 4S 2D	A, B C, D			
遮蔽コンクリートブロウ	2 C 2 D	A B			
ベDESTALプースタブロウ	2C, 6C 2D, 6D	A B			
格納容器常用 給・排気ファン	2 C 2 D	A B			
フロン冷凍機	1C, 2C 1D, 2D	A B			
機器冷却ファン	2C, 4S 2D	A B			
アニュラス 排気ファン	2 C 2 D	A B			
補助電源	2 A 2 D	一般系 非常系			

平成 3年12月 1日 (日) 電源設備点検時プラント状態表 その3

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				1D-M/C 点検	
自動 P L 計	補助電源 6 S 4 S	運転停止			
2 次 主 P L 計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
2 次 補 助 P L 計	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
空 調 器	2 C	A			
冷 却 水 ポンプ	2 D	B			
中 央 制 御 室	2 C	A			
空 調 器	2 D	B			
真 空 給 水 ポンプ	2 C	A			
	2 D	B			
P/C室(A)	2 C	1			
給 気 ファン		2			
P/C室(B)	2 D	1			
給 気 ファン		2			
接 触 器 盤 室	2 C	1			
給 気 ファン	2 D	2			
接 触 器 盤 室	2 C	1			
排 気 ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
給 気 ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
排 気 ファン	2 D	2			
圧縮空気供給系	2 B	1			
給 気 ファン		2			
圧縮空気供給系	2 B	1			
排 気 ファン		2			
水冷却池室系	2 B	1			
給 気 ファン		2			
水冷却池室系	2 B	1			
排 気 ファン		2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
給 気 ファン	2 D	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
排 気 ファン	2 D	2			
1次AEGAS バルブ操作系	2 B	1			
給 気 ファン		2			
1次AEGAS バルブ操作系	2 B	1			
排 気 ファン		2			

平成 3年12月 1日 (日) 電源設備点検時プラント状態表 その4

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				1 D-M/C 点検	
装填燃料貯蔵室系	2 B	1			
空調器		2			
装填燃料貯蔵室系	2 B	1			
排気ファン		2			
ホット配管路系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
ホット配管路系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
廃ガス処理室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
廃ガス処理室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
格設備室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
格設備室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
外気取入れ	2 B				
ファン					
スタコン	7 S				
補機系冷却塔	2 C	A			
	2 D	B			
空調系冷却塔	2 C	A			
	2 D	B			

平成 3年12月 5日 (木) 電源設備点検時プラント状態表 その1

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			IC-M/C	IC-M/C点検	
1次主循環ポンプ (主モータ)	1A, 7S, 3S, 6S 1B, 6C, 6D, 4S	A		停止中	
		B			
1次主循環ポンプ (ボイラモータ)	7C 7S 7D	A		停止中	
		B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 C	1 A		停止中	
		1 B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2 D	2 A			
		2 B			
1次主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2 C 2 D	A			
		B			
1次補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C 3D, 7D, 6D	C母線		停止中	
		D母線			
オーバフロー 電磁ポンプ	3S, 4S 6S, 6C			停止中	
1次純化系 電磁ポンプ	3S, 4S 6C			停止中	
1次純化系 C T 冷却ブロワ	2 B			停止中	
2次主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C 4S, 6S 1B, 2B, 7D, 6D	A		停止中	
		B			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1 A			
		2 A			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1 B			
		2 B			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1 A		停止中	
		2 A			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1 B		停止中	
		2 B			
2次補助系 電磁ポンプ	2C 7S, 6S 2D	C母線		停止中	
		D母線			
2次補助系 電磁冷却ファン	2S, 7S	1 2		停止中	
2次純化系 電磁ポンプ	3C, 7S			停止中	
2次純化系 電磁冷却ファン	3C			停止中	
2次純化系 C T 冷却ファン	2A, 7C			停止中	
1次系予熱ヒータ	1HC 1S, 7S 1HD	1HC			
		1HD			

平成 3年12月 5日 (木) 電源設備点検時プラント状態表 その2

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			1C-M/C	1C-M/C点検	
2次系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C 2HD, 6D, 7D	2HC 2HD			
予熱N2 ガスブロウ	1A, 7S, 4S 1B	A B			
予熱N2 ガス系 潤滑油ポンプ	2 B	A B			
空調系 循環ポンプ	2 C 2 D	A B			
補給水ポンプ	2 C 2 D	A B			
補機系 揚水ポンプ	2 C 2 D	A B			
空気圧縮機	2C, 4C 2D, 4D	A B C			
格内ベピコン	補助電源 (2A, 2D)	予備 自動			
A r 廃ガス 圧縮機	2C, 4S 2D	A B			
非常用 A r 廃ガス 圧縮機	3S, 4S				
N2 廃ガス ブロウ	2C, 4S 2D	A B			
N2 再循環 ブロウ	2C, 4S 2D	A, B C, D			
遮蔽コンクリートブロウ	2 C 2 D	A B			
ベデスタルブースタブロウ	2C, 6C 2D, 6D	A B			
格納容器常用 給・排気 ファン	2 C 2 D	A B			
フ レ オ ン 冷 凍 機	1C, 2C 1D, 2D	A B			
機器冷却ファン	2C 2D, 4S	A B			
ア ニ ュ ラ ス 排気ファン	2 C 2 D	A B		停止中	
補助電源	2 A 2 D	一般系 非常系			

平成 3年12月 5日 (木) 電源設備点検時プラント状態表 その3

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			IC-M/C	IC-M/C点検	
自動 P L 計	補助電源 6 C 4 S	運 転 停 止			
2 次 主 P L 計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
2 次 補助 P L 計	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
空調器	2 C	A			
冷却水ポンプ	2 D	B			
中央制御室	2 C	A			
空調器	2 D	B			
真空給水ポンプ	2 C	A			
	2 D	B			
P/C室(A)	2 C	1			
給気ファン		2			
P/C室(B)	2 D	1			
給気ファン		2			
接触器盤室	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
接触器盤室	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
圧縮空気供給系	2 B	1			
給気ファン		2			
圧縮空気供給系	2 B	1			
排気ファン		2			
水冷却池室系	2 B	1			
給気ファン		2			
水冷却池室系	2 B	1			
排気ファン		2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
1次AEGガス バルブ操作室系	2 B	1			
給気ファン		2			
1次AEGガス バルブ操作室系	2 B	1			
排気ファン		2			

平成 3年12月 5日 (木) 電源設備点検時プラント状態表 その4

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
			IC-M/C	IC-M/C点検	
装填燃料貯蔵室系	2 B	1			
空調器		2			
装填燃料貯蔵室系	2 B	1			
排気ファン		2			
ホット配管路系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
ホット配管路系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
廃ガス処理室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
廃ガス処理室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
格設備室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
格設備室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
外気取入れ	2 B				
ファン					
スタコン	7 S				
補機系 冷却塔	2 C	A			
	2 D	B			
空調系 冷却塔	2 C	A			
	2 D	B			

平成 3年12月10日 (火) 電源設備点検時プラント状態表 その1

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				IC-M/C点検	IC-M/C復電
1次主循環ポンプ (主モータ)	1A, 7S, 3S, 6S 1B, 6C, 6D, 4S	A		停止中	
		B			
1次主循環ポンプ (ボローモータ)	7C 7S 7D	A		停止中	
		B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2C	1A			
		1B			
1次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2D	2A			
		2B			
1次主循環ポンプ 潤滑油冷却ファン	2C 2D	A			
		B			
1次補助系 電磁ポンプ	3C, 7C, 6C, 6S 3D, 7D, 6D	C母線		停止中	
		D母線			
オーバフロー 電磁ポンプ	3S, 4S 6S, 6C			停止中	
1次純化系 電磁ポンプ	3S, 4S 6C			停止中	
1次純化系 CT冷却ブロワ	2B			停止中	
2次主循環ポンプ	1A, 2A, 7C, 6C 4S, 6S 1B, 2B, 7D, 6D	A		停止中	
		B			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2A, 4S	1A			
		2A			
2次主循環ポンプ 潤滑油ポンプ	2B, 4S	1B			
		2B			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2A, 4S	1A		停止中	
		2A			
2次主循環ポンプ 抵抗ファン	2B, 4S	1B		停止中	
		2B			
2次補助系 電磁ポンプ	2C 7S, 6S 2D	C母線		停止中	
		D母線			
2次補助系 電磁ポンプ 冷却ファン	2S, 7S	1		停止中	
		2			
2次純化系 電磁ポンプ	3C, 7S			停止中	
2次純化系 電磁ポンプ 冷却ファン	3C			停止中	
2次純化系 CT冷却ファン	2A, 7C			停止中	
1次系予熱ヒータ	1HC 1S, 7S 1HD	1HC			
		1HD			

平成 3年12月10日 (火) 電源設備点検時プラント状態表 その2

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				IC-M/C点検	IC-M/C復電
2次系予熱ヒータ	2HC, 6C, 7C 2HD, 6D, 7D	2HC 2HD			
予熱N2 ガスブロウ	1A, 7S, 4S 1B	A B			
予熱N2 ガス系 潤滑油ポンプ	2 B	A B			
空調系 循環ポンプ	2 C 2 D	A B			
補給水ポンプ	2 C 2 D	A B			
補機系 揚水ポンプ	2 C 2 D	A B			
空気圧縮機	2C, 4C 2D, 4D	A B C			
格内ベピコン	補助電源 (2A or 2D)	予備 自動			
A r 廃ガス 圧縮機	2C 4S 2D	A B			
非常用 A r 廃ガス 圧縮機	3S, 4S				
N2 廃ガス ブロウ	2C 4S 2D	A B			
N2 再循環 ブロウ	2C 4S 2D	A, B C, D			
遮蔽コンクリートブロウ	2 C 2 D	A B			
ベダスタルブースタブロウ	2C, 6C 2D, 6D	A B			
格納容器常用 給・排気 ファン	2 C 2 D	A B			
フ レ オ ン 冷 凍 機	1C, 2C 1D, 2D	A B			
機器冷却ファン	2C 4S 2D	A B		停止中	
ア ニ ュ ラ ス 排気ファン	2 C 2 D	A B		停止中	
補助電源	2 A 2 D	一般系 非常系			

平成 3年12月10日 (火) 電源設備点検時プラント状態表 その3

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				IC-M/C点検	IC-M/C復電
自動PL計	補助電源 6 S 4 S	運転 停止			
2次主PL計	3 C 4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
2次補助PL計	4 S	OPERATION STAND-BY POWER-ON, OFF			
空調器	2 C	A			
冷却水ポンプ	2 D	B			
中央制御室	2 C	A			
空調器	2 D	B			
真空給水ポンプ	2 C	A			
	2 D	B			
P/C室(A)		1			
給気ファン	2 C	2			
P/C室(B)		1			
給気ファン	2 D	2			
接触器盤室	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
接触器盤室	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
1次現場制御室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
圧縮空気供給系		1			
給気ファン	2 B	2			
圧縮空気供給系		1			
排気ファン	2 B	2			
水冷却池室系		1			
給気ファン	2 B	2			
水冷却池室系		1			
排気ファン	2 B	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
給気ファン	2 D	2			
燃料洗浄室系	2 C	1			
排気ファン	2 D	2			
1次A ₁ ガス バルブ操作系		1			
給気ファン	2 B	2			
1次A ₁ ガス バルブ操作系		1			
排気ファン	2 B	2			

平成 3年12月10日 (火) 電源設備点検時プラント状態表 その4

停止操作 機器運転状態			点検前	点検中	点検後
				IC-M/C点検	IC-M/C復電
装填燃料貯蔵室系 空調器	2 B	1			
		2			
装填燃料貯蔵室系 排気ファン	2 B	1			
		2			
ホット配管路系 給気ファン	2 D	1			
		2			
ホット配管路系 排気ファン	2 D	1			
		2			
廃ガス処理室系 給気ファン	2 D	1			
		2			
廃ガス処理室系 排気ファン	2 D	1			
		2			
格 設備室系 給気ファン	2 D	1			
		2			
格 設備室系 排気ファン	2 D	1			
		2			
外気取入れ ファン	2 B				
スタコン	7 S				
補機系 冷却タワー	2 D	A			
		B			
空調系 冷却タワー	2 D	A			
		B			

添 付 資 料

添 付 資 料

- 添付資料－ 1 4 S 仮設電源継ぎ込み・取外し
- 添付資料－ 2 2 HC－P／C点検時の「予備」モード制御温度設定値
- 添付資料－ 3 1 HC－P／C点検に伴う2次補助予熱ヒータ設定温度変更表
- 添付資料－ 4 1 HC－P／C点検時配管温度チェックシート
- 添付資料－ 5 2 HC－P／C点検時配管温度チェックシート
- 添付資料－ 6 格納容器雰囲気監視装置停止・復旧要領書
- 添付資料－ 7 一般照明電源切替要領書
- 添付資料－ 8 電源喪失時負荷投入チェックシート
- 添付資料－ 9 電源喪失に伴う付属空調復旧操作
- 添付資料－ 10 1次主ポンプ潤滑油温度監視記録
- 添付資料－ 11 弁ロックリスト
- 添付資料－ 12 FFD－CG法 起動・停止マニュアル
- 添付資料－ 13 放射線管理設備電源一覧
- 添付資料－ 14 N₂ 気化器凍結防止対策

添付資料 - 1

4 S 仮設電源

継ぎ込み・取外し

仮設電源 継込み操作前 確認

(H. 3. 10/9 実施)

NO.	確 認 ・ 項 目	確認場所	タグ管理	備 考
1	(1) 補助電源分電盤(3)にて、次のNFBが投入されていることを確認する。 (a) A-504室 現場分電盤用 NFB (b) A-605室 現場分電盤用 NFB (c) A-509室 現場分電盤用 NFB (d) A-402室 現場分電盤用 NFB (2) 補助電源インバータ盤のA-712室 現場分電盤用 NFBが投入されていることを確認する。 (3) A-605室 補助電源系現場分電盤にて、次のNFBの「ON」操作または「ON」を確認する。 (AC100V) 「主 幹」 (a) 「1次系 6S計器電源」 NFB(No. 2) 確認 (b) 「廃棄物処理計装」 NFB(No. 9) 確認 (c) 「通信用電源」 NFB(No.10) 確認	A-707 (#326-3)		
		A-707 (#346)		
		A-605		
2	仮設ケーブルの準備が終了していること。			・ 2 課で準備

仮設電源 復旧操作後 確認

(H. 3. 10/24 実施)

NO.	確 認 ・ 項 目	確認場所	タグ管理	備 考
1				

4 S - C / C 仮設電源 (1 / 3)

(継込み H. 3. 10 / 9、 復旧 H. 3. 10 / 24)

No.	電源名称	電源	電源取合点	仮設電源	継込日	復旧日	目的
1	1次予熱ヒータ 操作電源 (操作用)	4 S系	<ul style="list-style-type: none"> 1次冷却系計装用分電盤 (A-504, #213) AC 110V (4S) 1次予熱ヒータ 操作電源 NFB 「OFF」 テーピング実施 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> 1次冷却系計装用分電盤 (A-504, #213) AC 110V (4S) 1次予熱ヒータ 操作電源 NFB 2次側 	<ul style="list-style-type: none"> 1次冷却系計装用分電盤 (A-504, #213) 内 補助電源 AC 110V 	10/9	10/24 13:48	<ul style="list-style-type: none"> 1次予熱ヒータ電源の 確保
2	予熱N ₂ ガス系 計装 制御電源	4 S系	<ul style="list-style-type: none"> 1次冷却系計装用分電盤 (A-504, #213) 予熱N₂ ガス系制御電源 4 S系 NFB 「OFF」 テーピング実施 	<ul style="list-style-type: none"> 1次冷却系計装用分電盤 (A-504, #213) 内 補助電源 AC 110V 	10/9	H. 4 2/18	<ul style="list-style-type: none"> 予熱N₂ ガスブロウ電 源の確保
			<ul style="list-style-type: none"> 1次冷却系計装用分電盤 (A-504, #213) 予熱N₂ ガス系制御電源 4 S系 NFB 2次側 				
			<ul style="list-style-type: none"> 1次冷却系計装用分電盤 (A-504, #213) 予熱N₂ ガス系軸封ブロウ制御電源 4 S系 NFB 「OFF」 テーピング実施 	<ul style="list-style-type: none"> 1次冷却系計装用分電盤 (A-504, #213) 内 補助電源 AC 110V 	10/9	H. 4 2/18	<ul style="list-style-type: none"> 予熱N₂ ガスブロウ電 源の確保
			<ul style="list-style-type: none"> 1次冷却系計装用分電盤 (A-504, #213) 予熱N₂ ガス系軸封ブロウ制御電源 4 S系 NFB 2次側 				
3	廃棄物処理系監視盤 電源	4 S系	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物処理系監視盤(A-712, #415)内 主電源 NFB 「OFF」 テーピング実施 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> 廃棄物処理系監視盤(A-712, #415)内 主電源 NFB 2次側 	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物処理系監視盤 (A-712, #415)内 補助電源 AC 110V 	10/9	10/24 12:00	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物処理系監視盤の 電源の確保

4 S - C / C 仮設電源 (2 / 3)

(継込み H. 3. 10 / 9、 復旧 H. 3. 10 / 24)

No.	電源名称	電源	電源取合点	仮設電源	継込日	復旧日	目的
4	Ar, N ₂ 廃ガス 処理系 電源	4 S系	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉付属建家分電盤 (4 S) (A-509, #271) 内 廃棄物処理系計装電源NFB「OFF」 テーピング実施 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉付属建家分電盤 (4 S) (A-509, #271) 内 廃棄物処理系計装電源NFB 2次側 	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉付属建家分電盤 (4 S) (A-509, #271) 内 補助電源 AC 110V 	10/9	10/24	<ul style="list-style-type: none"> Ar, N₂ 廃ガス 処理系 機器・計装電源の確保
5	床上酸素濃度計 電源	4 S系	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉建家分電盤 (4 S) (R-601, #559) 内 酸素濃度分析装置盤NFB「OFF」 NFB 2次側をリフトする <hr/> <ul style="list-style-type: none"> 仮設のNFBを設け、1次側に仮設電源 2次側にリフトしたケーブルを接続する 	<ul style="list-style-type: none"> 作業用分電盤M-C (R-601, 盤No.なし) AC 110V 	10/9	10/16	<ul style="list-style-type: none"> 酸素濃度計電源の確保
					10/21 再実施	10/24	<ul style="list-style-type: none"> (仮設電源3A-P/Cであっ たため、10/16 一旦復旧 10/21 再度継込み実施)

4 S - C / C 仮設電源 (3 / 3)

(継込み H. 3. 10 / 9、 復旧 H. 3. 10 / 24)

No.	電源名称	電源	電源取合点	仮設電源	継込日	復旧日	目的
6	2次補助予熱ヒータ 制御電源 (操作用)	4 S系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2次補助系分電盤 (4 S) (2次補助系現場制御盤内、収納) (A-504, #221) 2次補助系現場制御盤制御電源 NFB 「OFF」 テーピング実施 ・ 2次補助系分電盤 (4 S) (2次補助系現場制御盤内、収納) (A-504, #221) 2次補助系現場制御盤制御電源 NFB 2次側 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2次補助系現場制御盤 (A-504, #221) 補助電源 AC 110V 	10/9	10/24 13:53	・ 2次補助予熱ヒータ 電源の確保
7	プロセス計装電源盤 計装 制御電源	4 S系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次系プロセス計装 DC 24V電源盤 (A-712, #418) 内 4 S計器電源 NFB 「OFF」 テーピング実施 ・ 1次系プロセス計装 DC 24V電源盤 4 S計器電源 NFB 2次側 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次系プロセス計装 DC 24V電源盤 (A-712, #418) 内 補助電源 AC 110V 	10/9	10/24 11:21	・ 1次Arガス圧力 計装電源の確保
8	オーバフロー系 純化系 操作電源	4 S系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却系制御盤 (A-712, #424) 内 4 S操作電源 NFB 「OFF」 テーピング実施 ・ 1次冷却系制御盤 (A-712, #424) 内 4 S操作電源 NFB 2次側 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却系制御盤 (A-712, #424) 内 補助電源 AC 110V 	10/9	10/24 11:32	・ オーバフロー系 純化系 操作電源の確保

1. 1次予熱ヒータ操作電源（操作用） 4 S系

仮設電源 継込み 操作 (H 3. 10/9 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前 プラント確認。			
	(1) 1次予熱ヒータ制御が正常に動作中であることを確認する。	A-504 (#207) (#208)		
2	1次予熱ヒータ操作電源 4 S系仮設電源継込み。			
	(1) 1次冷却系計装分電盤内、補助電源AC100V NFBの「OFF」を確認する。	A-504 (#213)		
	(2) A-504室、補助電源設備「現場分電盤」内、#213盤用AC100V NFBを「ON」にする。	A-504	O	・2課にて結線チェックを行う
	(3) 1次冷却系計装分電盤内、AC100V(4S)1次予熱ヒータ操作電源のNFBを「OFF」にする。	A-504 (#213)	O	・NFBのCSをテーピングする
	(4) 1次冷却系計装分電盤内、AC100V(4S)1次予熱ヒータ操作電源のNFBの2次側に、1次冷却系計装分電盤内、補助電源AC100Vを接続する。	A-504 (#213)		・2課で実施
	(5) 1次冷却系計装分電盤内、補助電源AC100V NFBを「ON」にする。	A-504 (#213)	O	
3	操作後 プラント操作・確認。			
	(1) 1次予熱ヒータ操作盤野「START」PBを「ON」にし、温度制御系が正常復旧した事を確認する。	A-504 (#207) (#208)		

1. 1次予熱ヒータ操作電源（操作用） 4 S系

仮設電源 復旧 操作 (H 3. 10/24 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前 プラント確認。			
	(1) 1次予熱ヒータ制御が正常に動作中であることを確認する。	A-504 (#207) (#208)		
2	1次予熱ヒータ操作電源 4 S系仮設電源取外し。			
	(1) A-504室、補助電源設備「現場分電盤」内、#213盤用AC100V NFB及び、1次冷却系計装分電盤内、補助電源AC100VNFBを「OFF」にする。	A-504 (#213) (#Noなし)	* *	
	(2) 1次冷却系計装分電盤内、AC100V(4S)1次予熱ヒータ操作電源のNFB 2次側の仮設ケーブルを取外す。	A-504 (#213)		・2課で実施
	(3) 1次冷却系計装分電盤内、AC100V(4S)1次予熱ヒータ操作電源のNFBを「ON」にする。	A-504 (#213)	*	
3	操作後 プラント操作確認。			
	(1) 1次予熱ヒータ操作盤の「START」PBを「ON」にし、温度制御系が正常に復旧した事を確認する。	A-504 (#207) (#208)		

2. 予熱N2 ガス系計装・制御電源 4 S 系

仮設電源 継込み 操作 (H3.10/9 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	予熱N2 ガス系制御電源4 S系の仮設電源 継込み。			
	(1) 1次冷却系計装用分電盤にて、補助電源AC100V NFBが「OFF」である事を確認する。	A-504 (#213)		
	(2) A-504室補助電源「現場分電盤」内、#213盤用AC100V NFBを「ON」にする。	A-504	○	・2課にて結線チェックをおこなう。
	(3) 1次冷却系計装用分電盤にて、予熱N2 ガス系制御電源4 S系のNFBを「OFF」にする。	A-504 (#213)	○	・NFBのCSKテープングする。
	(4) #213盤内、予熱N2 ガス系制御電源4 S系のNFB 2次側に#213盤内、補助電源AC100Vを接続する	A-504 (#213)		・2課にて実施
	(5) 上記、補助電源のNFBを「ON」にする。	A-504 (#213)	○	
2	予熱N2 ガス系 軸封ブロワ制御電源 4 S系の仮設電源 継込み			
	(1) 1次冷却系計装用分電盤にて、補助電源AC100V NFBが「OFF」である事を確認する。	A-504 (#213)		
	(2) A-504室補助電源「現場分電盤」内、#213盤用AC100V NFBを「ON」にする。	A-504	○	・2課にて結線チェックをおこなう。
	(3) 1次冷却系計装用分電盤にて、予熱N2 ガス系軸封ブロワ制御電源4 S系のNFBを「OFF」にする。	A-504 (#213)	○	・NFBのCSKテープングする。
	(4) #213盤内、予熱N2 ガス系軸封ブロワ制御電源4 S系のNFB 2次側に#213盤内、補助電源AC100Vを接続する。	A-504 (#213)		・2課にて実施
	(5) 上記、#213盤内、補助電源のNFBを「ON」にする。	A-504 (#213)	○	

2. 予熱N2 ガス系計装・制御電源 4 S系

仮設電源 復旧 操作 (H4. 2/18 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	予熱N2 ガス系制御電源4 S系の仮設電源 復旧			
	(1) 1次冷却系計装用分電盤内、補助電源AC100V NFB及び、A-504室補助電源「現場分電盤」内 #213盤用AC100V NFBを「OFF」にする。	A-504 (#213)	*	
	(2) #213盤内、予熱N2 ガス系制御電源4 SのNFB2次側の仮設電源ケーブルを取外す。	A-504 (#213)	*	・2課にて実施
	(3) #213盤内、予熱N2 ガス系制御電源4 SのNFBを「ON」にする。	A-504 (#213)	*	
2	予熱N2 ガス系 軸封ブロウ制御電源 4 S系の仮設電源 復旧。			
	(1) 1次冷却系計装用分電盤内、補助電源AC100V NFB及び、A-504室補助電源「現場分電盤」内 #213盤用AC100V NFBを「OFF」にする。	A-504 (#213) A-504	* *	
	(2) 1次冷却系計装用分電盤内にて、予熱N2 ガス系 軸封ブロウ制御電源4 SのNFB2次側のケーブルを取外す。	A-504 (#213)	*	・2課にて実施
	(3) #213盤内、予熱N2 ガス系軸封ブロウ制御電源4 SのNFBを「ON」にする。	A-504 (#213)	*	

3. 廃棄物処理系監視盤電源 4 S系

仮設電源 継込み 操作 (H3. 10/9 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前 プラント状態			
	(1) 床ドレンピットポンプCOSを「自動」から「手動」に切替える。	A-104 (#007)		
	(2) 廃棄物処理系が正常に運転されている事を確認する	A-712 (#415)		
	(3) 廃液移送が行われていない事を確認する。	A-712 (#415)		
2	廃棄物処理系監視盤 4 S系 仮設電源 継込み			
	(1) 廃棄物処理系監視盤内、補助電源AC100V NFBが「OFF」である事を確認する。	A-712 (#415)		
	(2) 廃棄物処理系監視盤内、主電源NFBを「OFF」にする。	A-712 (#415)	○	・NFBのCSをテ- ィンぐする。
	(3) 廃棄物処理系監視盤内、主電源NFBの2次側に、廃棄物処理系監視盤内、補助電源AC100Vを接続する。	A-712 (#415)		・2課で実施
	(4) 廃棄物処理系監視盤内、補助電源AC100V NFBを「ON」にする。	A-712 (#415)	○	
3	操作後 プラント操作			
	(1) 廃棄物処理系の各計器が正常に復旧した事を確認する。	A-712 (#415)		
	(2) 床ドレンピットポンプCOSを「手動」から「自動」に切替える。	A-104 (#007)		
	(3) 光伝送装置のRランプP・Bを一旦「切」とし、再投入にて「光伝送装置異常」ANNがリセットできる事を確認する。	A-712 (#415)		

3. 廃棄物処理系監視盤電源 4 S系

仮設電源 復旧 操作 (H3. 10/24 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前 プラント操作			
	(1) 床ドレンピットポンプCOSを「自動」から「手動」に切替える。	A-104 (#007)		
	(2) 廃棄物処理系が正常に運転されている事を確認する	A-712 (#415)		
	(3) 廃液移送が行われていない事を確認する。	A-712 (#415)		
2	廃棄物処理系監視盤 4 S系 仮設電源 取外し			
	(1) 廃棄物処理系監視盤内、補助電源AC100V NFBが「OFF」にする。	A-712 (#415)	*	
	(2) 廃棄物処理系監視盤内、主電源NFBの2次側仮設電源ケーブルを取外す。	A-712 (#415)		・2課で実施
	(3) 廃棄物処理系監視盤内、主電源NFBを「ON」にする。	A-712 (#415)	*	
3	操作後 プラント確認			
	(1) 廃棄物処理系の各計器が正常に復旧した事を確認する。	A-712 (#415)		
	(2) 床ドレンピットポンプCOSを「手動」から「自動」に切替える。	A-104 (#007)		
	(3) 光伝送装置のRランプP・Bを一旦「切」とし、再投入にて「光伝送装置異常」ANNがリセットできる事を確認する。	A-712 (#415)		

4. Ar・N₂ 廃ガス処理系 制御電源 4 S 系

仮設電源 継込み 操作 1/2 (H3.10/9 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前 プラント操作・確認。			
	(1) Ar 廃ガス・N ₂ 廃ガスが放出されていない事、仮設電源継込み終了まで(約30分間)放出される恐れがない事を確認する。 ・Ar 廃ガスヘッド圧力(PI 61-4)にて、排気がない事。 ・1次Arガス系(PIS 36.1-9)、安全容器(PIS 83-2)の圧力を確認し、排気の恐れがない事。ある場合は、手動で排気し、圧力を低めに保持する。	A-104 (#007) (#008) A-712 (#415) A-712 (#424)		・メンテナンスに伴う廃ガス放出の有無についても注意が必要。
	(2) Ar 廃ガス常用コンプレッサーの断水リレーのジャンパ準備が完了している事。(場所の確認、ジャンパケーブルの準備) ・常用コンプレッサーA:リレー 69-F1-1 ・常用コンプレッサーB:リレー 69-F1-2 (端子 5-3 間)	A-104 (#007)		・仮設電源継込み中、 必ず 廃ガス系の運転が必要になった場合、手動運転を可能にするための対策。
	(3) 床排水ポンプA・BのCOSを「自動」から「手動」に切替える。 (電源OFFにて床排水ピットタンクレベル計がアップスケールになる。レベル計が超音波式のため、電源ON後正常値に復帰するには時間がかかりその間、床排水ポンプが連続運転になる為)	A-104 (#007)		
	(4) 廃ガス処理系N ₂ 供給元弁V 61-22Aを「閉」にする。 (廃ガスコンプレッサー-N ₂ パージ弁V 62-20A 20Bが開となる為の対策)	A-106		・A-106の天井付近。
2	Ar・N ₂ 廃ガス処理系制御電源 4 S系仮設電源継込み			・電源盤の鍵を持っていく。
	(1) 原子炉付属建家分電盤(4 S系)内、補助電源 AC 100V NFBが「OFF」である事を確認する。	A-509 (#271)		
	(2) A-509室、補助電源「現場分電盤」AC100V NFBを「ON」にする。	A-509	○	・2課にて結線チェックを行う。
	(3) 原子炉付属建家分電盤(4 S系)にて、廃棄物処理計装電源用NFBを「OFF」にする。	A-509 (#271)	○	・NFBのCSをテープing する。
	(4) 原子炉付属建家分電盤(4 S系)内、廃棄物処理計装電源用NFB 2次側に、原子炉付属建家分電盤(4 S系)内、補助電源AC100Vを接続する。	A-509 (#271)		・2課で実施。
	(5) 原子炉付属建家分電盤(4 S系)内、補助電源 AC 100V NFBを「ON」にする。	A-509 (#271)	○	

4. Ar・N₂ 廃ガス処理系 制御電源 4 S 系

仮設電源 継込み 操作 2/2 (H3.10/9 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
3	操作後 プラント操作・確認。			
	(1) Ar・N ₂ 廃ガス系が停止前の状態に復旧した事を確認する。	A-104 (#007) (#008)		・ベビコンが起動した場合は自動停止を確認する。
	(2) 廃ガス処理系N ₂ 供給V61-22Aを開にする。	A-106		・A-106の天井付近。
	(3) Ar 廃ガス貯留タンクの再選択を行う。	A-104 (#007)		・仮設電源継込み前と同一選択
	(4) 床排水ポンプA・BのCOSを「手動」から「自動」に切替える。	A-104 (#007)		

4. Ar・N₂ 廃ガス処理系 制御電源 4 S 系

仮設電源 復旧 操作 1/2 (H3. 10/24 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前 プラント操作・確認。			
	(1) Ar 廃ガス・N ₂ 廃ガスが放出されていない事、仮設電源継込み終了まで(約30分間)放出される恐れがない事を確認する。 ・Ar 廃ガスヘッダ圧力(P I 6 1-4)にて、排気がない事。 ・1次Arガス系(P I S 3 6. 1-9)、安全容器(P I S 8 3-2)の圧力を確認し、排気の恐れがない事。ある場合は、手動で排気し、圧力を低めに保持する。	A-104 (#007) (#008) A-712 (#415) A-712 (#424)		・メンテナンスに伴う廃ガス放出の有無にかかわらず注意が必要。
	(2) Ar 廃ガス常用コンプレッサーの断水リレーのジャンパ準備が完了している事。(場所の確認、ジャンパケーブルの準備) ・常用コンプレッサーA:リレー 69-F1-1 ・常用コンプレッサーB:リレー 69-F1-2 (端子 5-3 間)	A-104 (#007)		・仮設電源継込み中、 必ず 廃ガス系の運転が必要になった場合、手動運転を可能にするための対策。
	(3) 床排水ポンプA・BのCOSを「自動」から「手動」に切換える。 (電源OFFにて床排水ピットタンクレベル計がアップスケールになる。レベル計が超音波式のため、電源ON後正常値に復帰するには時間がかかりその間、床排水ポンプが連続運転になる為)	A-104 (#007)		
	(4) 廃ガス処理系N ₂ 供給元弁V61-22Aを「閉」にする。 (廃ガスコンプレッサー-N ₂ パージ弁V62-20A 20Bが開となる為の対策)	A-106		・A-106の天井付近。
2	Ar・N ₂ 廃ガス処理系制御電源 4 S系仮設電源取外し			・電源盤の鍵を持っていく。
	(1) A-509室、補助電源「現場分電盤」AC100V NFB及び、原子炉付属建家分電盤(4 S系)内、補助電源AC100V NFBを「OFF」にする。	A-509 (#271) A-509	* *	
	(2) 原子炉付属建家分電盤(4 S系)内、廃棄物処理計装電源用NFB 2次側の仮設電源ケーブルを取外す。	A-509 (#271)		
	(3) 原子炉付属建家分電盤(4 S系)にて、廃棄物処理計装電源用NFBを「ON」にする。	A-509 (#271)	*	・2課で実施。

4. Ar・N2 廃ガス処理系 制御電源 4 S 系

仮設電源 復旧 操作 2/2 (H3. 10/24 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
3	操作後 プラント操作・確認。			
	(1) Ar・N2 廃ガス系が停止前の状態に復旧した事を確認する。	A-104 (#007) (#008)		<ul style="list-style-type: none"> ・ベビコンが起動した場合は自動停止を確認する。 ・A-106の天井付近。 ・仮設電源継込み前と同一選択
	(2) 廃ガス処理系N2 供給V61-22Aを開にする。	A-106		
	(3) Ar 廃ガス貯留タンクの再選択を行う。	A-104 (#007)		
	(4) 床排水ポンプA・BのCOSを「手動」から「自動」に切替える。	A-104 (#007)		

5、 床上酸素濃度検出器 電源 4 S 系

仮設電源 継込み 操作 (H3.10/9 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前のO2 濃度計停止操作			
	(1) POWER (主電源) スイッチを「切」にする。	R-601		・R-601のマニュアル 参照
	(2) 切替スイッチを「MAINTENANCE」側にする	R-601		
	(3) 酸素濃度モニター盤 (床上O2 濃度記録計) の電源 NFBを「切」にする。	A-712 (#455)		
2	床上酸素濃度検出器 電源 4 S系の仮設電源 継込み。			
	(1) 原子炉建家分電盤内、酸素濃度分析装置盤用NFBを「切」にし、NFB 2次側のケーブルRS513, TS513をリフトする。	R-601 (#559)	○	10/16 一旦復旧 10/21 4S点検前 再実施
	(2) 仮設用NFBを設置し、その1次側に作業用分電盤M-CのAC100Vを、その2次側にリフトしたケーブルを接続する。	R-601 (#559) R-501 (# No ㊦)		
	(3) 作業用分電盤M-C内、AC100V用NFB及び、仮設電源用NFBを「入」にする。	R-501 (# No ㊦) R-601 (#559)	○ ○	
3	酸素モニター盤 (床上O2 濃度記録計) 電源 4 C系の 仮設電源 継込み。			
	(1) 床上酸素濃度記録計電源NFBを「切」とする。	A-712 (#455)		・4C電源盤点検 のため、感電防 止の点検、端 子部を十分に テビタする。
	(2) 4C電源盤内、酸素濃度計 (記録計) 用NFB-C2を「切」とする。	A-706 (#324)	○	
	(3) 床上酸素濃度記録計電源NFBの1次側をリフトし、補助電源AC100Vを接続する。	A-712 (#455)		
	(4) 補助電源現場分電盤内NFBNo12 (床上、床下酸素濃度監視盤定検用仮設電源) を「入」にする。	A-712	○	
	(5) 床上酸素濃度監視盤内補助電源AC100VNFBを「入」にする。	A-712 (#455)	○	
	(6) 床上酸素濃度記録計電源NFBを「入」にする。	A-712 (#455)	○	
4	操作後の床上O2 濃度計 起動操作			
	(1) 切替スイッチを「MEANS」側にする。	R-601		・R-601のマニュアル 参照
	(2) POWER (主電源) スイッチを「入」にする。	R-601		
	(3) 酸素濃度モニター盤 (床上O2 濃度記録計) の電源 NFBを「入」にする。	A-712 (#455)		

5、床上酸素濃度検出器 電源 4 S系

仮設電源 復旧 操作 (H3. 10/24 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前のO ₂ 濃度計停止操作			
	(1) POWER (主電源) スイッチを「切」にする。	R-601		・R-601のマニュアル参照
	(2) 切替スイッチを「MAINTENANCE」側にする	R-601		
	(3) 酸素濃度モニター盤 (床上O ₂ 濃度記録計) の電源NFBを「切」にする。	A-712 (#455)		
2	床上酸素濃度検出器 電源 4 S系の仮設電源 復旧			
	(1) 作業用分電盤M-C内、AC100V用NFB及びを仮設電源用NFBを「切」にする。	R-601 (#559)	*	
		R-501 (#No.4)	*	
	(2) 仮設用NFBの1次側、及び、2次側のケーブルを取外す。	R-601 (#559)		
		R-501 (#No.4)		
	(3) 仮設NFBから取り外した2次側のケーブル (RS 513 TS 513) を原子炉建家分電盤内、酸素濃度分析装置盤用NFB 2次側に接続し、NFBを「入」にする。	R-601 (#559)	*	
3	酸素モニター盤 (床上O ₂ 濃度記録計) 電源 4 C計の仮設電源 復旧			
	(1) 床上酸素濃度記録計電源NFBを「切」にする。	A-712 (#455)		
	(2) 床上酸素濃度監視盤内補助電源AC100VNFBを「切」にする。	A-712 (#455)	*	
	(3) 補助電源現場分電盤内NFB No 1 2 (床上、床下酸素濃度監視盤定検用仮設電源) を「切」にする。	A-712	*	・4C電源盤点検のため、感電防止の点検、端子部を十分にテビタス。
	(4) 床上酸素濃度記録計電源NFBから補助電源AC100Vを取り外し、1次側を復旧する。	A-712 (#455)	*	
	(5) 4C電源盤内、酸素濃度計 (記録計) 用NFB-C2を「入」にする。	A-706 (#324)	*	
	(6) 床上酸素濃度記録計電源NFBを「入」にする。	A-712 (#455)		
4	操作後の床上O ₂ 濃度計 起動操作			
	(1) 切替スイッチを「MEANS」側にする。	R-601		・R-601のマニュアル参照
	(2) POWER (主電源) スイッチを「入」にする。	R-601		
	(3) 酸素濃度モニター盤 (床上O ₂ 濃度記録計) の電源NFBを「入」にする。	A-712 (#455)		

6. 2次補助予熱ヒータ制御電源 4S系

仮設電源 継込み 操作 (H3.10/9 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前 プラント確認。			
	(1) 2次補助予熱制御盤が正常に動作中であることを確認する。	A-505 (#222)		
2	2次補助予熱ヒータ制御電源4S系 仮設電源 継込み。			
	(1) 2次補助系分電設備4S内、補助電源AC100V NFBが「OFF」であることを確認する。	A-505 (#221内)		
	(2) A-504室、補助電源設備「現場分電盤」内、#221盤用AC100Vを「ON」にする。	A-504 (# No ㊦)	O	・2課にて結線 チェックを行う
	(3) 2次補助系分電設備4S内、2次補助系現場制御盤制御電源NFBを「OFF」にする。	A-505 (#221内)	O	・NFBのCSを テピンする。
	(4) 2次補助系分電設備4S内、2次補助系現場制御盤制御電源NFBの2次側に、2次補助系分電設備4S内、補助電源AC100Vを接続する。	A-505 (#221内)		・2課で実施。
	(5) 2次補助系現場制御盤内、補助電源AC100V NFBを「ON」にする。	A-505 (#221内)	O	
3	操作後 プラント確認。			
	(1) 2次補助予熱制御盤が正常に動作する事を確認する。	A-505 (#222)		

6. 2次補助予熱ヒータ制御電源4S系

仮設電源 復旧 操作 (H3.10/24 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前 プラント確認。 (1) 2次補助予熱制御盤が正常に動作中であることを確認する。	A-505 (#222)		
2	2次補助予熱ヒータ制御電源4S系 仮設電源 取り外し (1) 2次補助系現場制御盤内、補助電源AC100V NFB及び、A-504室、補助電源設備「現場分電盤」内、#221盤用AC100V NFBを「OFF」にする。 (2) 2次補助系分電設備4S内、2次補助系現場制御盤制御電源NFB 2次側の仮設ケーブルを取り外す。 (3) 2次補助系分電設備4S内、2次補助系現場制御盤制御電源NFBを「ON」にする。	A-504 (# No ㊦) A-505 (# 221内) A-505 (# 221内) A-505 (# 221内)	* * *	・2課で実施。
3	操作後 プラント確認。 (1) 2次補助予熱制御盤が正常に動作する事を確認する。	A-505 (#222)		

7. プロセス計装 24V電源 4S系

仮設電源 継込み 操作 1/2 (H3.10/9 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	<p>操作前 プラント確認</p> <p>(1) 呼吸ガスヘッダー、安全容器及び、リークジャケットの圧力制御系が給気または、排気状態でないことを確認する。</p> <p>(2) 以下のCOSを「自動」から「全閉」にする。</p> <p>呼吸ガスヘッダー給気弁V36.1-20</p> <p>呼吸ガスヘッダー給気弁V36.1-22</p> <p>呼吸ガスヘッダー排気弁V36.1-44</p> <p>呼吸ガスヘッダー排気弁V36.1-46</p> <p>安全容器給気圧力調整弁V83-6</p> <p>安全容器排気圧力調整弁V83-11</p> <p>リークジャケット給気圧力調整弁V71-27</p> <p>リークジャケット給気圧力調整弁V71-29</p> <p>リークジャケット排気圧力調整弁V71-32</p>	<p>A-712 (#424)</p> <p>A-712 (#424)</p>		
2	<p>プロセス計装DC24V電源4S系 仮設電源 継込み</p> <p>(1) プロセス計装DC24V電源盤の補助電源 AC 100VNFBが「OFF」であることを確認する。</p> <p>(2) プロセス計装DC24V電源盤の4S系プロセス計装DC24V電源用 NFBを「OFF」にする。</p> <p>(3) プロセス計装DC24V電源盤の4S系プロセス計装DC24V電源用 NFBの2次側に、プロセス計装24V電源盤の補助電源 AC100Vを接続する。</p> <p>(4) プロセス計装DC24V電源盤の補助電源 AC 100VNFBを「ON」にする。</p>	<p>A-712 (#418)</p> <p>A-712 (#418)</p> <p>A-712 (#418)</p> <p>A-712 (#418)</p>	<p></p> <p>○</p> <p></p> <p>○</p>	
3	<p>操作後 プラント操作</p> <p>(1) 以下のCOSを「全閉」から「自動」にする。</p> <p>呼吸ガスヘッダー給気弁V36.1-22</p> <p>呼吸ガスヘッダー給気弁V36.1-20</p> <p>呼吸ガスヘッダー排気弁V36.1-46</p>	<p>A-712 (#424)</p>		

7. プロセス計装 2.4 V 電源 4 S 系

仮設電源 継込み 操作 2/2 (H3.10/9 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
3	呼吸ガスヘッダー排気弁V36.1-44 安全容器給気圧力調整弁V83-6 安全容器排気圧力調整弁V83-11 リークジャケット給気圧力調整弁V71-29 リークジャケット給気圧力調整弁V71-27 リークジャケット排気圧力調整弁V71-32 (2) 呼吸ガスヘッダー、安全容器及び、リークジャケットの圧力制御系が正常に作動していることを確認する。	A-712 (#424) A-712 (#424)		

7. プロセス計装 24V電源 4S系

仮設電源 復旧 操作 1/2 (H3.10/24 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前 プラント確認			
	(1) 呼吸ガスヘッダー、安全容器及び、リークジャケットの圧力制御系が給気または、排気状態でないことを確認する。	A-712 (#424)		
	(2) 以下のCOSを「自動」から「全閉」にする。 呼吸ガスヘッダー給気弁V36.1-20 呼吸ガスヘッダー給気弁V36.1-22 呼吸ガスヘッダー排気弁V36.1-44 呼吸ガスヘッダー排気弁V36.1-46 安全容器給気圧力調整弁V83-6 安全容器排気圧力調整弁V83-11 リークジャケット給気圧力調整弁V71-27 リークジャケット給気圧力調整弁V71-29 リークジャケット排気圧力調整弁V71-32	A-712 (#424)		
	(3) 1次純化系EMP及びC/T冷却プロアを停止する。	A-712 (#424)		
2	プロセス計装24V電源 4S系 仮設電源 取外し			
	(1) プロセス計装DC24V電源盤の補助電源 AC 100VNFBを「OFF」にする。	A-712 (#418)	*	
	(2) プロセス計装DC24V電源盤の4S系プロセス計装DC24V電源用 NFBの2次側仮設電源ケーブルを取り外す。	A-712 (#418)		
	(3) プロセス計装DC24V電源盤の4S系プロセス計装DC24V電源用 NFBを「ON」にする。	A-712 (#418)	*	
	(4) 1次純化系EMP及びC/T冷却プロアを起動する。	A-712 (#424)		
3	操作後 プラント操作			
	(1) 以下のCOSを「全閉」から「自動」にする。 呼吸ガスヘッダー給気弁V36.1-22 呼吸ガスヘッダー給気弁V36.1-20	A-712 (#424)		

7. プロセス計装 2 4 V 電源 4 S 系

仮設電源 復旧 操作 2/2 (H3. 10/24 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
3	呼吸ガスヘッダー排気弁V36.1-46 呼吸ガスヘッダー排気弁V36.1-44 安全容器給気圧力調整弁V83-6 安全容器排気圧力調整弁V83-11 リークジャケット給気圧力調整弁V71-29 リークジャケット給気圧力調整弁V71-27 リークジャケット排気圧力調整弁V71-32 (2) 呼吸ガスヘッダー、安全容器及び、リークジャケットの圧力制御系が正常に作動していることを確認する。	A-712 (#424)		

8. オーバフロー系、純化系操作電源 4 S 電源

仮設電源 継込み 操作

(H3. 10/9 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前のプラント操作			
	(1) オーバフロー電磁ポンプを停止する。	A-712 (#424)		・機器冷却ファン 吐出圧注意 ・COS「除外」
	(2) 1次Na純化系CT冷却ブローを停止する。	A-712 (#424)		
	(3) 1次Na純化系電磁ポンプを停止する。	A-712 (#424)		・機器冷却ファン 吐出圧注意 ・COS「除外」
2	4 S 操作電源の仮設電源継ぎ込み操作			
	(1) 1次制御盤にて補助電源(4S) AC100V NFBの「OFF」を確認する。	A-712 (#424)		
	(2) 1次制御盤にて4S操作電源用NFBを「OFF」にする。	A-712 (#424)	○	・4S計装制御電源喪失 ・テーピング実施
	(3) 1次制御盤にて4S計器電源用NFBを「OFF」にする。	A-712 (#424)	○	・4S計装制御電源喪失 ・テーピング実施
	(4) 1次制御盤にて補助電源(4S) AC100V NFBの2次側と4S操作電源用NFBの2次側を接続し、4S操作電源用NFBの2次側と4S計器電源用NFBの2次側を接続する。	A-712 (#424)		
	(5) 1次制御盤にて補助電源(4S) AC100V NFBを「ON」にする。	A-712 (#424)	○	
3	操作後のプラント操作			
	(1) オーバフロー電磁ポンプを起動する。	A-712 (#424)		・機器冷却ファン 吐出圧注意
	(2) 1次Na純化系電磁ポンプを起動する。	A-712 (#424)		
	(3) 1次Na純化系CT冷却ブローを起動する。	A-712 (#424)		・機器冷却ファン 吐出圧注意

8. オーバフロー系、純化系操作電源 4 S 電源

仮設電源 復旧 操作

(H3. 10/24 実施)

順序	操作・確認事項	操作場所	タグ管理	備考
1	操作前のプラント操作			
	(1) オーバフロー電磁ポンプのCOSを「予熱」から「除外」にする。	A-712 (#424)		
	(2) 1次Na純化系電磁ポンプのCOSを「予熱」から「除外」にする。	A-712 (#424)		
2	4 S操作電源の仮設電源復旧操作			
	(1) 1次制御盤にて補助電源(4S) AC100V NF Bを「OFF」にする。	A-712 (#424)	*	
	(2) 1次制御盤にて補助電源(4S) AC100V NF Bの2次側と4S操作電源用NF Bの2次側を取外し、4S操作電源用NF Bの2次側と4S計器電源用NF Bの2次側を取外し、復旧する。	A-712 (#424)		
	(3) 1次制御盤にて4S操作電源用NF Bを「ON」にする。	A-712 (#424)	*	
	(4) 1次制御盤にて4S計器電源用NF Bを「ON」にする。	A-712 (#424)	*	
3	操作後のプラント操作			
	(1) オーバフロー電磁ポンプのCOSを「除外」から「予熱」にする。	A-712 (#424)		
	(2) 1次Na純化系電磁ポンプのCOSを「除外」から「予熱」にする。	A-712 (#424)		

添付資料 - 2

2 H C - P / C 点検時の

「予備」モード制御温度設定値

「予備」モード制御温度設定値

設定値単位：℃

	アドレスNo.	制御設定値		警報設定値		予備アドレスNo.	備考
		下限	上限	下限	上限		
SC-I	001~075	250	270	150	400	021, 022, 023, 047, 048, 049	
	079~080	250	270	150	400		
	083~101	250	270	150	400	097, 098	
	102~133	250	270	150	400	130, 131	
	136	250	270	150	400		
	138	0	1	0	600		D/T内装ヒータ
	139~144	250	270	150	400		
	147~150	250	270	150	400		
SC-II	001~071	250	270	150	400	019, 020, 021, 045, 046, 047	
	075~076	250	270	150	400		
	079~096	250	270	150	400	092, 093	
	097~101	250	270	150	400		
	104~152	250	270	150	400	141, 142, 143	
	155~157	130	150	110	400		
	160	250	270	150	400		

添付資料 - 3

1 H C - P / C 点検に伴う

2 次補助予熱ヒータ設定温度変更表

「1HC-P/C点検」に伴う2次補助予熱ヒータ設定温度変更表

ブロックNo.	変更前設定温度	変更後設定温度	変更時のチェック	復旧時のチェック
SC-Ⅲ 01	200±10℃	250±10℃	250±10℃	200±10℃
SC-Ⅲ 02	200±10℃	250±10℃	250±10℃	200±10℃
SC-Ⅲ 03	200±20℃	250±10℃	250±10℃	200±20℃
SC-Ⅲ 04	250±20℃	250±10℃	250±10℃	250±20℃

添付資料 - 4

1 H C - P / C 点検時

配管温度チェックシート

1次系ドレン配管温度監視記録 (1HC-P/C) (単位:℃)

H. 3年10月14日(1/3)

Tag No.	:	:	:	:	:	:	:	:	:
H35.1-91									
-90									
-89									
-43									
H35.1-84									
-83									
-82									
H35.1-78									
-77									
-76									
-44									
H35.1-71									
-70									
-69									

1次系ドレン配管温度監視記録 (1HC-P/C) (単位:℃)

H. 3年10月14日(2/3)

Tag No.	:	:	:	:	:	:	:	:	:
H35.1-65									
-64									
-63									
-46									
H35.1-58									
-57									
-56									
-45									
H35.1-50									
-49									
-48									
-47									

1次系ドレン配管温度監視記録 (1HC-P/C) (単位: °C)

H. 3年10月14日(3/3)

Tag No.	:	:	:	:	:	:	:	:	:
H32.1-10									
-11									
-12									
H34.1-68									
-69									
-70									
-71									
-72									

2次補助系ドレン配管温度監視記録 (1HC-P/C) (単位:℃)

H. 3年10月14日

Tag No.	:	:	:	:	:	:	:	:	:
SC・Ⅲ-52									
SC・Ⅲ-53									
SC・Ⅲ-54									
SC・Ⅲ-55									
SC・Ⅲ-56									
SC・Ⅲ-57									
SC・Ⅲ-58									
SC・Ⅲ-59									
SC・Ⅲ-60									
SC・Ⅲ-61									
SC・Ⅲ-62									
SC・Ⅲ-63									
SC・Ⅲ-64									
SC・Ⅲ-65									
SC・Ⅲ-66									
SC・Ⅲ-67									

1次系ドレン配管温度監視記録 (1HC-P/C) (単位:℃)

H. 3年10月15日(1/2)

Tag No.	:	:	:	:	:	:	:	:	:
H35.1-91									
-90									
-89									
-43									
H35.1-84									
-83									
-82									
H35.1-78									
-77									
-76									
-44									
H35.1-71									
-70									
-69									

1次系ドレン配管温度監視記録 (1HC-P/C) (単位:℃)

H. 3年10月15日(2/2)

Tag No.	:	:	:	:	:	:	:	:	:
H35. 1-65									
- 64									
- 63									
- 46									
H35. 1-58									
- 57									
- 56									
- 45									
H35. 1-50									
- 49									
- 48									
- 47									
H32. 1-10									
- 11									
- 12									

2次補助系ドレン配管温度監視記録 (1HC-P/C) (単位:℃)

H. 3年10月15日

Tag No.	:	:	:	:	:	:	:	:	:
SC・Ⅲ-52									
SC・Ⅲ-53									
SC・Ⅲ-54									
SC・Ⅲ-55									
SC・Ⅲ-56									
SC・Ⅲ-57									
SC・Ⅲ-58									
SC・Ⅲ-59									
SC・Ⅲ-60									
SC・Ⅲ-61									
SC・Ⅲ-62									
SC・Ⅲ-63									
SC・Ⅲ-64									
SC・Ⅲ-65									
SC・Ⅲ-66									
SC・Ⅲ-67									

添付資料 - 5

2 H C - P / C 点検時

配管温度チェックシート

2次系ドレン配管温度監視記録 (2HC-P/C) (単位:℃)

H. 3年10月14日(1/4)

Tag No.	:	:	:	:	:	:	:	:	:
SC・I-83									
SC・I-84									
SC・I-85									
SC・I-86									
SC・I-87									
SC・I-88									
SC・I-89									
SC・I-90									
SC・I-91									
SC・I-92									
SC・I-93									
SC・I-94									
SC・I-95									
SC・I-96									
SC・I-99									
SC・I-100									
SC・I-101									

2次系ドレン配管温度監視記録 (2HC-P/C) (単位: °C)

H. 3年10月14日(2/4)

項目 (Tag No.)	:	:	:	:	:	:	:	:
SC・II-104 35.2-1-01H								
SC・II-105 35.2-16-01H								
SC・II-106 -02H								
SC・II-107 -03H								
SC・II-108 -04H								
SC・II-109 -05H								
SC・II-110 -06H								
SC・II-111 35.2-15-01H								
SC・II-112 -02H								
SC・II-113 -03H								
SC・II-114 -04H								
SC・II-115 -05H								
SC・II-116 -06H								
SC・II-117 -07H								
SC・II-118 35.2-9-01H								
SC・II-119 -02H								
SC・II-120 -03H								
SC・II-121 35.2-11-01H								

2次系ドレン配管温度監視記録 (2HC-P/C) (単位: °C)

H. 3年10月14日 (3/4)

項 目 (Tag No.)		:	:	:	:	:	:	:
SC・II-122	35.2-11-02H							
SC・II-123	-03H							
SC・II-124	35.2-10A-01H							
SC・II-125	35.2-12A-01H							
SC・II-126	-02H							
SC・II-127	-03H							
SC・II-128	35.2-12A-04H							
SC・II-129	-05H							
SC・II-130	35.2-10B-01H							
SC・II-131	35.2-12B-01H							
SC・II-132	-02H							
SC・II-133	-03H							
SC・II-134	35.2-16-07H							
SC・II-135	-08H							
SC・II-136	V35.2- 1-01H							
SC・II-137	V35.2- 7-01H							
SC・II-138	V35.2- 8-01H							
SC・II-139	V35.2-9A-01H							

2次系系ドレン配管温度監視記録 (2HC-P/C) (単位: °C)

H. 3年10月14日(4/4)

項目 (Tag No.)	:	:	:	:	:	:	:	:
SC・II-140 V35.2-9B-01H								
SC・II-144 35.2-16-09H								
SC・II-145 35.2-3A-05H								
SC・II-146 35.2-3B-04H								
SC・II-147 35.2-4A-06H								
SC・II-148 35.2-4B-06H								
SC・II-149 V35.2-2A-01H								
SC・II-150 V35.2-2B-01H								
SC・II-151 V35.2-3A-01H								
SC・II-152 V35.2-3B-01H								

- 400 -

PNC TN9410 95-269

2次系ドレン配管温度監視記録 (2HC-P/C) (単位:℃)

H. 3年10月15日(1/4)

Tag No.	:	:	:	:	:	:	:	:	:
SC・I-83									
SC・I-84									
SC・I-85									
SC・I-86									
SC・I-87									
SC・I-88									
SC・I-89									
SC・I-90									
SC・I-91									
SC・I-92									
SC・I-93									
SC・I-94									
SC・I-95									
SC・I-96									
SC・I-99									
SC・I-100									
SC・I-101									

2次系ドレン配管温度監視記録 (2HC-P/C) (単位: °C)

H. 3年10月15日(2/4)

項目 (Tag No.)	:	:	:	:	:	:	:	:
SC・II-104 35.2-1-01H								
SC・II-105 35.2-16-01H								
SC・II-106 -02H								
SC・II-107 -03H								
SC・II-108 -04H								
SC・II-109 -05H								
SC・II-110 -06H								
SC・II-111 35.2-15-01H								
SC・II-112 -02H								
SC・II-113 -03H								
SC・II-114 -04H								
SC・II-115 -05H								
SC・II-116 -06H								
SC・II-117 -07H								
SC・II-118 35.2-9-01H								
SC・II-119 -02H								
SC・II-120 -03H								
SC・II-121 35.2-11-01H								

2次系ドレン配管温度監視記録 (2HC-P/C) (単位: °C)

H. 3年10月15日(3/4)

項 目 (Tag No.)	:	:	:	:	:	:	:	:
SC・II-122 35.2-11-02H								
SC・II-123 -03H								
SC・II-124 35.2-10A-01H								
SC・II-125 35.2-12A-01H								
SC・II-126 -02H								
SC・II-127 -03H								
SC・II-128 35.2-12A-04H								
SC・II-129 -05H								
SC・II-130 35.2-10B-01H								
SC・II-131 35.2-12B-01H								
SC・II-132 -02H								
SC・II-133 -03H								
SC・II-134 35.2-16-07H								
SC・II-135 -08H								
SC・II-136 V35.2- 1-01H								
SC・II-137 V35.2- 7-01H								
SC・II-138 V35.2- 8-01H								
SC・II-139 V35.2-9A-01H								

1403-

2次系系ドレン配管温度監視記録 (2HC-P/C) (単位:℃)

H. 3年10月15日(4/4)

項目 (Tag No.)	:	:	:	:	:	:	:	:
SC・II-140 V35.2-9B-01H								
SC・II-144 35.2-16-09H								
SC・II-145 35.2-3A-05H								
SC・II-146 35.2-3B-04H								
SC・II-147 35.2-4A-06H								
SC・II-148 35.2-4B-06H								
SC・II-149 V35.2-2A-01H								
SC・II-150 V35.2-2B-01H								
SC・II-151 V35.2-3A-01H								
SC・II-152 V35.2-3B-01H								

添付資料 - 6

格納容器雰囲気監視装置

停止・復旧要領書

格納容器雰囲気監視装置 停止・復旧要領書

(原子炉建家 2S-C/C)

手順	操作内容	操作場所	備考
1	<u>停止操作</u>		
(1)	ハロゲン計のプロセッサ内の検出器電源スイッチを「切」にする。(TCD)	R-501	
(2)	ハロゲン計のプロセッサ内のプロセッサ電源スイッチを「切」にする。	R-501	
(3)	酸素分析計内の計器電源スイッチを「切」にする。	R-501	
(4)	湿分計パネル前面の計器電源スイッチを「切」にする。	R-501	
(5)	P-1ポンプ用スナップスイッチを「切」にする。	R-501	(盤内)
(6)	雰囲気監視盤内の装置主電源NFBを「切」にする。	R-501	
2	<u>復旧操作</u> (2課作業終了後)		
(1)	P-1ポンプ用スナップスイッチを「入」にする。	R-501	(盤内)
(2)	雰囲気監視盤内の装置主電源NFBを「入」にする。	R-501	サンプリングポンプ2台起動
(3)	湿分計パネル前面の計器電源スイッチを「入」にする。 (湿分計自動計測)	R-501	
(4)	酸素分析計内の計器電源スイッチを「入」にする。 (酸素濃度自動計測)	R-501	計測安定まで時間がかかる。
(5)	ハロゲン計のプロセッサ内のプロセッサ電源スイッチを「入」にする。	R-501	
(6)	検出器の恒温槽の温度が66℃で安定したら、ハロゲン計のプロセッサ内の検出器電源スイッチを「入」にする。	R-501	温度安定までに4hr位かかる。

添付資料 - 7

一般照明電源切替要領書

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<p>照明電源の一般系から非常系への切替え</p> <p>(1) 補助電源系分電盤(2)にて、次の各NFBが投入されていることを確認する。</p> <p>(a) 照明電源切替盤 L-2W-F用 NFB</p> <p>(b) 照明電源切替盤 L-2E-F用 NFB</p> <p>(c) 照明電源切替盤 L-B2-F用 NFB</p> <p>(d) 照明電源切替盤 L-B1-F用 NFB</p> <p>(2) 照明電源切替盤 L-2Wの切替</p> <p>(a) 照明電源切替盤 L-2W-Fにて、非常用電源側NFBの「ON」を確認する。</p> <p>(b) L-2W-F盤にて、常用-非常用切替COSを「非常用」にする。</p> <p>① 常用 G 消灯、非常用 R 点灯 ② 照明再点灯確認</p> <p>} 以下照明切替操作に共通</p> <p>(3) 照明電源切替盤 L-2Eの切替</p> <p>(a) 照明電源切替盤 L-2E-Fにて、補助電源側NFBの「ON」を確認する。</p> <p>(b) L-2E-F盤にて、常用-非常用切替COSを「非常用」にする。</p> <p>(4) 照明電源切替盤 L-B2の切替</p> <p>(a) 照明電源切替盤 L-B2-Fにて、補助電源側NFBの「ON」を確認する。</p> <p>(b) L-B2-F盤にて、常用-非常用切替COSを「非常用」にする。</p>	<p>A-707 (#326-2)</p> <p>A-707</p> <p>A-707</p> <p>A-605</p> <p>A-701</p> <p>S-119</p> <p>S-119</p>		<p>照明が瞬時停電する。</p>

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
2	(5) 照明電源切替盤 L-B1の切替			
	(a) 照明電源切替盤 L-B1-Fにて、補助電源側NFBの「ON」を確認する。	S-205		
	(b) L-B1-F盤にて、常用-非常用切替COSを「非常用」にする。	S-205		
	排水衛生設備電源の一般系から非常系への切替			
	(1) 補助電源系分電盤(1)にて、排水衛生設備電源切替盤用NFBが「ON」であることを確認する。	A-707 (#326-1)		
	(2) 屋外排水衛生設備電源切替盤用にて、非常系電源盤NFBの「ON」を確認する。	D-201		キーNo.D-70 必要
(3) 屋外排水衛生電源盤にて、切替COSを「非常用」にする。	屋 外		照明が瞬時停電する。	
(a) 非常用受電 G 点灯、常用 G 受電消灯	廃棄物処理 建家東側、 汚水排水弁 7盤内			
(b) 照明再点灯確認			施錠中カギは盤の下のピンで開ける。	

手順	操 作 ・ 確 認	場 所	チェック	備 考
1	<p>照明電源の非常系から一般系への切替え</p> <p>(1) 照明電源切替盤 L-2W-Fにて、常用-非常用切替COSを「常用」にする。</p> <p>(a) 常用 G 点灯確認</p> <p>(b) 照明再点灯確認</p> <p>(2) 照明分電盤 L-2E-Fにて、常用-非常用切替COSを「常用」にする。</p> <p>(a) 常用 G 点灯確認</p> <p>(3) 照明電源切替盤 L-B2-Fにて、常用-非常用切替COSを「常用」にする。</p> <p>(a) 常用 G 点灯確認</p> <p>(b) 照明再点灯確認</p> <p>(4) 照明電源切替盤 L-B1-Fにて、常用-非常用切替COSを「常用」にする。</p>	<p>A-706 (#321)</p> <p>A-706 (#321)</p> <p>A-707 (#357)</p> <p>A-706 (#326)</p> <p>S-201 (#648)</p>		
2	<p>排水衛生設備電源の非常系から一般系への切替</p> <p>(1) 屋外排水衛生電源盤にて、常用-非常用切替COSを「常用」にする。</p> <p>(a) 常用 G 点灯確認</p> <p>(b) 排水衛生設備電源切替盤用にて、非常系電源盤NFBを「OFF」とする。</p>	<p>屋 外 廃棄物処理 建家東側、 汚水排水ポン プ盤内 D-201</p>		<p>施錠中カギは盤の下のピンで開ける。</p> <p>キーNo.D-70 必要</p>

添付資料 - 8

電源喪失時負荷投入チェックシート

(自動・手動投入)

電源喪失時負荷自動投入確認記録 (1 / 2)

平成 3 年 10 月 19 日 土 曜 日

課 長	当直長	担 当 者

系 統 名	機 器 名	確 認 場 所	盤 No.	確 認	起 動 機 器	備 考
1 次 主 冷 却 系	A主ポンプ潤滑油ポンプ	A-712	424		1A / 2A	
	B主ポンプ潤滑油ポンプ	A-712	424		1B / 2B	
	A主ポンプ油冷却ファン	A-712	424			
	B主ポンプ油冷却ファン	A-712	424			
	オーバフロ電磁ポンプ	A-712	424			-5 cmで自動停止
2 次 補 助 冷 却 系	2次補助電磁ポンプ	A-712	425			
	2次補助電磁ポンプ冷却ファン	A-712	425		1 / 2	
格納容器雰囲気調整系	格納容器給気ファン	A-712	422		A / B	
	格納容器常用排気ファン	A-712	422		A / B	
	主ポンプ上蓋室（東側）軸流ファン	A-712	422			
	主ポンプ上蓋室（西側）軸流ファン	A-712	422			
	炉上部ピット用軸流ファン	A-712	422			
	窒素再循環ファン	A-712	422		A・B / C・D	
	機器冷却ファン	A-712	422		A / B	

系 統 名	機 器 名	確 認 場 所	盤 No.	確 認	起 動 機 器	備 考
格納容器雰囲気調整系	回転ブラグブースタブロー	A-712	422		A / B	
	アニュラス部排気ファン	A-712	422		A / B	
	遮蔽コンクリート冷却ブロー	A-712	422		A / B	
	ペDESTALブロー	A-712	422		A / B	
補機冷却水系	補機系揚水ポンプ	A-712	413		A / B	
	空調系循環ポンプ	A-712	413		A / B	
	補給水ポンプ	A-712	413		A / B	
圧縮空気供給系	空気圧縮機	A-712	422		A / B / C	
廃ガス処理系	常用廃ガス圧縮機	A-712	415		A / B	
原子炉付属建家空調換気系	接触器盤室系給気ファン	A-712	414		A / B	
	接触器盤室排気ファン	A-712	414			
	1次現場制御室系給気ファン	A-712	414		A / B	
	1次現場制御室系排気ファン	A-712	414		A / B	
	蓄電池室系給気ファン	A-712	414			
	蓄電池室系排気ファン	A-712	414			
	蓄電池室ユニットヒータ	A-704 / A-707	364 / 309			
	空調系冷却水ポンプ	A-712	414		A / B	
貫通部系	貫通部冷却系油ポンプ	A-505	227		A / B	

電源喪失時負荷手動投入確認記録 (1 / 2)

平成 3 年 10 月 19 日 土 曜 日

課 長	当直長	担 当 者

系 統 名	機 器 名	確 認 場 所	盤 No.	確 認	起 動 機 器	備 考
1 次 主 冷 却 系	1次Na純化系電磁ポンプ	A-712	424			
	自動連続式プラグング計予熱ヒータ	A-504	208			
	1次予熱ヒータ	S-504	207			
2 次 主 冷 却 系	2次純化系電磁ポンププロア	S-402	661			
	2次純化系電磁ポンプ	S-402	661			
	2次予熱ヒータ	S-501	691 / 692			
	2次系D/Tヒータ 内装ヒータOFF, 外装ヒータON	S-402	662			内装ヒータ SCI-138 外装ヒータ SCI-139 ~ -144
2 次 補 助 冷 却 系	2次補助予熱ヒータ	A-504	207			
	2次補助配管貫通部温度監視装置	A-505	230			赤マーク→ 青マークに変更
格納容器雰囲気調整系	フロン冷凍機	A-102/ A-704	011-1/ 014-1/422		A B	
原子炉付属建家空調換気系	中央制御室空調器	A-713	351		A B	
	燃料洗浄室系給気ファン	A-407 / A-704	153 / 316		NO1 NO2	

系 統 名	機 器 名	確 認 場 所	盤 No.	確 認	起 動 機 器	備 考
原子炉付属建家空調換気系	燃料洗浄室系排気ファン	A-118 / A-704	12 / 316		NO1 / NO2	
	廃ガス処理室系給気ファン	A-118 / A-704	12 / 316		NO1 / NO2	
	廃ガス処理室系排気ファン	A-118 / A-704	12 / 316		NO1 / NO2	
	パワーセンタ室 (A) 給気ファン	A-704	422		NO1 / NO2	
	パワーセンタ室 (B) 給気ファン	A-707	422		NO1 / NO2	
	格換気設備室系給気ファン	A-118 / A-704	12 / 316		A - B	
	換気設備室系排気ファン	A-118 / A-704	12 / 316		A / B	
	ホット配管路系給気ファン	A-311 / A-704	25 / 316		A / B	
	ホット配管路系排気ファン	A-215 / A-704	25 / 316		A / B	
補機冷却水系	空調系冷却塔ブロー	A-712	413		A / B	温度高で自動起動もする。
F F D 系	CG法用コンプレッサ及びブロー	R-601	564			
	プレシピテータ	R-601	566			
燃取設備系	各機器	A-604 A-512 R-601	291, 294 278, 551 554			燃取Grに依頼
主冷建家空調換気系	主冷空調設備	S-111 S-112	P-1盤 P-2盤			ボイラ室責任者に依頼

平成 3 年 10 月 19 日 土 曜 日

課 長	当直長	担 当 者

系 統 名	機 器 名	確 認 場 所	盤 No.	確 認	起 動 機 器	備 考
1 次 主 冷 却 系	A主ポンプ	A-712	424			
	B主ポンプ	A-712	424			
	オーバフロー系電磁ポンプ	A-712	424			
	1次純化系CT送風機	A-712	424			
	自動連続式プラグイン計	A-712	420			
2次主・補助冷却系	A主ポンプ潤滑油ポンプ	A-712	425		1A 2A	
	B主ポンプ潤滑油ポンプ	A-712	425		1B 2B	
	A主ポンプ冷却ファン	A-712	425		○1A 2A	
	B主ポンプ冷却ファン	A-712	425		○1B 2B	
	A主ポンプ抵抗ファン	A-712	425		1A 2A	
	B主ポンプ抵抗ファン	A-712	425		1B 2B	
	A主ポンプ	A-712	425			
	B主ポンプ	A-712	425			

系 統 名	機 器 名	確 認 場 所	盤 No.	確 認	起 動 機 器	備 考
格納容器雰囲気調整系	格納容器雰囲気調整系 冷凍設備 冷却水ポンプ	A-103	-		NO1 NO2	
	チリングユニット	A-103	-		NO1 NO2	
原子炉付属建家空調換気系	水冷却池室系給気ファン	A-704	316		A - B	
	水冷却池室系排気ファン	A-704	316		A - B	
	1次Arバルブ室系給気ファン	A-704	316		A - B	
	1次Arバルブ室系排気ファン	A-704	316		A - B	
	装填燃料貯蔵室系空調器	A-704	316		A - B	
	装填燃料貯蔵室系排気ファン	A-704	316		A - B	
	圧空供給系給気ファン	A-407	153			
	圧空供給系排気ファン	A-407	153			
	計算機用空調器	A-704	316			
	ホット実験室空調器	A-704	316			
	外気取入ファン	A-311	31		○	
	屋上エレベータ室給気ファン	A-712	414		○	
	屋上エレベータ室排気ファン	A-712	414		○	
	真空給水ポンプ	A-311	-		A B	
補機冷却水系	補機冷却塔ブロア	A-712	413		A B	

系 統 名	機 器 名	確 認 場 所	盤 No.	確 認	起 動 機 器	備 考
予 熱 N ₂ ガ ス 系	予熱N ₂ ガスプロア油ポンプ	A-504	205		A / B	
そ の 他	1・2号DGターニング	S-125 / S-130	622 / 632			
	電力用コンデンサ	S-201	641 / 642			

添付資料 - 9

電源喪失に伴う付属空調復旧操作

電源喪失に伴う付属空調復旧操作

電喪に伴う付属空調復旧操作を以下に示す。特に電子式調節系に交換した系統のみについて記す。

	復 旧 操 作	確認チェック
1	コントローラのモードスイッチをAにして、ファンを起動する。	
2	コントローラは予めセットされた値（プリセット値）より制御し始めるが、そのプリセット値にて運転し続ける可能性があるため、ファン起動後コントローラ前面操作パネルSV操作ボタンにて設定値を設定する。（設定値は下表参照）	
3	SV値を設定することにより、PV（設定値）が追従し、安定することを確認する。	

*なお、水冷却池室系給気ファンの運転時では、Aモードにてファン起動をすると室圧が良好に制御できなくなりファントリップの可能性があるので、Mモードにて、MV操作ボタンを押してダンパ開度50%に設定しファン起動後PV値がSV値と一致する様MV操作ボタンを押す。室圧が安定した後は、M→Aモードスイッチを切替える。

設 定 値 表

系 統	給・排	場 所	設 定 値	系 統	給・排	場 所	設 定 値
水冷却池室系	給気	A-407	-10 mmH ₂ O	燃料洗浄室系	給気	A-210	-10 mmH ₂ O
	排気	A-215	95 mmH ₂ O		排気	A-215	115 mmH ₂ O
廃ガス処理室系	給気	A-104	-10 mmH ₂ O	ホット配管路系	排気	A-215	80 mmH ₂ O

添付資料 - 1 0

1 次主ポンプ潤滑油温度監視記録

1 次主ポンプ A 潤滑油温度監視記録

平成 3 年 月 日

時 間	室温 (°C)	油温 (°C)	時 間	室温 (°C)	油温 (°C)
:			:		
:			:		
:			:		
:			:		
:			:		
:			:		
:			:		
:			:		
:			:		
:			:		
:			:		

※ 潤滑油温度高ANN : 75°C

添付資料 - 1 1

弁ロックリスト

I. 弁 ロ ッ ク リ ス ト

(1) 管理区域

(1 / 5)

弁 番 号	弁 名 称	系 統	弁ロック方法	電 源	流体名	場 所	タグ管理	
							取付け	取外し
V84-129	遮蔽コンクリート冷却系 冷却器用給水弁	格納容器 雰囲気調整系	開ロック (ロックピンにて固定する)	6C系	水	A-202		
V76-30	1次純化系冷却ガス 冷却器用給水弁	補機冷却水系	開ロック (ロックピンにて固定する)	6S系	水	A-207		
V34.1-29	1次純化系冷却ガス 冷却器用給水弁	1次Na純化系	開ロック (手動ハンドルを、開方向へ 回らなくなるまでまわす)	7S系	水			
V84-40	床上排気隔離弁	格納容器 雰囲気調整系	開ロック (手動ボタンを押し、テープ などで固定する)	6D系	空 気	A-304		
V84-41	床上排気ライン バックアップ弁	格納容器 雰囲気調整系	開ロック (手動ボタンを押し、テープ などで固定する)	6C系	空 気	A-204		
V84-202	格納容器 差圧検出ライン隔離弁	格納容器 雰囲気調整系	開ロック (手動ボタンを押し、テープ などで固定する)	6D系	空 気	A-311		
V71-44	予熱N ₂ ガス系 潤滑油冷却水止弁	予熱N ₂ ガス系	開ロック (手動ハンドルを、開方向へ 回らなくなるまでまわす)	7S系	水	A-208		
V76-31	予熱N ₂ ガスブロウ 入口遮断弁	補機冷却水系	開ロック (手動ハンドルを、NEUTRAL 方向 へ回らなくなるまでまわす)	6S系	水			

(2) 格 内

(2 / 5)

弁 番 号	弁 名 称	系 統	弁ロック方法	電 源	流体名	場 所	タグ管理	
							取付け	取外し
V36.1-14A	1次主ポンプ軸封ガス遮断弁	1次A,ガス系	開ロック (開確認後、ハンドルをOPEN位置に切り替える)	7S系	A,ガス	R-303		
V36.1-14B	1次主ポンプ軸封ガス遮断弁	1次A,ガス系	開ロック (開確認後、ハンドルをOPEN位置に切り替える)	7S系	A,ガス			
V36.1-36	1次A,ガス供給遮断弁	1次A,ガス系	開ロック (手動ハンドルを、開方向へ回らなくなるまでまわす)	7S系	A,ガス			
V84-39	床上排気隔離弁	格納容器 雰囲気調整系	開ロック (手動ボタンを押し、テープなどで固定する)	6C系	空 気			
V84-18	床上給気隔離弁	格納容器 雰囲気調整系	開ロック (手動ボタンを押し、テープなどで固定する)	6C系	空 気	R-601		
V84-203	格納容器 差圧検出ライン隔離弁	格納容器 雰囲気調整系	開ロック (手動ボタンを押し、テープなどで固定する)	6C系	空 気	R-412		
V73-13	A,ガス系隔離弁	A,ガス供給系	開ロック (ギャグ取り付け)	6C系	A,ガス	R-501		
V74-6	N ₂ ガス系隔離弁	N ₂ ガス供給系	開ロック (ギャグ取り付け)	6C系	N ₂ ガス			
V84-191	圧縮空気供給隔離弁	格納容器 雰囲気調整系	開ロック (手動ボタンを押し、テープなどで固定する)	6C系	圧縮空気	R-401		
V84-190	圧縮空気供給隔離弁	格納容器 雰囲気調整系	開ロック (手動ボタンを押し、テープなどで固定する)	6D系	圧縮空気	アニュラス部		

(3) 保全区域 (1 / 2)

(3 / 5)

弁番号	弁名称	系統	弁ロック方法	電源	流体名	場所	タグ管理	
							取付け	取外し
V76-28	廃棄物処理建家用給水弁	補機冷却水系	開ロック (手動ハンドルを、NEUTRAL 方向へ回らなくなるまでまわす)	6S系	水	A-802 (屋上)		
V76-35	補助水槽バックアップ弁	補機冷却水系	閉ロック (ロックピンにて固定する)	6S系	水	A-802 (屋上)		
V76-15A	空調系冷却塔入口弁	補機冷却水系	開ロック (ロックピンにて固定する) (通常 開ロック中)	6C系	水	A-802 (屋上)		
V76-15B	空調系冷却塔入口弁	補機冷却水系	開ロック (ロックピンにて固定する) (通常 開ロック中)	6D系	水	A-802 (屋上)		
V76-24A	補機系冷却塔入口弁	補機冷却水系	開ロック (ロックピンにて固定する) (通常 開ロック中)	6C系	水	A-802 (屋上)		
V76-24B	補機系冷却塔入口弁	補機冷却水系	開ロック (ロックピンにて固定する) (通常 開ロック中)	6D系	水	A-802 (屋上)		
V76-29	圧縮空気供給系給水弁	補機冷却水系	開ロック (手動ハンドルを、NEUTRAL 方向へ回らなくなるまでまわす)	6S系	水	A-405		
V84-17	床上給気隔離弁	格納容器 雰囲気調整系	開ロック (ボタンをマイナスドライバーにて押し込んで、右に回し固定する)	6D系	空気	A-706		
V84-193	床上排気ライン バックアップ弁	格納容器 雰囲気調整系	開ロック (ロックピンにて固定する)	6C系	N ₂ ガス	A-401		
V73-12	A ₁ ガス系隔離弁	A ₁ ガス供給系	開ロック (ギャグ取り付け)	6D系	A ₁ ガス	A-306		
V74-5	N ₂ ガス系隔離弁	N ₂ ガス供給系	開ロック (ギャグ取り付け)	6D系	N ₂ ガス	A-305		

(3) 保全区域 (2 / 2)

(4 / 5)

弁番号	弁名称	系統	弁ロック方法	電源	流体名	場所	タグ管理	
							取付け	取外し
B.32.2-1	補助送風機入口ベーン	2次補助冷却系	閉ロック (HAND ↔ AUTO切替え ハンドルをHAND位置にする)	7S系	空気	A-505		
DP32.2-2	補助冷却器入口ダンパ	2次補助冷却系	閉ロック (HAND ↔ AUTO切替え ハンドルをHAND位置にする)	7S系	空気			

(4) 主冷却機建家

(5 / 5)

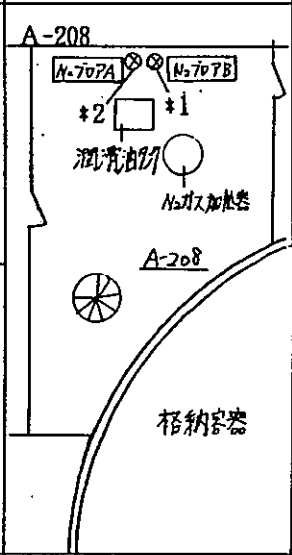
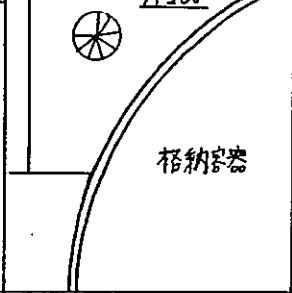
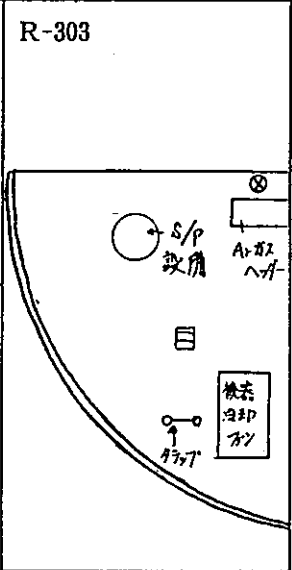
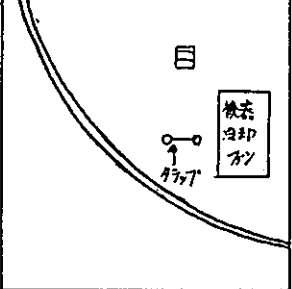
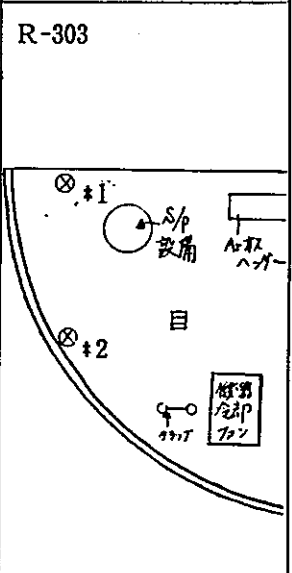
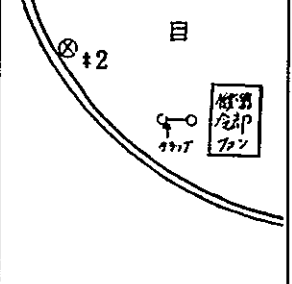
弁番号	弁名称	系統	弁ロック方法	電源	流体名	場所	タグ管理	
							取付け	取外し
B.31.2-1A	主送風機1A入口ベーン	2次主冷却系	閉ロック (HAND ↔ AUTO切替え ハンドルをHAND位置にする)	7C系	空気	S-403		
B.31.2-2A	主送風機2A入口ベーン	2次主冷却系	閉ロック (HAND ↔ AUTO切替え ハンドルをHAND位置にする)	7C系	空気			
DP31.2-1A	主冷却器1A1入口ダンパ	2次主冷却系	閉ロック (HAND ↔ AUTO切替え ハンドルをHAND位置にする)	7C系	空気			
	主冷却器1A2入口ダンパ							
DP31.2-3A	主冷却器2A1入口ダンパ	2次主冷却系	閉ロック (HAND ↔ AUTO切替え ハンドルをHAND位置にする)	7C系	空気			
	主冷却器2A2入口ダンパ							
B.31.2-1B	主送風機1B入口ベーン	2次主冷却系	閉ロック (HAND ↔ AUTO切替え ハンドルをHAND位置にする)	7D系	空気	S-419		
B.31.2-2B	主送風機2B入口ベーン	2次主冷却系	閉ロック (HAND ↔ AUTO切替え ハンドルをHAND位置にする)	7D系	空気			
DP31.2-1B	主冷却器1B1入口ダンパ	2次主冷却系	閉ロック (HAND ↔ AUTO切替え ハンドルをHAND位置にする)	7D系	空気			
	主冷却器1B2入口ダンパ							
DP31.2-3B	主冷却器2B1入口ダンパ	2次主冷却系	閉ロック (HAND ↔ AUTO切替え ハンドルをHAND位置にする)	7D系	空気			
	主冷却器2B2入口ダンパ							

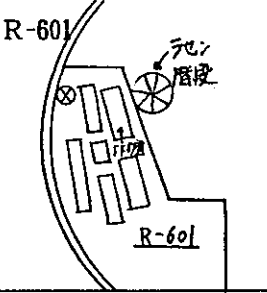
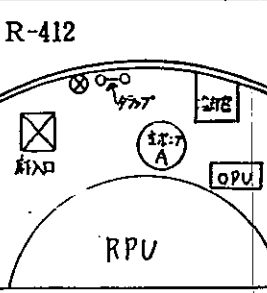
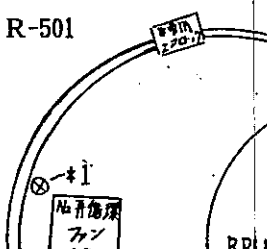
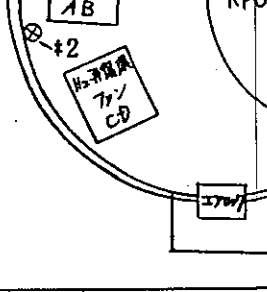
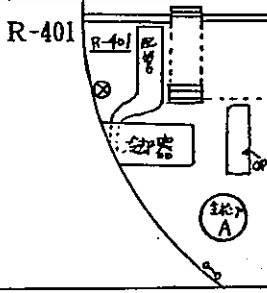
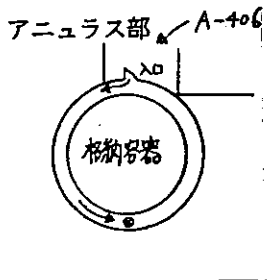
Ⅱ. 弁ロック方法及び注意事項

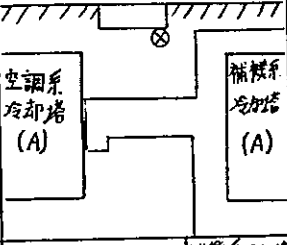
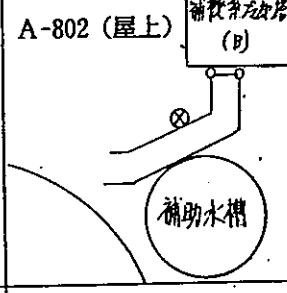
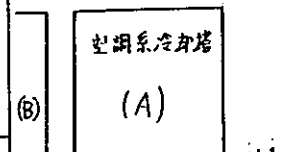
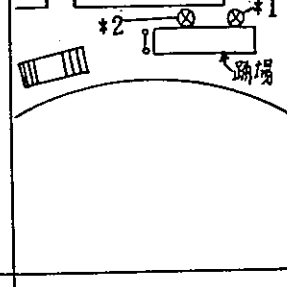
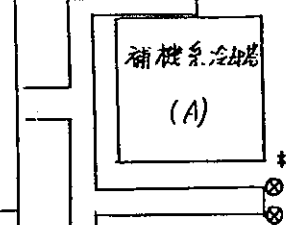
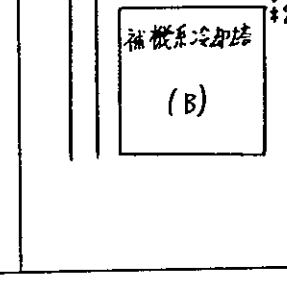
(1 / 6)

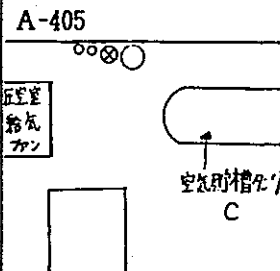
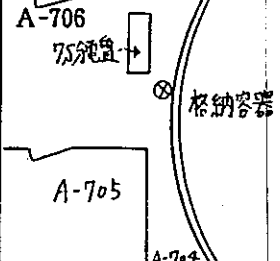
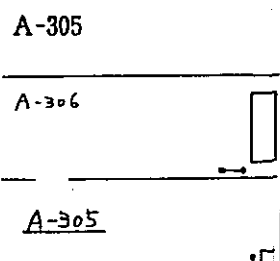
弁番号	弁名称	弁ロック方法及び注意事項	場 所
V 8 4 - 1 2 9 (KEY No. A-64-18 と A-6が必要)	遮蔽コンクリート冷却系 冷却器用給水弁	開であることを、現場のバルブ開度指示計にて確認し、ハンドルを回して、ハンドルのシャフトとピストンのシャフトの穴を合わせ、そこに、ロックピンを差し込む。 (開ロック) 添付資料-5	A-202 格納容器 A-204 A-201 A-20 A-202
V 7 6 - 3 0	1次純化系冷却ガス 冷却器用給水弁	*1 開であることを、現場のバルブ開度指示計にて確認し、ロックピンを差し込む。 (開ロック) 添付資料-7	A-207 N ₂ ガス冷却器 CT冷却器 監視装置
V 3 4 . 1 - 2 9	1次純化系冷却ガス 冷却器用給水弁	*2 バルブハンドルを開方向に、回らなくなるまで回した後、ギャグを取り付ける。 (開ロック) 添付資料-3	*1 *2
V 8 4 - 4 0	床上排気隔離弁	電磁弁の手動ボタン（白色）を押し込み、テープなどで固定する。 (開ロック) 添付資料-1	A-304 格納容器 A-304 バルブ操作室
V 8 4 - 4 1 (KEY No. A-64-10 が必要)	床上排気ライン バックアップ弁	電磁弁の手動ボタン（白色）を押し込み、テープなどで固定する。（電磁弁は、地上約2mの踊場上にあり、高所作業となるので、十分注意すること。）（開ロック) 添付資料-2	A-204 格納容器 A-204 A-202
V 8 4 - 2 0 2	格納容器 差圧検出ライン隔離弁	電磁弁の手動ボタン（白色）を押し込み、テープなどで固定する。 (開ロック) 添付資料-1	A-311 格納容器 A-311 階段

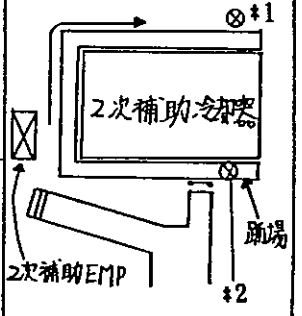
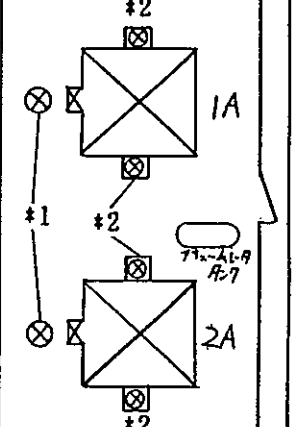
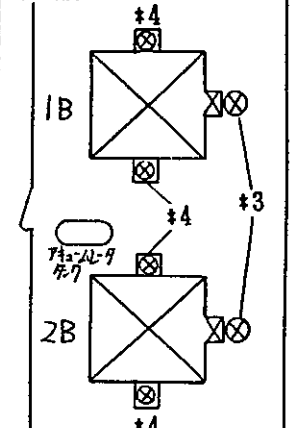
注. ⊗ 印は、バルブの位置を示す。

弁番号	弁名称	弁ロック方法及び注意事項	場所
V71-44	予熱N ₂ ガス系 潤滑油冷却水止弁	*1 バルブハンドルを開方向に、回らなくなるまで回す。(バルブは、予熱N ₂ ガスプロアAとBの中間にある。) (開ロック) 添付資料-3	
V76-31	予熱N ₂ ガスプロア 入口遮断弁	*2 現場のバルブ開度指示計にて、開の状態を確認し OPEN ↔ NEUTRAL ハンドルをNEUTRAL 方向に回し少し固くなった所で止める。 (開ロック)	
V36.1-14A	1次主ポンプ軸封ガス 遮断弁	中制のバルブ開閉表示灯にて、開の状態を確認後 OPEN ↔ SHUT or AUTO ハンドルをOPEN位置にする。 (開ロック) 添付資料-6	
V36.1-14B	1次主ポンプ軸封ガス 遮断弁	中制のバルブ開閉表示灯にて、開の状態を確認後 OPEN ↔ SHUT or AUTO ハンドルをOPEN位置にする。 (開ロック) 添付資料-6	
V36.1-36	1次A _r ガス供給遮断弁	*1 バルブハンドルを開方向に、回らなくなるまで回す。 (開ロック) 添付資料-3	
V84-39	床上排気隔離弁	*2 電磁弁の手動ボタン (白色) を押し込み、テープなどで固定する。 (開ロック) 添付資料-1	

弁番号	弁名称	弁ロック方法及び注意事項	場 所
V84-18	床上給気隔離弁	電磁弁の手动ボタン（白色）を押し込み、テープなどで固定する。（電磁弁は地上約2m上方にあり、高所作業となるので十分注意すること。） （開ロック） 添付資料-1	
V84-203	格納容器 差圧検出ライン隔離弁	電磁弁の手动ボタン（白色）を押し込み、テープなどで固定する。 （開ロック） 添付資料-1	
V73-13	A. ガス系隔離弁	*1 弁棒にギャグを取り付け、弁棒が動かないように固定する。 （ギャグは現場に保管されている。） （開ロック） 添付資料-4	
V74-6	N ₂ ガス系隔離弁	*2 弁棒にギャグを取り付け、弁棒が動かないように固定する。 （ギャグは現場に保管されている。） （開ロック） 添付資料-4	
V84-191	圧縮空気供給隔離弁	電磁弁の手动ボタン（白色）を押し込み、テープなどで固定する。（配管をくぐり抜けなければならないので、十分注意すること。） （開ロック） 添付資料-1	
V84-190 (KEY No. A-64-16 が必要)	圧縮空気供給隔離弁	電磁弁の手动ボタン（白色）を押し込み、テープなどで固定する。（電磁弁は、A-406のハッチの反対側にある。） （開ロック） 添付資料-1	

弁番号	弁名称	弁ロック方法及び注意事項	場 所
V76-28	廃棄物処理建屋用給水弁	現場のバルブ開度指示計にて、開の状態を確認し OPEN ↔ NEUTRAL ハンドルをNEUTRAL 方向に回し少し固くなった所で止める。 (開ロック)	A-802 (屋上) 
V76-35	補助水槽バックアップ弁	通常中製の413 盤のCSにて閉中なので、閉であることを、現場のバルブ開度指示計にて確認し、ロックピンにて固定する。 (注. このバルブだけは、閉ロックである。) 添付資料-7	A-802 (屋上) 
V76-15A	空調系冷却塔入口弁 (通常 開ロック中)	*1 開の状態でロックピンにて固定する。 (現在は、開ロック中なので操作の必要なし。) 添付資料-7	A-802 (屋上) 
V76-15B	空調系冷却塔入口弁 (通常 開ロック中)	*2 開の状態でロックピンにて固定する。 (現在は、開ロック中なので操作の必要なし。) 添付資料-7	
V76-24A	補機系冷却塔入口弁 (通常 開ロック中)	*1 開の状態でロックピンにて固定する。 (現在は、開ロック中なので操作の必要なし。) 添付資料-7	A-802 (屋上) 
V76-24B	補機系冷却塔入口弁 (通常 開ロック中)	*2 開の状態でロックピンにて固定する。 (現在は、開ロック中なので操作の必要なし。) 添付資料-7	

弁番号	弁名称	弁ロック方法及び注意事項	場所
V76-29	圧縮空気供給系給水弁	現場のバルブ開度指示計にて、開の状態を確認しOPEN ↔ NEUTRAL ハンドルをNEUTRAL 方向に回し少し固くなった所で止める。 (開ロック)	 <p>A-405 圧縮空気 タンク 空気貯槽 C</p>
V84-17	床上給気隔離弁	電磁弁の手動ボタン（白色）を押し込み、テープなどで固定する。（電磁弁は、地上約2.5 mの所にあるので、脚立が必要である。） (開ロック) 添付資料-1	 <p>A-706 75分 格納容器 A-705 A-704</p>
V84-193 (KEY No. D-8 が必要)	床上排気ライン バックアップ弁	通常中製の422 盤のCSにて開中なので、開であることを、現場のバルブ開度指示計にて確認しハンドルを回して、ハンドルのシャフトとピストンのシャフトの穴を合わせ、そこに、ロックピンを差し込んで固定する。（開ロック） 添付資料-5	 <p>A-401 エレベーター 出庫機 A-401</p>
V73-12	A. ガス系隔離弁	現場のバルブ開度指示計にて、開の状態を確認し弁棒にギャグを取り付け、弁棒が動かないように固定する。 (ギャグは現場に保管されている) (開ロック) 添付資料-4	 <p>A-306 踊場 A-305 A-305</p>
V74-5	N ₂ ガス系隔離弁	現場のバルブ開度指示計にて、開の状態を確認し弁棒にギャグを取り付け、弁棒が動かないように固定する。（バルブは、A-306中段の踊場上にあり高所作業となるので、十分注意すること。ギャグは現場に保管されている。）（開ロック） 添付資料-4	 <p>A-305 A-306 A-305</p>

弁番号	弁名称	弁ロック方法及び注意事項	場 所
B. 32. 2-1	補助送風機入口ベーン	*1 ベーンが、全閉であることを確認し、ドライブユニットの、HAND ↔ AUTO切替えハンドルをHAND位置にし、ベーンの開・閉レバーのネジを締め固定する。(補助冷却器の裏側にある) (閉ロック)	A-505 
DP 32. 2-2	補助冷却器入口ダンパ	*2 ダンパが、全閉であることを確認し、ドライブユニットの、HAND ↔ AUTO切替えハンドルをHAND位置にする。(閉ロック)	
B. 31. 2-1 A B. 31. 2-2 A	主送風機 1 A 入口ベーン 主送風機 2 A 入口ベーン	*1 ベーンが、全閉であることを確認し、ドライブユニットの、HAND ↔ AUTO切替えハンドルをHAND位置にし、ベーンの開・閉レバーのネジを締め固定する。(閉ロック)	S-403 
DP 31. 2-1 A DP 31. 2-3 A	主冷却器 1A1 入口ダンパ 主冷却器 1A2 入口ダンパ 主冷却器 2A1 入口ダンパ 主冷却器 2A2 入口ダンパ	*2 ダンパが、全閉であることを確認し、ドライブユニットの、HAND ↔ AUTO切替えハンドルをHAND位置にする。(閉ロック)	
B. 31. 2-1 B B. 31. 2-2 B	主送風機 1 B 入口ベーン 主送風機 2 B 入口ベーン	*3 ベーンが、全閉であることを確認し、ドライブユニットの、HAND ↔ AUTO切替えハンドルをHAND位置にし、ベーンの開・閉レバーのネジを締め固定する。(閉ロック)	S-419 
DP 31. 2-1 B DP 31. 2-3 B	主冷却器 1B1 入口ダンパ 主冷却器 1B2 入口ダンパ 主冷却器 2B1 入口ダンパ 主冷却器 2B2 入口ダンパ	*4 ダンパが、全閉であることを確認し、ドライブユニットの、HAND ↔ AUTO切替えハンドルをHAND位置にする。(閉ロック)	

Ⅲ. バルブ状態図

添付資料 - 1

対象弁 - V84-17、V84-18、V84-39、V84-40、V84-190
 V84-191、V84-202、V84-203

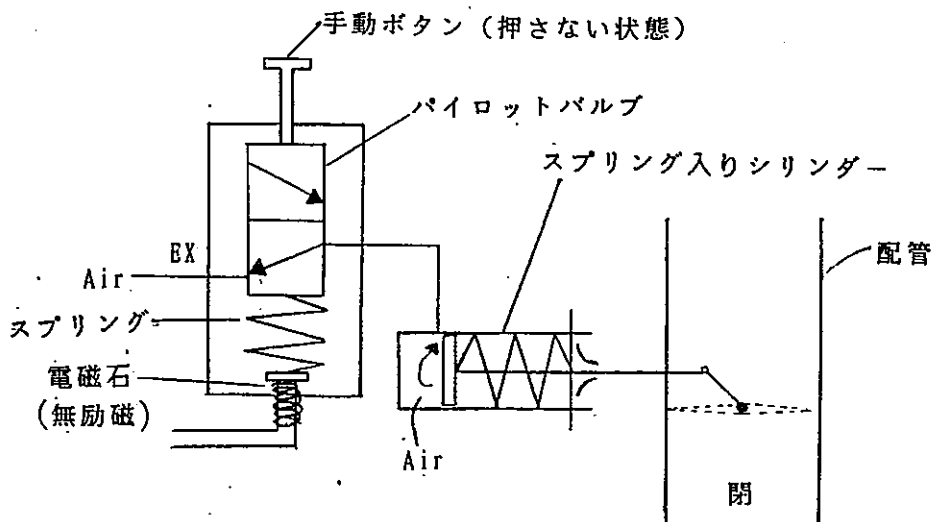


図-1 閉状態

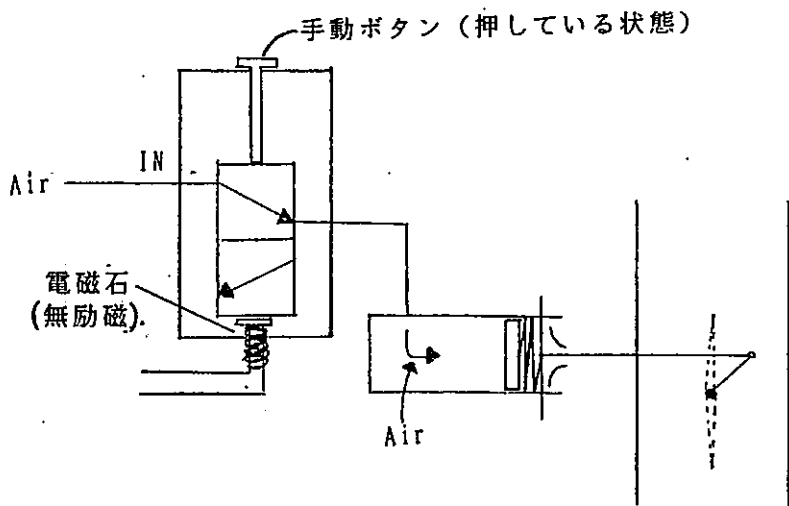


図-2 開ロック状態

バルブの動作は、図-1に示すように制御電源が無くなった場合、パイロットバルブが無励磁となり、スプリングの力により押し上げられ、弁駆動用シリンダー内の圧縮空気が放出されバルブは閉になる。

又、励磁された場合、電磁石の力によりパイロットバルブが引き下げられ、弁駆動用シリンダー内に圧縮空気が供給されバルブは開になる。

弁ロックは、図-2に示すように、手動ボタンを押して固定することにより、制御電源が喪失した時でも、パイロットバルブを励磁された状態と同じ位置に保持することが出来る。

対象弁 - V 8 4 - 4 1

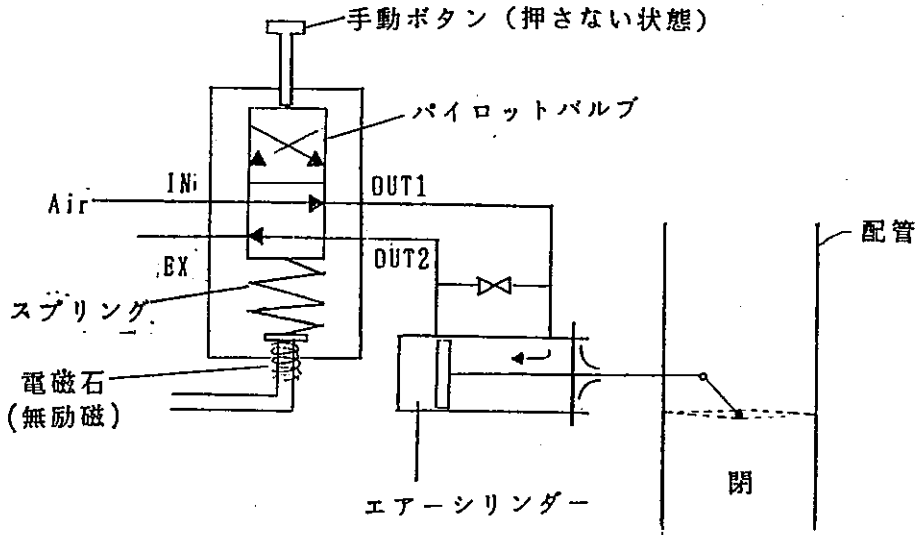


図-1 閉状態

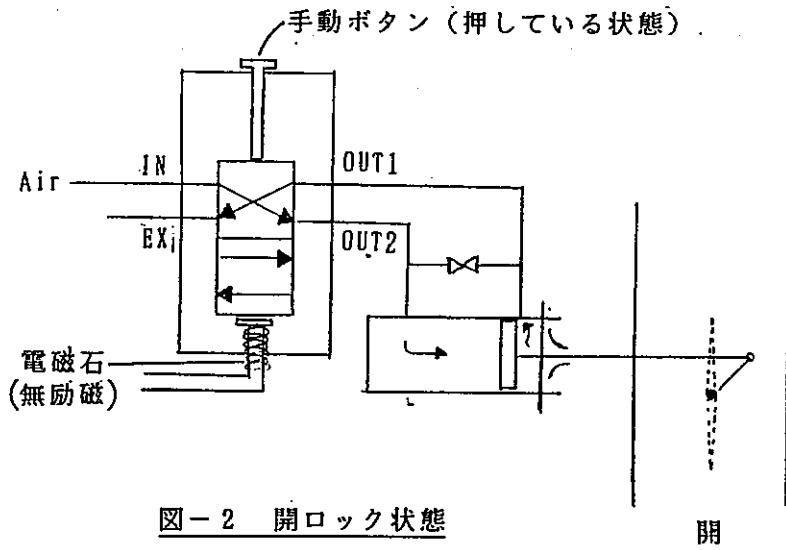


図-2 開ロック状態

動作原理は、添付資料-1と同様

対象弁 - V34. 1-29、V36. 1-36、V71-44

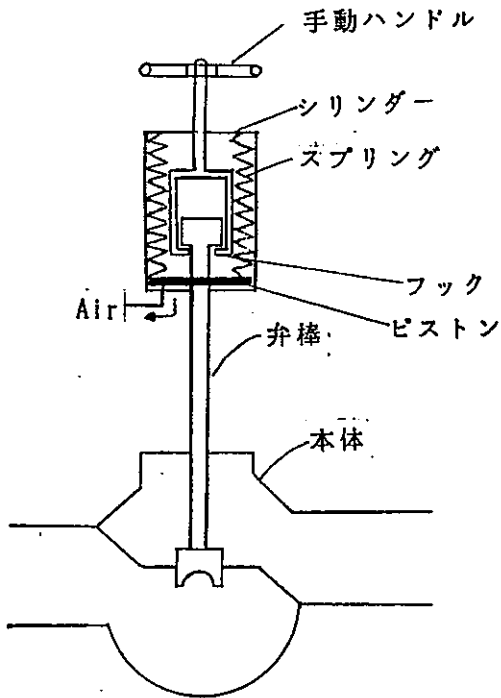


図-1 閉状態

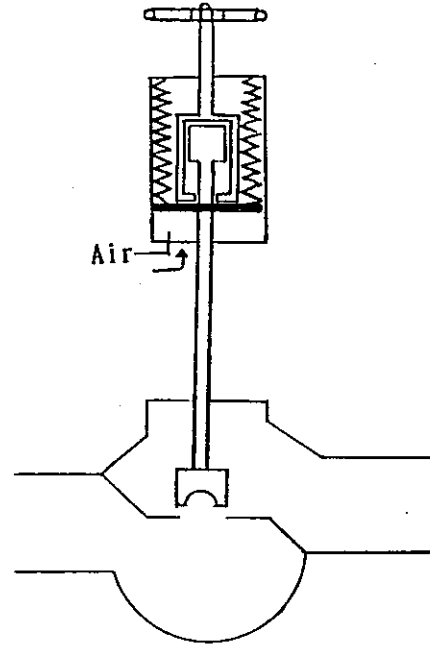


図-2 開状態

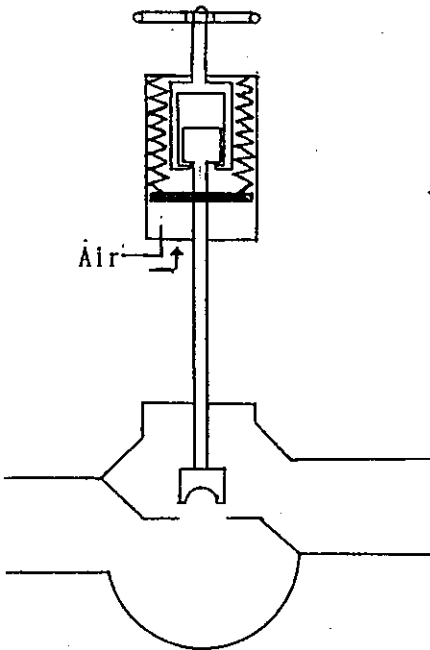
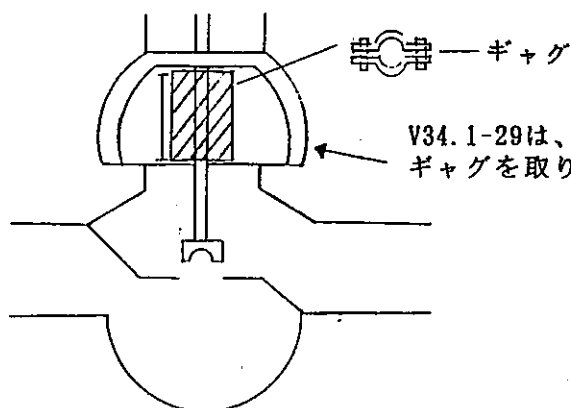


図-3 開ロック状態

バルブの動作は、電磁弁が励磁されている時には、電磁弁を介して、図-2に示すように、弁駆動用シリンダー下部から圧縮空気が供給されて、ピストンが押し上げられバルブは開になる。

又、無励磁になった時には、図-1に示すように、シリンダー下部から圧縮空気が電磁弁を介して抜け、スプリングの力によりピストンが押し下げられバルブは閉になる。

弁ロックは、図-2に示すように、開の状態を確認し、図-3に示すように、手動ハンドルを開方向に回すことにより、手動ハンドルの先端に付いているフックが弁棒を吊り上げている状態になるので、制御電源がなくなり圧縮空気が喪失した時でも、開の状態を保持することが出来る。



対象弁-V73-12、V73-13、V74-5、V74-6

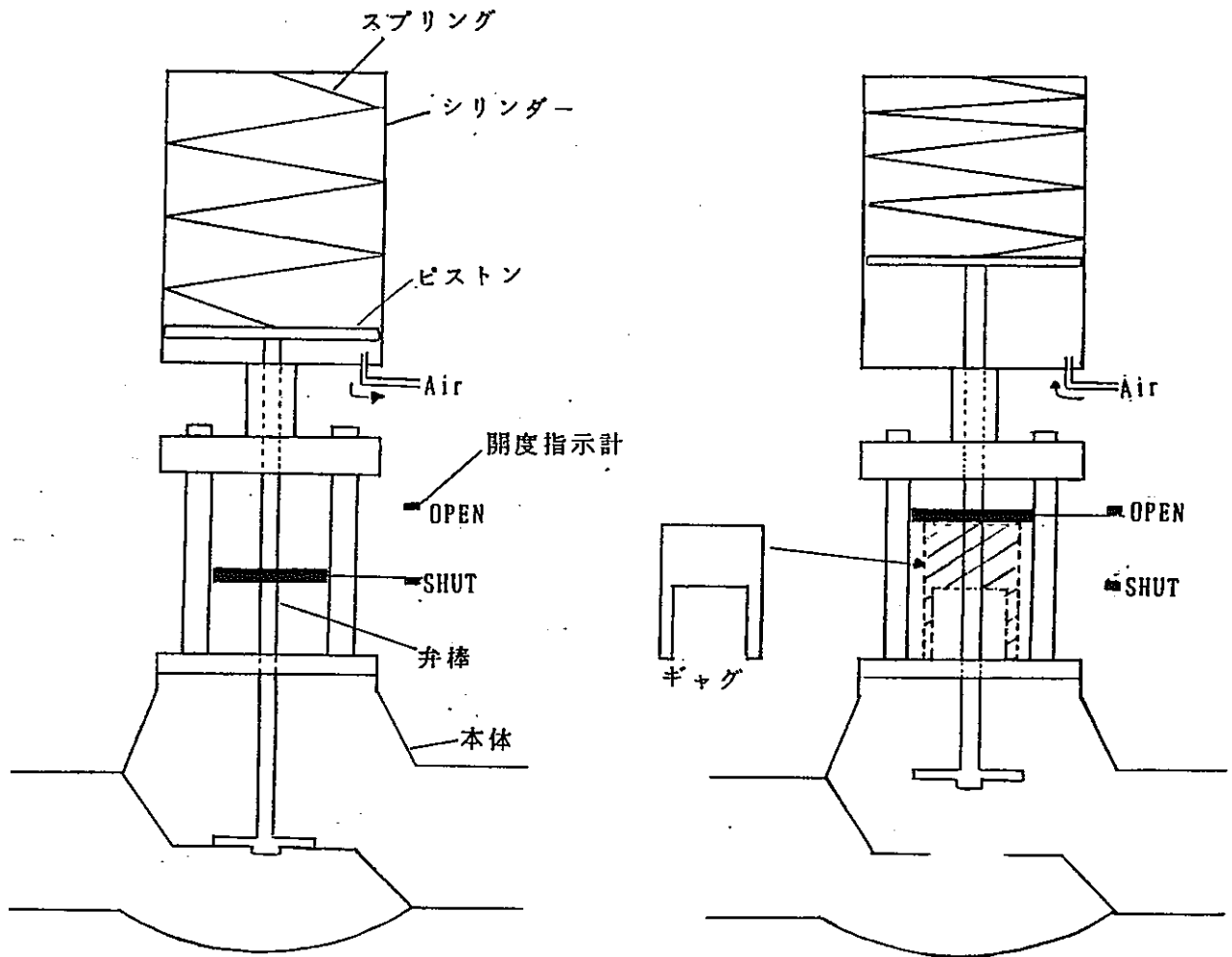


図-1 閉状態

図-2 開ロック状態

バルブの動作は、電磁弁が無励磁になっている時には、図-1に示すように、弁駆動用シリンダー下部から圧縮空気が抜け、スプリングの力によりピストンが押し下られバルブは閉になる。

又、励磁している時には、弁駆動用シリンダー下部から圧縮空気が供給されて、ピストンが押し上げられバルブは開になる。

弁ロックは、開状態を確認し、弁棒に固定されている箇所（図では、黒い部分）の下に、ギャグを差し込むことにより、制御電源がなくなり圧縮空気が喪失した時でも、開の状態を保持することが出来る。

対象弁 - V 8 4 - 1 2 9、V 8 4 - 1 9 3

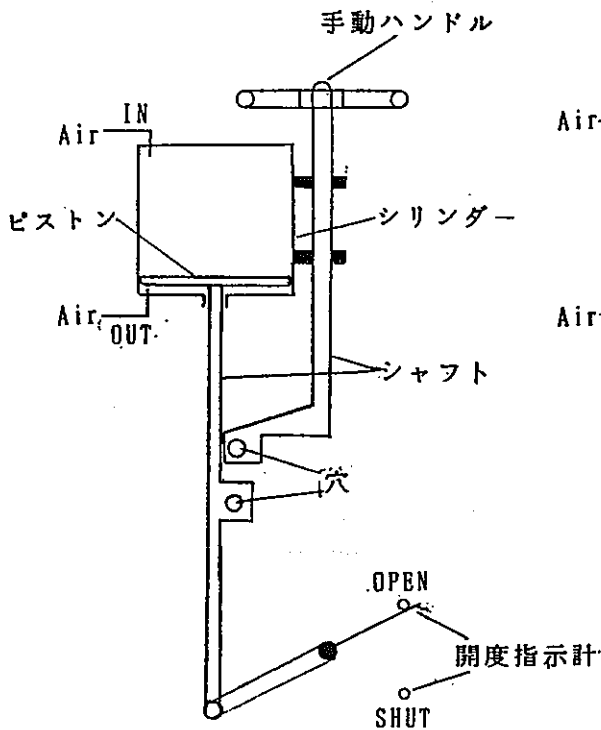


図-1 開状態

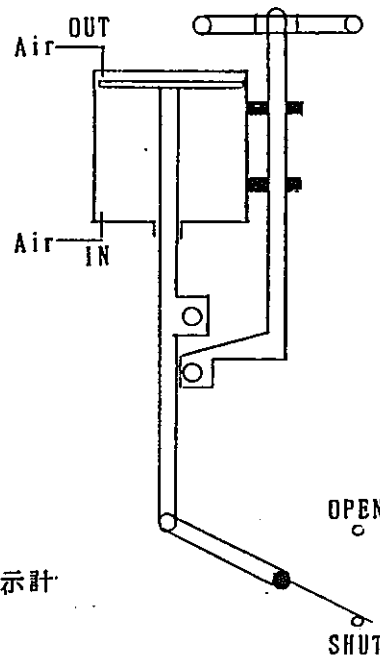


図-2 閉状態

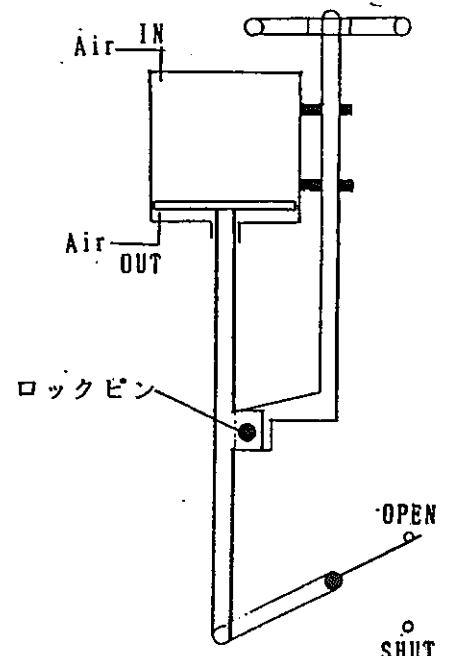


図-3 開ロック状態

バルブの動作は、電磁弁が励磁されている時には、電磁弁を介して、図-1に示すように、弁駆動用シリンダー上部から圧縮空気が供給されて、ピストンが押し下げられバルブは開になる。

又、無励磁になった時には、図-2に示すように、シリンダー下部から圧縮空気が供給されて、ピストンが押し上げられバルブは閉になる。

弁ロックは、図-3に示すように、開状態を確認し、手動ハンドルのシャフトの穴とピストンのシャフトの穴を合わせ、そこに、ロックピンを差し込み固定することにより、制御電源がなくなり圧縮空気が喪失した時でも、開の状態を保持することが出来る。

対象弁 - V36. 1-14A、V36. 1-14B

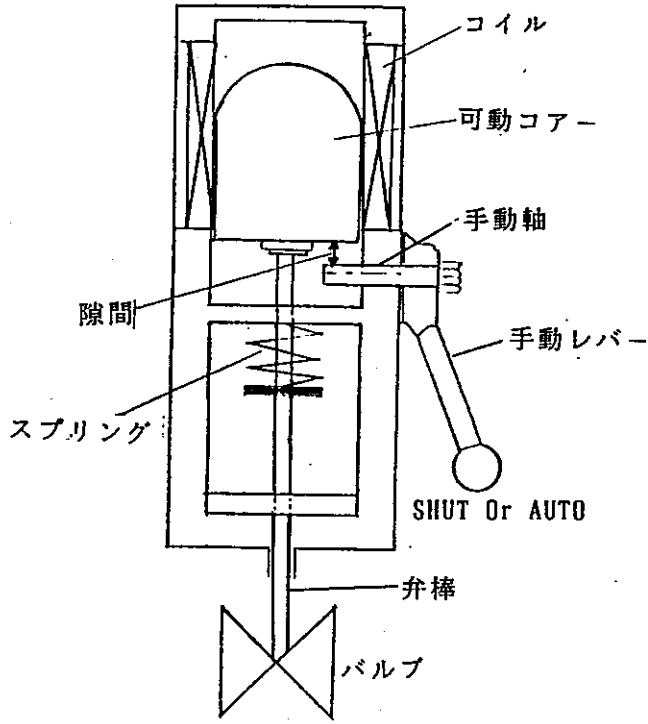


図-1 開状態

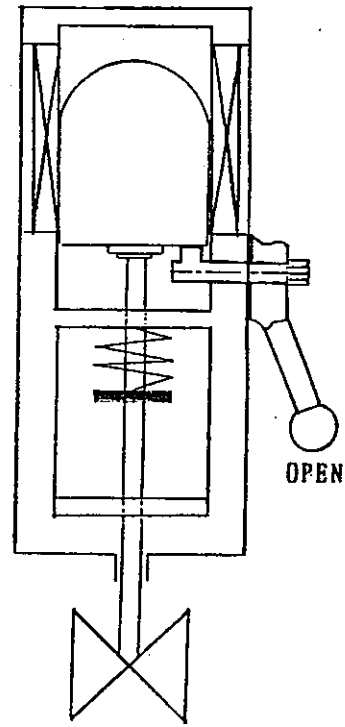


図-2 開ロック状態

このバルブは、1次主ポンプ軸封ガスの遮断弁であり配管口径が3/8Bと細いので、可動範囲(上下動)の少ない、電磁弁が使われている。

弁の動作は、図-1に示すように、可動コアと手動軸の間に約1cmの隙間があり、コイルの電源をON、OFFすることにより、この隙間を可動コアが上下しバルブの開・閉が行われる。

弁ロックは、手動レバーをOPEN位置にすることにより手動軸が回転し手動軸に取り付けられている凸部分が、図-2のように、可動コアを押し上げた状態となり開を保持する。

対象弁 - V76-15A・15B、V76-24A・24B、V76-30、V76-35

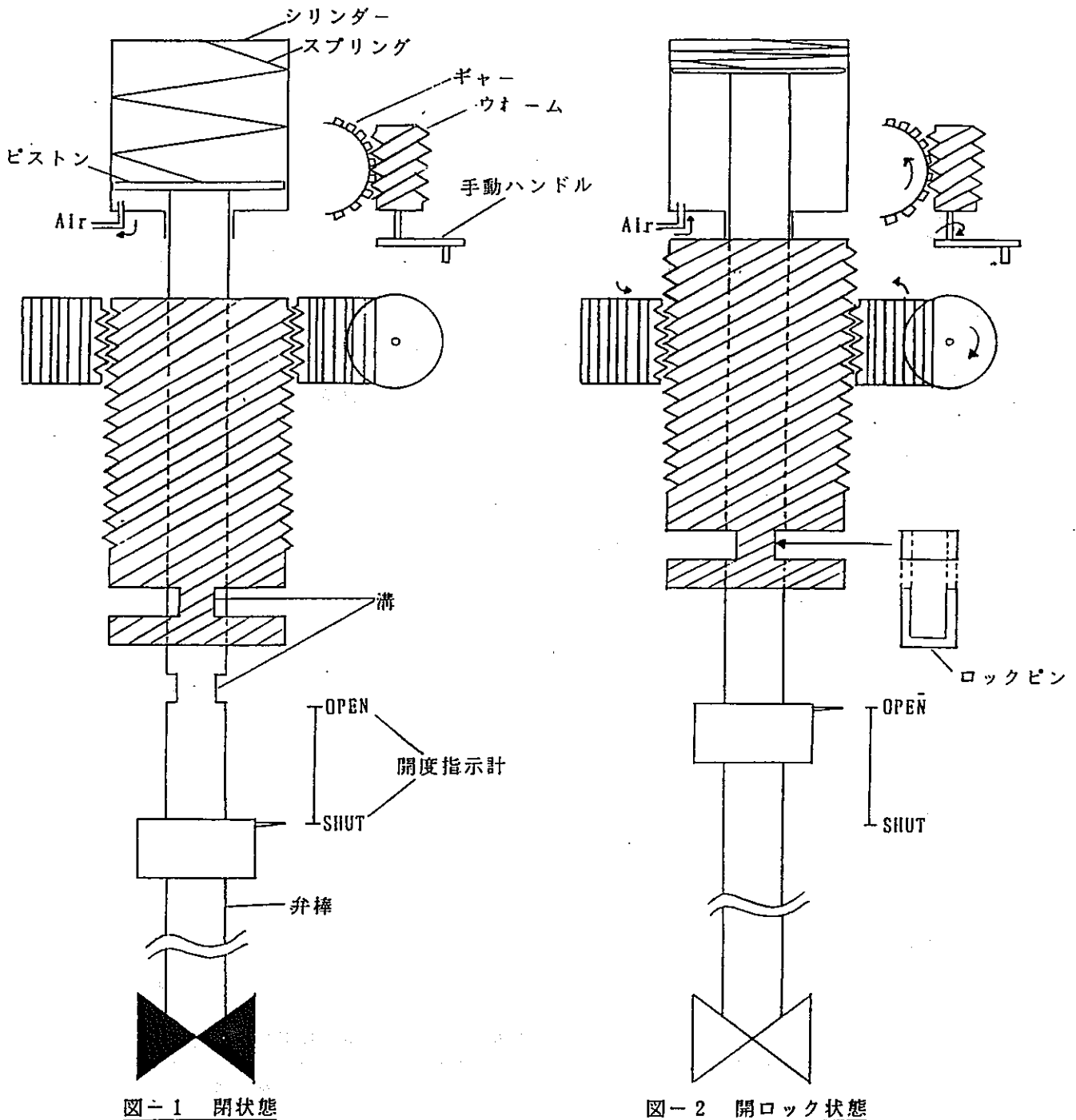


図-1 閉状態

図-2 開ロック状態

バルブの動作は、電磁弁が無励磁になっている時には、図-1に示すように、弁駆動用シリンダー下部から圧縮空気が抜け、スプリングの力によりピストンが押し下られバルブは閉になる。

又、励磁している時には、弁駆動用シリンダー下部から圧縮空気が供給されて、ピストンが押し上げられバルブは開になる。

弁ロックは、開状態を確認し、弁棒の溝と手動ハンドルで動くシャフトの溝とを合わせ、そこにロックピンを差し込むことにより、シャフトと弁棒が固定される。そのため、制御電源がなくなり圧縮空気が喪失した時でも、開の状態を保持することが出来る。

注) V76-35 (補助水槽バックアップ弁) だけは、閉ロックである。

添付資料 - 1 2

F F D - C G 法 起 動 ・ 停 止 マ ニ ュ ア ル

(1) 装置の起動操作

順序	操 作	操作場所 (盤No.)	確 認 事 項	備 考
1.	V46-5 COS 「直接・手動」確認。	R-601 (564)	R ランプ点灯	1次Arガス系と接続される。
2.	V46-5 CSを「開」にする。	R-601 (564)		
3.	V46-5 COS を「自動」にする。	R-601 (564)		
4.	V46-15 COS 「直接・手動」確認。	R-601 (564)	R ランプ点灯	
5.	V46-15 CS を「開」にする。	R-601 (564)		
6.	V46-15 COSを「自動」にする。	R-601 (564)		
7.	V46-6 COS 「直接」確認。	R-601 (564)	R ランプ点灯 FPRA46-1打点No.10の 「カバーガス圧力」で 0.01Kg/cm ²	
8.	V46-6 CSを「全開」にする。	R-601 (564)		
9.	V46-1 COS 「直接」確認。	R-601 (564)	R ランプ点灯	
10.	V46-1 CSを「全開」にする。	R-601 (564)		
11.	V46-8 を「全開」にする。	R-501 (バルブ スタンド)	R ランプ点灯, 確認は 564盤	
12.	B46-2 プロアCSを「起動」にする。	R-601 (564)	R ランプ点灯	
13.	CP46-1コンプレッサCOS 「手動」を確認する。	R-601 (564)		
14.	CP46-1コンプレッサCSを「起動」にする。	R-601 (564)		
15.	CP46-1コンプレッサCOS を「自動」にする。	R-601 (564)		
16.	V46-14 COS 「手動」確認	R-601 (564)		
17.	V46-14 COSを「自動」にする。	R-601 (564)		
18.	V46-2 の開度をCSで調整する。	R-601 (564)	FPR46-2 ch1 「カバー ガス流量」が120 ~130 ℓ/min を示すこと。	

順序	操 作	操作場所 (盤No.)	確 認 事 項	備 考
19.	V46-10の開度を調整する。	R-501 (バルブ スタンド)	FE46-3ページガス流量 が0.10ℓ/min あるこ と。	
20.	V46-2 の開度をCSで調整する。	R-601 (564) R-409	FPR46-2 ch2 「サンプ ルガス流量」が350mℓ /min あること。 PI46-11 「コンプレッ サ吐出圧」が0.8kg/cm ² 以下であること。	通常 0.5kg/cm ²
21.	下記弁COS を「遠方」にする。 (1) 「V46- 1」 (2) 「V46-15」 (3) 「V46- 5」 (4) 「V46- 6」	R-601 (564)		本操作によ り中制 (429) のPB で開, 閉が できる。
22.	最終的な運転状態確認		弁状態表「起動」によ る。	
23.	プレシピテータコンソール MAIN POWER SW を「ON」にする。	R-601 (566)	MAIN POWER SW ラン プ点灯 8 個のANN点灯	
24.	プレシピテータコンソール RESET SWを「ON」にする。	R-601 (566)	ANN消灯	
25.	プレシピテータ電圧及び設定値を確認 する。	R-601 (566)	プレシピテータ高圧 500V設定フォトマル高 圧1.5kV 設定 ソークタイム600sec設 定	
26.	プレシピテータコンソール PUSH STARTを「ON」にする。 〔1次系ガスクロの運転〕	R-601 (566)	プレシピテータがカウ ントを開始する。	
27.	キャリアガス流通 (1) プロセッサラック裏側のNFB- 1 及 びNFB- 2 を「ON」にする。 (2) V36.1-84を「開」とする。	中 制 (453) 中 制 (453)	プロセッサパネル内 HTR ランプ点灯 R ランプ点灯	* NFB- 2 が 弁の電源と なっている

順序	操 作	操作場所 (盤No.)	確 認 事 項	備 考
28.	(3) V36.1-85を徐々に「開」とする。	R-501		ガスクロへ急激に圧力がかからないようゆっくり「開」にする。
	(4) ガスクロアナライザにて圧力と流量を確認する。	R-409	圧力：3.4 kg/cm ² 流量：2.5 ゲージ目盛	
	28. ガスクロ起動			
	(1) ガスクロアナライザの恒温槽温度を確認する。	R-409	温度指示：66℃	
	(2) プロセッサパネルを開けPWR と DET CURRENT スイッチを「ON」とする。	中 制 (453)	140mAを指示すること。 3時間以上放置する。	ベースラインが安定するまで待つ。
	(3) ベースラインの安定を確認する。			
	① クロマト用ペン（カートリッジ式）を取り付ける。	中 制 (453)		レコーダ内に置いてある。
	② 記録計のSUPPLY及びRECORDスイッチを「ON」とする。	中 制 (453)		
	③ チャートスピードを変更する。 上段スイッチ：mm/h→mm/min 下段スイッチ：25 → 12.5	中 制 (453)	チャートスピードが早くなること。	
	④ プロセッサのRECORDERスイッチをBAR からCHROMAT へ引き上げる レコーダ内右側上部のレバーを下に降ろす。	中 制 (453)	ベースラインを書き始めるのでドリフトしていないことを確認する。 (蛇行していない事)	安定確認約10分間
⑤ 記録計のRECORDスイッチを「OFF」とする。	中 制 (453)			
⑥ クロマト用ペン（カートリッジ式）を取り外す。	中 制 (453)		レコーダ内に置く。	
⑦ 記録計のRECORDERスイッチを「ON」とする。	中 制 (453)			
⑧ プロセッサのRECORDERスイッチをCHROMATからBARへ引き下ろす レコーダ内右側上部のレバーを上げる。	中 制 (453)	1 ペンレコーダから打点方式となること。		

順序	操 作	操作場所 (盤No)	確 認 事 項	備 考
	⑨ チャートスピードを変更する。 上段スイッチ:mm/min →mm/h 下段スイッチ:12.5 →25	中 制 (453)	チャートスピードが遅くなること。	
29.	サンプルガス流通			
	(1) V36.1-80を「開」とする。	中 制 (453)	Rランプ点灯	
	(2) V36.1-81を「開」とする。	中 制 (453)	Rランプ点灯	
30.	連続計測開始			
	(1) OPERATION スイッチを引き上げる。	中 制 (453)		各キー操作が可能となる。
	(2) MODEスイッチの AUTO ボタンを押す。	中 制 (453)	AUTOランプ点灯	計測開始
	(3) OPERATION スイッチを引き下げLOCK位置とする。	中 制 (453)		
31.	サンプルガス流量調整			
	(1) アナライザ盤前面扉を六角レンチを用い、開とする。	R-409		
	(2) サンプル出口流調弁NV-5を約1/2開とする。	R-409		
	(3) サンプル入口弁NV-1及びサンプルバイパス弁NV-2を約1/2開としサンプル流量50cc/min, サンプルバイパス流量500cc/minに調整する。	R-409	サンプル流量50cc/minで安定していること。 サンプルバイパス流量500cc/minで安定していること。	
	(4) アナライザ盤前面扉を六角レンチを用い、閉とする。	R-409		

(2) 装置の停止

順序	操 作	操作場所 (盤No.)	確 認 事 項	備 考
1.	1 次系ガスクロ連続計測の停止			
	(1) プロセッサパネル面の[6]を押し時間を表示させる。	中 制 (453)	DISPLAYのDATA部に時間が表示される。	
	(2) OPERATIONスイッチを引き上げる。	中 制 (453)		
	(3) 時間表示が890.1 ~ 899.9 (秒)の間にMODEスイッチの[MAINT] ボタンを押す。	中 制 (453)	AUTOランプ消灯 MAINT ランプ点灯 STATUSランプ全て消灯	各バルブを「閉」状態で停止させるため1回の分析周期終了間際(15分=900秒)にMODEを変更する。
	(4) OPERATION スwitchを引き下げLOCK位置とする。	中 制 (453)		
2.	サンプルガス流通停止			
	(1) V36.1-80を「閉」とする。	中 制 (453)	Gランプ点灯	
	(2) V36.1-81を「閉」とする。	中 制 (453)	Gランプ点灯	
3.	ガスクロ停止			
	(1) プロセッサパネル内のTCD CURRENT とPWR スwitchを「OFF」とする。	中 制 (453)	CURRENT 指示 0 mAとなる。	
	(2) レコーダ電源SUPPLY及びRECORD スwitchを「OFF」とする。	中 制 (453)		
4.	キャリアガス流通停止			
	(1) V36.1-85を「閉」とする。	R-501		
	(2) V36.1-84を「閉」とする。	中 制 (453)	Gランプ点灯	
	(3) プロセッサラック裏側のNFB-1, NFB-2 を「OFF」とする。	中 制 (453)	プロセッサパネル内 HTRランプ消灯	
5.	FFD-CG法を停止する。			
	(1) プレシピテータコンソールMAIN POWER SWを「OFF」にする。	R-601 (566)	プレシピテータコンソール「MAIN POWER」ランプ消灯	
	(2) CP46-1コンプレッサCOSを「手動」にする。	R-601 (564)	コンプレッサの停止	

順序	操 作	操作場所 (盤No.)	確 認 事 項	備 考
	(3) パージガス流調弁V46-10を「全閉」とする。	R-501 (バルブ スタンド)		
	(4) 下記の弁を「直接」「閉」とする			
	① カバーガス入口弁 V46-1	R-601 (564)	Gランプ点灯	
	② カバーガス出口弁 V46-6	R-601 (564)	Gランプ点灯	
	③ カバーガス出口弁 V46-5, 15 (「手動」「閉」とする。)	R-601 (564)	Gランプ点灯	
	(5) (4)のバルブを「遠方」とする。 V46-5, 15については「自動」にする。	R-601 (564)		
	(6) カバーガス流調弁V46-2 を開度表示で0%にする。	R-601 (564)	Gランプ点灯	
	(7) B46-2 プロアCSを「停止」にする。	R-601 (564)	Gランプ点灯	

添付資料 - 1 3

放射線管理設備電源一覽

表3-1 放射線管理設備電源一覧(1/6)

電源系統	機 器 名 称	設 置 場 所	分電盤名(番号)と位置
1 A (一般系)	<ul style="list-style-type: none"> ・監視室壁コン …… TLD アニロー ・チェッカー室壁コン ・コールド更衣室壁コン ・ホット更衣室壁コン ・A-518 ホール壁コン ・スタック小屋壁コン …… 放射線計測装置 	<ul style="list-style-type: none"> ・監視室 ・チェッカー室 ・コールド更衣室 ・ホット更衣室 ・A-518 ・スタック小屋 	<ul style="list-style-type: none"> ・照明用分電盤L-1E (A-501)
	<ul style="list-style-type: none"> ・A-510 室壁コン …… ハンドワークロスモニタ (α用) (キヤスカ-移動エリア 入口) 	<ul style="list-style-type: none"> ・A-510 	<ul style="list-style-type: none"> ・照明用分電盤L-1W (A-507A)
	<ul style="list-style-type: none"> ・A-107 室壁コン …… 6ch エアモニター式 	<ul style="list-style-type: none"> ・A-107 	<ul style="list-style-type: none"> ・照明用分電盤L-B2W (A-104)
	<ul style="list-style-type: none"> ・水モニタ小屋壁コン …… 換気扇 	<ul style="list-style-type: none"> ・水モニタ小屋 	<ul style="list-style-type: none"> ・第3倉庫・LP-2盤より水モニタ小屋内自動制御盤
	<ul style="list-style-type: none"> ・処理建家壁コン …… ・ゲートモニタ及び CPU ・インターホン 	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理建家 (D-202) 	<ul style="list-style-type: none"> ・処理建家動力分電盤 (D-203)
	<ul style="list-style-type: none"> ・居室壁コン …… パソコン等 	<ul style="list-style-type: none"> ・放管居室 	<ul style="list-style-type: none"> ・照明用分電盤L-3 (運転管理棟 3 F)
	<ul style="list-style-type: none"> ・IRAFチェックポイント壁コン …… APD 及び APD充電器 ・物品搬出モニタ (IRAF) ・IRAF監視室壁コン 	<ul style="list-style-type: none"> IRAFチェックポイント IRAF更衣室 IRAF監視室 	<ul style="list-style-type: none"> ・照明用分電盤L-2 (I-214, 監視室)
1 B (一般系)	<ul style="list-style-type: none"> ・SFF 更衣室壁コン …… ハンドワークロスモニタ (α, β γ用 2台) ・物品搬出モニタ (第1 SFF) 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1 SFF 更衣室 	<ul style="list-style-type: none"> ・電灯分電盤 (P-304)
2 C (非常系)	<ul style="list-style-type: none"> ・IRAF放射線監視盤 ・監視盤室壁コン ・ホット更衣室壁コン …… ハンドワークロスモニタ (α, β γ用 2台) ・ローカルダストモニタ (LM-1) ・ローカルダストモニタ (LM-2) ・ローカルダストモニタ (LM-3) ・水モニタ (WM-2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・IRAF監視室 ・IRAF監視室 ・IRAF更衣室 ・I-110 ・I-221 ・I-301 ・I-104 	<ul style="list-style-type: none"> ・EG系低圧電灯盤 (I-105)
	<ul style="list-style-type: none"> ・IRAFスタックモニタ(SM-7, SM-8), サンプラ ・ダストサンプラ (DS-8, DS-9) 	<ul style="list-style-type: none"> ・I-101 	<ul style="list-style-type: none"> ・上記分電盤より各設置場所にブレーカが有る (I-101)

表3-1 放射線管理設備電源一覧(2/6)

電源系統	機 器 名 称	設 置 場 所	分電盤名(番号)と位置
2 D (非常系) 但し、本系統の一部が、 バッテリー設備を置くことにより無停電源設備となっている。 右欄の機器は、この無停電源設備より電源を供給されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・保物モニタシステム計算機 ・付属建家ゲートモニタ及びCPU ・ 警報表示盤(2台分) ・APD 作業被ばく管理システム計算機 ・監視室壁コン …… ・バーコード発行機等 ・APD 自動読取装置(3台) ・APD 自動読取装置(1台) ・APD 自動読取装置(1台) ・APD 及びAPD 充電器(6台) ・フェック材外壁コン …… ・プリンター ・APD 警報設定器 	<ul style="list-style-type: none"> ・監視室 ・付属・更衣室 ・廃棄物処理建家 ・メンテナンス建家 ・チェックポイント ・チェックポイント 	<ul style="list-style-type: none"> ・3 A 切換盤 (A-525, 監視室)
2 D (非常系) 補助電源	<ul style="list-style-type: none"> ・メンテナンス建家ゲートモニタ及びCPU ・呼出しインターホン 	<ul style="list-style-type: none"> ・M-308 	<ul style="list-style-type: none"> ・メンテナンス建家用出入監視機器用分電盤(1) (M-311, 電気室)
2 S (非常系)	<ul style="list-style-type: none"> ・SFF スタックモニタ用サンプラ (SM-6) ・ダストサンプラ (DS-7) 	<ul style="list-style-type: none"> ・P-211 	<ul style="list-style-type: none"> ・非常系動力盤(910) より設置場所に保物計装分電盤としてPLC-カが有る。 (P-201)
3 A (一般系)	<ul style="list-style-type: none"> ・保物モニタシステム計算機 ・付属建家ゲートモニタ及びCPU ・ 警報表示盤(2台分) ・APD 作業被ばく管理システム計算機 ・監視室壁コン …… ・バーコード発行機等 ・APD 自動読取装置(3台) ・APD 自動読取装置(1台) ・APD 自動読取装置(1台) ・APD 及びAPD 充電器(6台) ・フェック材外壁コン …… ・プリンター ・APD 警報設定器 	<ul style="list-style-type: none"> ・監視室 ・付属・更衣室 ・廃棄物処理建家 ・メンテナンス建家 ・チェックポイント ・チェックポイント 	<ul style="list-style-type: none"> ・2 D 切換盤・監視室
	<ul style="list-style-type: none"> ・物品搬出モニタ警報盤 ・監視室壁コン …… ・廃棄物処理建家ゲートモニタ 警報表示盤 ・TLD リーダー ・パソコン 	<ul style="list-style-type: none"> ・監視室 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験用分電盤・T-3 (A-525・監視室)

表3-1 放射線管理設備電源一覧(3/6)

電源系統	機 器 名 称	設 置 場 所	分電盤名(番号)と位置
3 A (一般系)	<ul style="list-style-type: none"> ・保護マスク保管棚(2台) ・仮設用モニタ盤 ・フェカ材外壁コン …… ・APD 警報設定器 ・コールド更衣室壁コン …… ・乾燥機(2台) ・A-523 壁コン …… ・保護マスク保管棚(4台) 	<ul style="list-style-type: none"> ・チェックポイント ・コールド更衣室 ・A-523 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験用分電盤・T-3(A-525・監視室)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ドラフトフード ・実験室壁コン …… ・核種分析装置(Ge-PHA) ・α/β線同時測定装置(LBC-453) ・自動試料測定装置(2台) ・液体シンチレーションカウンタ ・振動容量型電位計装置(2台) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験室 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験用分電盤・T-1(A-515・実験室)
	<ul style="list-style-type: none"> ・補機冷却水モニタ(WM-3)検出器及び監視盤 	<ul style="list-style-type: none"> ・A-118 	<ul style="list-style-type: none"> ・P-1,018(A-118)
	<ul style="list-style-type: none"> ・水モニタ駆動部電源(WM-1) ・水モニタ排水ポンプ操作盤 ・除湿器 ・水モニタ冷却器 	<ul style="list-style-type: none"> ・水モニタ小屋(入口左側) 	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理建家動力分電盤より(D-203)水モニタ小屋内自動制御盤
	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的真空配管設備 	<ul style="list-style-type: none"> ・A-509 階段室上 	<ul style="list-style-type: none"> ・除染装置電源盤(A-409)
3 S (非常系)	<ul style="list-style-type: none"> ・ガスモニタ(GM-6, GM-7) 	<ul style="list-style-type: none"> ・A-215 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダストモニタ用分電盤269(A-509)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ダストモニタ用サンプラ(DM-1, DM-2) ・ダストサンプラ(DS-3, DS-4) ・ダストモニタ用サンプラ(DM-3) ・ダストサンプラ(DS-2) ・ダストサンプラ(DS-1) ・ダストモニタ用サンプラ(DM-4, DM-5) ・原子炉建家スタックモニタ用サンプラ(SM-1, SM-2) ・スタック小屋用エアコン ・廃棄物処理建家スタックモニタ用サンプラ(SM-4) ・ダストサンプラ(DS-5) 	<ul style="list-style-type: none"> ・R-601 ・A-406 ・A-301 ・A-107 ・A-102 ・スタック小屋 ・廃棄物処理建家(D-101) 	<ul style="list-style-type: none"> ・上記269分電盤より各設置場所にブレーカーがある。

表3-1 放射線管理設備電源一覧(4/6)

電源系統	機 器 名 称	設 置 場 所	分電盤名(番号)と位置
3 S (非常系)	<ul style="list-style-type: none"> メンテナンス建家スタックモニタ用リフト (SM-5) ダストサンプラ (DS-6) 	<ul style="list-style-type: none"> メンテナンス建家 (M-201) 	上記 269分電盤より各設置場所にブレーカーが有る。
4 S (非常系)	<ul style="list-style-type: none"> スタック流量計 放射線警報表示盤 放射線監視盤内照明, 冷却ファン, コンセント, IVC 関係 N₂再循環系電磁弁 	<ul style="list-style-type: none"> 中央制御室 (スタック) 中央制御室 	<ul style="list-style-type: none"> 現場保物計装分電盤270 (A-509)
	<ul style="list-style-type: none"> 副放射線警報表示盤内照明, 冷却ファン, コンセント, IVC 関係 保物モニタシステムバックアップ装置 チェックポイントインターホン A-518 壁コン 	<ul style="list-style-type: none"> 監視室 チェックポイント A-518 	<ul style="list-style-type: none"> 上記 270分電盤内EG分電盤よりEG分電盤(A-523)
	<ul style="list-style-type: none"> メンテナンス建家ゲートモニタ警報表示盤 	<ul style="list-style-type: none"> 監視室 	<ul style="list-style-type: none"> 上記EG分電盤よりメンテナンス建家出入監視機器用分電盤(2)(A-525)
	<ul style="list-style-type: none"> 水モニタ監視盤(警報盤) 	<ul style="list-style-type: none"> 水モニタ小屋 (中央部) 	<ul style="list-style-type: none"> 現場保物計装分電盤(270)より水モニタ小屋にブレーカー有り
6 C (交流無停電系)	<ul style="list-style-type: none"> 放射線監視盤・IM-1 原子炉保護系エリアモニタ(IM-1)検出器 	<ul style="list-style-type: none"> 中央制御室(A-712) R-501 	<ul style="list-style-type: none"> ケーブル室 (A-605) (中制, 放射線監視盤真下付近)
6 D (交流無停電系)	<ul style="list-style-type: none"> 放射線監視盤・IM-2 原子炉保護系エリアモニタ(IM-2)検出器 	<ul style="list-style-type: none"> 中央制御室(A-712) R-501 	<ul style="list-style-type: none"> ケーブル室 (A-605) (中制, 放射線監視盤真下付近)
6 S (交流無停電系)	<ul style="list-style-type: none"> 放射線監視盤・IM-3, 一般系モニタ及びEM系モニタ 原子炉保護系エリアモニタ(IM-2)検出器 放射線警報表示盤 中央制御室エリアモニタ(γM-11)検出器 副放射線警報表示盤 管理区域内放射線状況図 管理区域入口ホールエリアモニタ(γM-12)検出器 コントロールルームエリアモニタ(γM-1)検出器 ダストモニタ(DM-1, DM-2)検出器 	<ul style="list-style-type: none"> 中央制御室(A-712) R-501 中央制御室 中央制御室 監視室 A-518 A-518 R-601 R-601 	<ul style="list-style-type: none"> ケーブル室 (A-605) (中制, 放射線監視盤真下付近)

表3-1 放射線管理設備電源一覧(5/6)

電源系統	機 器 名 称	設 置 場 所	分電盤名(番号)と位置
6 S (交流無 停電系)	<ul style="list-style-type: none"> ・ガスモニタ(GM-3)検出器 	<ul style="list-style-type: none"> ・R-601 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケーブル室(A-605) (中制,放射線監視盤真下付近)
	<ul style="list-style-type: none"> ・格納容器高線量率計(EM-1, EM-2)検出器 	<ul style="list-style-type: none"> ・R-501 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・バルブアロケ付近計(γM-2)検出器 	<ul style="list-style-type: none"> ・R-501 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料出入機付近中性子線計(nM-1)検出器 	<ul style="list-style-type: none"> ・R-501 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・炉上部ピット室計(γM-3)検出器 	<ul style="list-style-type: none"> ・R-501 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ガスモニタ(GM-4)検出器 	<ul style="list-style-type: none"> ・R-501 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・主循環ポンプ(A)上蓋室計(γM-5)検出器 	<ul style="list-style-type: none"> ・R-412 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・主循環ポンプ(B)上蓋室計(γM-6)検出器 	<ul style="list-style-type: none"> ・R-410 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・カバーガスFFD室計(γM-4)検出器 	<ul style="list-style-type: none"> ・R-407 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・バルブ操作室(東)計(γM-7)検出器 	<ul style="list-style-type: none"> ・R-303 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・バルブ操作室(西)計(γM-8)検出器 	<ul style="list-style-type: none"> ・R-304 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・主中間熱交換器室(A)計(γM-9)検出器 	<ul style="list-style-type: none"> ・R-201 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・主中間熱交換器室(B)計(γM-10)検出器 	<ul style="list-style-type: none"> ・R-204 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・新燃料検査貯蔵室計(γM-13)検出器 	<ul style="list-style-type: none"> ・A-513 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・キャスクカー移動計(γM-14)検出器 	<ul style="list-style-type: none"> ・A-510 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・水冷却池室エリアモニタ(γM-15)検出器 	<ul style="list-style-type: none"> ・A-511A 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・缶詰操作室エリアモニタ(γM-27)検出器 	<ul style="list-style-type: none"> ・A-512 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・缶詰室エリアモニタ(γM-25)検出器 	<ul style="list-style-type: none"> ・A-709 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料取扱室放射線表示盤 	<ul style="list-style-type: none"> ・A-604 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・貯蔵設備操作室計(γM-26)検出器 	<ul style="list-style-type: none"> ・A-604 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ガスモニタ(GM-8)検出器 	<ul style="list-style-type: none"> ・A-410 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・キャスク点検室計(γM-16)検出器 	<ul style="list-style-type: none"> ・A-408 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・装填燃料移送室計(γM-28)検出器 	<ul style="list-style-type: none"> ・A-414 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・装填燃料貯蔵室中性子線計(nM-2)検出器 	<ul style="list-style-type: none"> ・A-413 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ダストモニタ(DM-3)検出器 	<ul style="list-style-type: none"> ・A-301 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・配管路(コールドA)計(γM-17)検出器 	<ul style="list-style-type: none"> ・A-305 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・配管路(コールドB)計(γM-18)検出器 	<ul style="list-style-type: none"> ・A-306 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料洗浄室計(γM-29)検出器 	<ul style="list-style-type: none"> ・A-308 	
<ul style="list-style-type: none"> ・トランスアロケ保守室計(γM-30)検出器 	<ul style="list-style-type: none"> ・A-310 		
<ul style="list-style-type: none"> ・燃料洗浄機器室計(γM-19)検出器 	<ul style="list-style-type: none"> ・A-212 		
<ul style="list-style-type: none"> ・水冷却池機器室計(γM-20)検出器 	<ul style="list-style-type: none"> ・A-211 		
<ul style="list-style-type: none"> ・遮蔽コンクリート冷却系室計(γM-21)検出器 	<ul style="list-style-type: none"> ・A-202 		
<ul style="list-style-type: none"> ・1次カルガス系真空ポンプ室計(γM-22)検出器 	<ul style="list-style-type: none"> ・A-204 		

表3-1 放射線管理設備電源一覧(6/6)

電源系統	機 器 名 称	設 置 場 所	分電盤名(番号)と位置
6 S (交流無 停電系)	<ul style="list-style-type: none"> ・廃ガス処理室エアモニタ(γM-23)検出器 ・ガスモニタ(GM-9, GM-10, GM-11, GM-12, GM-13)検出器 ・廃液タンク室エアモニタ(γM-24)検出器 ・ダストモニタ(GM-4, DM-5)検出器 ・ガスモニタ(GM-5)検出器 ・スタックモニタ(SM-1, SM-2, SM-3)検出器 ・ガスモニタ(GM-1, GM-2)検出器 ・排気筒高濃度ガスモニタ(EM-3)検出器 ・廃棄物処理建家放射線表示盤 	<ul style="list-style-type: none"> ・A-108 ・A-108 ・A-106 ・A-102 ・A-102 ・スタック小屋 ・スタック小屋 ・スタック小屋 ・廃棄物処理建家(D-201) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケーブル室(A-605) (中制, 放射線監視盤真下付近)
	<ul style="list-style-type: none"> ・制御室エリアモニタ(γM-31)出器 ・凝集沈澱処理室エアモニタ(γM-32)検出器 ・スタックモニタ(SM-4)検出器 ・メンテナンス建家放射線表示盤 ・メンテナンス建家エリアモニタ(γM-33)検出器 ・洗浄機器室エリアモニタ(γM-34)検出器 ・スタックモニタ(SM-5)検出器 ・第1 SFF 放射線表示盤 ・水冷却系室エリアモニタ(γM-35)検出器 ・水処理機器室エアモニタ(γM-36)検出器 ・水モニタα・βγ(WM-1)検出器 	<ul style="list-style-type: none"> ・D-203 ・D-102 ・D-102 ・メンテナンス建家(M-401) ・M-301 ・M-205 ・M-201 ・第1 SFF (P-303) ・P-312 ・P-102 ・水モニタ小屋 	

注) 壁コンより電源供給を受けている機器については, 変動的なものがある。(平成3年5月現在)

添付資料 - 1 4

N₂ 気化器凍結防止対策

ボイラー停止に伴うN₂気化器の温度監視

電源盤点検に伴い、ボイラー停止及びN₂気化器の蒸気停止が行われる。

(ボイラー室にて実施)

1. N₂気化器蒸気停止期間中は、気化器温度を監視し添付データシートに気化器温度を記入する。
2. 温度監視中、気化器温度が15℃以下まで低下した場合には、N₂気化器給・排水弁(V74-W1、W2)を、“開”とし、気化器に通水を行い、凍結を防止する。

